

# 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (南ーレッサーパンダ舎)

## 設計図

【図面リスト】

図 面 番 号	図 面 名	S C A L E
南レA-01	図面リスト	_____
南レA-02	特記仕様書1	_____
南レA-03	特記仕様書2	_____
南レA-04	特記仕様書3	_____
南レA-05	特記仕様書4	_____
南レA-06	外部仕上表	_____
南レA-07	内部仕上表	_____
南レA-08	法令チェック	_____
南レA-09	平面図	A1-1:50 A3-1:100
南レA-10	屋根伏図	A1-1:50 A3-1:100
南レA-11	立面図	A1-1:50 A3-1:100
南レA-12	断面図	A1-1:50 A3-1:100
南レA-13	矩計図1	A1-1:25 A3-1:50
南レA-14	矩計図2	A1-1:25 A3-1:50
南レA-15	平面詳細図	A1-1:40 A3-1:80
南レA-16	展開図1	A1-1:50 A3-1:100
南レA-17	展開図2	A1-1:50 A3-1:100
南レA-18	天井伏図	A1-1:50 A3-1:100
南レA-19	レッサーバンダ舎 下部建具キープラン	A1-1:50 A3-1:100
南レA-20	レッサーバンダ舎 上部建具キープラン①	A1-1:50 A3-1:100
南レA-21	上部建具キープラン②	A1-1:50 A3-1:100
南レA-22	建具表1	A1-1:50 A3-1:100
南レA-23	レッサーバンダ舎 S0-1 姿図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-24	レッサーバンダ舎 S0-2-1 姿図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-25	レッサーバンダ舎 S0-2-2 姿図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-26	レッサーバンダ舎 S0-2-3 姿図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-27	レッサーバンダ舎 SD-7 姿図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-28	レッサーバンダ舎 S0-3-1・3-2 平面図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-29	レッサーバンダ舎 S0-3-1 断面図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-30	レッサーバンダ舎 S0-3-2 断面図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-31	レッサーバンダ舎 SS-1-1・踊り場 平面図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-32	レッサーバンダ舎 SS-1-1・SD-3-1・踊り場 姿図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-33	レッサーバンダ舎 SS-1-2 姿図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-34	レッサーバンダ舎 SS-1-3・踊り場 平面図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-35	レッサーバンダ舎 SS-1-3 姿図	A1-1:10 A3-1:20
南レA-36	レッサーバンダ舎 SS-1 断面図	A1-1:10 A3-1:20

[illegible][illegible][illegible]

特 記 事 項	<div></div>	<div><div></div></div> <div>山梨建築設計監理事業協同組合</div>	承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南—レッザパ—ンダ—舎)	図面名称 図面リスト	南レA-O 1 No.
				一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	設計年月日			

[illegible]

[illegible]

1

見本の製作等

・特殊な建具の仮組（建具符号： ）

(16.1.4)

2

アルミニウム製建具

外部に面する建具

(16.2.2) (16.2.4) (表16.2.1)

種 別	耐風圧性	気密性	水密性	特見込み (mm)	施工箇所
○A種	S-4	※A-3	※W-4	※70	※図示
・B種	S-5			○100	※図示
・C種	S-6	A-4	W-5	特記による	※図示

断熱等級・  
枠・障子：

ガラス：

表面処理 ※B-1種 ・B-2種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）

(表14.2.1)

屋内建具

表面処理 ※C-1種又はB-1種

(表14.2.1)

・C-2種又はB-2種（・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）

網戸

防虫網

網の種別 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製 ・ステンレス製 (SUS316)

(16.2.3)

形 式 ※外部可動式 ・固定式

3 樹脂製建具

建具の性能及び構造の適用は建具表による

(16.3.2)

製造所標準仕様による

(表16.3.3)

4 鋼製建具

簡易気密型ドアセットの適用は特記による

(16.4.2) (表16.4.1)

耐風圧性の適用は建具表による

特定防火設備の戸 ・適用あり

5 鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

(16.5.2)

6 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセットの適用は建具表による

耐風圧性の適用は建具表による

表面仕上げ ※H.L程度 ・鏡面仕上げ ・

(16.6.4)

曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ（補強あり）

(16.6.5)

特定防火設備の戸 ・適用あり

(表16.6.1)

7 木製建具

かまち戸の樹種 かまち（ ） 鏡板（ ）

(16.7.2)

ふすまの上張り

※新鳥の子又はビニル紙程度（押入等の裏面は除く） ・鳥の子

(表16.7.3～10)

建物内の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量

(16.7.2)

※規制対象外 ・第三种

8

建具用金物

マスターキー ※製作する ・製作しない

(16.8.4)

建具用金物

(16.4.6) (16.5.6)

錠類はシリンダー錠錠（レバーハンドル）とする

(表16.8.1～5)

錠類、錠前類は錠錠製作所の指定するものとし、監督職員の承認を受ける

(16.8.2)

吊金物

○T番（内部建具については、軸を鉄芯としてもよい）

○ピボットヒンジ

・フロアヒンジ

9

自動ドア開閉装置

(16.9.2～3) (表16.9.1～3)

開閉方法	センサの種類
※スライディングドア	・マツトスイッチ ・電子マツトスイッチ
・スイングドア	※光線スイッチ ・音波スイッチ
	・熱線スイッチ ・光電スイッチ

・凍結防止措置（適用箇所は建具表による）

10

自閉式上吊り引戸装置

品質規格 ※標仕16.10.1による

(16.10.2～3)

・製造所標準仕様による

(16.11.2)

11

重量シャッター

シャッターの種類	
・一般重量シャッター	耐風圧性能（ ） N/m <sup>2</sup>
・外壁用防火シャッター	耐風圧性能（ ） N/m <sup>2</sup>
○屋内用防火シャッター	
・屋内用防煙シャッター	

開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式

(16.11.2) (表16.11.1)

危害防止機構

※障害物感知装置（自動閉鎖型）

・シャッターの二段降下方式

一般重量シャッターのシャッターケース ※設ける ・設けない

(16.11.2)

12

軽量シャッター

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用）

(16.12.2) (表16.12.1)

スラット 材質 ※塗装溶融垂れつき鋼板 ・鋼板

(16.12.3)

形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

(16.12.4)

ガイドレール等 ※鋼板製 ・ステンレス製SUS304（厚さ1.5mm）

(表16.12.2)

耐風圧性能（ ） N/m<sup>2</sup>

13

オーバーヘッドドア

(16.13.2～3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール
※スチールタイプ	※バランス式	・スタンダード形	・溶融垂れつき鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	※ステンレス鋼板
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ハイリフト形	(SUS304)
		・パーチカル形	

耐風圧性能（ ） N/m<sup>2</sup>

14

ガラス

※建具表による

(16.14.2)

・ガラスブロック 標仕16.14.5による

(16.14.5)

表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	防火性能
・正方形			※クリア	※無し
・長方形				・有り

ガラス留め材及び溝

ガラス留め材

(16.14.2) (表9.7.1)

建具の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット（FIX部はシーリング材）
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材
ステンレス製	※シーリング材

防火戸のガラス留め材は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

(16.14.3)

板ガラスをはめ込む溝の大きさ

標仕16.14.3 以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は（社）日本建築学会 JASS 17ガラス工事「3.1納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出する

名 称	種 類	張り面	性能値
※ガラス飛散防止フィルム	第2種	※内張り ・外張り	飛散防止率 D 1

品質 JIS A 5759による

カーテンウォール工事

2

金属材料カーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。

カーテンウォール材料の種類

種 別	規格等
※アルミニウム製	※標準仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による

カーテンウォール方式

・立方式

・バクマリオン方式（・単純2辺支持構法　・SSG構法）

・スパンドレル方式

・パネル方式

・小型パネル組み合わせ方式（・ノックダウン方式　・ユニット方式）

シーリング材及びガラス取付け材料

下記以外は標準仕表9.7.1による

被着体の組合せ		記 号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット ※適用しない

・適用する（施工箇所：図示）

断熱材 ※適用しない

・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所※図示）

製品の寸法許容差 ※標準仕表17.2.1による

・製造所標準製作規定寸法許容差による

・取付け

アルミニウムの表面処理

種 別	色彩等
・A-1種　・B-1種	無着色
・A-2種　・B-2種	※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー
・着色塗装	塗装材料（　） 焼付け方法（　） コート（　） ベーク

耐風圧性能

性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・正圧　N/m<sup>2</sup>以上及び負圧　N/m<sup>2</sup>以上に対して安全であること。

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状　　態
※4m以下	※±（1/150）×h	※各部の破損、残留変形
・4mを超える	かつ絶対量20mm以下	有害な変形が起こらないこと

耐震性能

設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・

垂直方向（KV）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損及び主要部材に有害な歪みが起こらない
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	シーリングは補修程度
鉄骨鉄筋コンクリート造		

水密性　・W-4　・W-5　・

気密性　・A-3　・A-4　・

耐火性能 ※適用しない ・適用する　時間、施工箇所：図示

映像調整 行わない ・行う（建具表による）

製造所　性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。

コンクリートの種類及び品質

※標準仕17.3.2による

・下表による。ただし、下表以外は標準仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（F <sub>c</sub> ）	所要スランプ（cm）

鉄筋 ※SD295A　・

取付け用金物の表面処理（表の塗銀めっき）及び材質

金物種類及び部位	内　　部	外　　部
PC板打込み金物	※E種　・	※A種　・
PC板打込み取付けボルト	※E種　・	※ステンレスボルト
2次ファスナー	※E種　・	※A種　・
取付けボルト	※E種　・	※A種　・
レベル調整ボルト	※E種　・	※A種　・

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料

下記以外は標準仕表9.7.1による

施工箇所	記 号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材 ※適用しない

・適用する（種類：　厚さ（mm）　：施工箇所 ※図示）

製品の寸法許容差 ※標準仕表17.3.1による

・製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ（　）

耐火材料

施工部位	種　　別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能

性能値 ※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・正圧　N/m<sup>2</sup>以上及び負圧　N/m<sup>2</sup>以上に対して安全であること。

耐震性能

設計用震度　水平方向（KH）　※1.0　・

垂直方向（KV）　※0.5　・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状　　態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材が破損せず、破損脱落もしない。
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	ガラス等の破損もない
鉄骨鉄筋コンクリート造		シーリングは補修程度

3

PCカーテンウォール

① 材料

② 素地ごしらえ

塗装工事

③ 錆止め

塗料塗り

4. 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)

5. クリアラッカー塗り (CL)

6. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)

7. 耐候性塗料塗り (DP)

8. つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)

⑨ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)

10. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EPT)

11. ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)

12. ラッカーエナメル塗り (LE)

13. オイルステイン塗り (OS)

⑩ 木材保護塗料塗り (WP)

⑪ 内装工事

2 ビニル床シート張り  
ビニル床タイル  
及びゴム床タイル張り

・ビニル床シート

・化繊ビニル床シート

・ビニル床タイル

・特殊機能床材

・視覚障害者用床タイル

○ビニル幅木

・接着剤

3 カーベツド敷き

屋内の壁及び天井の塗装の仕上は、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。(18.1.3)

各部の素地ごしらえ(18.2.1~7)(表18.2.1~7)

木部 ※A種(不透明塗料塗) ※B種(透明塗料塗)

鉄鋼面 ・A種 ・B種 ※C種

亜鉛めっき鋼面 ・A種 ・B種 塗り工法に応じた節の規定

モルタル・プラスター面 ・A種 ※B種

コンクリート・ALCパネル面 ・A種

コンクリート・押出成形セメント板面 ・A種 塗り工法に応じた節の規定

ボード面 ※A種(継目処理工法) ※B種(その他)

塗料の種類(18.3.1~2)

鉄鋼面 ※A種 ※B種(標準仕様書8節の場合)

亜鉛めっき鋼面 ※A種 ・B種(標準仕様書8節の場合)

錆止め塗料塗り ※A種(見え掛り) ※B種(見え隠れ)

亜鉛めっき鋼面 ※A種(鋼製建具等) ・B種

合成樹脂調合ペイント塗り 木部 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面(18.4.2)(表18.4.1~3)

塗料の種類 ※1種 ・2種

鉄鋼面 ・A種 ※B種

木部 ※A種(屋外) ※B種(屋内)

木部のクリアラッカー塗り ・A種 ※B種(18.5.1)(表18.5.1)

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(屋内) ・A種 ※B種(18.6.1)(表18.6.2)

耐候性塗料塗り(屋外)(18.7.2~3)(表18.7.1~3)

上塗りの等級 へ特記による

鉄鋼面 工程<下塗り→研磨→中塗り→上塗り>は表18.7.2による

亜鉛めっき鋼面 工程<下塗り→研磨→中塗り→上塗り>は表18.7.3による

コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別(18.7.4)(表18.7.3)

鉄鋼面(屋内) ・A種 ・B種 ・C種 種別は表18.7.3の特記による

つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り(18.8.1~4)

コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面

・A種 ※B種

木部(屋内)(多孔質広葉樹を除く)→仕様工程等は、表18.8.2による

鉄鋼面(屋内) ・A種 ※B種

合成樹脂エマルジョンペイント塗り(18.9.2)

コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面

・A種 ※B種

合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(屋内)(18.10.2)

コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面

・A種 ※B種

木部のウレタン樹脂ワニス塗り ・A種 ※B種(18.11.2)

ラッカーエナメル塗り ・A種 ※B種(18.12.2)

オイルステイン塗り

仕様工程は、表18.13.1による

素地ごしらえ→1回目塗り→ふき取り→2回目塗り→ふき取り(18.13.2)

木材保護塗料塗り ・A種 ※B種(18.13.1)

(19.2.1~4)(表19.2.1~2)

JIS A5705のJIS表示認証製品

種 類 記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工 法

※ 発泡層の ・FS ・無地 ※2.0 ・帯電防止 ※熱溶接

ないもの ・TS ・マーブル ・2.5 ・帯電荷重 ・突付け

・ 発泡層の ・HS

あるもの ・KS

JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号 色 柄 厚さ(mm) 特殊機能 工 法

FS ・木目調 ※2.0 ・帯電防止 ※熱溶接

・石目調 ・2.5 ・帯電荷重 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

JIS A5705のJIS表示認証製品

種 類 記号 寸法 厚さ(mm) 特殊機能

※ コンポジション ※KT ※300×300 ・2.0 ・帯電防止

ビニル床タイル ・耐動荷重

・ ホモニアス ・FT ・300×300 ・2.0 ・帯電防止

ビニル床タイル ・450×450 ・耐動荷重

・特殊機能床材

帯電防止

・帯電防止性能評価(JIS A 1445) 1.2~3.1程度

又は耐電圧(JIS L 1023)3kV以下

・帯電防止性能評価(JIS A 1445) 3.2~5.1程度

又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×1010オーム未満

・帯電防止性能評価(JIS A 1445) 5.2以上

又は漏えい抵抗値(JIS A 1454)0.1×107オーム未満

耐動荷重

JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り試験、磨損耐擦強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター試験等の試験後異常がないこと。

・視覚障害者用床タイル

材 質 寸 法(mm)

・塩化ビニル系 ・セッター器置タイル系 300×300

○ビニル幅木

材 種 ※軟質 ・硬質 ・溶接

高 さ(mm) ※6.0 ・7.5 ○10.0

厚 さ(mm) ※1.5 ・2.0

・接着剤

JIS A 5536(床仕上げ材接着剤)により、種別は表19.2.1による施工箇所に応じたものとする。

ホルムアルデヒド放散量は特記による。特記がなければF☆☆☆☆とする。

(19.3.1~4)(表19.3.1)

織じゅうたん

種 別 バイル形状 色柄等 備 考

・A種 ・カットバイル ※無地

・B種 ・ルーパバイル ・柄物(標準品)

・C種 ・カット、ルーパバイル併用

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下

・タフテッドカーベツド(19.3.3~4)(表19.3.2)

バイル形状 バイル長(mm) 工 法 備 考

・カットバイル ※5~7 ・ ※金面接着工法 下敷き材を敷く。

・ルーパバイル ※4~6 ・グリッパー工法

・レペルバイパイル ※4

・カット、ルーパ併用

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下

4

合成樹脂塗床

5

フローリング張り

6

畳敷き

7

せっこうボード  
その他ボード  
及び合板張り

8

壁紙張り

9

断熱・防露

・タイルカーベット

(表19.3.2)

バイル形状	種 類	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備 考
※ルーババイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※6.5	粘着はく離剤接着剤を使用する。
・カットバイル				
・カット、ルーバ併用				

耐電性 ・人体帯電圧3kV以下 (フリーアクセスフロア敷設範囲)

(表19.4.1~4) (表19.4.1~8)

種 別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ 防汚仕上げ つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗床材	・薄膜流し展べ仕上げ ・厚膜流し展べ仕上げ (・平滑 防汚) ・樹脂モルタル仕上げ (・平滑 防汚) ・防汚仕上げ

特記による

・単層フローリング

(表19.5.1~7) (表19.5.1~6)

種 別	樹種	厚さ (mm)	工法	塗装
・フローリング ボード	※ナラ	※15 幅 75 長さ900以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂 ワニス塗り
・フローリング ブロック	※ナラ	※15 303×303	・接着工法	・オイルステ ン塗りの上 ワックス
・モザイク パーケット	※ナラ	・6 ・8 ・9	・接着工法	・生地のままワックス ・既塗装品

・複層フローリング

種 別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
・複合1種 フローリング	※ナラ	・A種	・行う	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂 ワニス塗り
・複合2種 フローリング	・サクラ ・ヒノキ	※C種	・行わない		・オイルステ ン塗りの上 ワックス
・複合3種 フローリング					・生地のまま ワックス
・大型積層 フローリング	・ナラ ・サクラ	・行う ・行わ ない	・特殊張り 工法 (体育館床)		・既塗装品

畳の種類

・ A種 ・ B種  
・ C種 ・ D種 ( )

(表19.6.2) (表19.6.1)

せっこうボード  
その他ボード  
及び合板張り

(表19.7.2~3) (表19.7.1~5)

種 類	JISの記号	厚さ (mm) ・規格等
・硬質木毛セメント板	HW	㊦・15 ・20 ㉔5 ・
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・
○けい酸カルシウム板	0.8FK	タイプ2 (無石綿) ㉔6・8 ・
・ロックウール化粧吸音板	DR	※フラットタイプ (※9 (不燃) ・12 ・) ・凹凸タイプ (※12 (不燃) ・15・19 ・)
・ロックウール化粧吸音板 (軒天井用)	DR	※フラットタイプ 9 (不燃) ・凹凸タイプ (※12・15) (不燃)
	DR (凹凸) DR (軒天) DR (軒天凹凸)	
○せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ㉔9.5 (準不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧板 (下地張り用) 化粧板 (トラバーチン模様)
・シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	12.5 (不燃) 15.0 (不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード (本目)	GB-D	9.5 (不燃) 幅440mm程度 模様 (※柱目 ・板目) 専用下地材付き
・難燃合板	㊦	・生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度) ・透明塗料塗り (しな合板程度)
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2
・メディアムデンシティ ファイバーボード	MD F	㊦・3 ・7 ・9 ・12 ・
・単板張りパーティクルボード	㊦	・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・ハードボード (素地)	HB	・無研磨板 (・スタンダード ・テンパード) ・研磨板 (・スタンダード ・テンパード)
・インシュレーションボード	IB	㊦A級 (・天井仕上 ・内装仕上 ・) ・9 ・12 ・15 ・18 ・

合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外 ・第三種

軽質鉄骨下地ボード造骨壁の造骨シール材

※適用する ・適用しない

吸音材

(表19.7.1)

種 類	JISの記号	厚さ (mm)
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25

壁紙の種類

壁紙のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外 ・第三種

(表18.2.4~5) (表18.2.7)

施工箇所	紙	繊維 (織物)	フラ (ビニル)	その他 (化学繊維)	無機質	防火性能	備 考
						・不燃・準不燃・難燃	
						・不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ

モルタル、ラスター面

※B種 ・A種 (施工箇所: )

せっこうボード面

※B種 ・A種 (施工箇所: )

壁紙のホルムアルデヒドの放散量

※規制対象外 ・第三種

(表18.2.4~5) (表18.2.7)

種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品 等
○押出法 ポリステレン フォーム 保温板	※1種 b	○隙地部分 ○50	・25 特定フロンを使用 しないもの
・硬質ウレタン フォーム	※2種 b	※一般部 ○50	・25 特定フロンを使用 しないもの
・硬質ウレタン フォーム	※A種2	○隙上 ○50	・25 特定フロンを使用 しないもの
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分 ・一般部	―― ・15 ・40 特定フロンを使用 しないもの 難燃性 ・3級 ・2級
・断熱材兼用型枠	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁 (図示の範囲) ※40以下	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上 (m <sup>2</sup> ・k/w)
		製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する	
		製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの	

ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量


※規制対象外 ・第三種

			承認			代表設計者	設計担当者	縮 尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南—レッザ・ハ <sup>ン</sup> グ <sup>ス</sup> 舎)	南レA-04 No.
			山梨建築設計監理事業協同組合			一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→N/S A3→N/S 設計年月日		
									図面名称 特記仕様書-3	

ユニット及びその他の工事	1フリーアクセスフロア	(20.2.2)	材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形 式 ・片引き ・引分け ※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)	(20.2.14)	材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形 式 ・片引き ・引分け ※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)	22舗装工事	1 排水管	排水管用材料 (21.2.3) (表21.2.2) (21.3.1～3.2)	材 種 管の種類 ※通心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管 (※1種 ・2種) B形 (ゴム接合) ・硬質ポリ塩化ビニル管 ※V P ・V U ・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 ・R E P-V U ④ ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・D V 車道部の排水管の敷設 (21.3.1～2) ※図示 ・砂基礎 (地床厚さ20cm以上 材料 山砂の類)	11 路面標示用塗料	JIS K 5665 (路面標示用塗料) による				
	2 可動間仕切	(20.2.3)	・市販品 (アルミニウム製 押出し型材) 清幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・ 色彩 ※B-1 ・B-2 (※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー) ・図示	15 ブラインドボックス 及びカーテンボックス	材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形 式 ・片引き ・引分け ※暗幕用は300mm以上の召合せの重掛けとする)	② 排水樹及びふた	2 排水管	鉄線製マンホールふた (21.2.2) 種 類 適用荷重 ・水封形 ・密閉形 (テーパー・パッキン式) ・T-2用 ・簡易気密形 (パッキン式) ・中ふた付密閉形 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用 グレーチングふた (21.2.2) 材 質 形 式 種 類 適用荷重 メンバーピッチ 上面形状 ○鋼製 ※受枠付き ・溝ふた用 ・歩行用 ※細目 ※凹凸形 ・ステンレス製 ・溝ふた用 ・T-2用 ※普通目 ※平形 ボルト固定 ・かさ上げ用 ・T-6用 ・無し ・U字溝用 ・T-14用 ・細目 ・凹凸形 製造所	23 植栽工事	1 樹木の植栽基盤整備	芝及び地被類 (23.2.2～3) (表23.2.1～2) 通 用 有効土層の厚さ (cm) 工 法 整備範囲 ※行方 ・行わない ※20 ※B種 ※植栽範囲 ・図示 樹木 (23.2.2～3) (表23.2.1～2) 樹木の樹高 (m) 有効土層の厚さ (cm) 工 法 整備範囲 ・12以上 ※100 ・ ※A種 ・葉張りの範囲 ・7超～12未満 ※80 ・ ・B種 ただし、低木は植栽範囲 ・3超～7以下 ※60 ・ ・C種 ・図示 ・3以下 ※50 ・ ・D種 工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。 ※現場発生の良質土 ・客土 (※細土 ・黒土) (23.3.3) ※適用する 施工箇所 ※植栽範囲 ・図示 (23.2.3～4) バークたい肥 有機物の含有量 (乾物) : 70%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 35以下 陽イオン交換容量 (乾物) : 70meq/100g以上 pH : 5.5～7.5 水分 : 55～65% 幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない 窒素全量 (現物) : 0.5%以上 りん酸全量 (現物) : 0.2%以上 加里全量 (現物) : 0.1%以上 発酵下水汚泥コンポスト 「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用 したもので、植替試験の結果、害が認められないものとする ひ素 : 0.005%以下 カドミウム : 0.0005%以下 水銀 : 0.0002%以下 ニッケル : 0.03%以下 クロム : 0.05%以下 鉛 : 0.01%以下 有機物の含有量 (乾物) : 35%以上 炭素窒素比 (C/N比) : 20以下 pH : 8.5以下 水分 : 50%以上 窒素全量 (現物) : 0.8%以上 りん酸全量 (現物) : 1.0%以上 アルカリ分 (現物) : 15%以下 ※杉の焼丸太 (間伐材) ④ ・真竹 (23.3.2) ※幹巻き用テープ ・わら及びこも (23.3.2) 種類 ・こうらい芝 ・野芝 (23.4.2) 屋上緑化システム ④ (23.5.2) ・管理方法による区分 ・省管理型 質量の上限値 ( ) kg/m <sup>2</sup> かん水装置 ・設ける (工事区分は図示) 透水層、保水層及び排水層の排水性能: 240 l/m <sup>2</sup> ・h 以上 保水層及び排水層の鉛直方向の排水性能: 240 l/m <sup>2</sup> ・h 以上 耐荷重性能 省管理型: 3×10 <sup>4</sup> N/m <sup>2</sup> 以上の載荷重で異常のないこと。 耐根層の材料 合成樹脂耐根シート (厚さ3mm以上) 又は抗根剤とする (耐根性能の実績を有すること) 植込み用土 製造所の仕様による 植栽の種類 製造所の指定するものとする ・管理方法による区分 ・管理型 (23.5.3)				
	3 移動間仕切	(20.2.4)	通音性能 厚さ (mm) 表面材 表面仕上げ 操作方法 ・一般タイプ ※銅板 ・焼付け塗装 ・手動式 ・電動式 ・通音タイプ (36db以上) ※銅板 ・焼付け塗装 ・手動式 ・電動式 ・壁紙張り ・壁紙張り 表面仕上げの壁紙張りの品質は19章内装工事による 通音性能はJIS A 6512の通音試験に準拠する	16 耐震スリット	材 種 ※アルミニウム製 (受枠付) ※アルミ製 ・ステンレス製	3 埋戻し土	3 埋戻し土	※B種 (21.2.2～3) (表3.2.1) 製造所	3 埋戻し土	3 土壌改良材 ④	3 土壌改良材 ④				
	4 トイレブース	(20.2.5)	表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板 (標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板 足形状 ※幅木型 ・足金物型	17 止水板	材 質 アルミニウム製 (受枠付) ※アルミ製 ・ステンレス製	4 浸透管及び浸透餅	4 浸透管及び浸透餅	※B種 (21.2.2～3) (表3.2.1) 製造所	4 浸透管及び浸透餅	4 支柱材	4 支柱材				
	5 階段止め	(20.2.6)	材 種 ステンレスSUS304 形 状 ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し 幅 (mm) 約35 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法	18 天井点検口	材 質 アルミニウム製 (受枠付) ※アルミ製 ・ステンレス製	7 アスファルト舗装	7 アスファルト舗装	(22.4.2) (表22.4.1) 舗装の種類 車道部の基層 カラー舗装の種類 ※アスファルト舗装 ※無し ・有り ※熱料混入加熱アスファルト混合物 ・カラー舗装 ※無し ・有り カラー舗装の着色骨材 ・有色骨材 (焼成) ・着色骨材 (樹脂接着) アスファルト ※再生アスファルト ⑤ ・ストレートアスファルト (22.4.3) 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.4) 区分 ※一般地域 ・寒冷地域 ※密粒度アスファルト混合物 (13) ※密粒度アスファルト混合物 (13F) 表面 ・細粒度アスファルト混合物 (13) ・細粒度ギャップアスファルト混合物 (13F) 基層 ・粗粒度アスファルト混合物 (20) シールコート ※行わない ・行う (施工範囲) (22.4.5) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6) 早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3) 注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.2～3) 溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3～4) 厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6) アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.4) (22.7.6)	5 階段手すり	材 種 ステンレスSUS304 形 状 ビニルタイヤ入り 両端フラットエンド ※有り (・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し 幅 (mm) 約35 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法	19 床点検口	材 質 アルミニウム製 (受枠付) ※アルミ製 ・ステンレス製	10 ブロック系舗装	10 ブロック系舗装	(22.8.2～4) 種 類 寸法 (mm) 厚さ (mm) 目地材 ※普通平板 (N) ・カラー平板 (C) ※300角 ※60 ※砂 ・洗出平板 (W) ・掘り平板 (S) ・モルタル ・インターロッキングブロック舗装 (22.8.2～4) 種 類 厚さ (mm) 色彩及び表面加工等 ※標準ブロック 車道部 ※80 ・ ※標準品 ・透水性ブロック 歩道部 ※60 ・ ・誘導、注意喚起用ブロック 誘導、注意喚起用は黄色系とする ・植生ブロック ※80 ・100 インターロッキングブロック 項 目 品 質 ・ 性 能 セメント JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高伊セメント、 JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、 白色ポルトランドセメントとする。 骨材 清浄、強硬、耐久性で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄 い石片、細長の石片を含んでいない。 混和材料 インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。 無機質材料を用い、耐凍性に優れ、かつインターロッキングブロッ クの品質及び環境上有害な影響を及ぼさない。 着色材料 使用上有害なきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。 外観 寸法許容差 (mm) 長 さ 幅 厚 さ 普通タイプ ±3 ±3 ±3 透水性タイプ ±3 ±3 +5～-1 植生用タイプ ±3 ±3 ±3 曲げ強度 (N/mm <sup>2</sup> ) 普通タイプ 5.0以上 透水性タイプ 3.0以上 植生用タイプ 4.0以上 透水係数 (cm/sec) 透水性タイプ 1×10 <sup>-2</sup> 以上 圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> ) 普通タイプ 32.0以上 透水性タイプ 17.0以上 ・舗石舗装 (22.8.2～4) 種 類 厚さ (mm) 施工方法 基 層 ※小舗石 (花こう岩) ※80～100 ・ ※うろこ張り ※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装
	6 階段手すり	(20.2.7)	種 別 施工箇所 ※集成材クリアルacker仕上げ (市販品 径 約45mm) ・既成品	18 天井点検口	材 質 アルミニウム製 (受枠付) ※アルミ製 ・ステンレス製	舗装工事	舗装工事	舗装工事	舗装工事	舗装工事	舗装工事				
	7 黒板及び ホワイトボード	(20.2.8)	種 類 寸法 (mm) 色 彩 備 考 ・黒板 ※焼付け ※緑 ・黒 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分 ・ホワイト ※ほろうろ ※白 ※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分	20 鋼製書架及び物品棚	材 質 アルミニウム製 (受枠付) ※アルミ製 ・ステンレス製	舗装工事	舗装工事	舗装工事	舗装工事	舗装工事	舗装工事				
	8 鏡	(20.2.9)	寸法 (mm) ・図示 ・ 厚さ (mm) ※5 ・												

部位	仕上	部位	仕上
陸屋根（外断熱）	陸屋根 1：合成高分子系塩ビシートt=1.5断熱接着非歩行工法(S1-F2) トップコート仕上、硬質ウレタンフォーム t=50、コンクリート下地		
	陸屋根 2：合成高分子系塩ビシートt=1.5断熱接着非歩行工法(S1-F2) トップコート仕上、硬質ウレタンフォーム t=50、コンクリート下地      アルミ製笠木   W=400   t=2.0 立上り：合成高分子系塩ビシートt=1.5断熱接着非歩行工法(S1-F2) トップコート仕上、硬質ウレタンフォーム t=30、コンクリート下地		
	庇：ウレタン塗膜防水（X-2） トップコート仕上		
樋・ドレイン	堅樋/ガルバリウム製φ75		
	陸屋根：ドレイン/鋳鉄製横引ドレイン75用、堅樋/硬質カラー塩ビ製（VP）φ75		
軒裏	庇：コンクリート打放シ補修補修の上、    外装薄塗材（E）		
外壁	湿式外断熱工法：トップコート（耐候性有機質アスチ-外装仕上材（超撥水仕様））、グラスファイバ-メッシュ、ビ-ス法貼リスポンフォーム t=50、不陸調整モ-ル、コンクリート下地		
	杉板張り（好）   t=15×103   木材保護塗料、杉板張下地   木下地 + ハット型胴縁 + 高性能7L/㎡貼-ム t=25 + コンクリート下地		
	木材种：木材保護塗料		
ポーチ	土間コンクリート金ゴテ仕上		
開口部	アルミ製自動ドア、    アルミ製窓（F1X窓・引き違い窓（アルミ製面格子付）・内側シ排煙窓）、    スチール製ドア（片開きフラッシュ戸・両開きフラッシュ戸）		
その他	屋外放飼場：自然木（桜木）、水栓柱・ガーデン流し（機械設備）		
	（屋外）屋根付冷蔵庫・冷凍庫（日軽パネルシステム(株) 同等品以上）バススルータイプ		
	（屋外）プレハブ物置（ヨドコウ エルモ LMD-2215 同等品以上）備品工事		
	（屋外）モ-ト：詳細図による		
	<div>&lt;凡例（塗装記号）&gt;</div> <div><div><div>・EP</div><div>—</div><div>合成樹脂エマルジョンペイント</div></div><div><div>・EP-G</div><div>—</div><div>つや有合成樹脂エマルジョンペイント</div></div><div><div>・SOP</div><div>—</div><div>合成樹脂調合ペイント</div></div><div><div>・OSCL</div><div>—</div><div>オイルステイン・クリヤラッカー</div></div><div><div>・溶融亜鉛メッキ</div><div>—</div><div>A種(6mm以上)・B種(3.2mm以上)・C種(1.6mm以上)</div></div></div>		<div>1階床面積・建築面 積算定図</div> <div><div>①15.9×13.0 = 206.7㎡</div><div>② 2.658×0.156 = 0.41㎡</div><div>③ 2.658×1.758 = 4.67㎡</div><div>合計    = 211.78㎡</div></div> <div><div>1階床面積 211.78㎡</div><div>建築面積    211.78㎡</div></div>

	室名	F L	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
レッサーバンダ舎	風除室1、2	±0	コンクリート下地 塗布式ソイルコート t=2.0mm	腰壁：コンクリート打放シ補修 (H=300) 他：ソフト巾木 (H=100)	木下地 (40×45@600捨て胴縁+横胴縁24×42@450) 杉板張り (タテ) t=12×90 木部用浸透型着色剤仕上 (大谷塗料 (株) バトン同等品以上) 一部 GB-R t=12.5 (GL工法、LGS下地) EP塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6.0 EP塗装	塩ビ製	2.500	
	屋内ギャラリー (観覧通路)	±0	コンクリート下地 塗布式ソイルコート t=2.0mm	腰壁：コンクリート打放シ補修 (H=300) 他：ソフト巾木 (H=100)	木下地 (40×45@600捨て胴縁+横胴縁24×42@450) 杉板張り (タテ) t=12×90 木部用浸透型着色剤仕上 (大谷塗料 (株) バトン同等品以上) 一部 GB-R t=12.5 (LGS下地) EP塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6.0 EP塗装	塩ビ製	2.500	強化硝子フェンス
	屋内展示室1、2	±0	コンクリート下地 塗布式ソイルコート t=2.0mm コンクリート下地 ウッドチップ敷 t=200		コンクリート打放シ補修の上 内外装薄塗材E (アイカ工業 (株) ジョリパット ラフ系 J0650 同等品以上)	モルタル下地 内外装薄塗材E	塩ビ製	4.800	擬木 ポリカーボネート板仕切り 水栓柱、ガーデン流し (機械設備)
	キーパー用通路	±0	コンクリート直均し	コンクリート打放シ補修 (H=100)	コンクリート打放シ補修 EP塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6.0 EP塗装	塩ビ製	2.800	レッサーバンダ用通路シュート (塗装品)、側溝 (グレーチング) : 鋼板製 U字溝用200W 流し台・調理台 (機械設備)
	寝室1～5	±0	コンクリート直均し		コンクリート打放シ補修 EP塗装 一部：ワイヤーメッシュ (塗装品)	溶接金網メッシュ天井 (塗装品)	ー	2.400	寝小屋 (寝室-1、寝室-3)、休憩台、ステップ
	通路1、2	±0	コンクリート直均し		コンクリート打放シ補修 EP塗装	LGS下地 ケイカル板 t=6.0 EP塗装	塩ビ製	2.400	
	<div>&lt;凡例 (下地記号) &gt;</div> <div><div>・C : コンクリート</div><div>・CB : コンクリートブロック t=100・120</div><div>・LGS : 軽量鉄骨下地 壁：65・100型 @303・455、天井：25型 (外部) @303・360・19型 (内部) @303・360</div></div> <div>&lt;内装準不燃・不燃番号&gt;</div> <div><div>・石膏ボード t=12.5</div></div> <div><div>建告第1400号 第1-15</div></div> <div>&lt;その他&gt;</div> <div><div>・塗装仕上げるボードの継目部分は、ジョイントテープなどを使用し目地処理を行うこと。</div><div>・使用材料は、ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆ とする。</div><div>・ステンレスは、特記なき限りH.L仕上とする。</div><div>・ビニル床シートは、耐湿工法とする。</div><div>・木製造作材仕様は下記のとおりとする。<div>胴縁：MDF基材 (シート化粧) t=25</div><div>カーテンボックス：MDF基材 (シート化粧)</div></div><div>・天井下地は、屋外LGS25型、屋内LGS19型とする。</div><div>・ライニング下地はLGS100型とする。</div><div>・手摺・衛生器具・家具等の取付部は下地補強を施す。</div><div>・耐水合板はT1とし、合板はT2とする。</div><div>・屋内壁外周部・柱型下地は、LGS19型とする。</div></div>								

特記事項			山梨建築設計監理事業協同組合	承認	代表設計者	設計担当者	縮尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備 (建築主体) 工事 (南—レッサーバンダ舎)	図面名称 内部仕上表	No. 南レA-07
				一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	non scale 設計年月日				

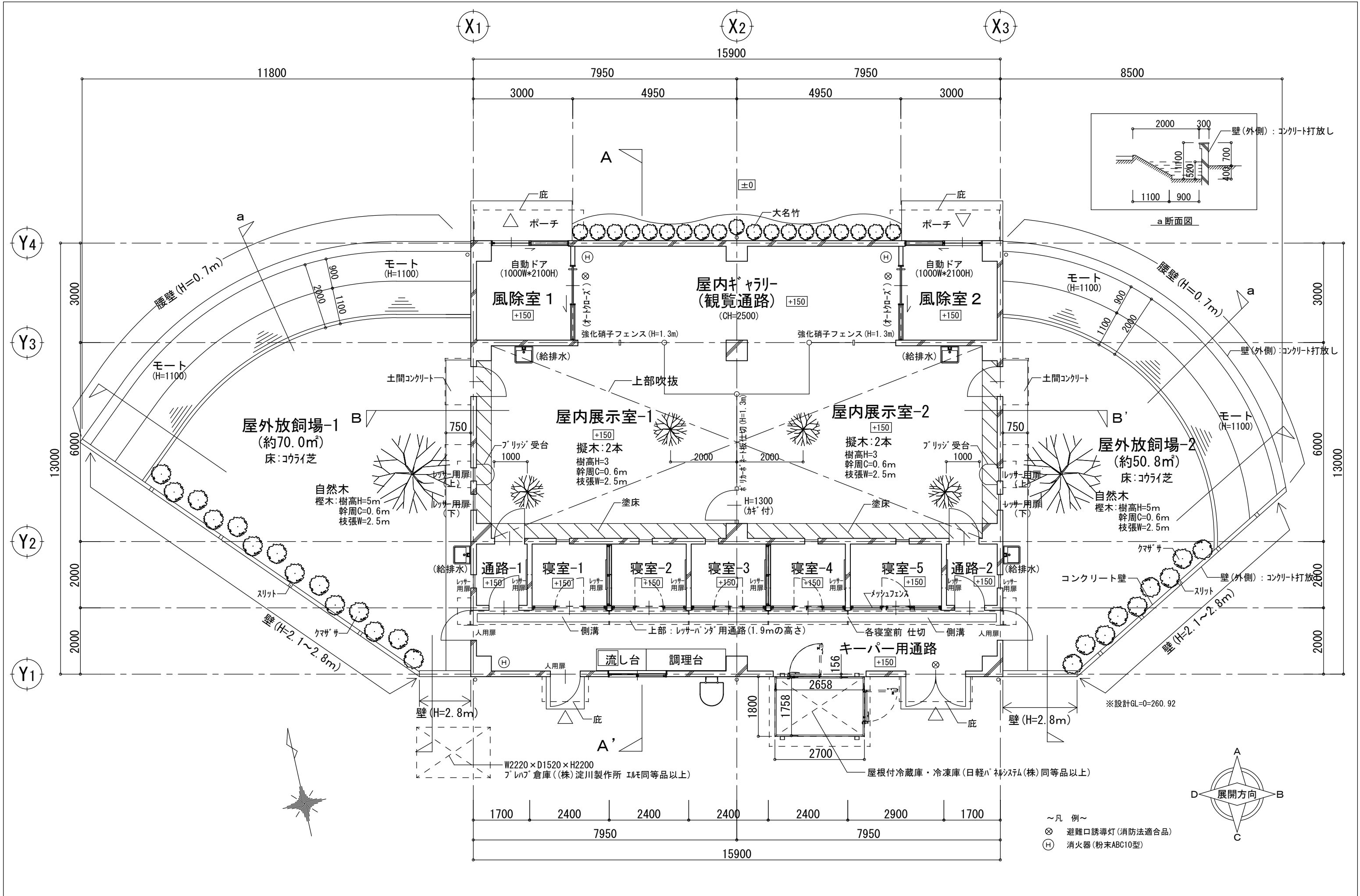



令第126条の2 開口部計算					
室 名	必要開口面積 (1/50)	有効開口面積 (天井-800以内)	内法高	有効高	判定
観覧通路 屋内展示室-1 屋内展示室-2	$\{(9.9 \times 3.0) + (15.9 \times 6.0)\} / 50$ =2.502	[AW-2] × 2ヶ所 (0.9 × 0.8525 × 4) × 2ヶ所 =6.138	5.70	800	OK
キーパー用通路 各寝室	$\{(15.9 \times 2.0) + (12.5 \times 2.0)\} / 50$ =1.136	国土交通省告示第1436号四二(4)適用			OK

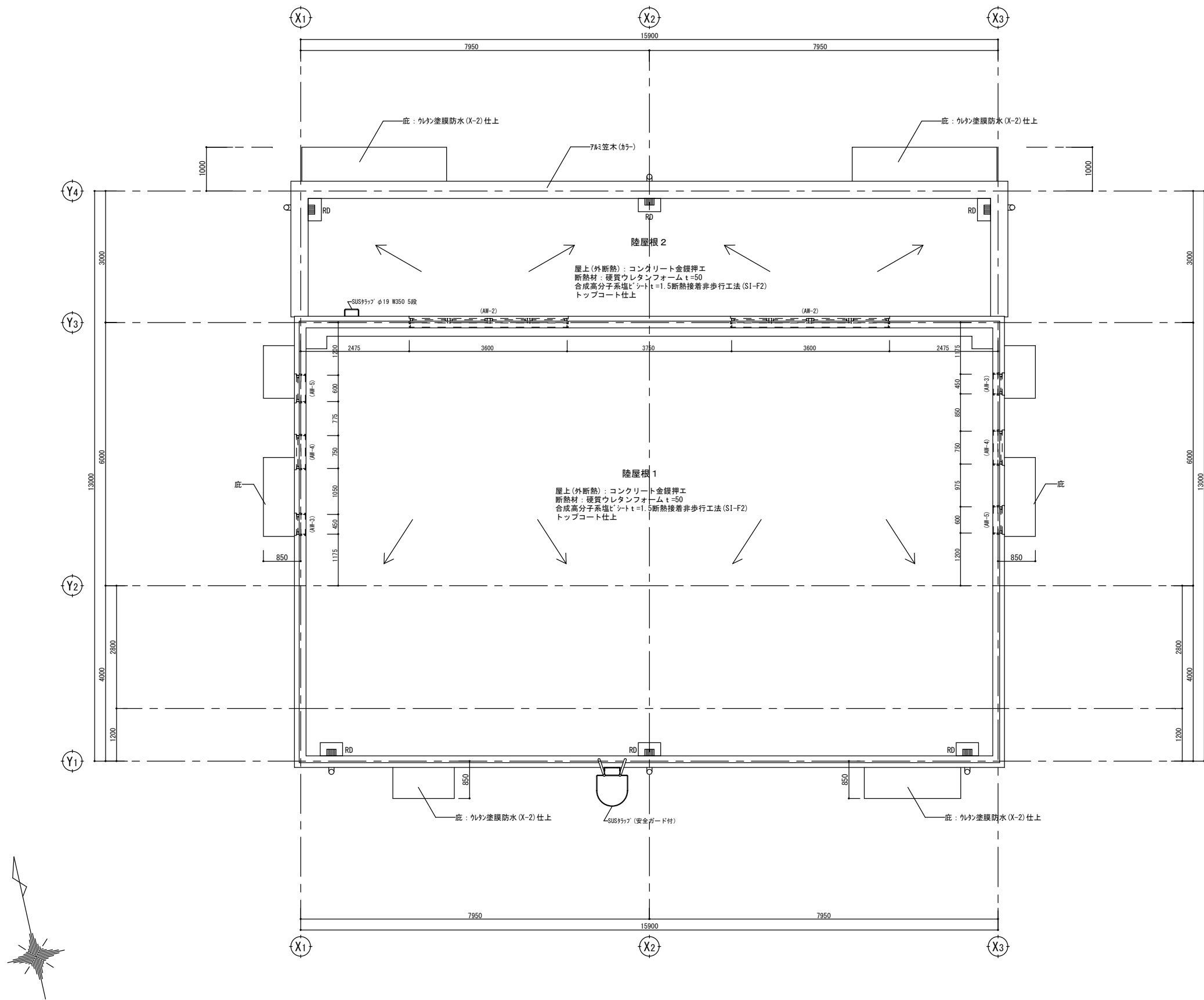
法第28条第2項 開口部計算			
室 名	必要開口面積 (1/20)	有効開口面積	判定
観覧通路 屋内展示室-1 屋内展示室-2	$\{(9.90 \times 3.0) + (15.9 \times 6.0)\} / 20$ =6.255	[AW-2] × 2ヶ所 + [SD-9] × 4ヶ所 (0.9 × 0.8525 × 4) × 2 + (0.4 × 0.4) × 4 =6.778	OK
キーパー用通路 各寝室	$\{(15.9 \times 2.0) + (12.5 \times 2.0)\} / 20$ =2.84	[SD-1] + [SD-3] × 2ヶ所 + [SD-4] + [AW-1] (0.9 × 1.8) + (0.9 × 1.8) × 2 + (1.8 × 1.8) + (1.7 × 0.8 × 0.5) =8.78	OK

令第111条 無窓居室			
室 名	必要開口面積 (1/20)	有効開口面積	判定
観覧通路 屋内展示室-1 屋内展示室-2	$\{(9.90 \times 3.0) + (15.9 \times 6.0)\} / 20$ =6.255	[AW-2] × 2ヶ所 + [AW-3] × 2ヶ所 (0.9 × 0.8525 × 4) × 2 + (0.45 × 0.45) × 3.14 × 2 =7.408	OK
キーパー用通路 各寝室	$\{(15.9 \times 2.0) + (12.5 \times 2.0)\} / 20$ =2.84	[SD-1] + [SD-3] × 2ヶ所 + [AW-1] (0.3 × 0.3) + (0.3 × 0.3 × 2) + (1.7 × 0.8 × 0.5) =0.95	NG

消防法上無窓階計算				
階	床面積 (㎡)	必要面積 (㎡)	有効開口面積	判定
1 階	211.78	211.78/30 =7.059	[AD-1] × 2ヶ所 (ガラス : 強化硝子 t =5.0) (0.95 × 2) × 1.95 × 2ヶ所 =7.410	OK



特記事項	 <div>山梨建築設計監理事業協同組合</div>	承認	代表設計者	設計担当者	縮尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南一レッサハナ舎)	南レA-09 No.
			一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日		



特記事項

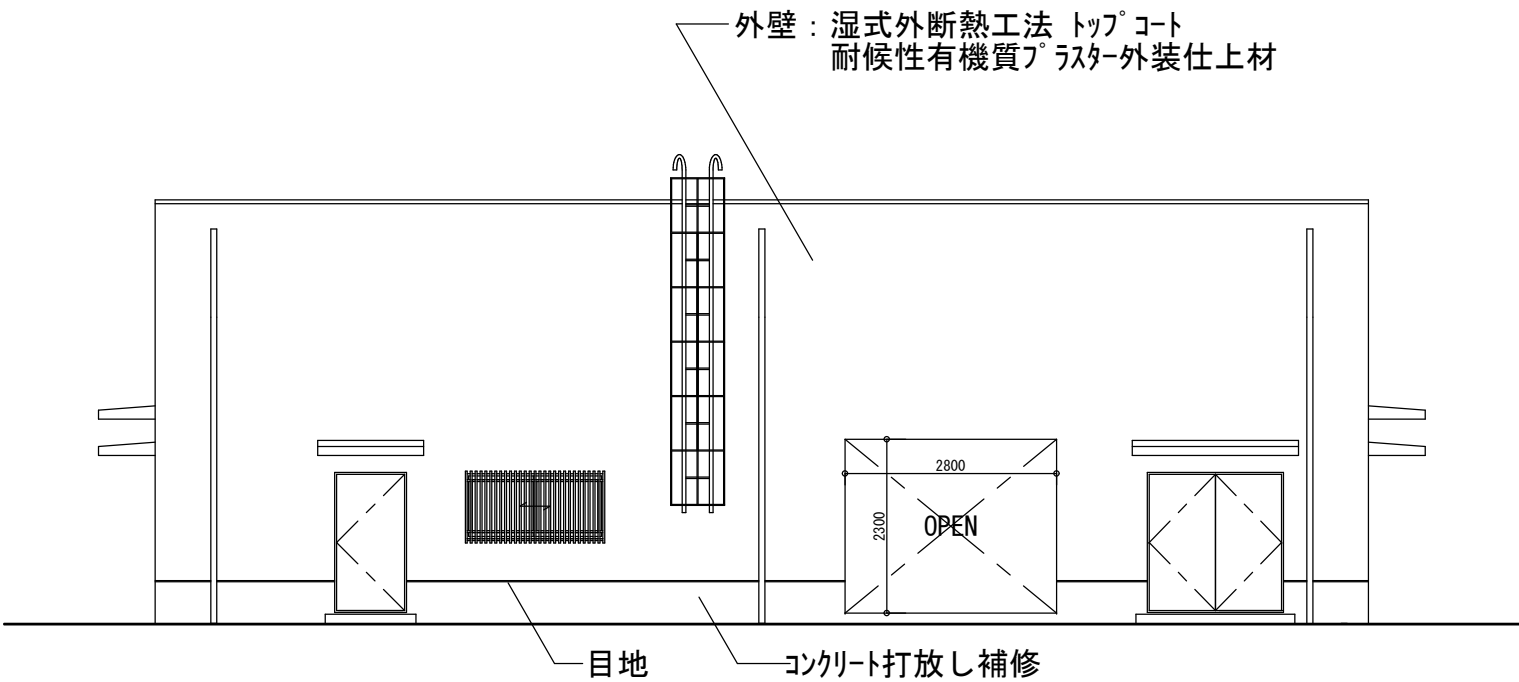


山梨建築設計監理事業協同組合

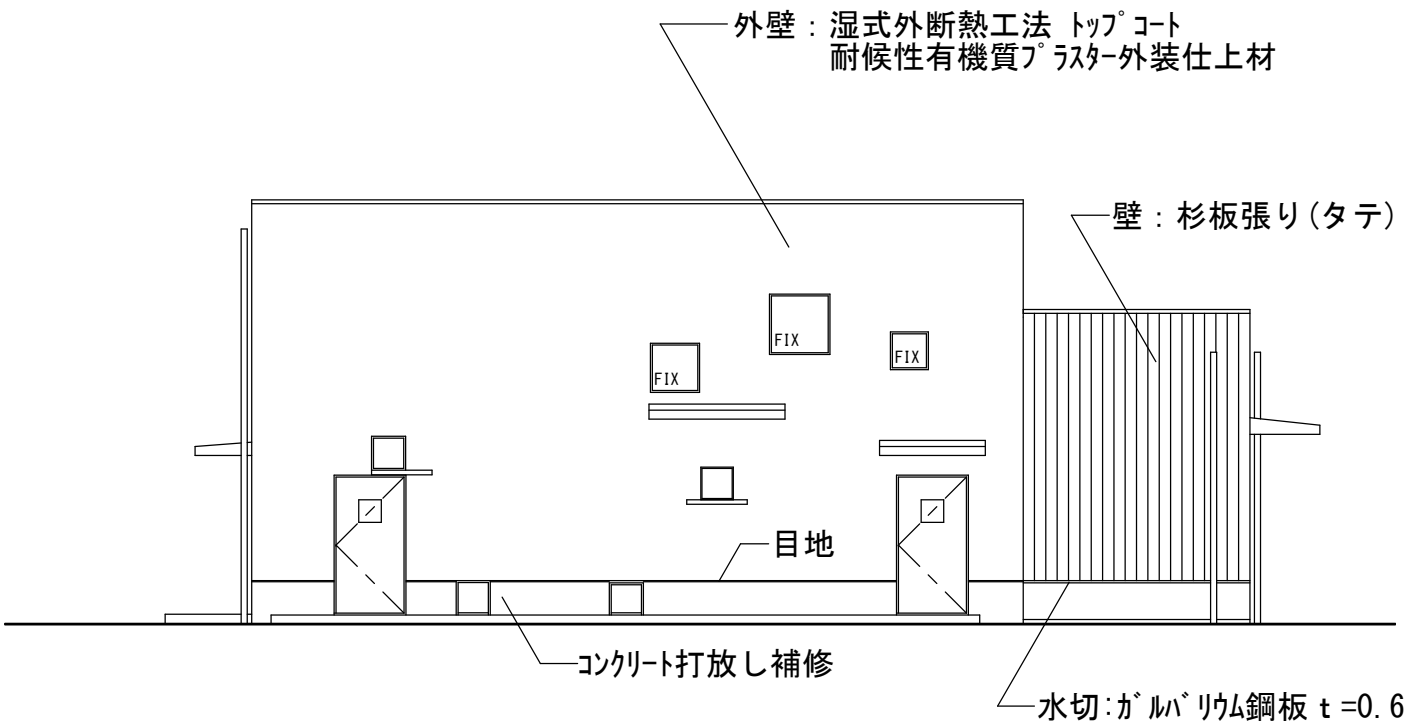
承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南—レッザ・パング舎)  
図面名称 屋根伏図

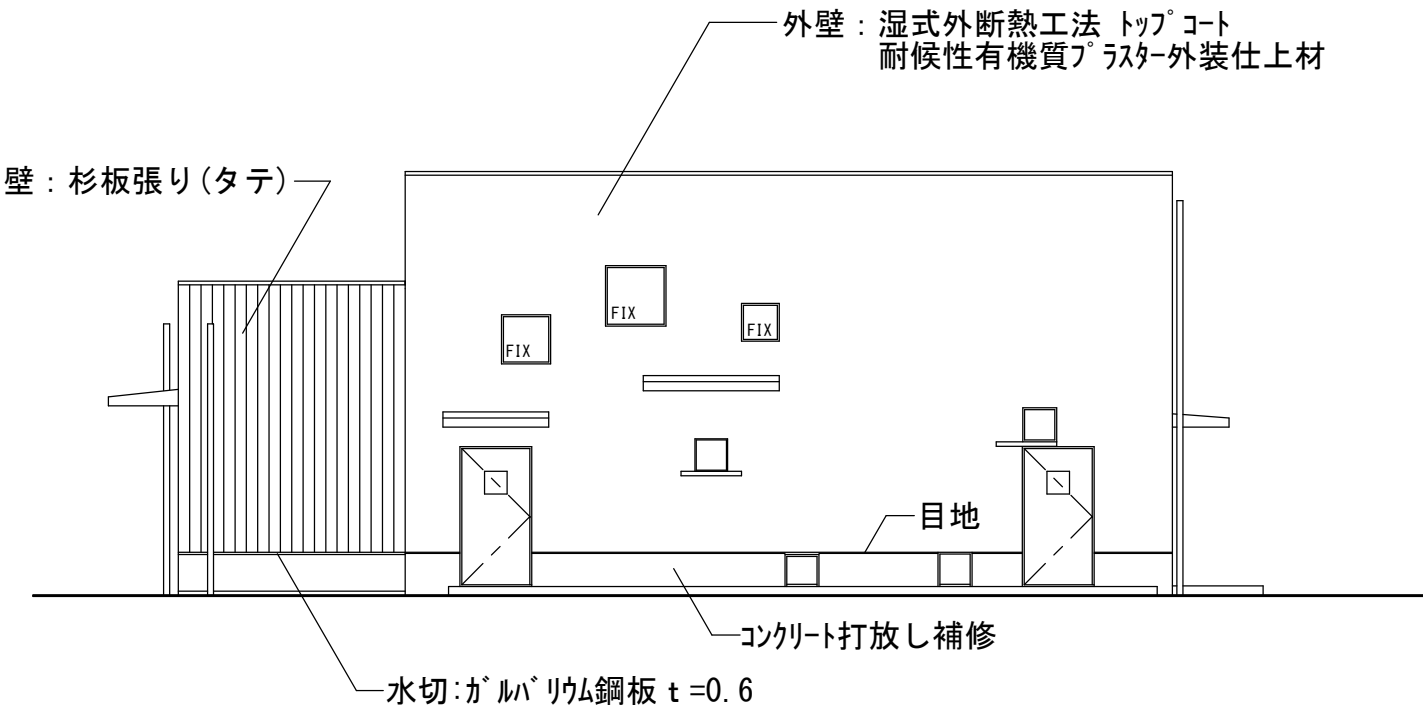
南レA-10  
No.



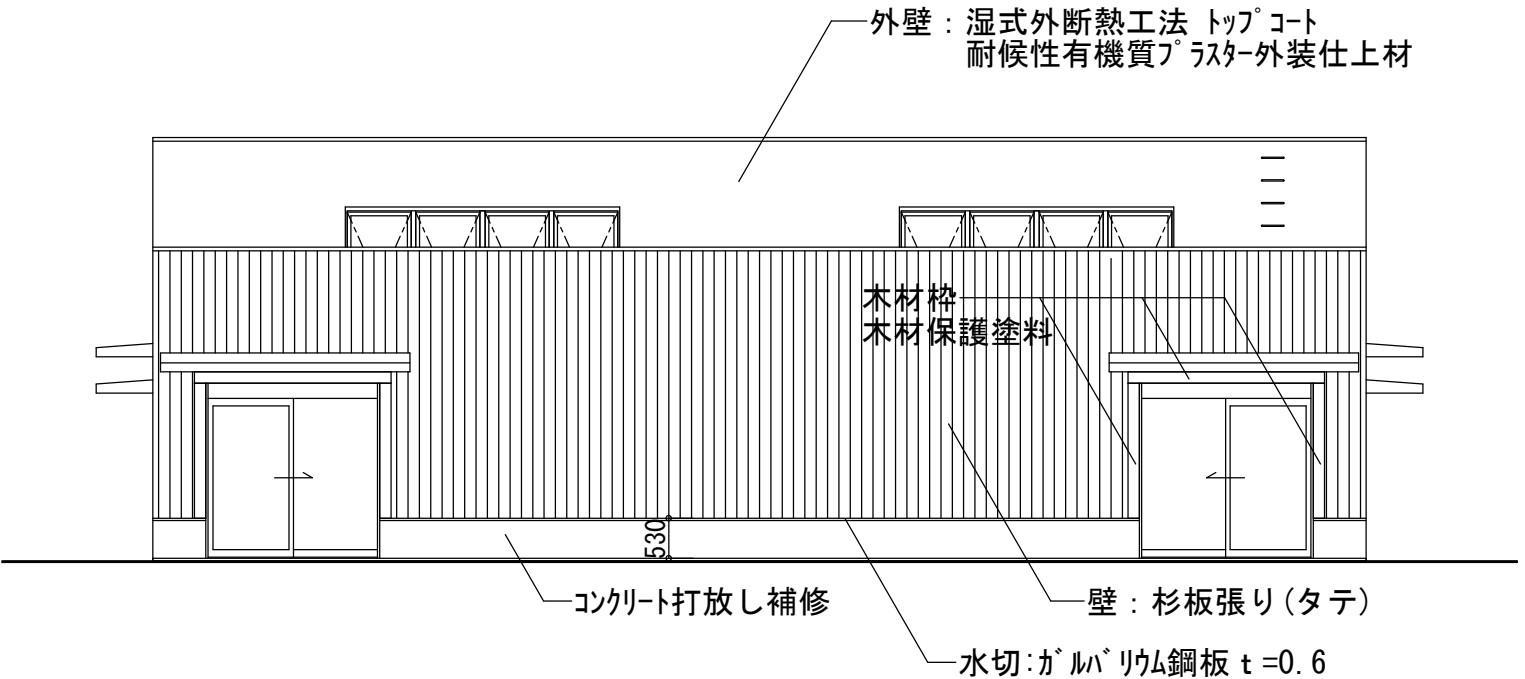
南側立面図




東側立面図

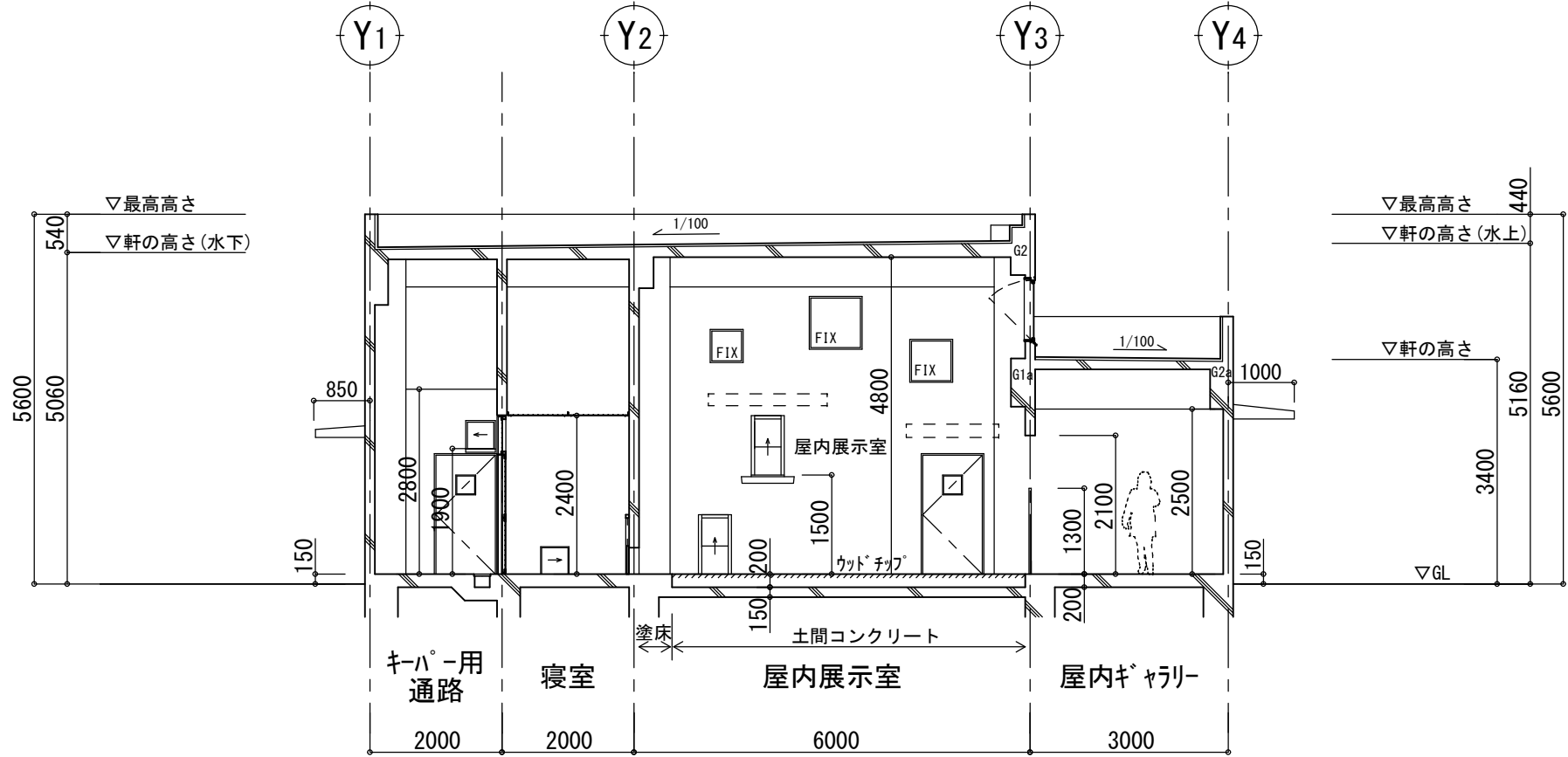
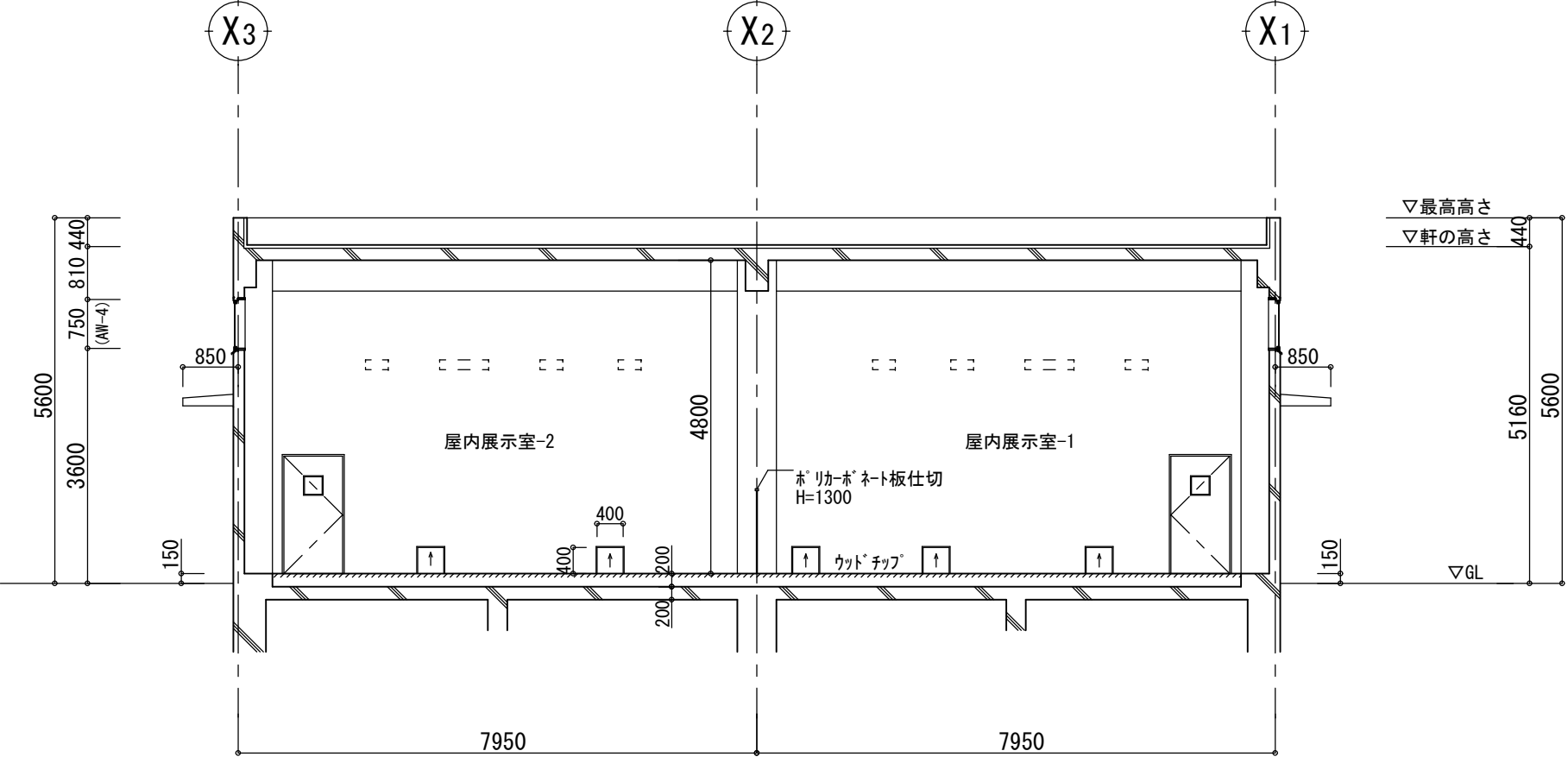


西側立面図



北側立面図

特 記 事 項	<div></div> <div>山梨建築設計監理事業協同組合</div>		承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体) 工事(南-レッザ-パ`ンダ`舎)	南レA-1 1
				一級建築士 第145710号	一級建築士 第195053号	A1→1/50 A3→1/100		
				佐野 正秀	坪川 裕	設計年月日		
							図面名称 立面図	No.



特記事項

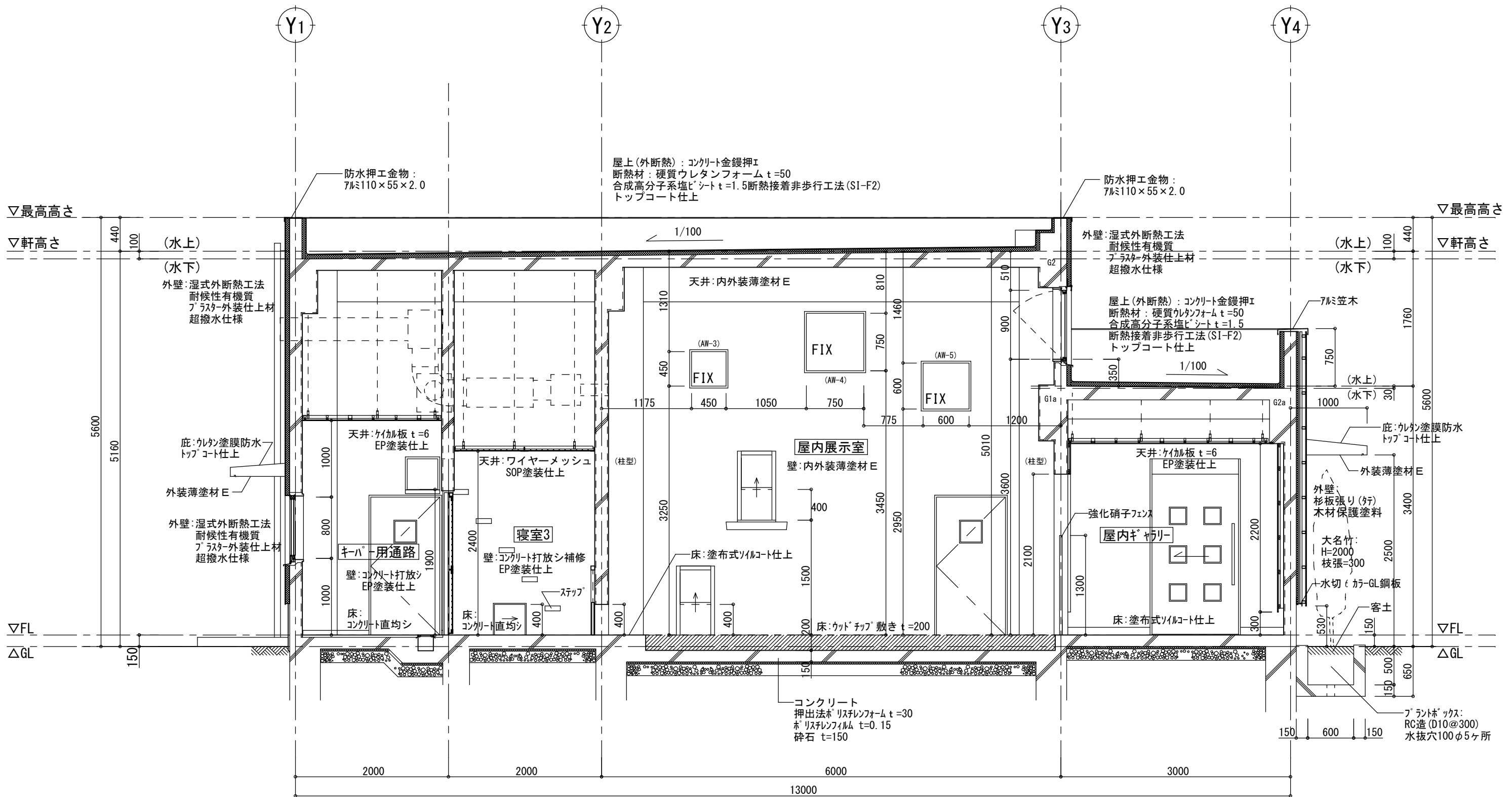


山梨建築設計監理事業協同組合

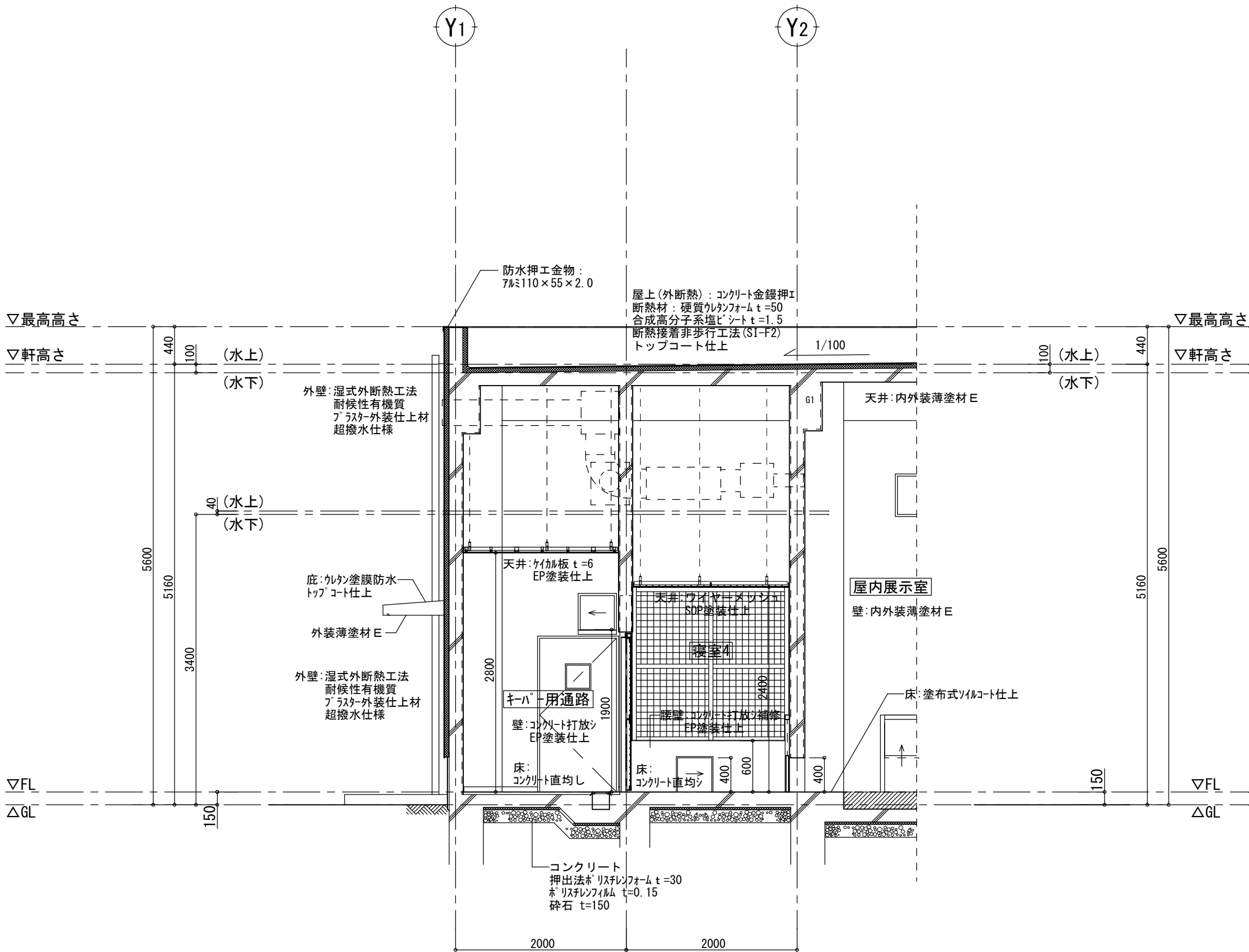
承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	設計年月日	A1→1/50 A3→1/100

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサ-ハウス舎)  
図面名称 断面図

南レA-12  
No.



特 記 事 項	<div><div></div><div>山梨建築設計監理事業協同組合</div></div>		承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッザ-バン'舎)	南レA-13 No.
				一級建築士 第145710号	一級建築士 第195053号	A1→1/25 A3→1/50		
				佐野 正秀	坪川 裕	設計年月日		
							図面名称 矩計図 1	



特記事項

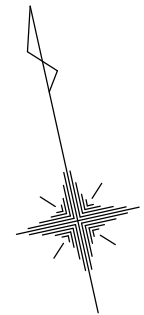
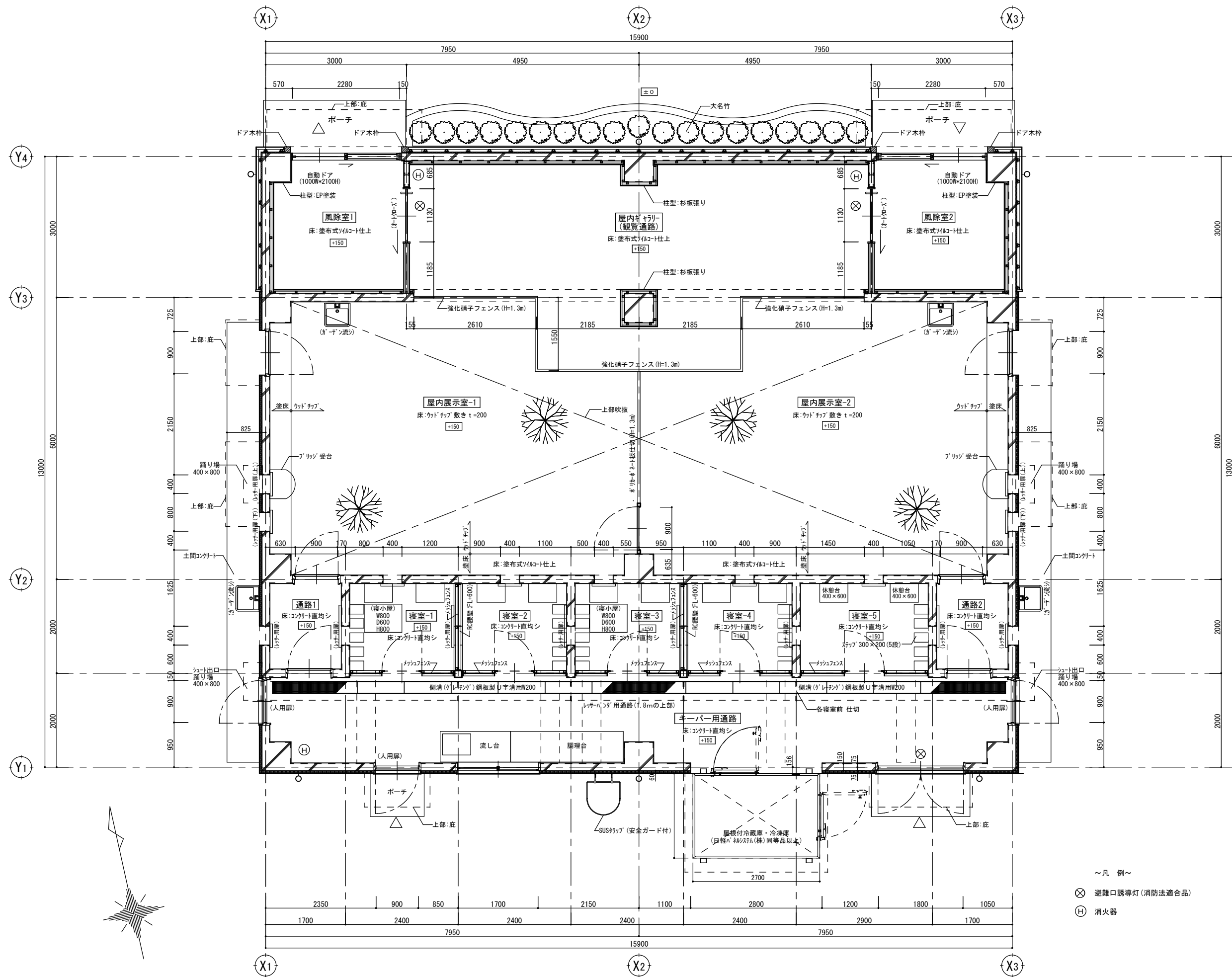


山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕		A1→1/25 A3→1/50 設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南レザサハナ舎)  
図面名称 矩計図2

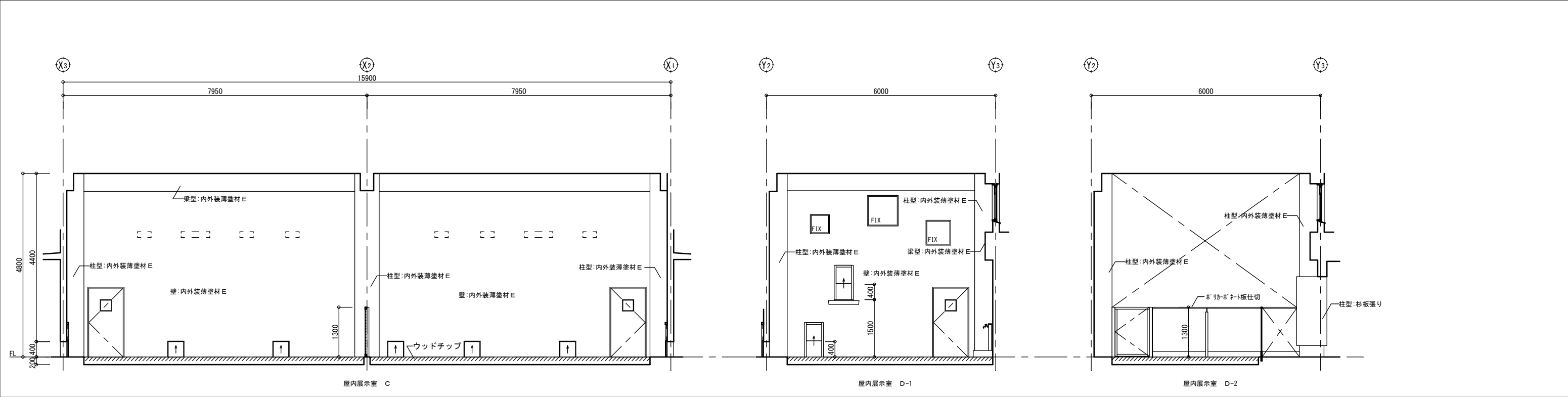
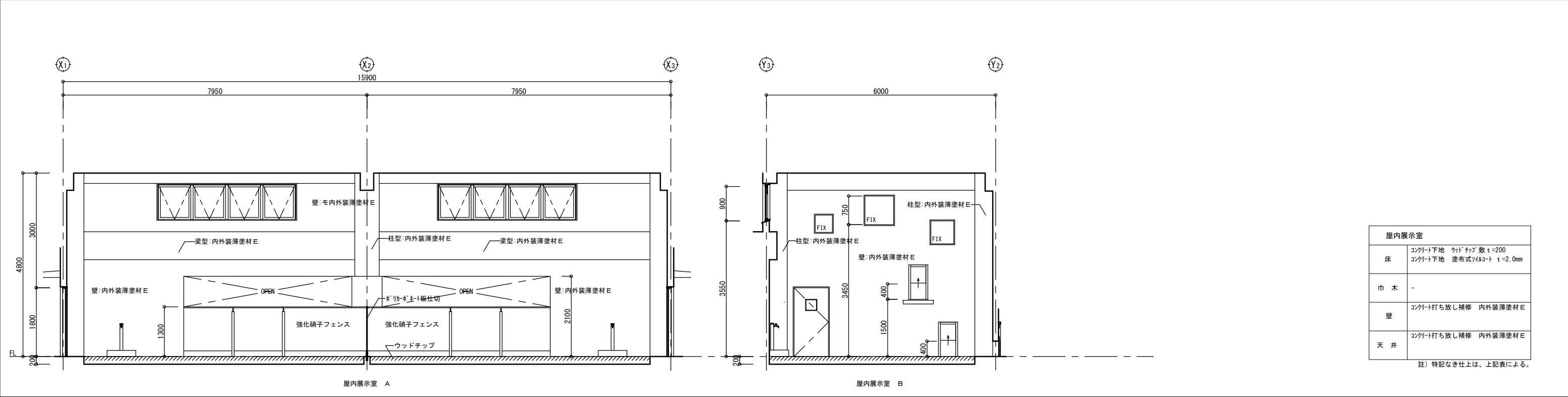
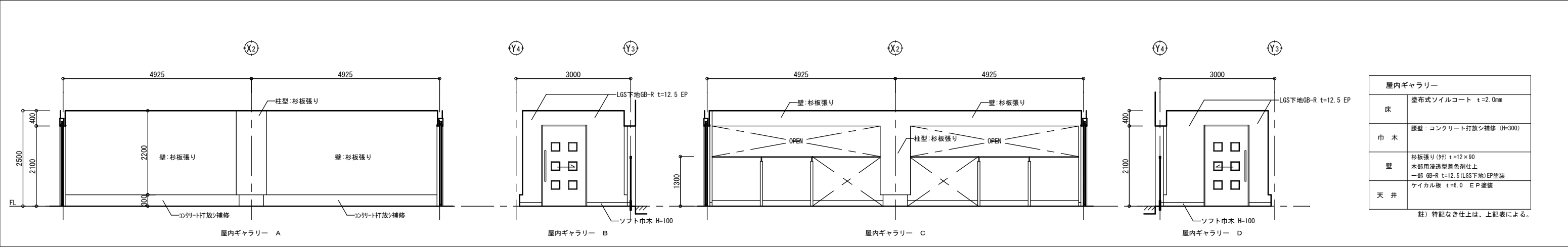
南レA-14  
No.

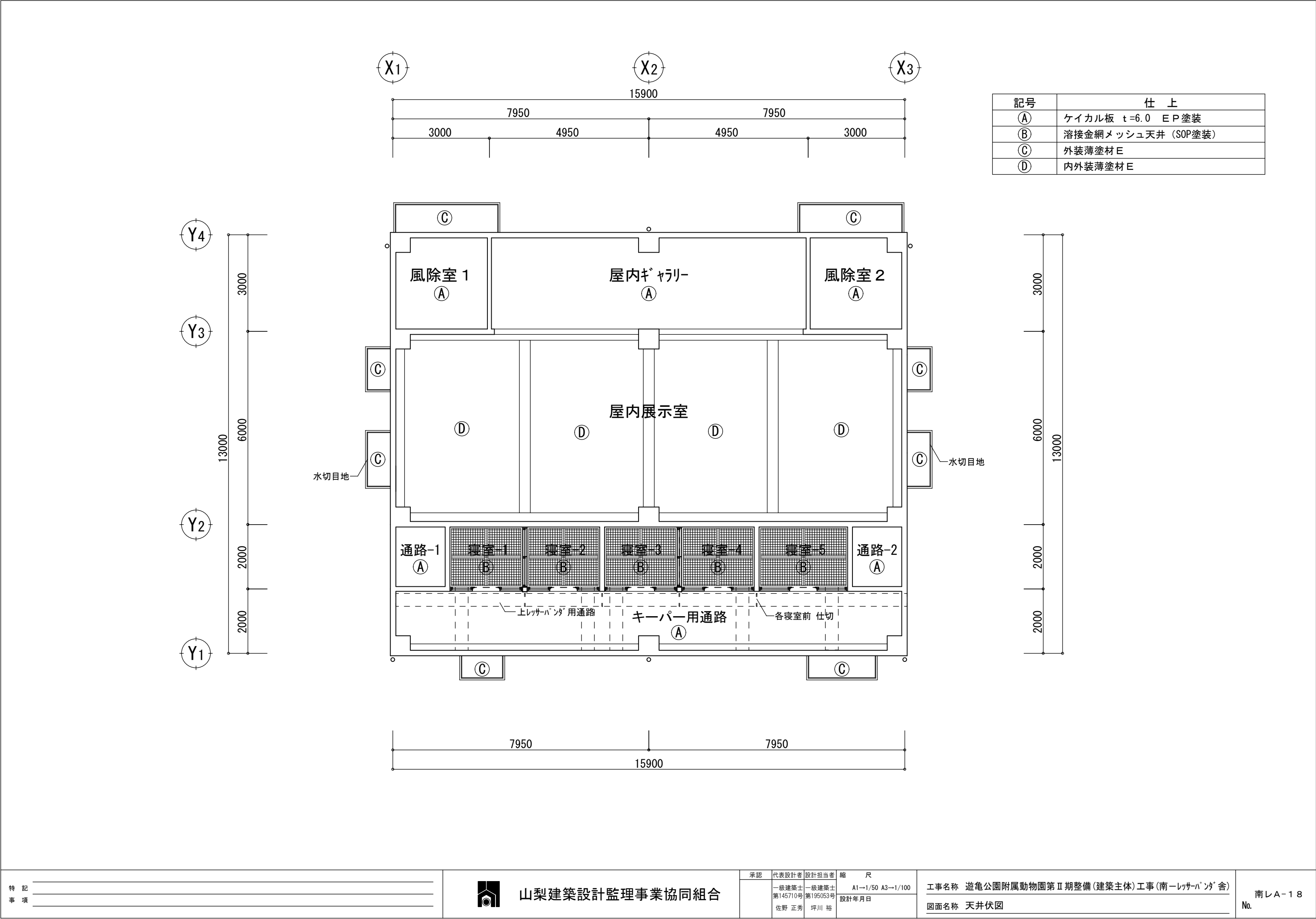


- ～凡 例～
- ⊗ 避難口誘導灯 (消防法適合品)
  - Ⓜ 消火器









記号	仕 上
Ⓐ	ケイカル板 t=6.0 EP塗装
Ⓑ	溶接金網メッシュ天井 (SOP塗装)
Ⓒ	外装薄塗材E
Ⓓ	内外装薄塗材E

特 記	
事 項	

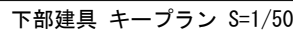


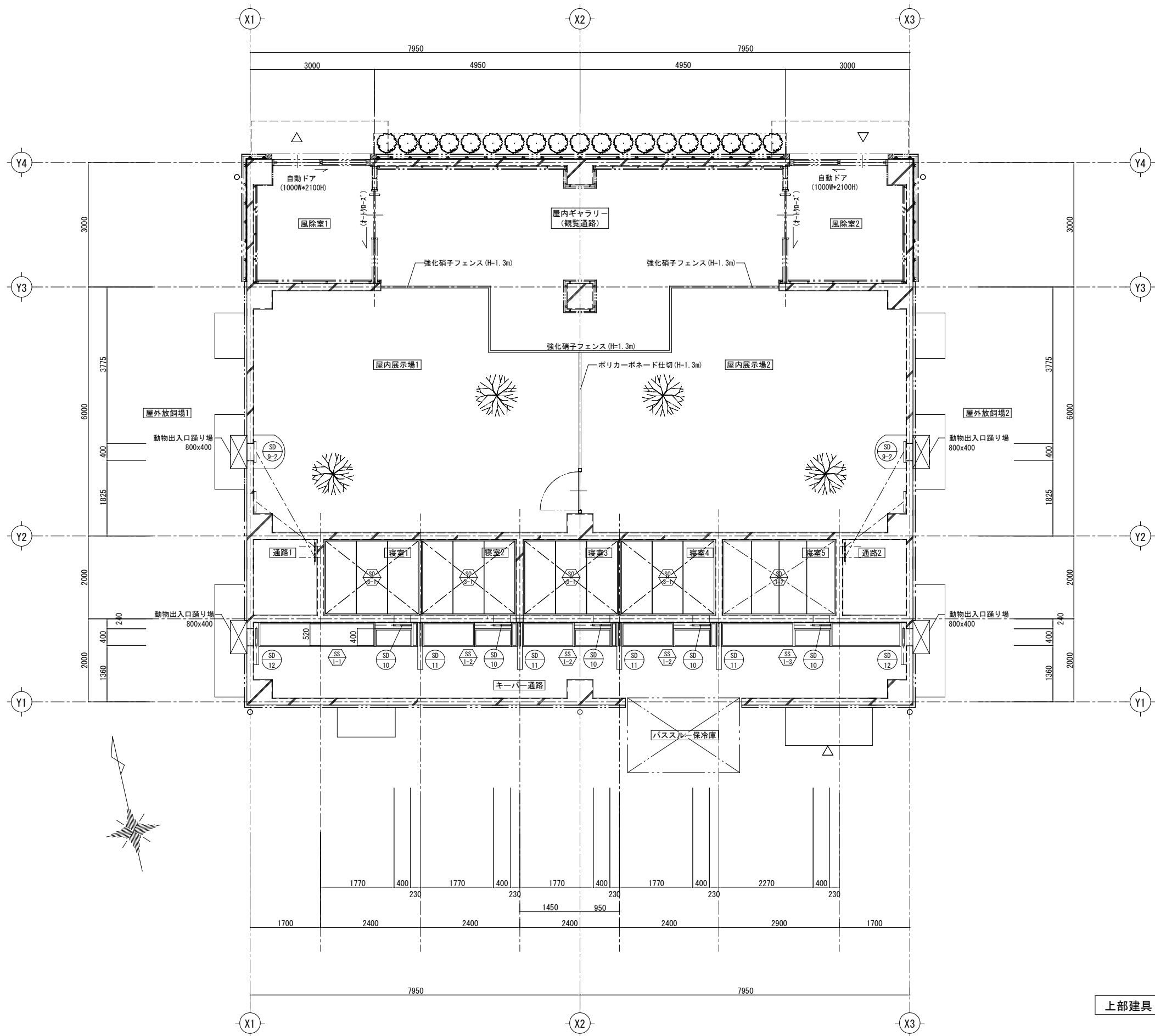
山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レザパハンダ舎)
図面名称	天井伏図

南レA-18  
No.





上部建具 キープラン S=1/50

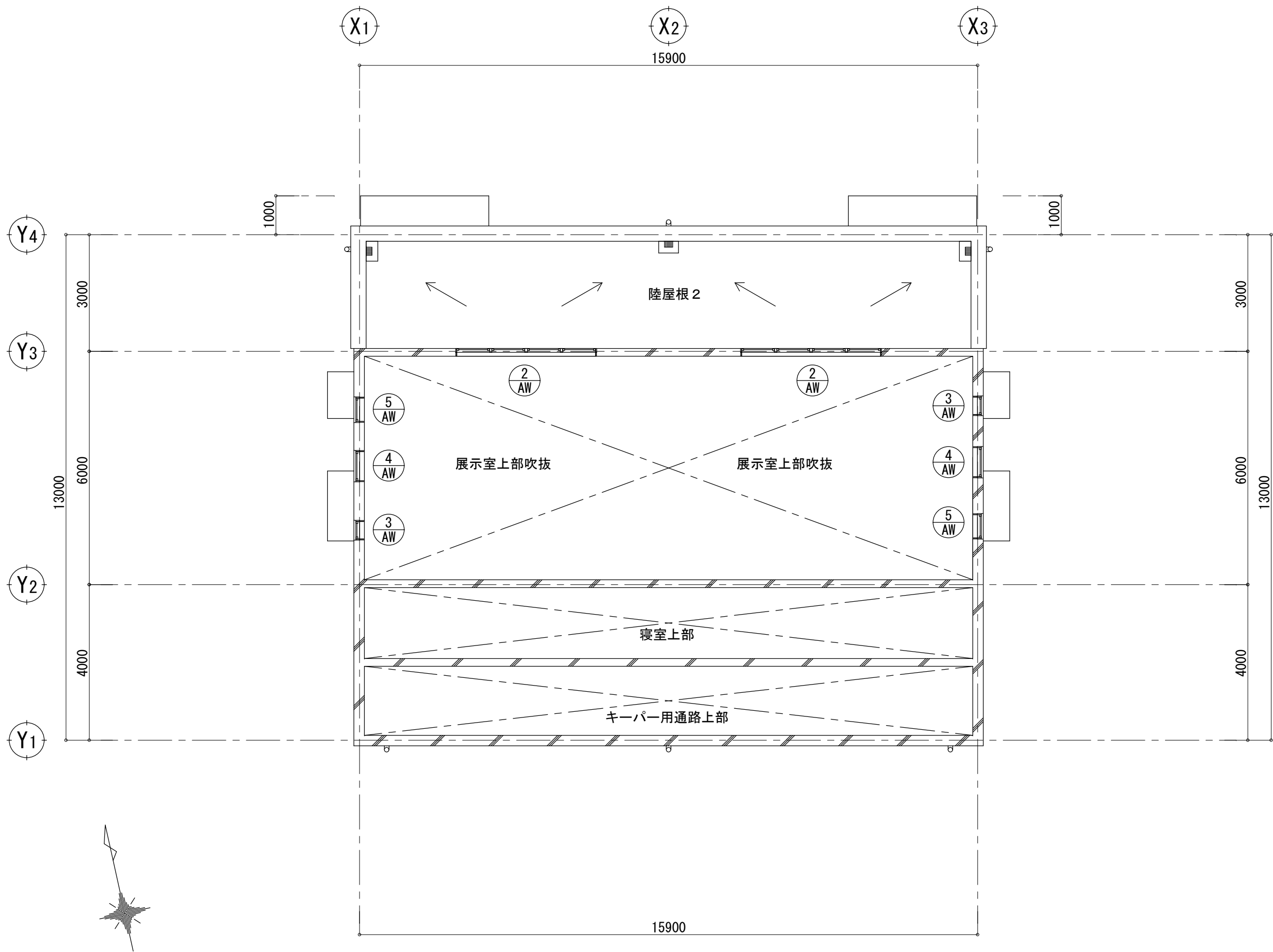



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南レッサパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 上部建具キープラン①

南レA-20  
No.



特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/50 A3→1/100 設計年月日

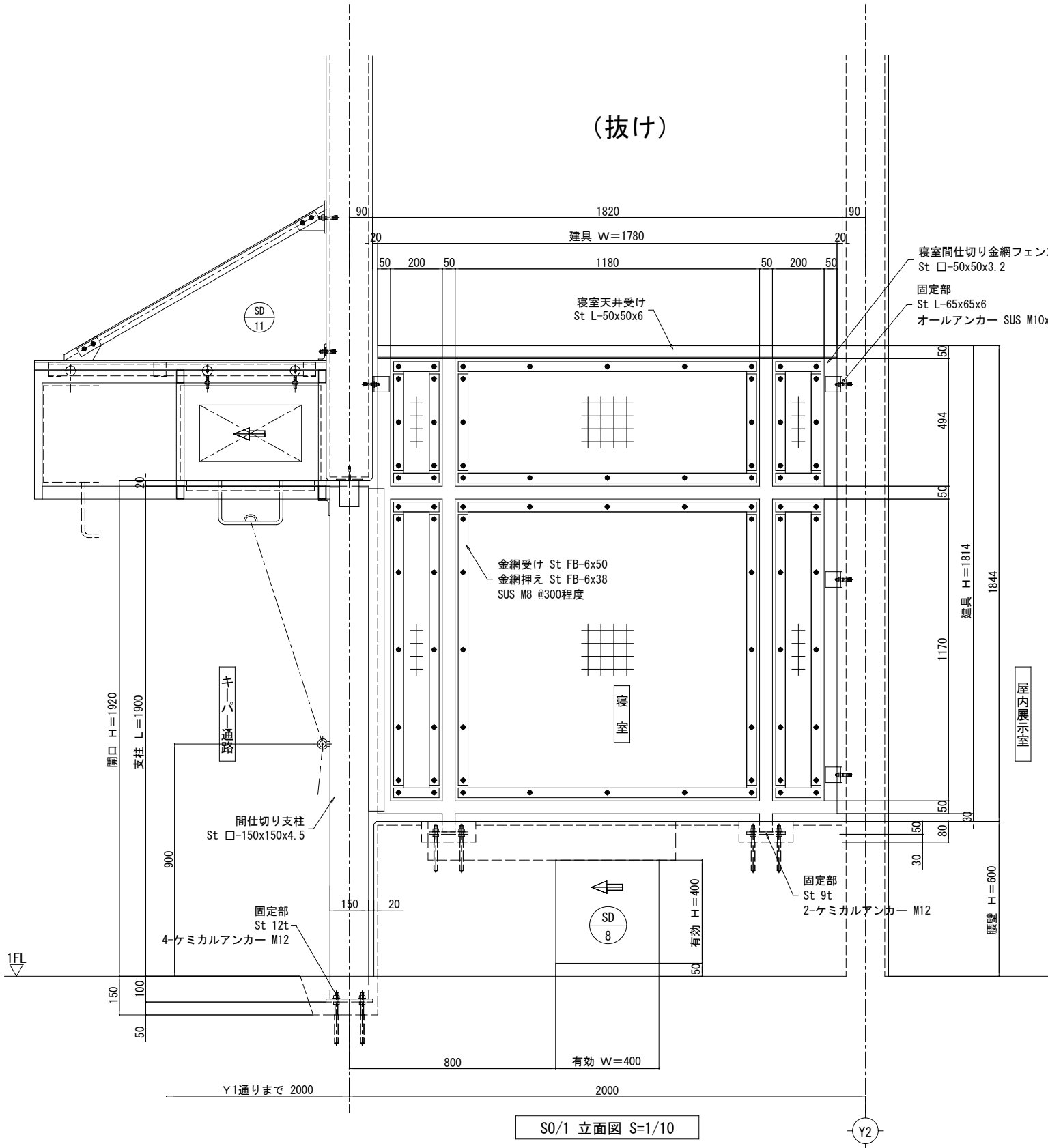
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサ-ハウス舎)  
図面名称 上部建具キープラン②

南レA-2 1  
No.

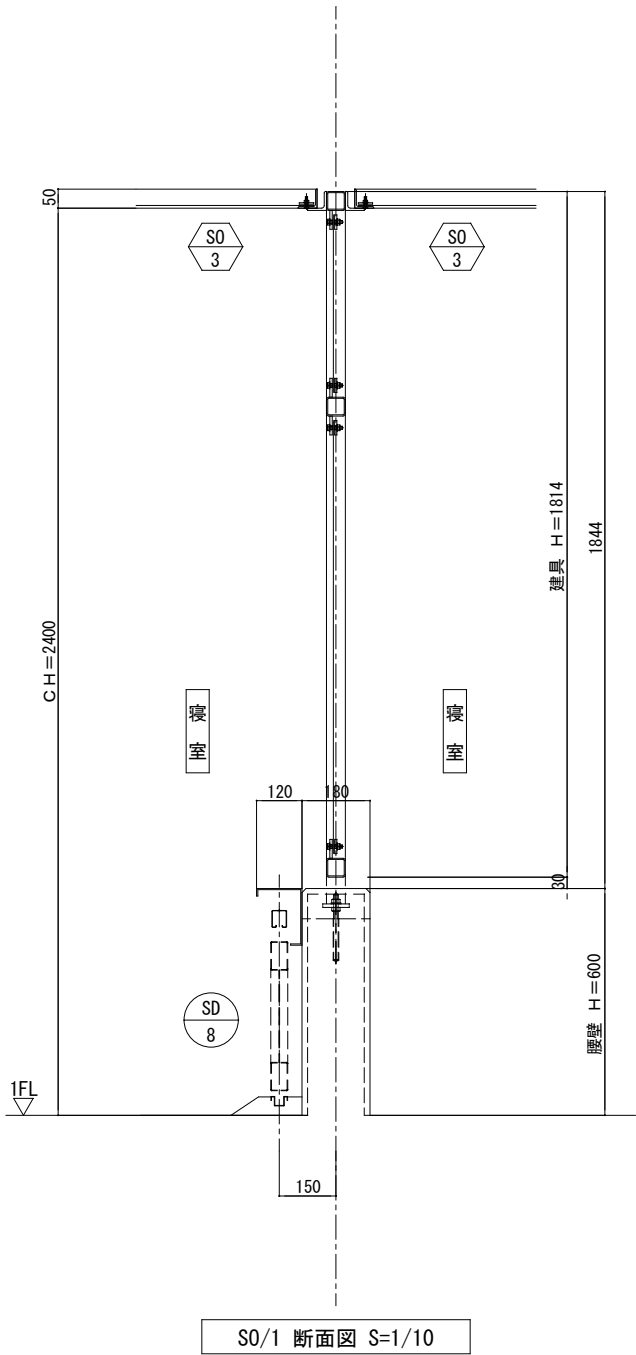
記 号 ・ 数 量	①SD3ヶ所	②SD1	③SD6ヶ所	④SD1	⑤SD5	⑥SD2
形 状						
場 所	キーパー用通路、屋内展示室	屋内展示室	キーパー用通路	キーパー用通路	寝室1～5	寝室キーパー通路
形式・見込	片開きフラッシュドア 枠:100(t=1.6)、扉:40(t=1.0)	片開きドア付ボリカーポネット仕切り	片開きフラッシュドア 枠:100、扉:40	両開きフラッシュドア 枠:100(t=1.6)、扉:40(t=1.0)	(上下式)フラッシュドア 扉:40	(上下式)フラッシュドア 扉:40
材質・仕上	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理の上 D P塗装	—	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理 (塗装品)	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理の上 D P塗装	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理 (塗装品)	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理 (塗装品)
硝 子	PM6.8	ボリカーポネット樹脂板 (透明) t=8.0	—	—	—	—
金 物	レバーハンドル錠 (GL+サムターン)、DC、SUS番指 (水切)、丁番、戸当り、付属金物一式	カンヌキ錠、丁番、戸当り、付属金物一式	カンヌキ番とし、丁番、付属金物一式	レバーハンドル錠 (GL+サムターン)、DC、SUS番指 (水切)、丁番、ワッパ番指、付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式
備 考	—	—	—	遠隔操作 (キーパー用通路)	遠隔操作 (キーパー用通路)	遠隔操作 (キーパー用通路)
記 号 ・ 数 量	⑦SD⑧SD4、(1)	⑧SD6	⑨SD上段:2 下段:2	⑩SD7		
形 状						
場 所	キーパー用通路	寝室1～5	寝室1～5	寝室キーパー通路		
形式・見込	片開きメッシュドア 扉:L-50×50	(スライド式)フラッシュドア 扉:40	(上下式)フラッシュドア 扉:40	(スライド式)フラッシュドア 扉:40		
材質・仕上	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理 (塗装品)	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理 (塗装品)	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理 (塗装品)	スチール製・溶融亜鉛メッキ処理 (塗装品)		
硝 子	—	—	—	—		
金 物	把手、締り金物、丁番、戸当り、付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式		
備 考	—	遠隔操作 (キーパー用通路)	遠隔操作 (キーパー用通路)	遠隔操作 (キーパー用通路)		
記 号 ・ 数 量	①AW1ヶ所	②AW2ヶ所	③AW2ヶ所	④AW2ヶ所	⑤AW2ヶ所	①AD2ヶ所
形 状						
場 所	キーパー用通路	屋内展示室	屋内展示室	屋内展示室	屋内展示室	風除室
形式・見込	引き違い窓	内側シ排煙窓	FIX窓	FIX窓	FIX窓	片引き自動ドア
材質・仕上	アルミ製・電解着色	アルミ製・電解着色	アルミ製・電解着色	アルミ製・電解着色	アルミ製・電解着色	アルミ製・電解着色
硝 子	Low-e 3.0 + A6 + F 4.0	Low-e 3.0 + A6 + FL 3.0	Low-e 3.0 + A6 + FL 3.0	Low-e 3.0 + A6 + FL 3.0	Low-e 3.0 + A6 + FL 3.0	強化硝子 5.0
金 物	クレセント、付属金物一式	ストップアーム、付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	シリンドー錠、付属金物一式
備 考	網戸、アルミ面格子	オペレーター	—	—	—	無目センサー、補助光電センサー、防護スクリーン
記 号 ・ 数 量	①LSD2					
形 状						
場 所	風除室					
形式・見込	上吊り片引き戸 枠:131(t=1.6、扉:40(t=0.6))					
材質・仕上	亜鉛メッキ鋼板・焼付塗装					
硝 子	FL 5.0					
金 物	ドアハンドル、シリンドー錠、ハンガー戸車、付属金物一式					
備 考	戸袋タイプ、扉芯:ペーパーコア、窓付、自動閉鎖、					

符 号 数 量		取付場所	寝室間仕切り	
<div>S0 1</div>	2	種 類	金網フェンス-1	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)	
		格子他	溶接金網 φ3.2x50x50 (亜鉛メッキ)	
部 品 名		品 番	数 量	摘 要

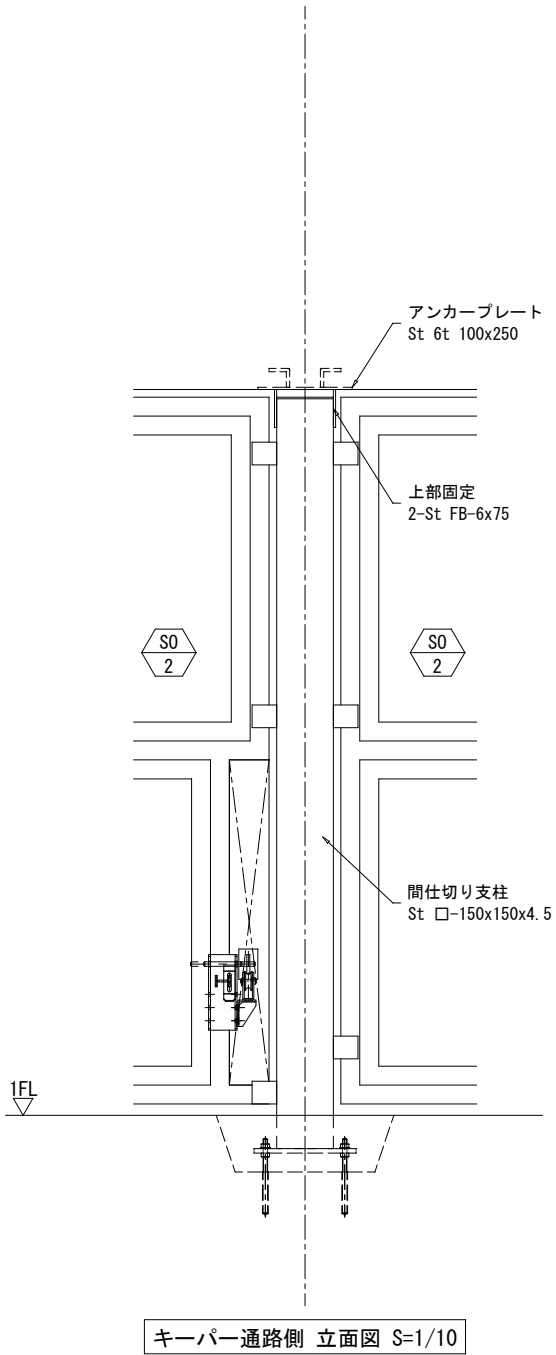
(部品数量は1台当りの数量を示す。)



S0/1 立面図 S=1/10



S0/1 断面図 S=1/10



キーパー通路側 立面図 S=1/10




山梨建築設計監理事業協同組合

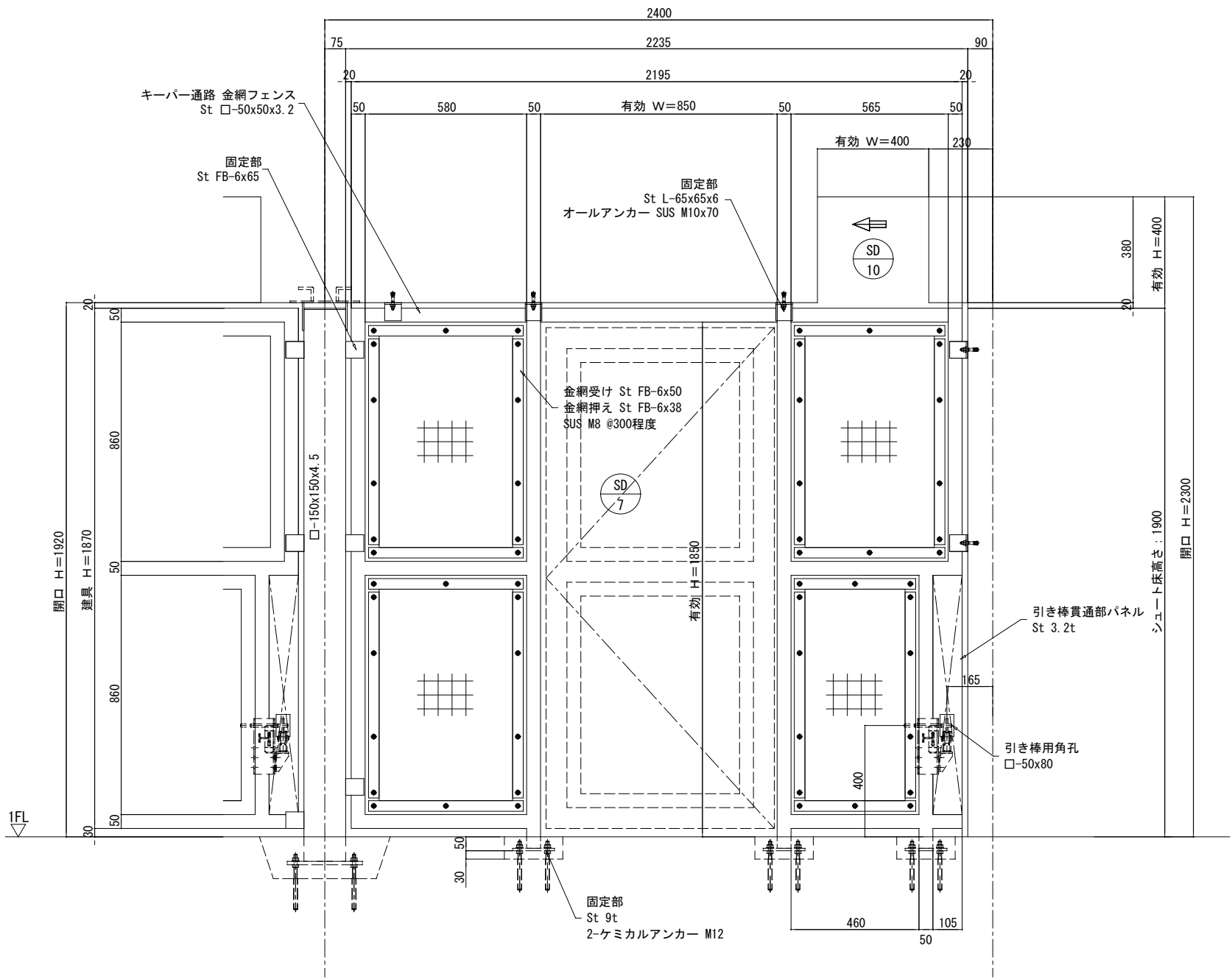
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺	工事名称	図面名称	南レA-2 3 No.
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南—レッサーパンダ舎)	レッサーパンダ舎 S0-1 姿図	



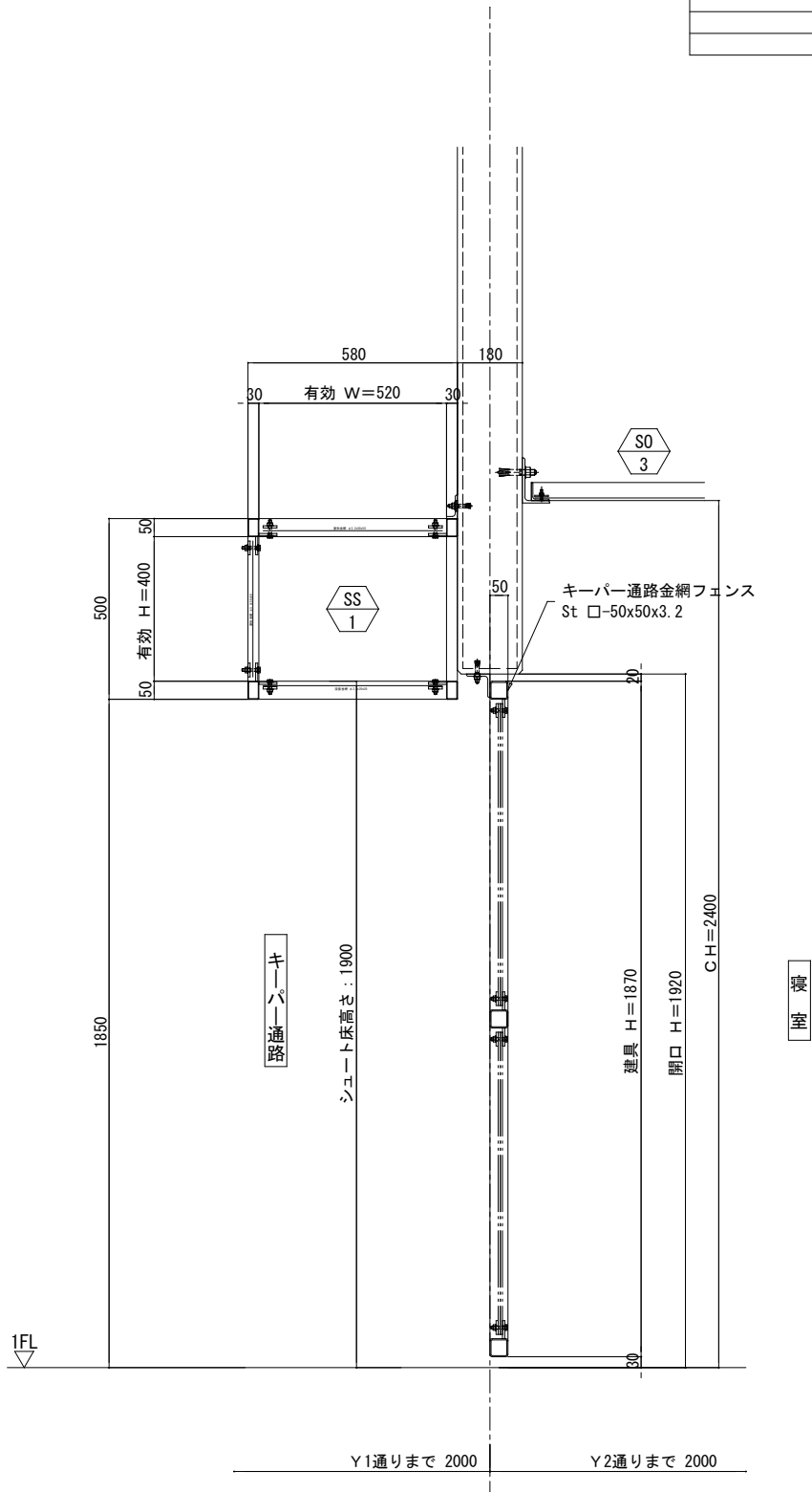


符 号 数 量		取付場所	キーパー通路（寢室2・4）	
S0 2-2	2	種 類	金網フェンス-2	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）	
		格子他	溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）	
部 品 名		品 番	数 量	摘 要

（部品数量は1台当りの数量を示す。）



S0/2-2 立面図 S=1/10



S0/2-2 断面図 S=1/10




山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕

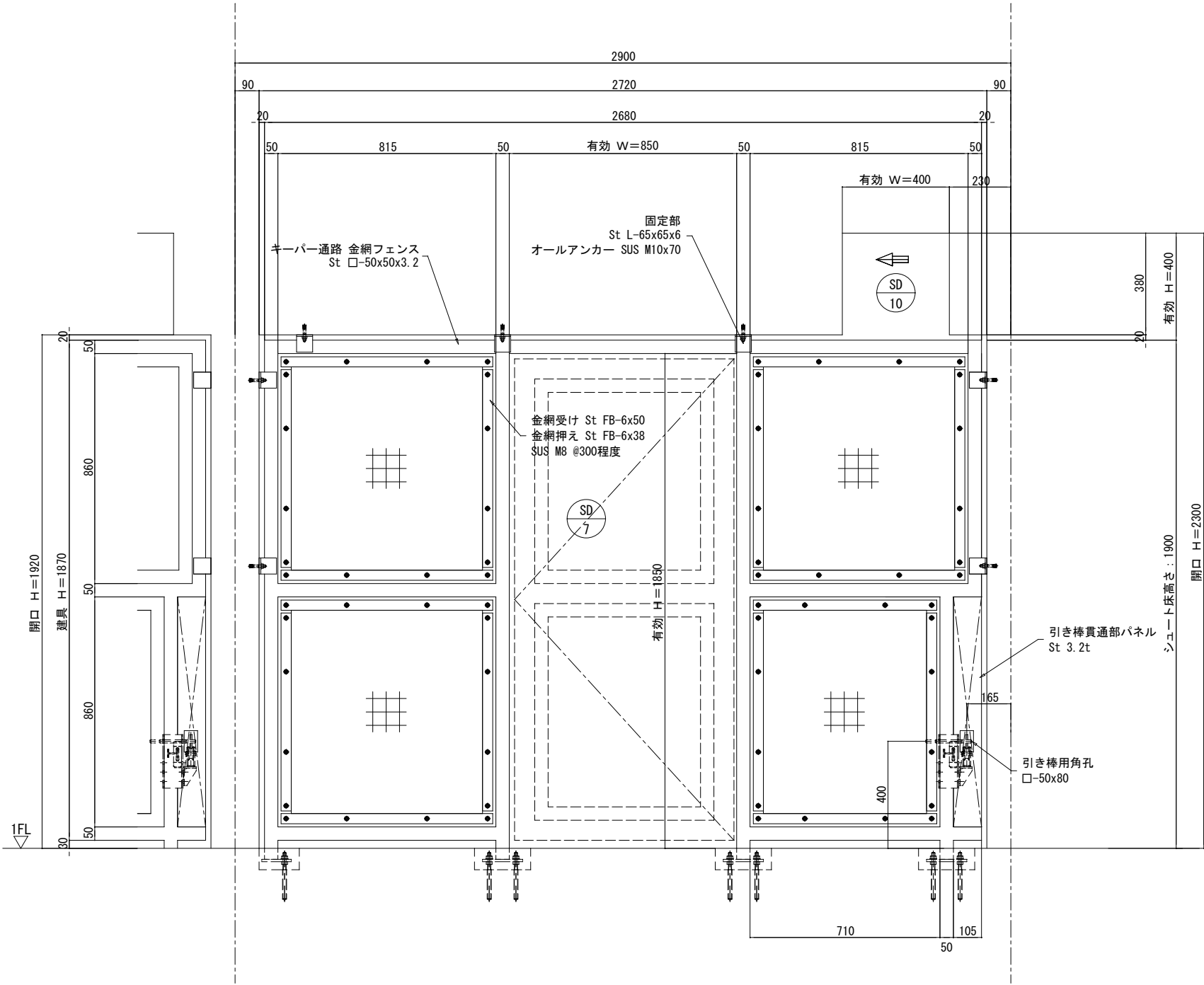
縮 尺
A1→1/10 A3→1/20
設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 S0-2-2 姿図

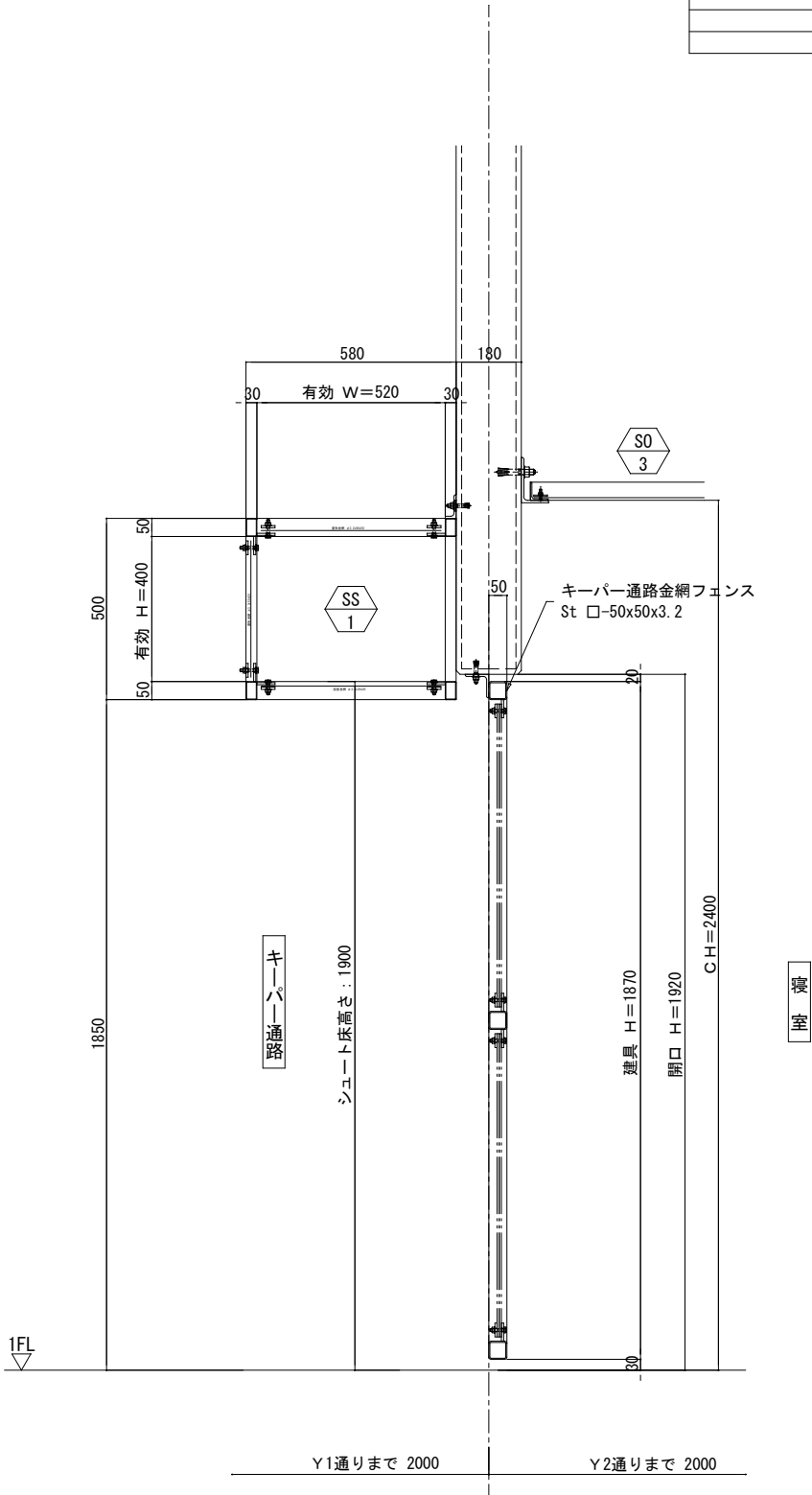
南レA-2 5  
No.

符 号 数 量		取付場所	キーパー通路（寝室5）	
△S0 2-3	1	種 類	金網フェンス-2	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）	
		格子他	溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）	
部 品 名		品 番	数 量	摘 要

（部品数量は1台当りの数量を示す。）



S0/2-3 立面図 S=1/10



S0/2-3 断面図 S=1/10

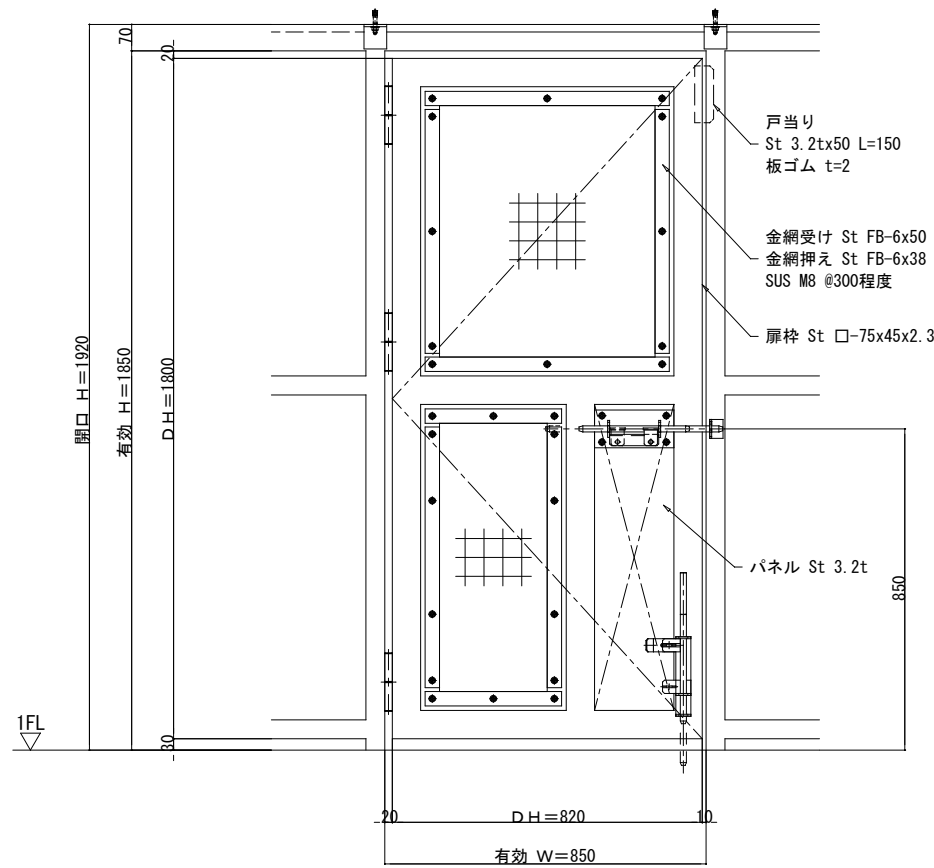


山梨建築設計監理事業協同組合

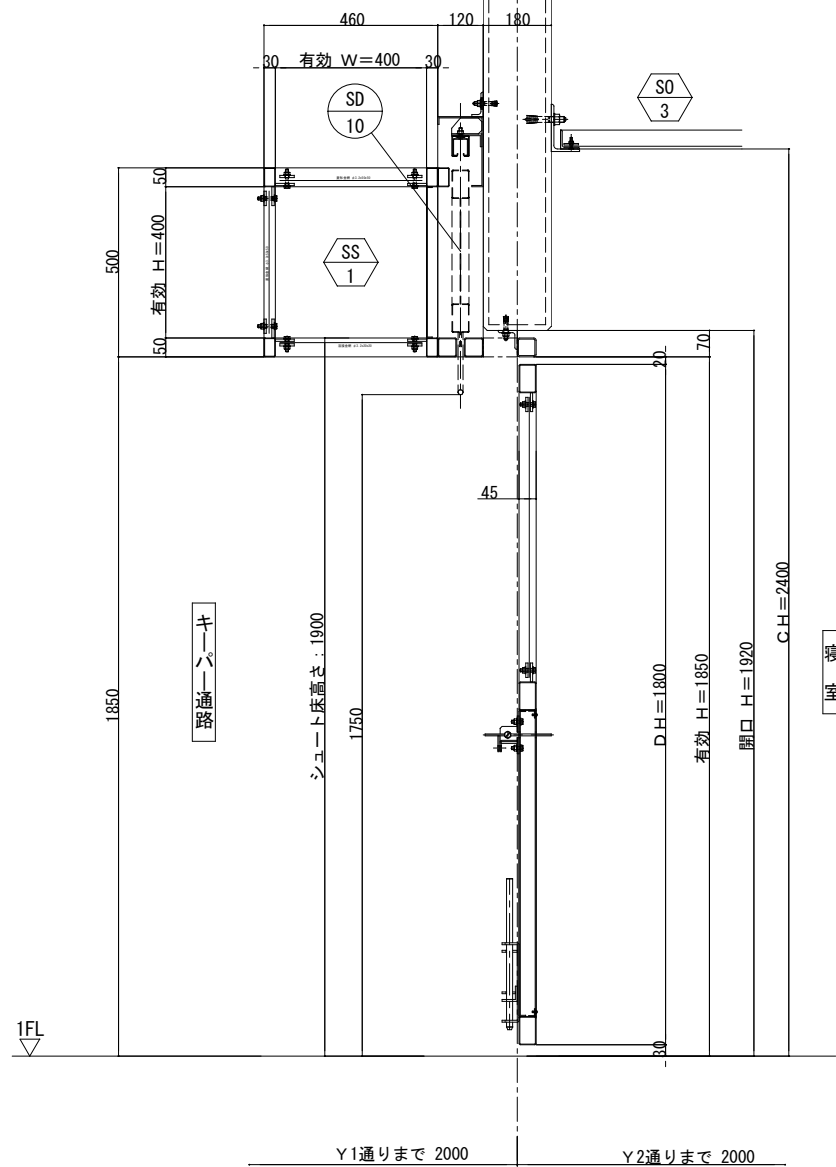
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事（南－レッサーパンダ舎）
図面名称	レッサーパンダ舎 S0-2-3 姿図

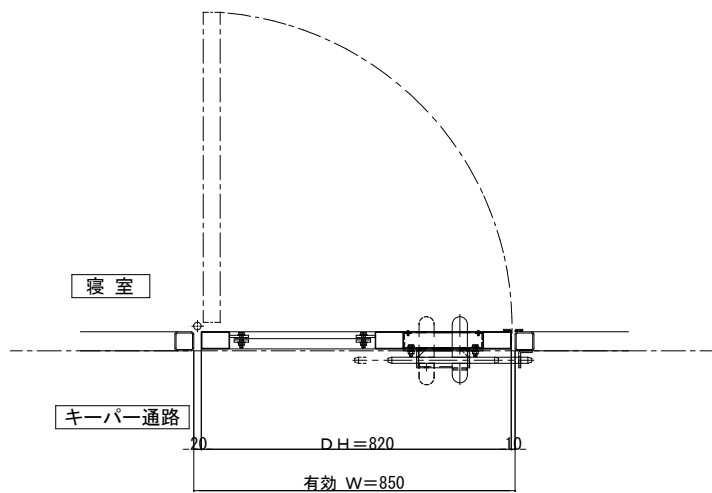
南レA-2 6  
No.



SD/7 立面図 S=1/10



SD/7 断面図 S=1/10



SD/7 平面図 S=1/10

符 号 数 量		取付場所	キーパー通路 - 寝室	
SD 7	5	種 類	片開き戸	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)	
		格子他	溶接金網 φ3.2x50x50 (亜鉛メッキ)	
部 品 名		品 番	数 量	摘 要
SUS/カンヌキ		φ16RB	1	両面操作型
SUS/丸落とし棒		φ16RB	1	キーパー通路側
SUS/丁番			3	

(部品数量は1台当りの数量を示す。)




山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

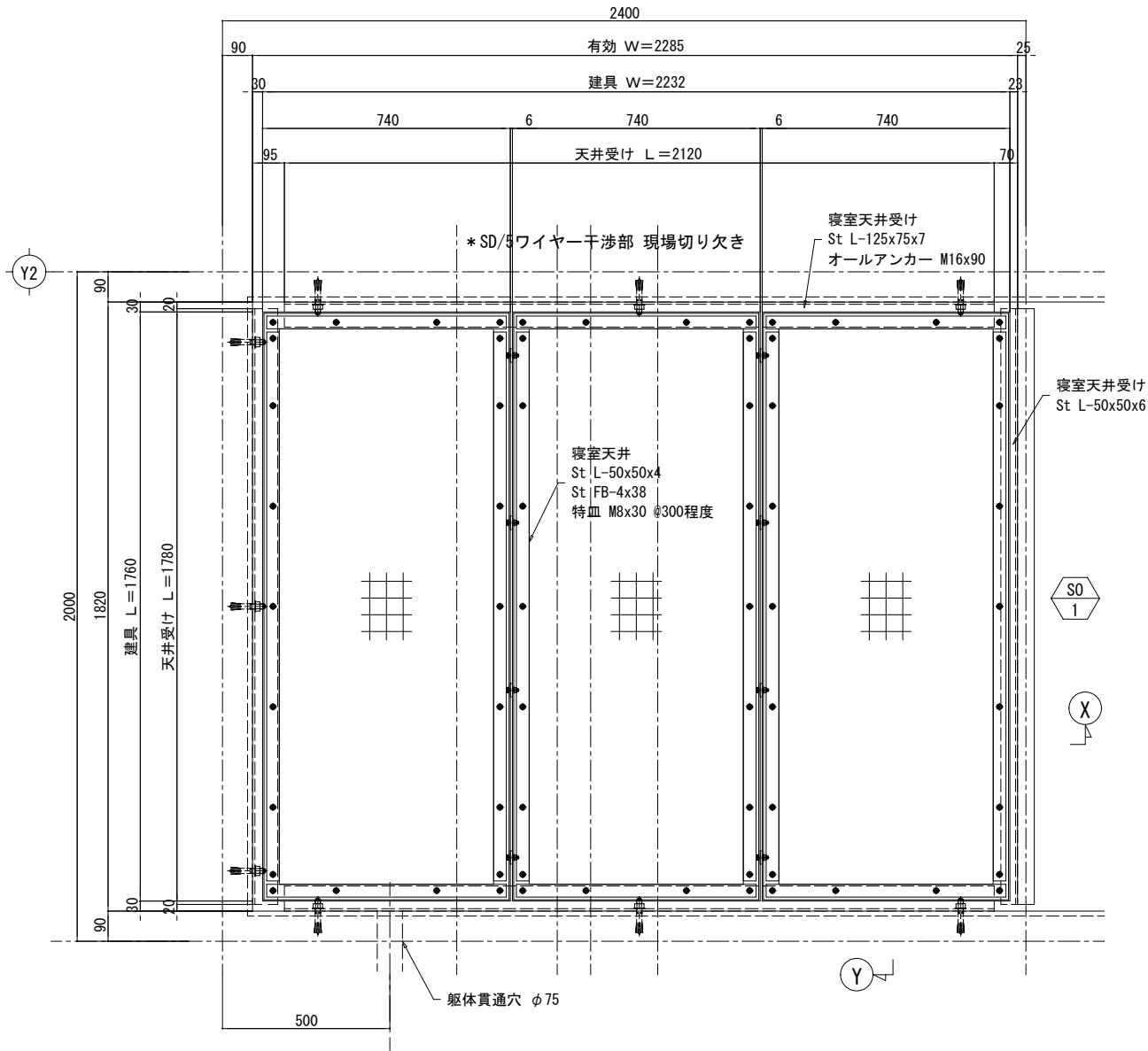
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)  
図面名称 レッサーパンダ舎 SD-7 姿図

符 号	数 量	取付場所	寝室内天井（寝室1～4）
S0 3-1	4	種 類	寝室上部金網-1
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）
		格子他	溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）
部 品 名	品 番	数量	摘 要

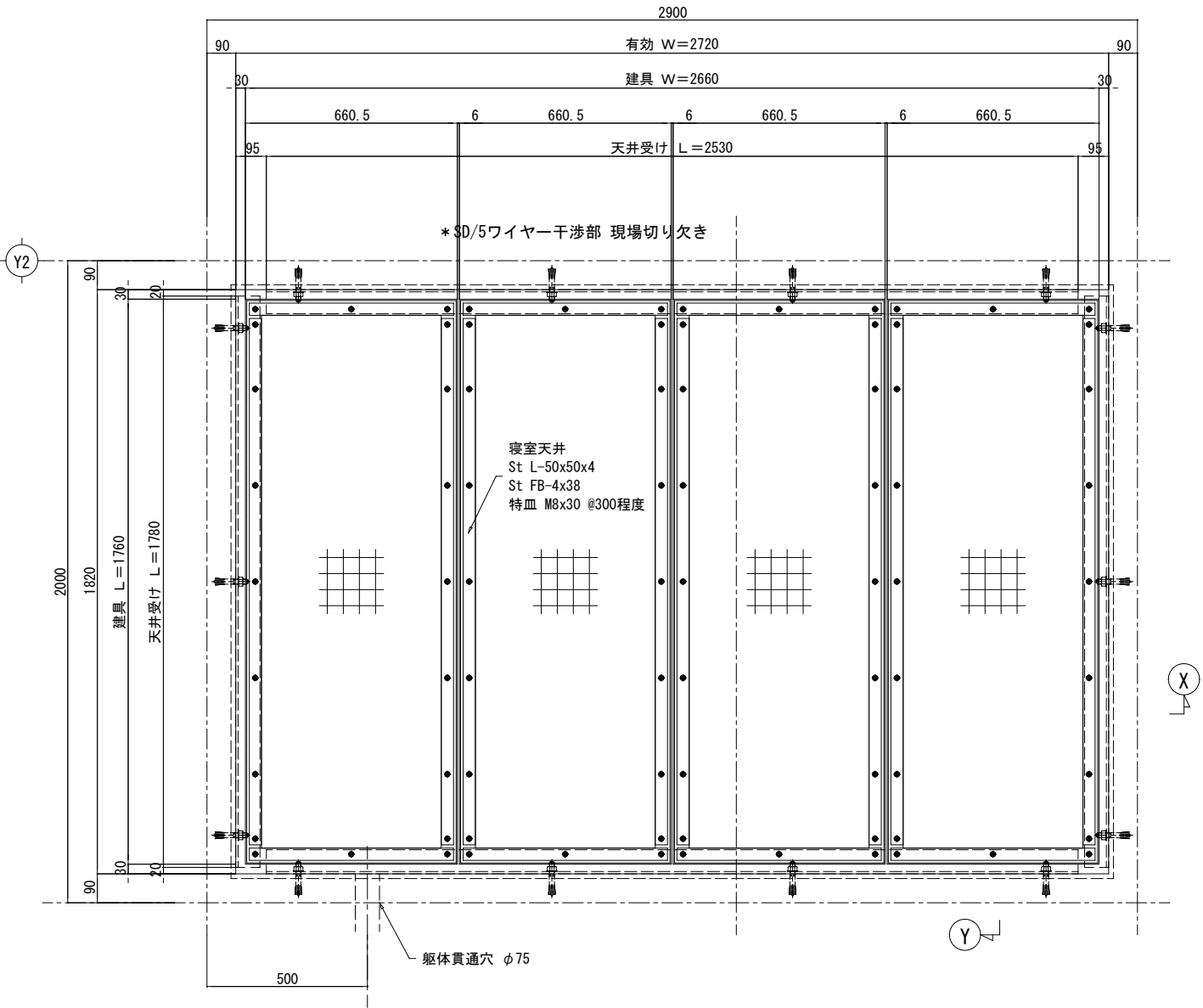
（部品数量は1台当りの数量を示す。）

符 号	数 量	取付場所	寝室内天井（寝室5）
S0 3-2	4	種 類	寝室上部金網-2
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）
		格子他	溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）
部 品 名	品 番	数量	摘 要

（部品数量は1台当りの数量を示す。）



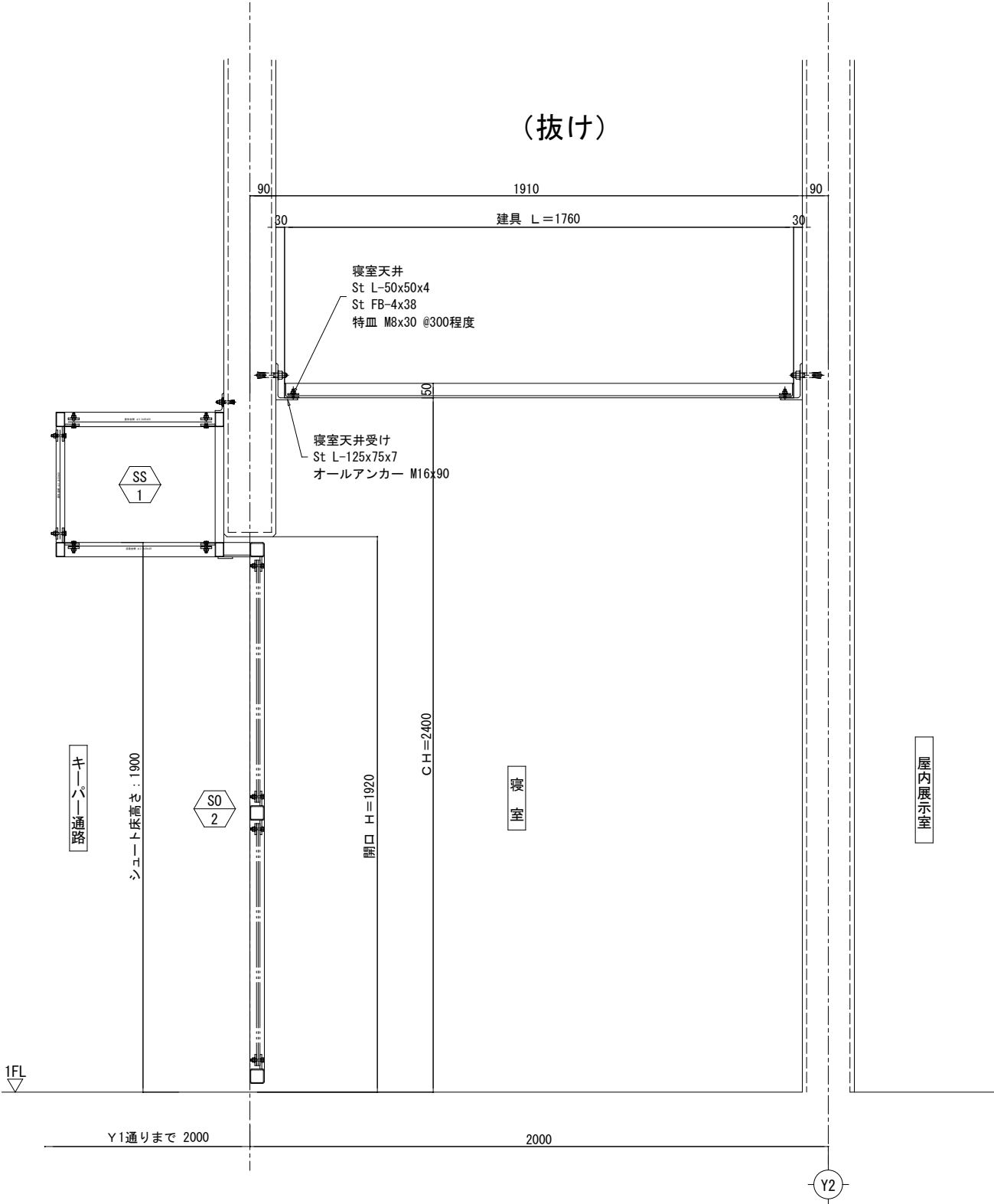
S0/3-1 平面図 S=1/10



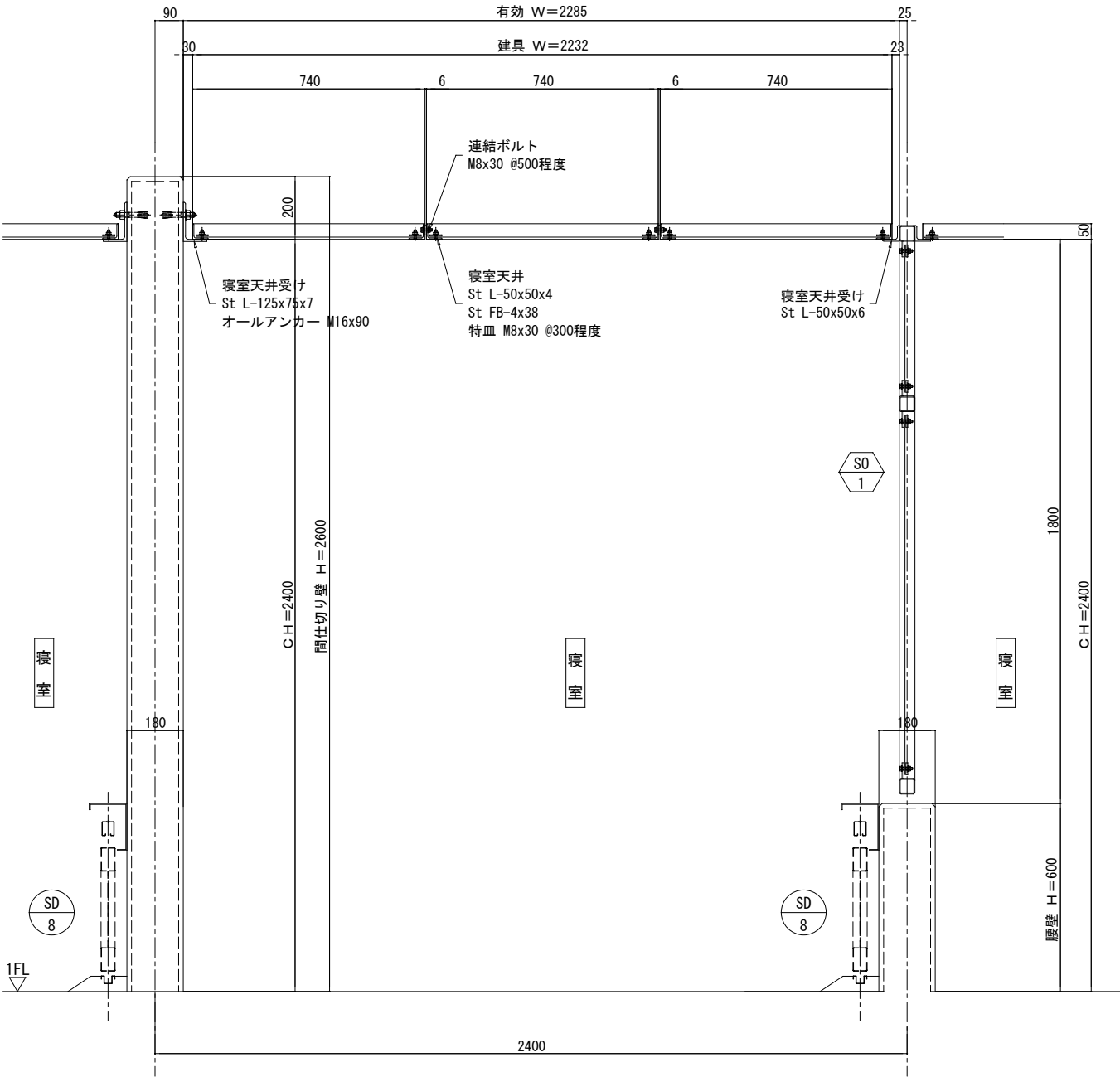
S0/3-2 平面図 S=1/10

符 号 数 量		取付場所	寝室天井（寝室1～4）	
S0 3-1	4	種 類	寝室上部金網-1	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）	
		格子他	溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）	
部 品 名		品 番	数量	摘 要

（部品数量は1台当りの数量を示す。）



Y S0/3-1 断面図 S=1/10



X S0/3-1 断面図 S=1/10



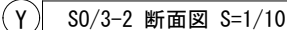

山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 S0-3-1 断面図

南レA-2 9  
No.

(部品数量は1台当りの数量を示す。)

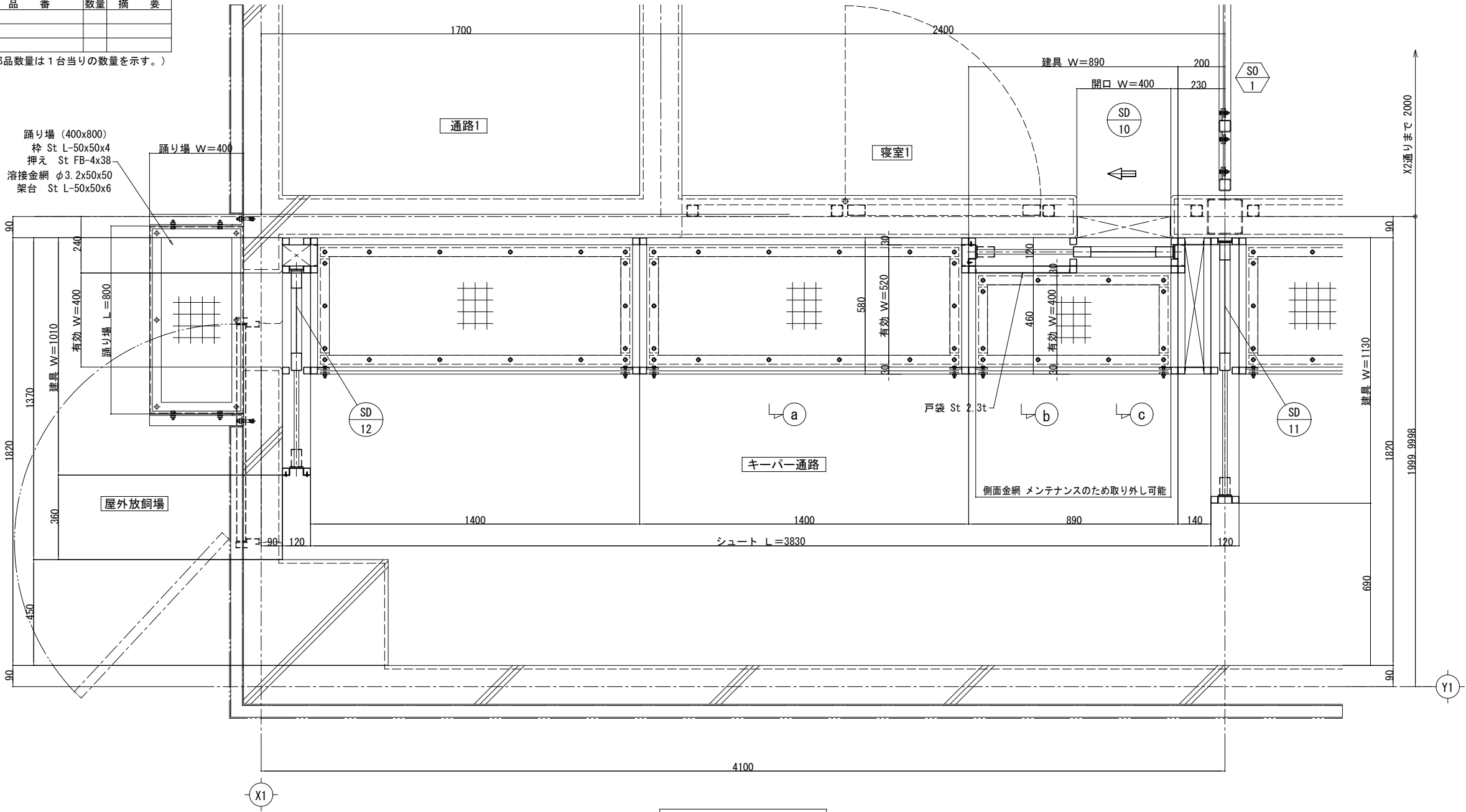


符 号	数 量	取付場所	外部（動物出入口前）
	4	種 類	踊り場
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）
		格子他	床： 溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）
部 品 名		品 番	数量 摘 要

（部品数量は1台当りの数量を示す。）

符 号	数 量	取付場所	キーパー通路上部（寝室1前）
SS 1-1	1	種 類	シュート
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）
		格子他	床： 溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ） 壁・天井： 菱形金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ） メンテナンス部壁： 溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）
部 品 名		品 番	数量 摘 要

（部品数量は1台当りの数量を示す。）



シュート 平面図 S=1/10



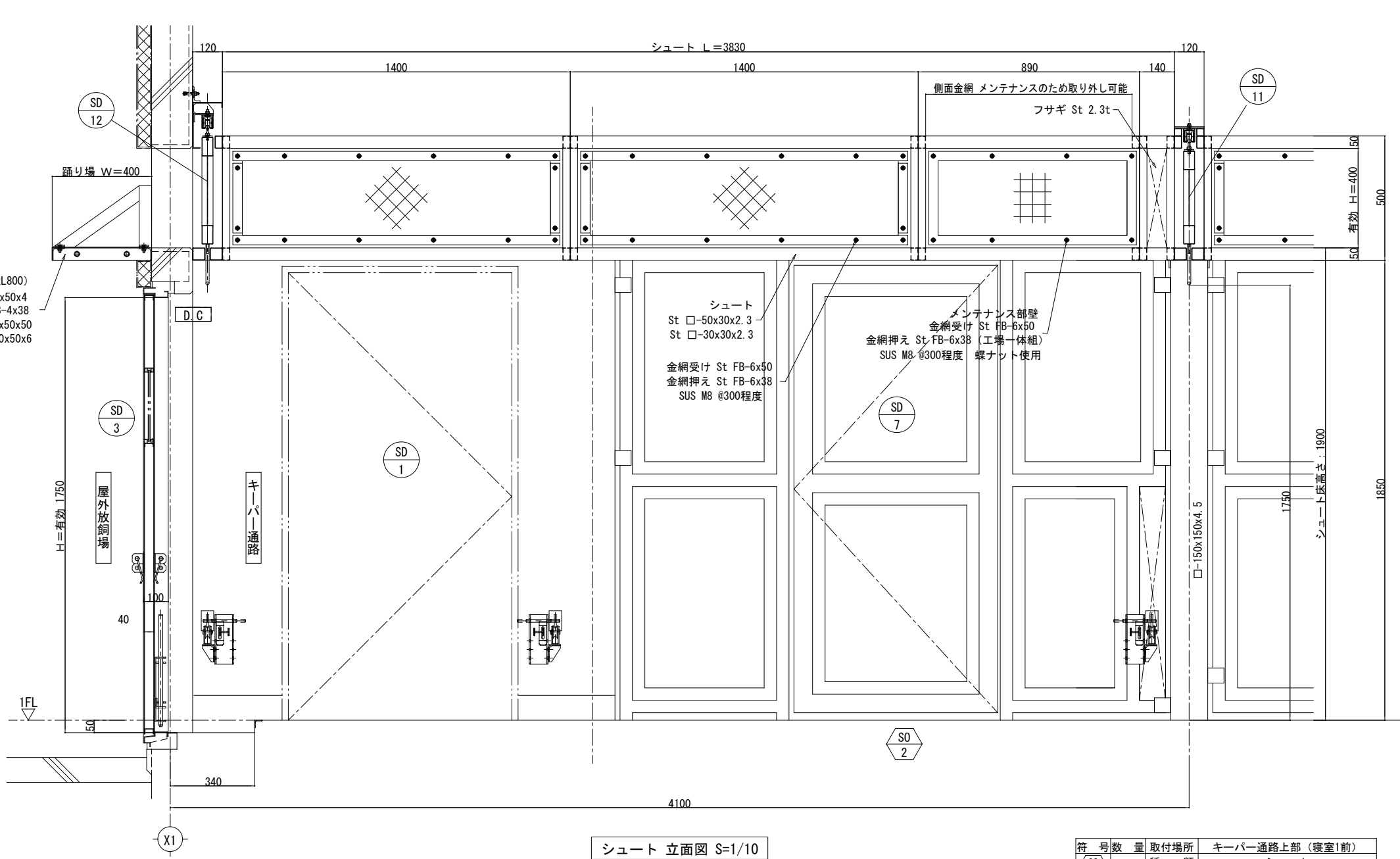
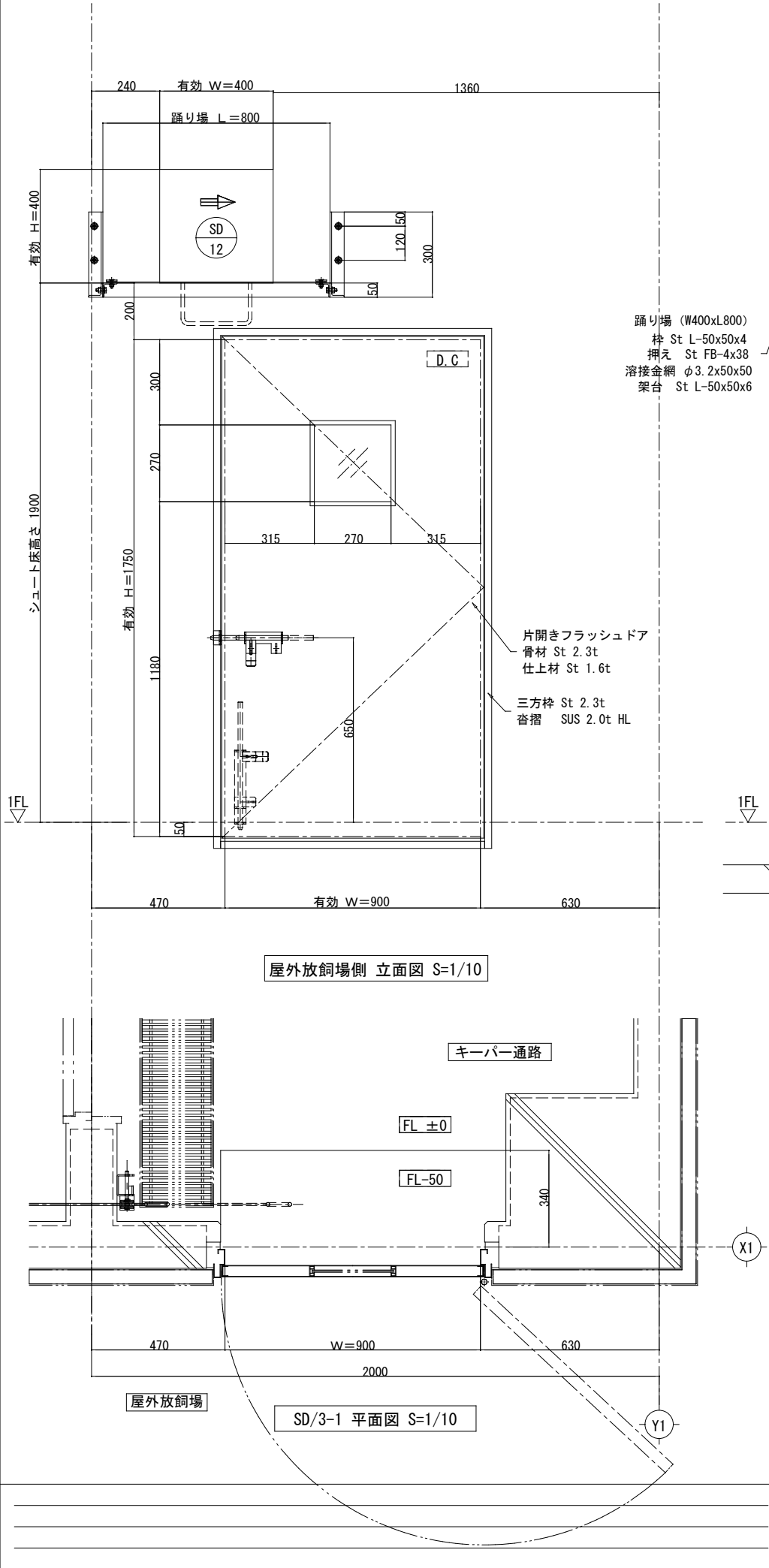
山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SS-1-1・踊り場 平面図

南レA-3 1  
No.





符 号	数 量	取付場所	屋外放飼場 - キーパー通路
SD 3-1	2	種 類	片開き戸
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)
		格子他	フラッシュ扉
			強化合わせガラス t=4+4
部 品 名	品 番	数 量	摘 要
SUS/カンヌキ	φ 16RB	2	両面
SUS/丸落とし棒	φ 16RB	1	キーパー通路側
SUS/T番		3	
D.C		1	

(部品数量は1台当りの数量を示す。)

符 号	数 量	取付場所	キーパー通路上部 (寝室1前)
SS I-1	1	種 類	シュート
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)
		格子他	床: 溶接金網 φ3.2x50x50 (亜鉛メッキ)
			壁・天井: 菱形金網 φ3.2x50x50 (亜鉛メッキ)
			メンテナンス部壁: 溶接金網 φ3.2x50x50 (亜鉛メッキ)
部 品 名	品 番	数 量	摘 要

(部品数量は1台当りの数量を示す。)



山梨建築設計監理事業協同組合

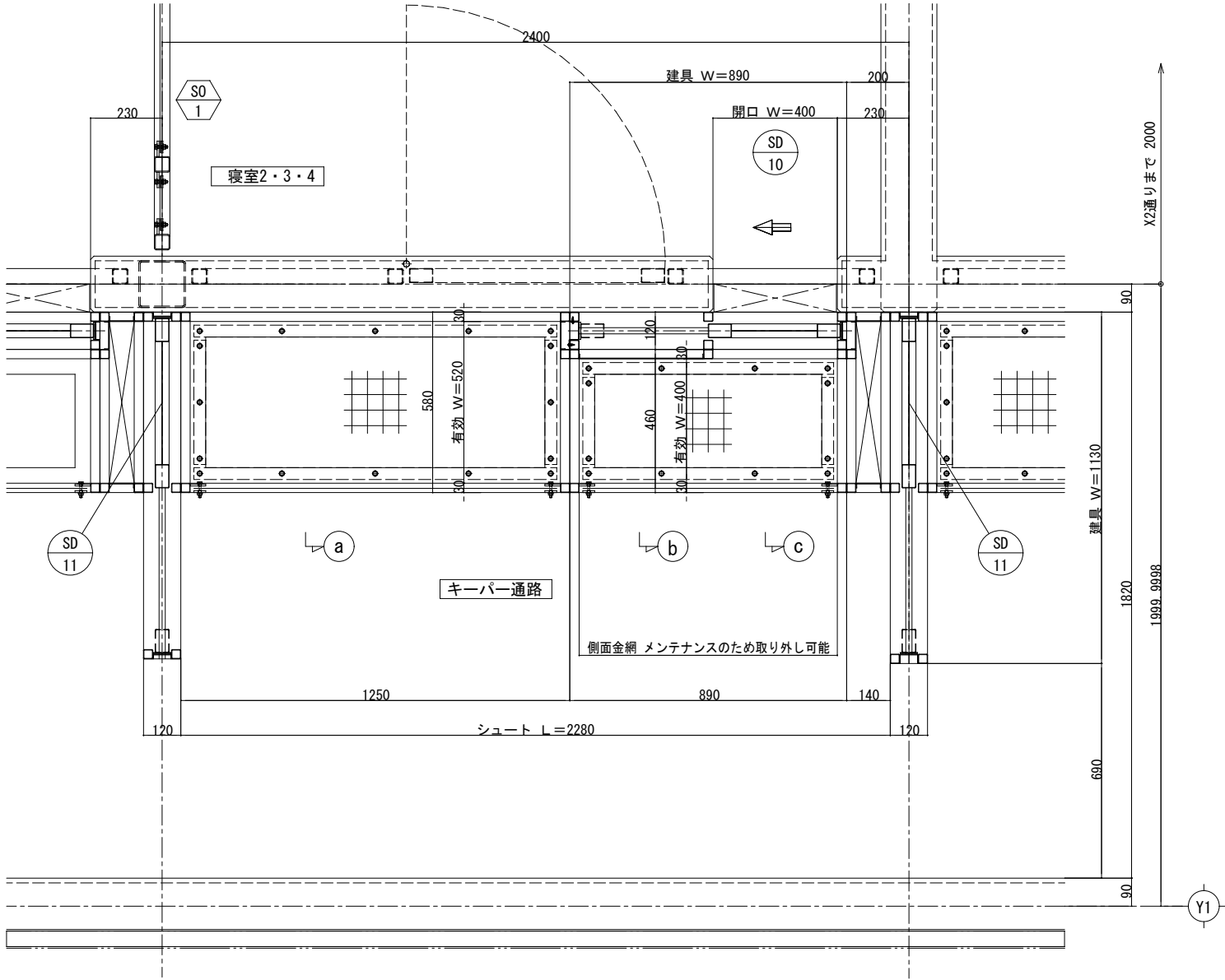
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SS-1-1・SD-3-1・踊り場 姿図

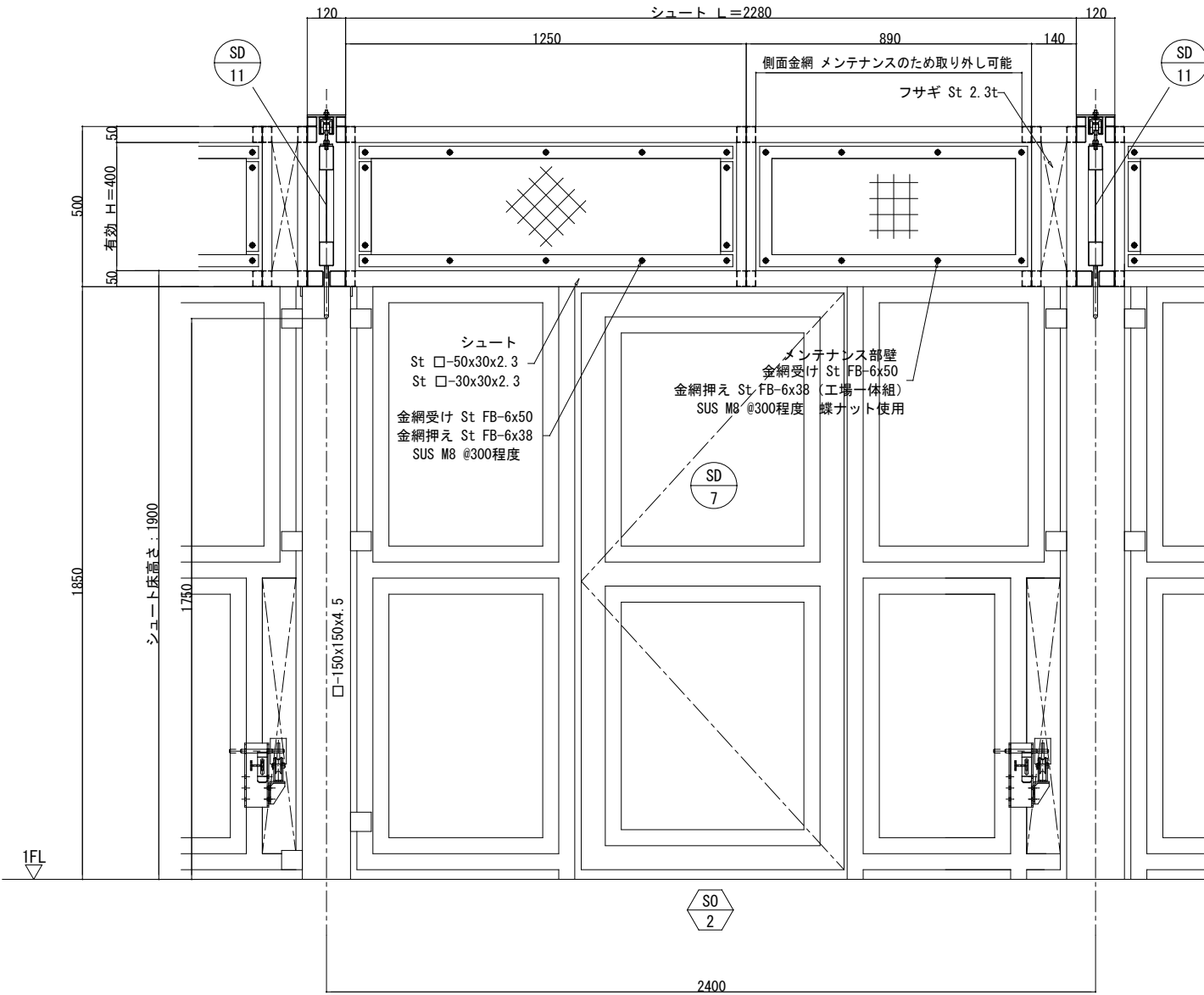
南レA-3 2  
No.

符 号 数 量		取付場所			キーパー通路上部（寝室2・3・4前）		
SS 1-2	3	種 類		シュート			
		鋼材・仕上		SS材・DP塗装（3級）			
		格子他		床：溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ） 壁・天井：菱形金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ） メンテナンス部壁：溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）			
部 品 名		品 番		数 量		摘 要	

（部品数量は1台当りの数量を示す。）



シュート 平面図 S=1/10



シュート 立面図 S=1/10




山梨建築設計監理事業協同組合

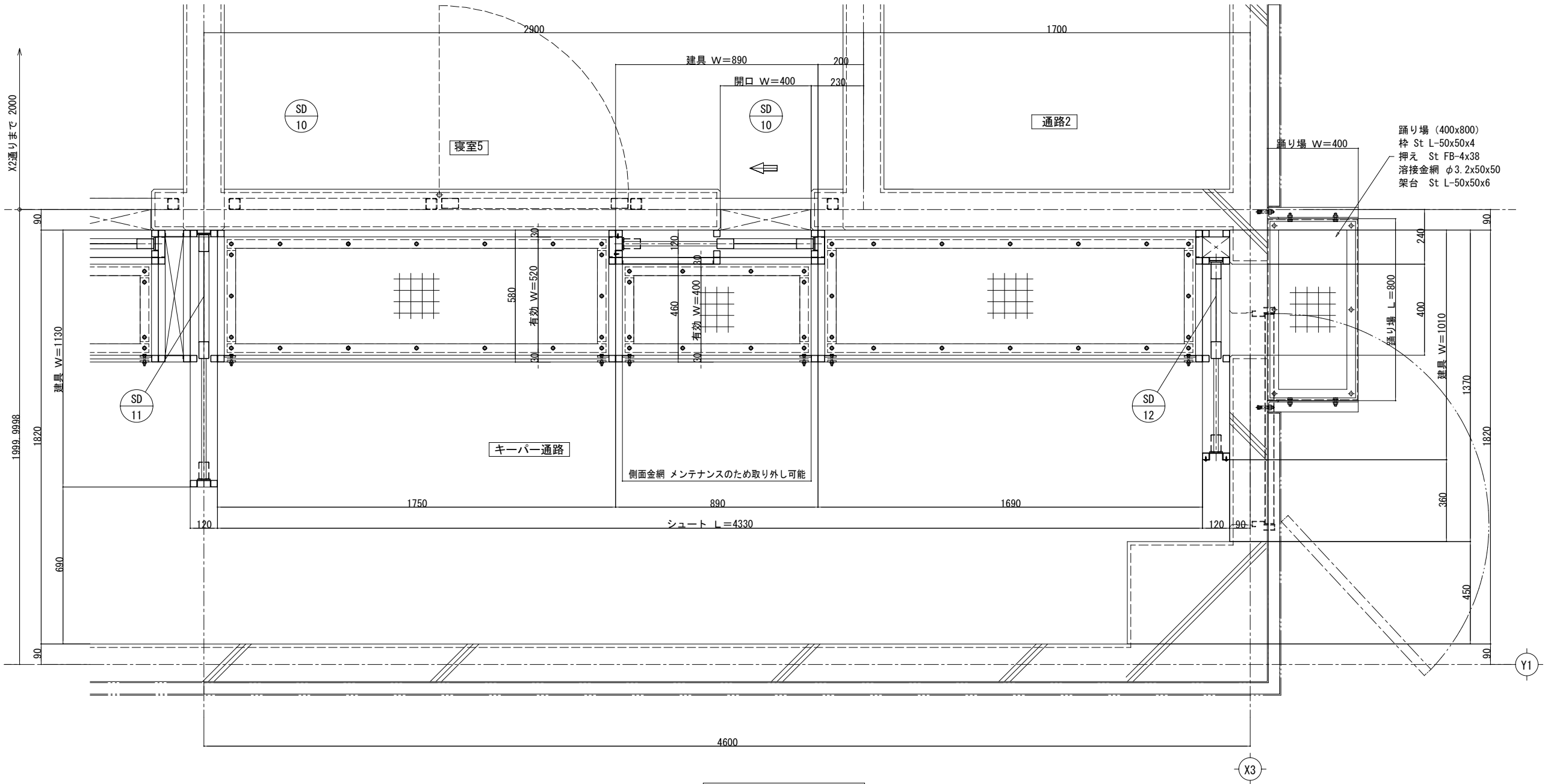
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1-1/10 A3-1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事（南レッサパング舎）
図面名称	レッサーパンダ舎 SS-1-2 姿図

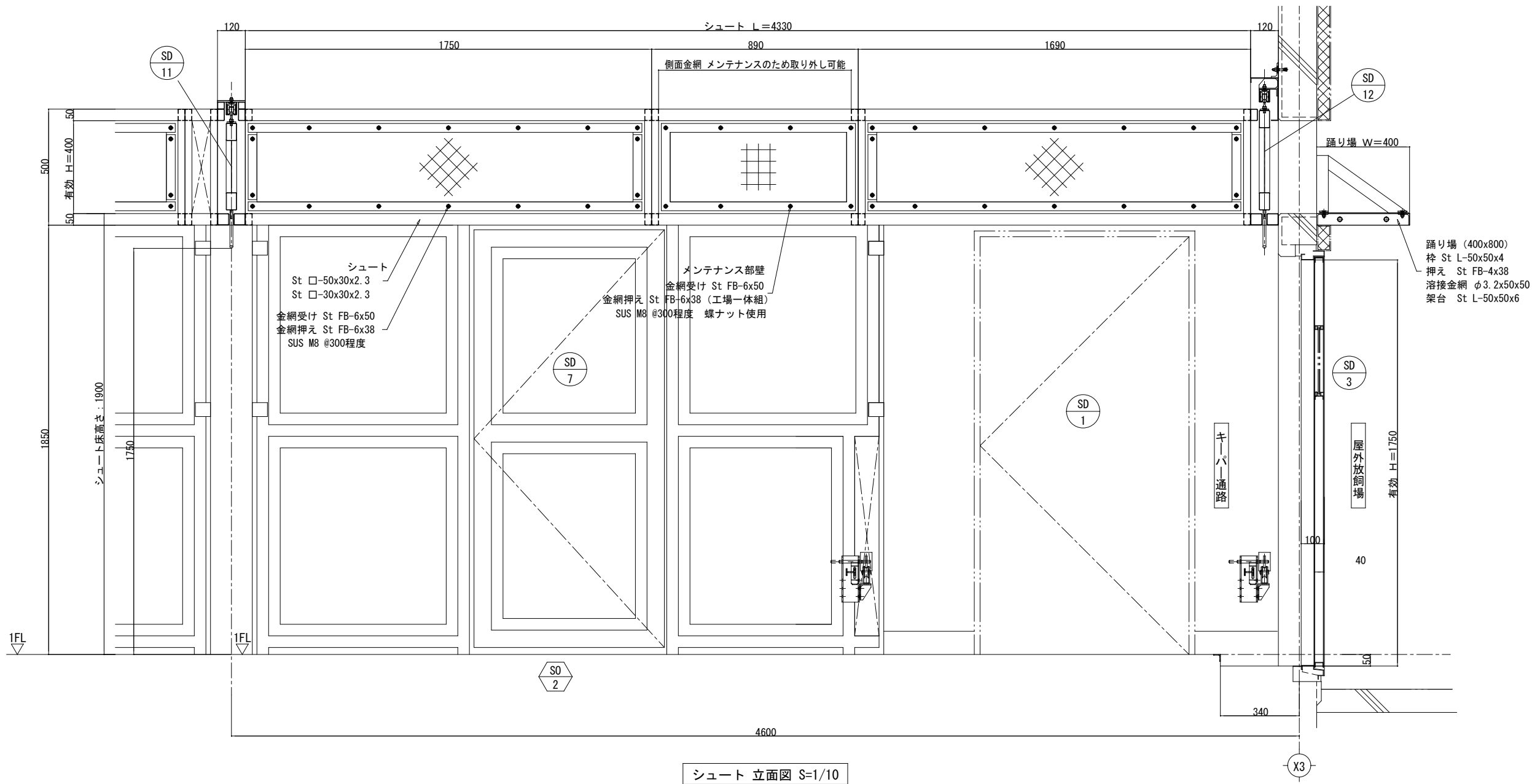
南レA-3 3  
No.

符 号 数 量		取付場所	キーパー通路上部（寝室5前）	
SS 1-3	1	種 類	シュート	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）	
		格子他	床： 溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ） 壁・天井：菱形金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ） メンテナンス部壁：溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）	
部 品 名		品 番	数 量	摘 要

（部品数量は1台当りの数量を示す。）



シュート 平面図 S=1/10



符 号	数 量	取付場所	キーパー通路上部（寝室5前）
SS 1-3	1	種 類	シュート
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）
		格子他	床：溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ） 壁・天井：菱形金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ） メンテナンス部壁：溶接金網 φ3.2x50x50（亜鉛メッキ）
部 品 名	品 番	数 量	摘 要

（部品数量は1台当りの数量を示す。）

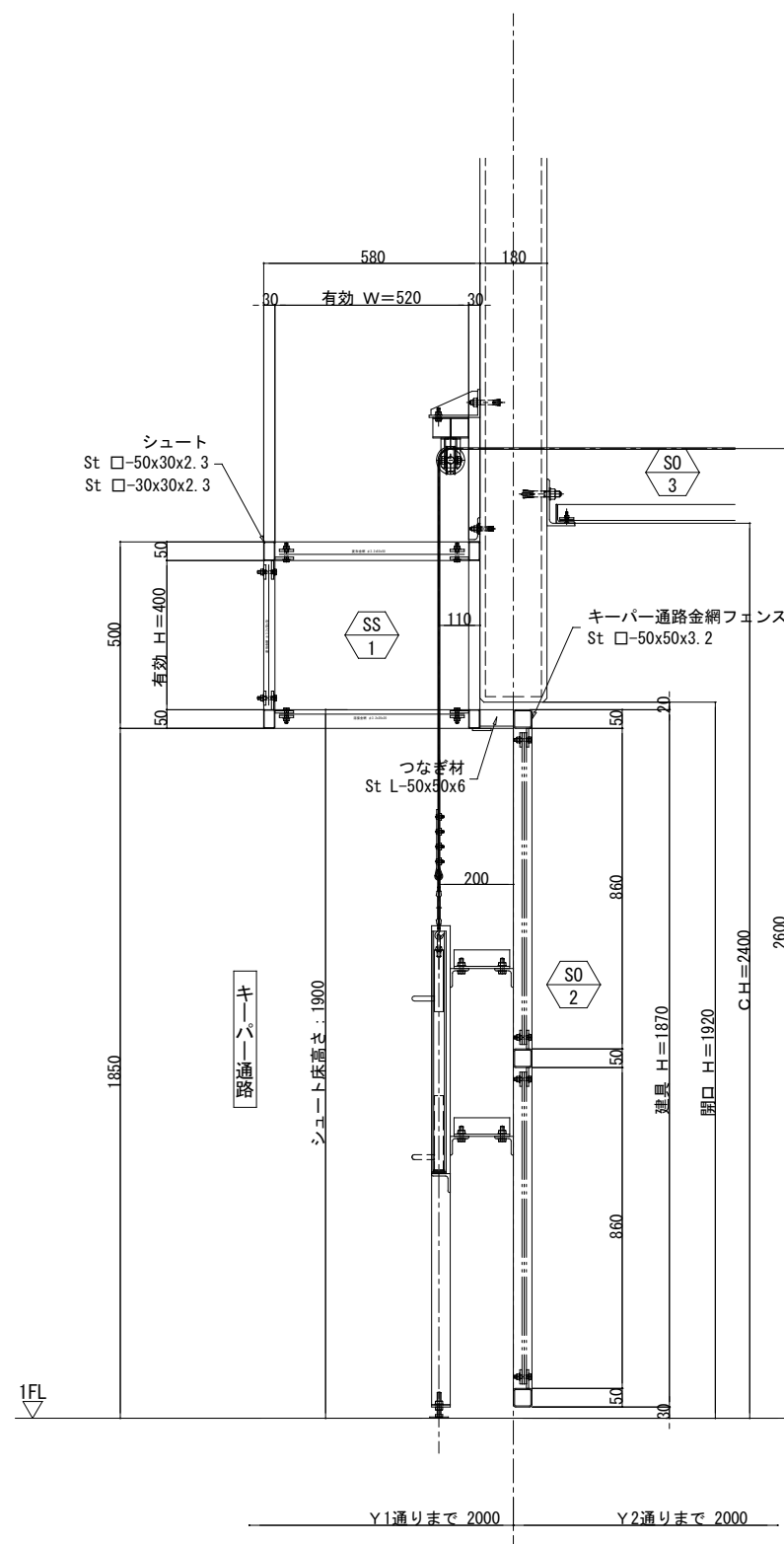


山梨建築設計監理事業協同組合

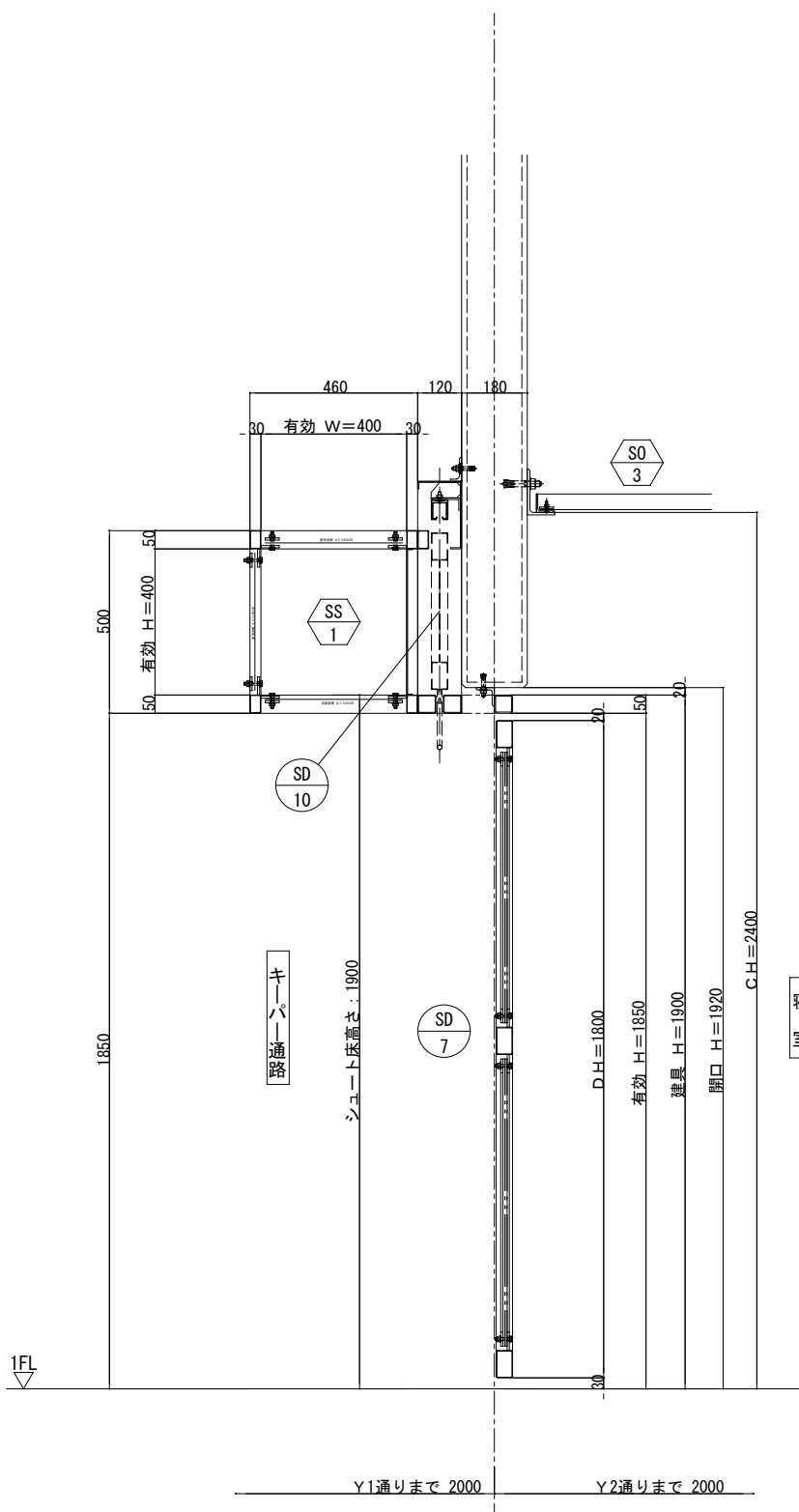
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SS-1-3 姿図

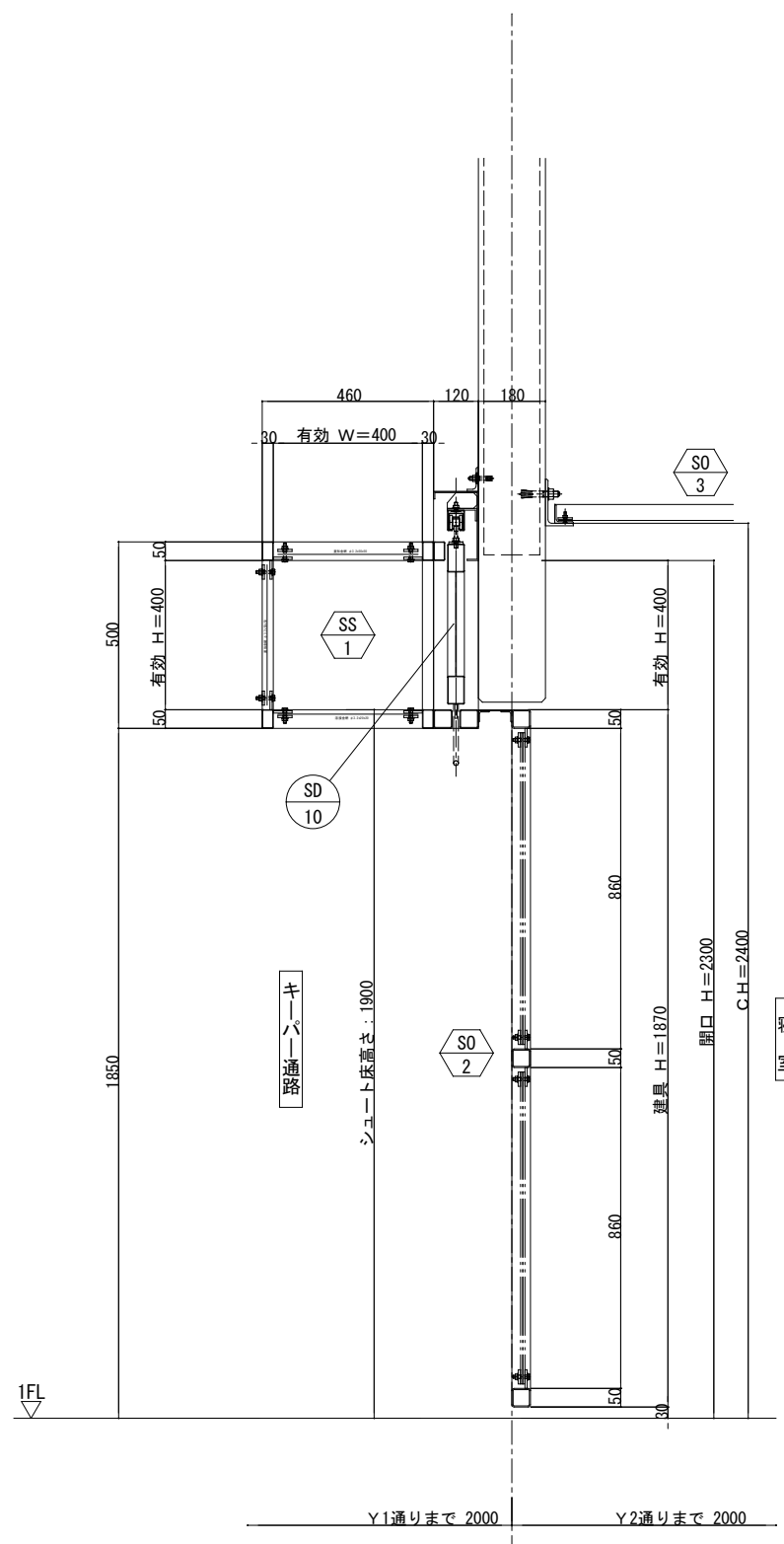
南レA-3 5  
No.



a シュート 断面図 S=1/10



b シュート 断面図 S=1/10



c シュート 断面図 S=1/10

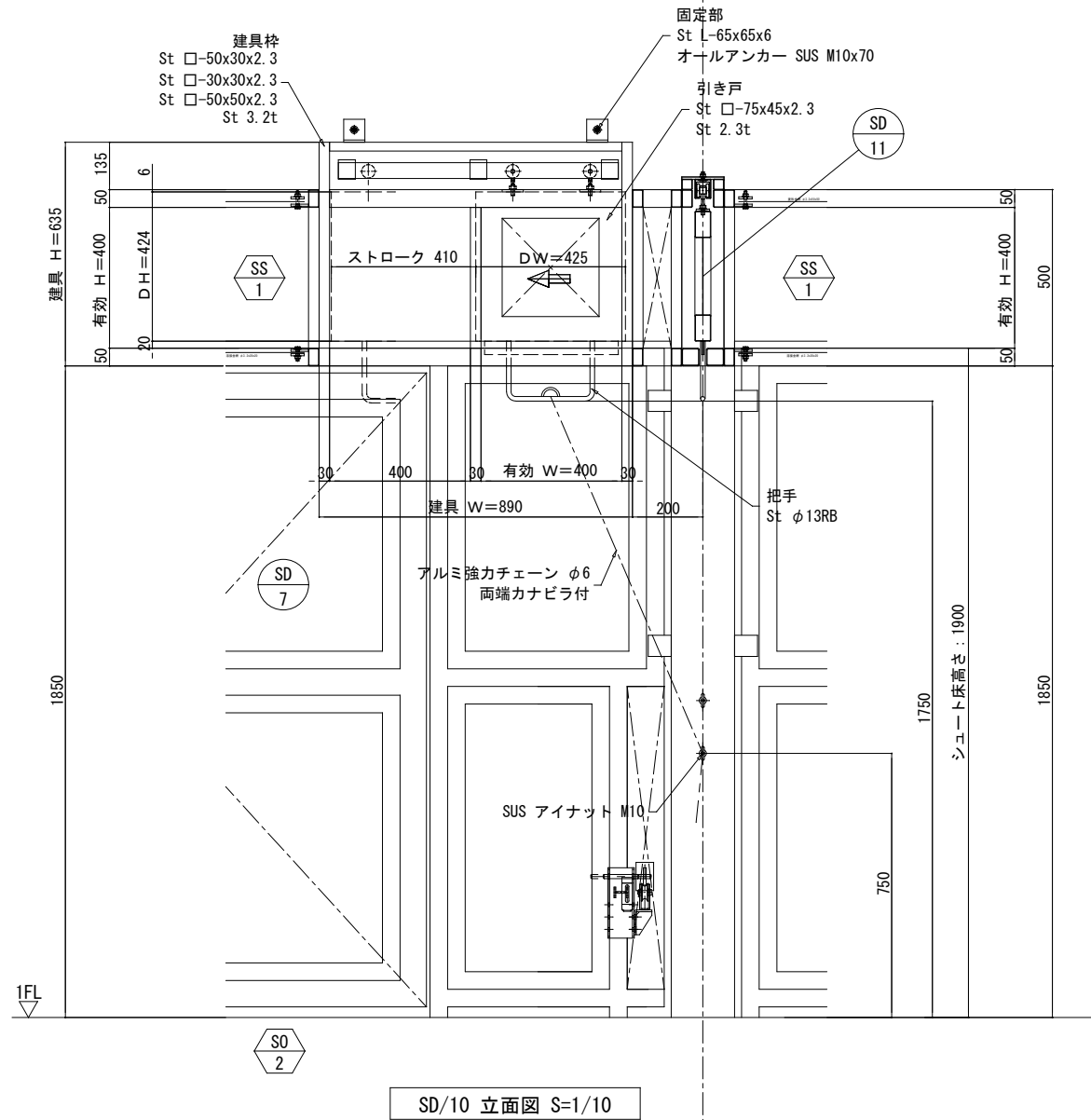



山梨建築設計監理事業協同組合

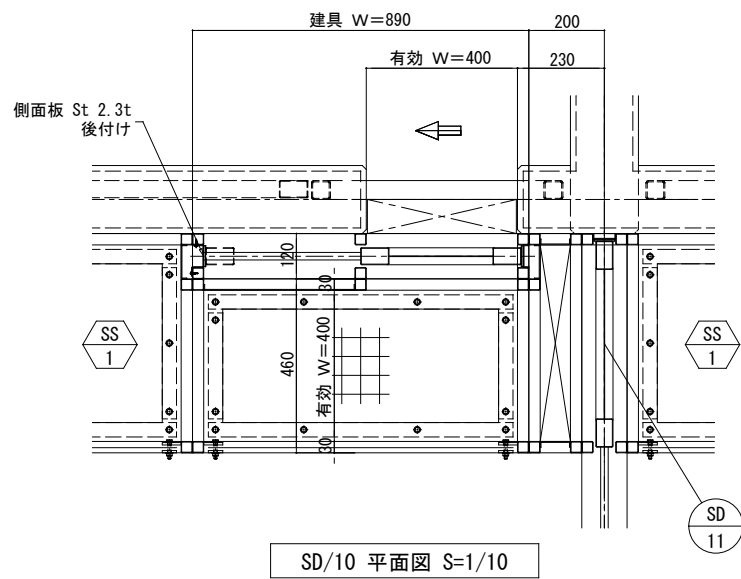
承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南レッサパング舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SS-1 断面図

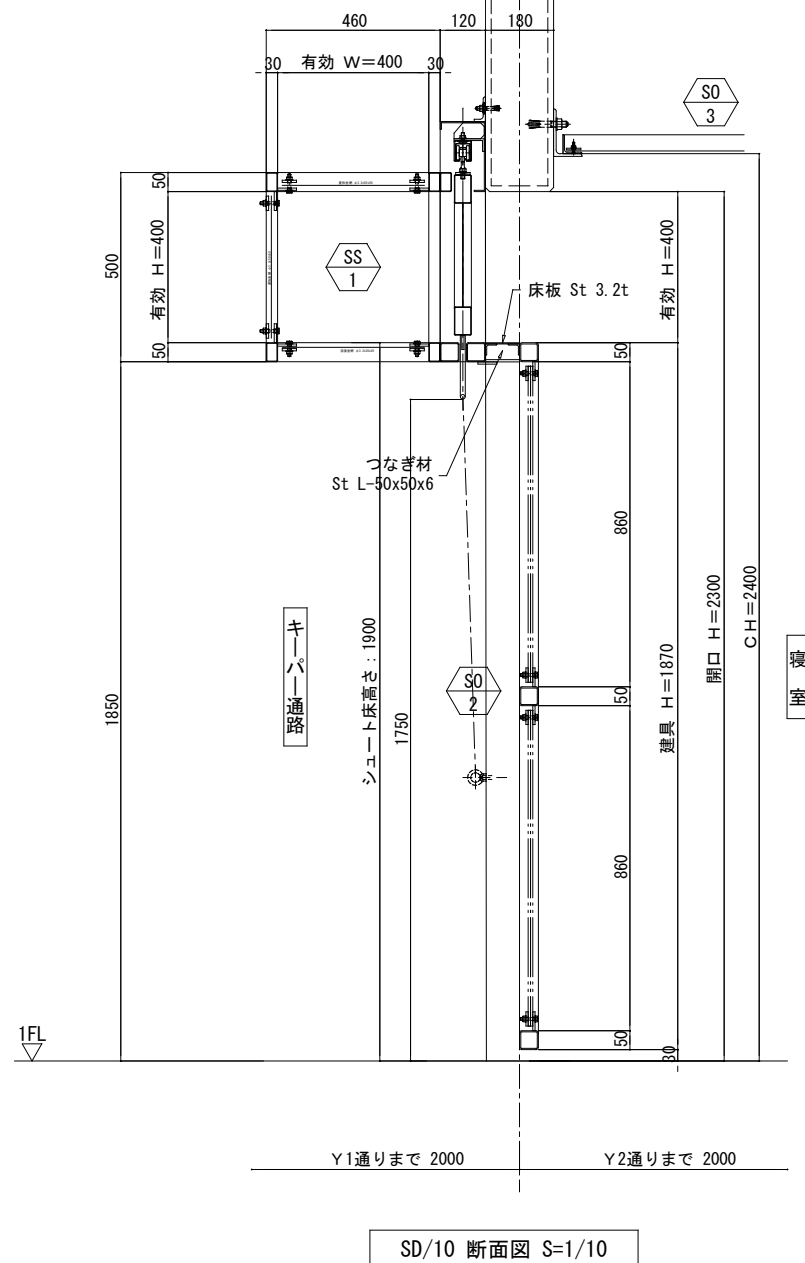
南レA-3 6  
No.



SD/10 立面図 S=1/10



SD/10 平面図 S=1/10



符 号 数 量		取付場所	シュート - 寝室	
SD 10	5	種 類	引き戸	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)	
		格子他	2.3t フサギ	
部 品 名		品 番	数量	摘 要
SUS/ドアハンガー		φ38 単車	2	
SUS/レール			1	
SUS/ブラケット		天井受下	3	
AL/強力チェーン			1	
SUS/カナピラ			2	

(部品数量は1台当りの数量を示す。)

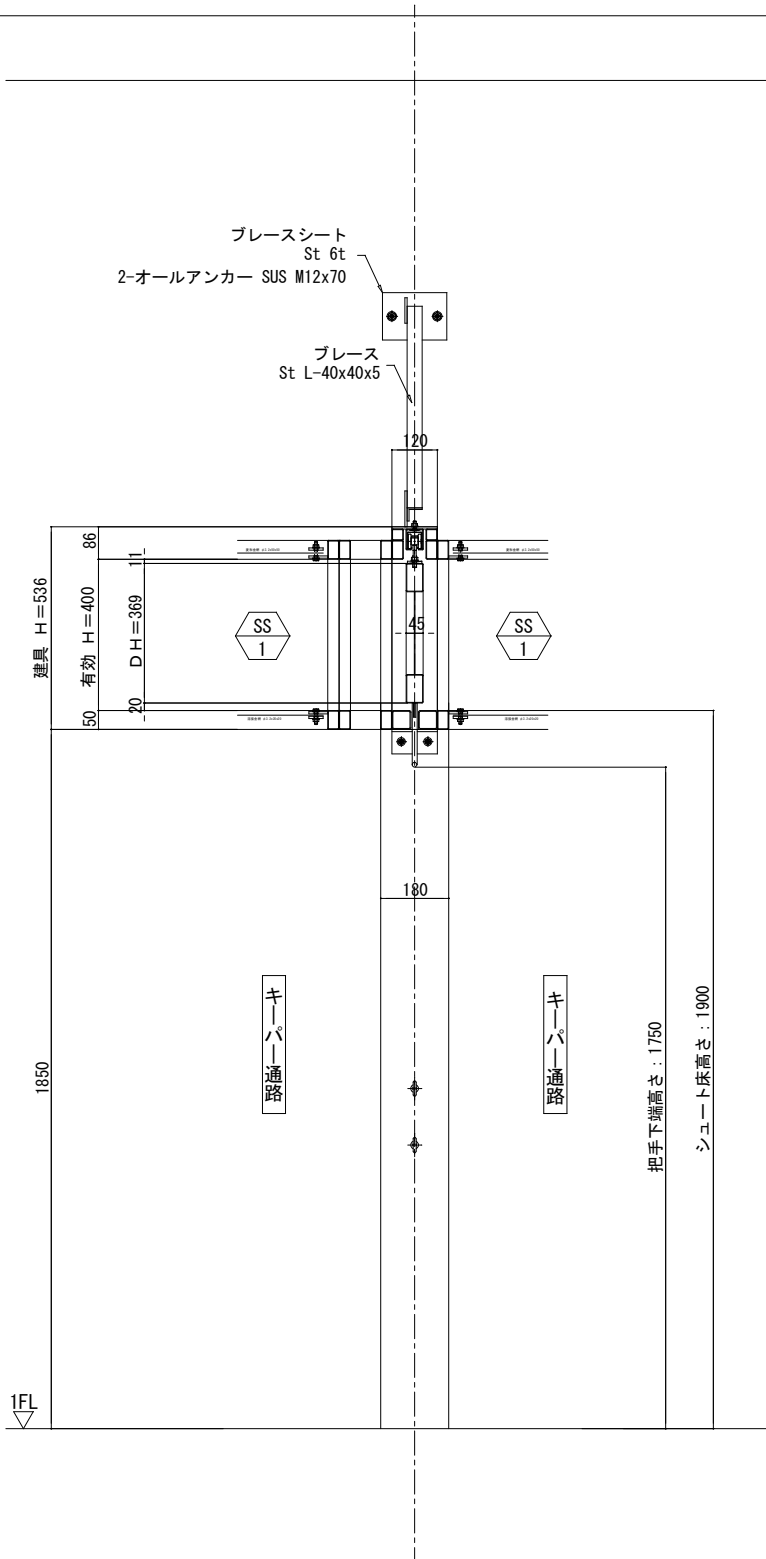


山梨建築設計監理事業協同組合

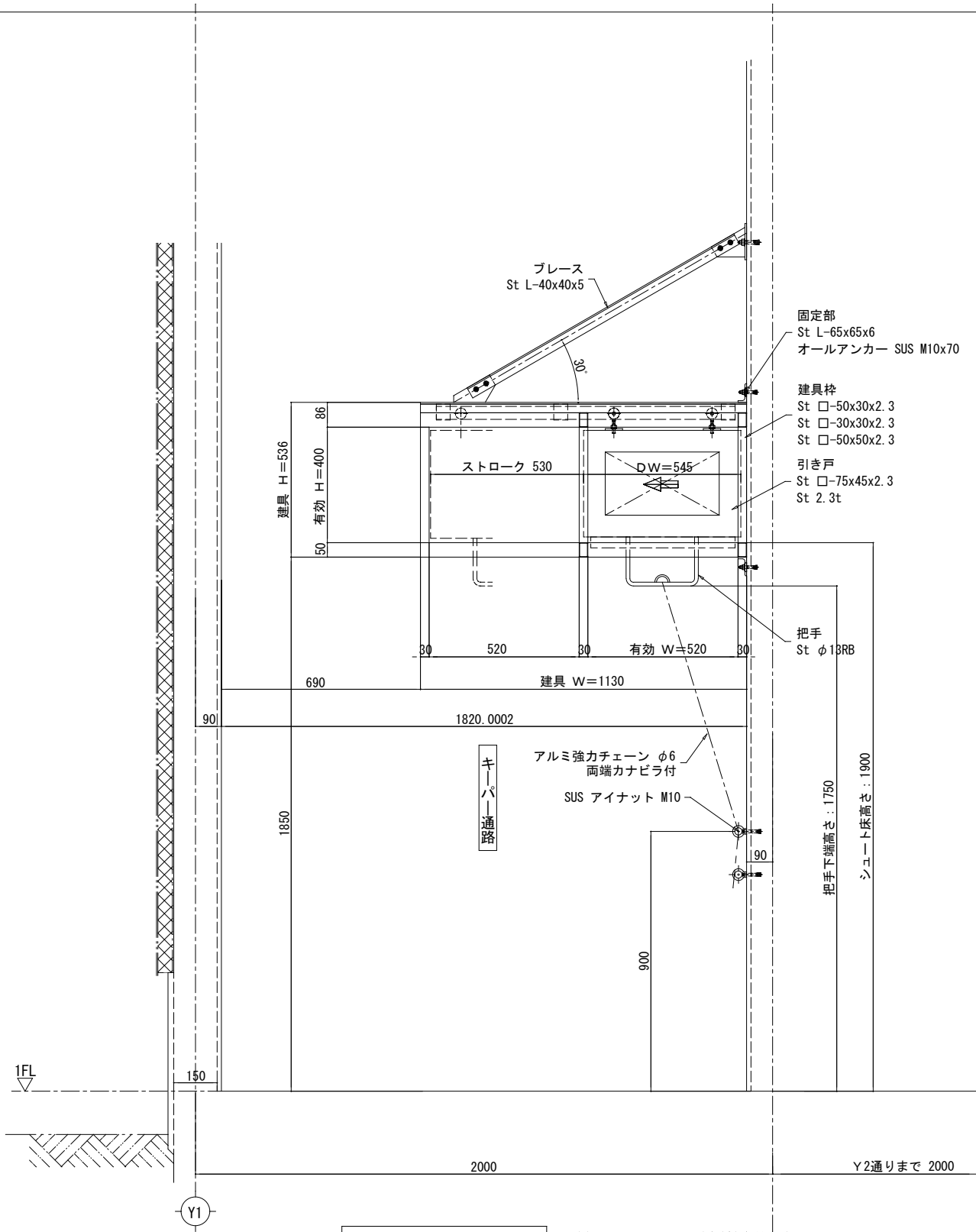
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SD-10 姿図

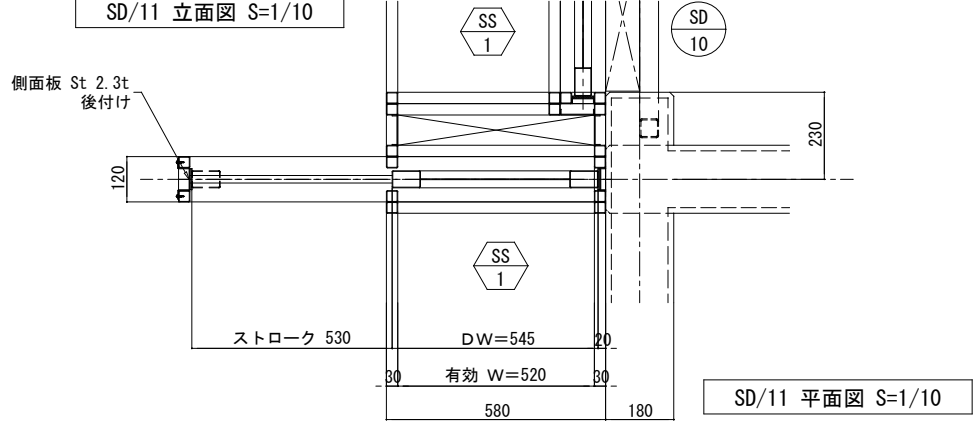
南レA-3 7  
No.



SD/11 断面図 S=1/10



SD/11 立面図 S=1/10



SD/11 平面図 S=1/10

符 号 数 量		取付場所	シュート間仕切り	
SD 11	4	種 類	引き戸	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）	
		格子他	2.3t フサギ	
部 品 名		品 番	数量	摘 要
SUS/ドアハンガー		φ38 単車	2	
SUS/レール			1	
SUS/ブラケット		天井受下	3	
AL/強力チェーン			1	
SUS/カナビラ			2	

（部品数量は1台当りの数量を示す。）



山梨建築設計監理事業協同組合

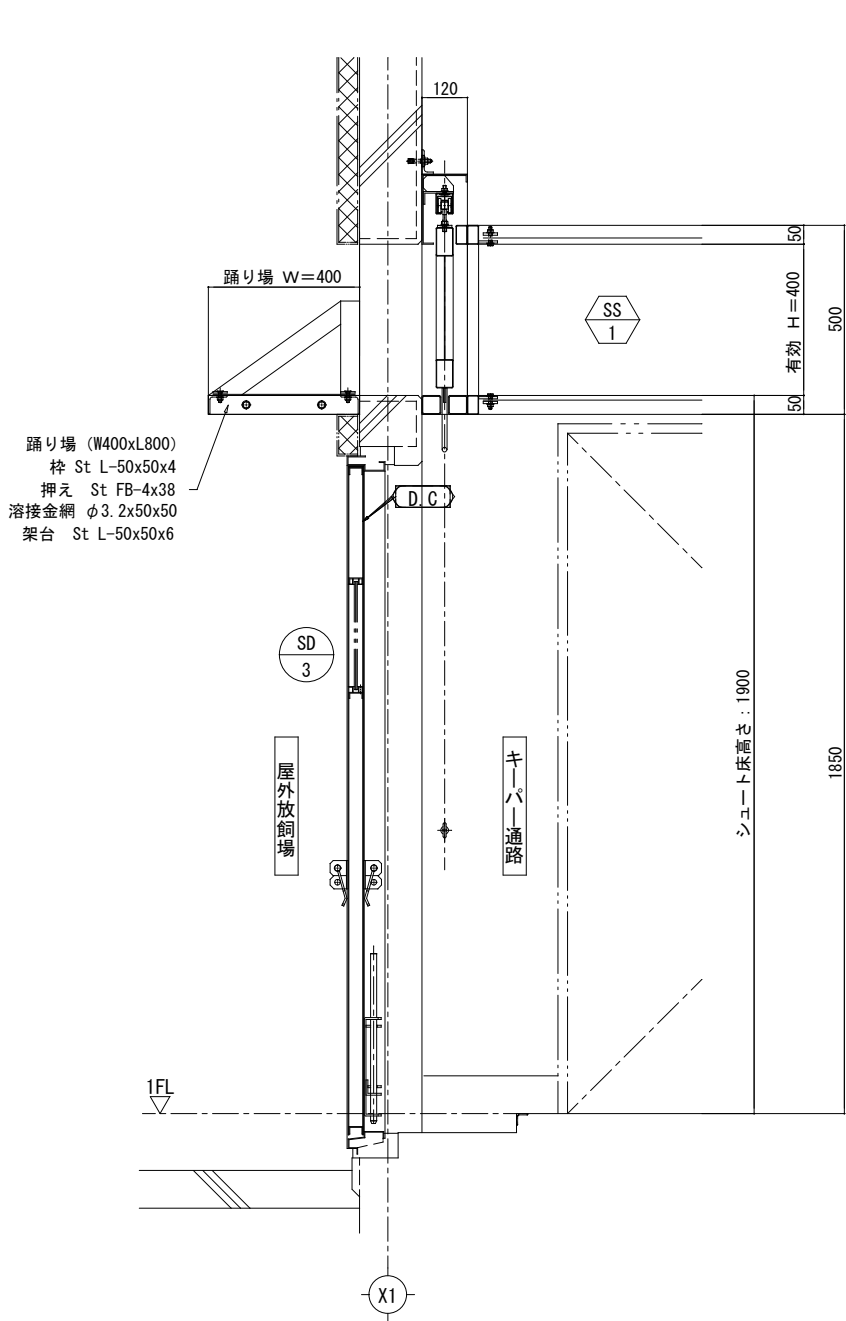
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SD-11 姿図

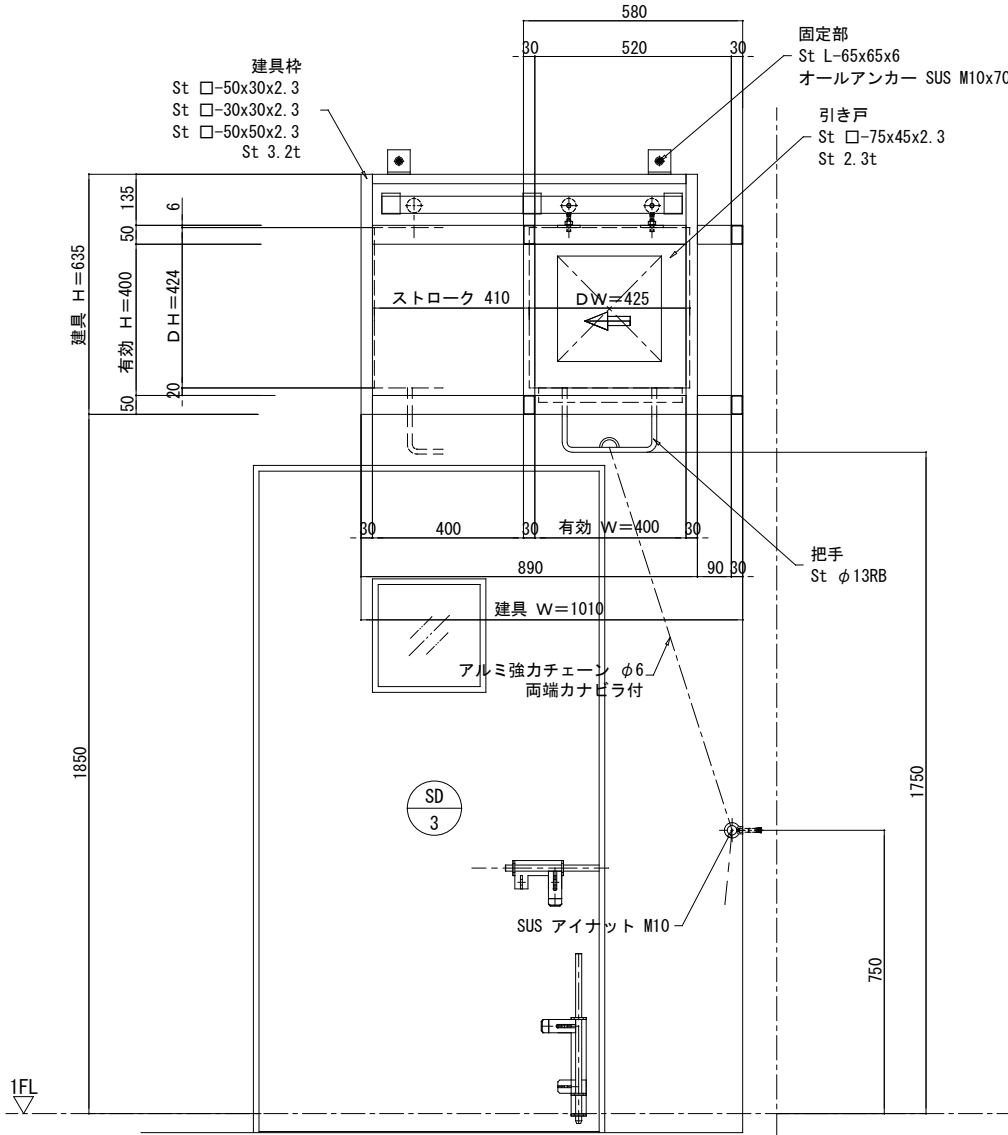
南レA-3 8  
No.

符 号 数 量		取付場所	シュート - 屋外放飼場	
SD 12	2	種 類	引き戸	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）	
		格子他	2.3t フサギ	
部 品 名		品 番	数量	摘 要
SUS/ドアハンガー		φ38 単車	2	
SUS/レール			1	
SUS/ブラケット		天井受下	3	
AL/強力チェーン			1	
SUS/カナビラ			2	

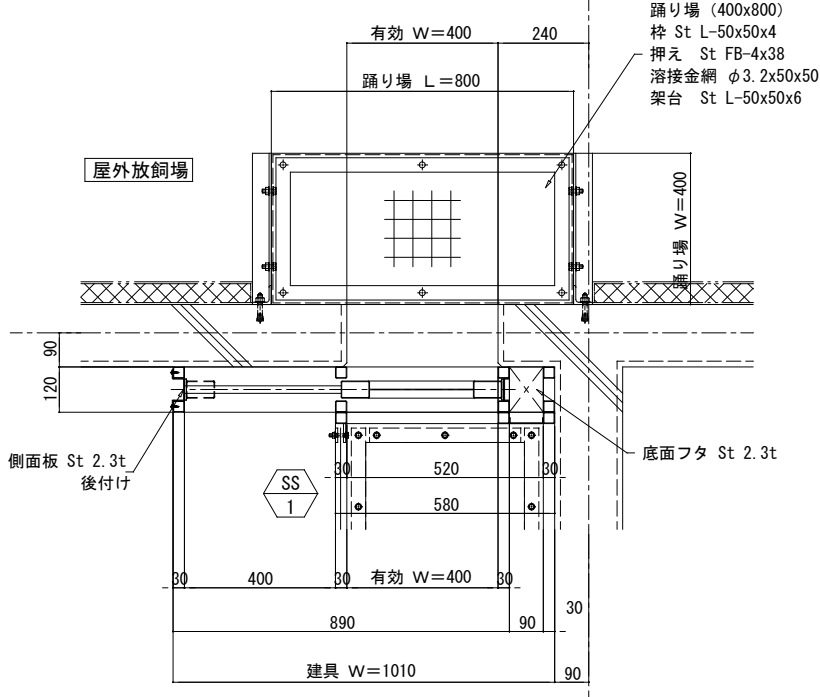
（部品数量は1台当りの数量を示す。）



SD/12 断面図 S=1/10

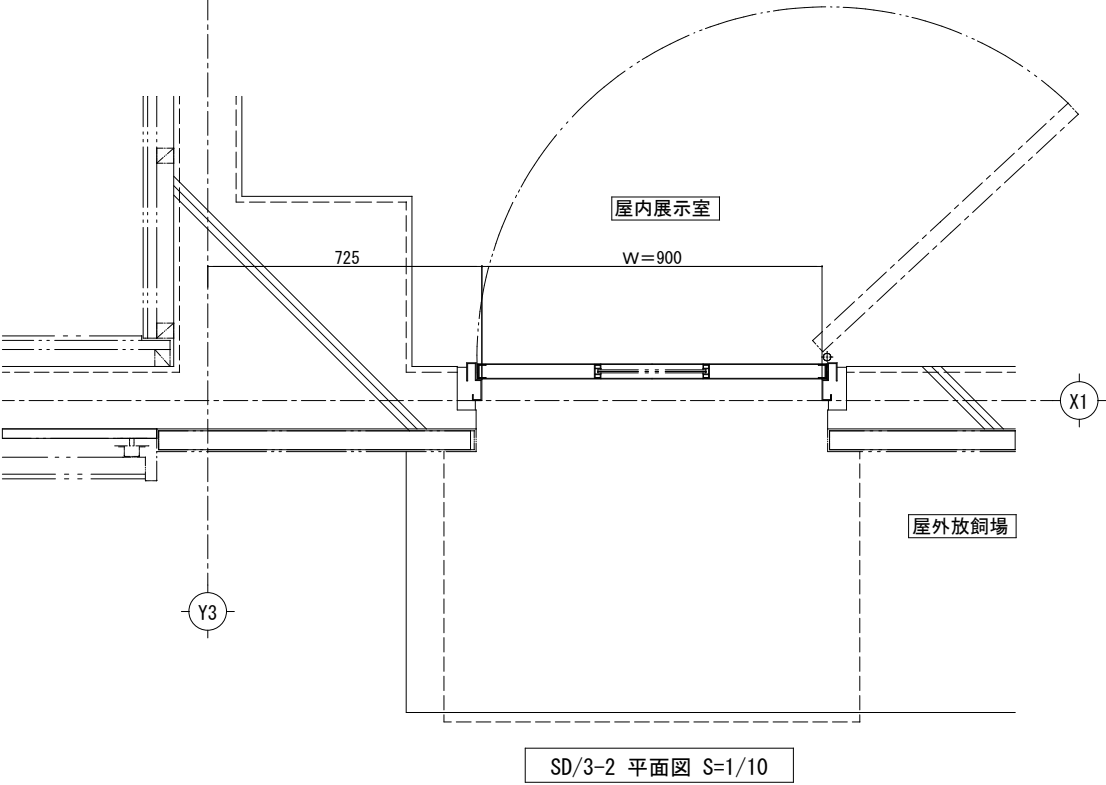
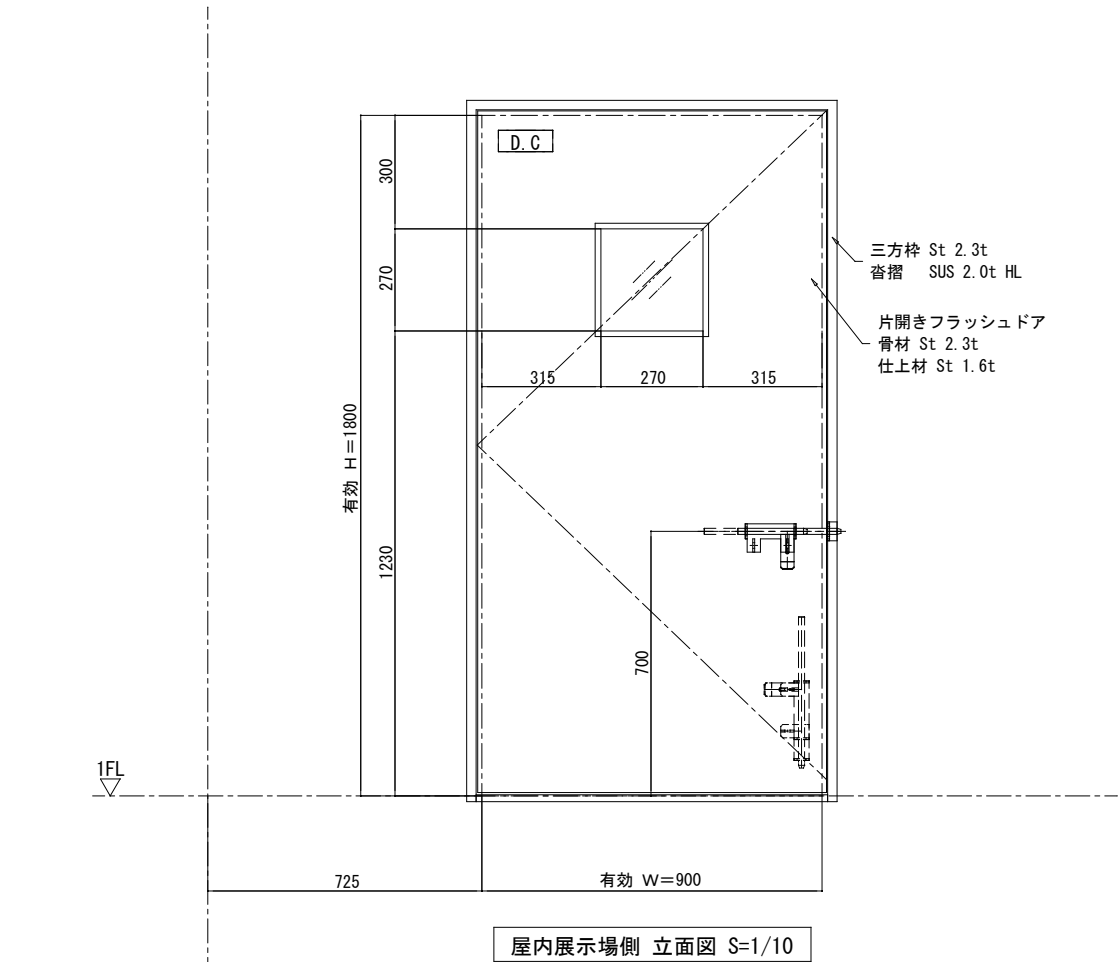
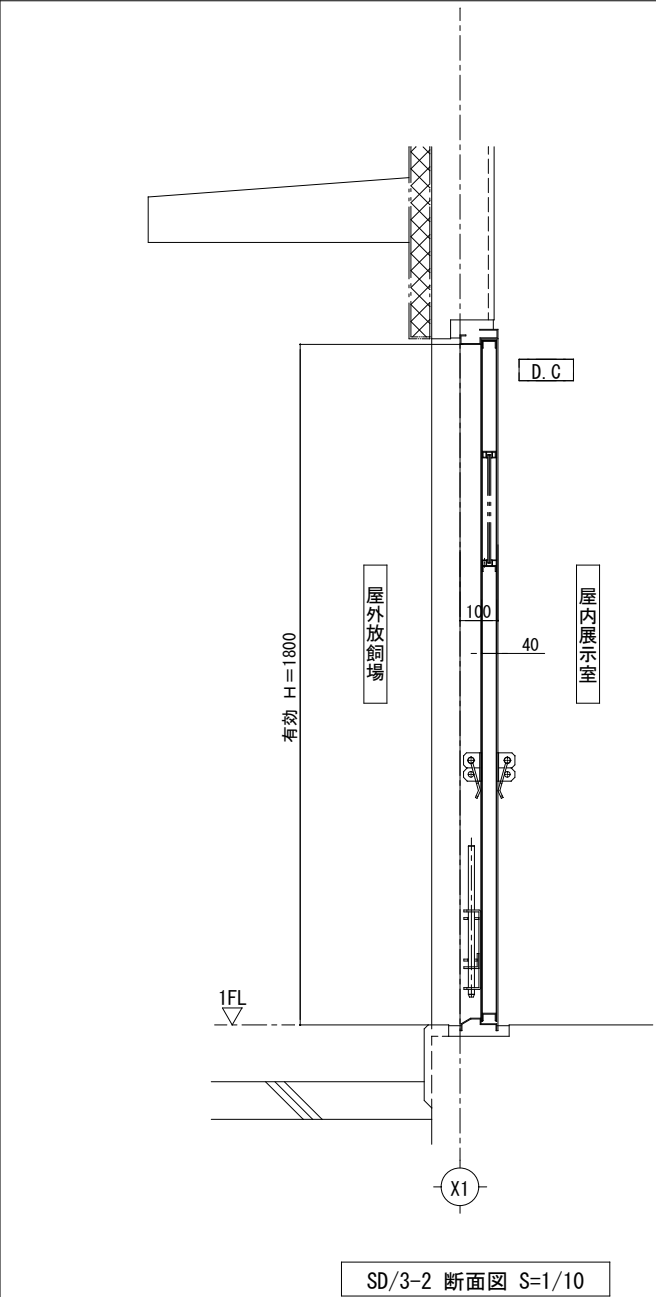


SD/12 立面図 S=1/10



SD/12 平面図 S=1/10





符 号	数 量	取付場所	屋外放飼場 - 屋内展示室	
SD	2	種 類	片開き戸	
3-2		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)	
		格子他	フラッシュ扉	
			強化合わせガラス t=4+4	
部 品 名		品 番	数 量	摘 要
SUS/カンヌキ		φ16RB	2	両面
SUS/丸落とし棒		φ16RB	1	屋外放飼場側
SUS/丁番			3	
D.C			1	

(部品数量は1台当りの数量を示す。)

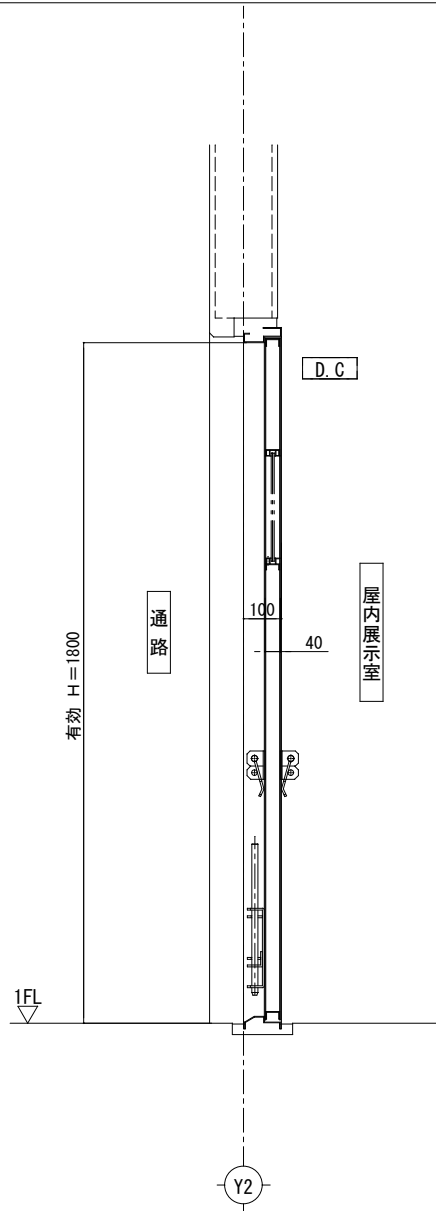


山梨建築設計監理事業協同組合

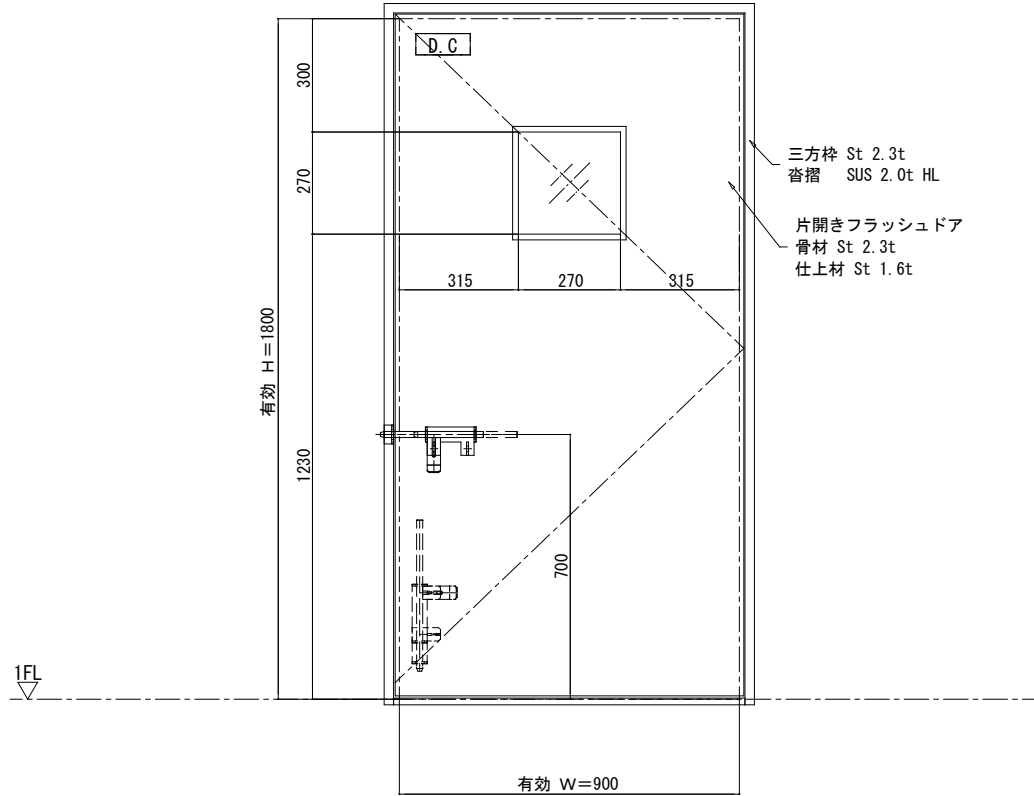
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SD-3-2 姿図

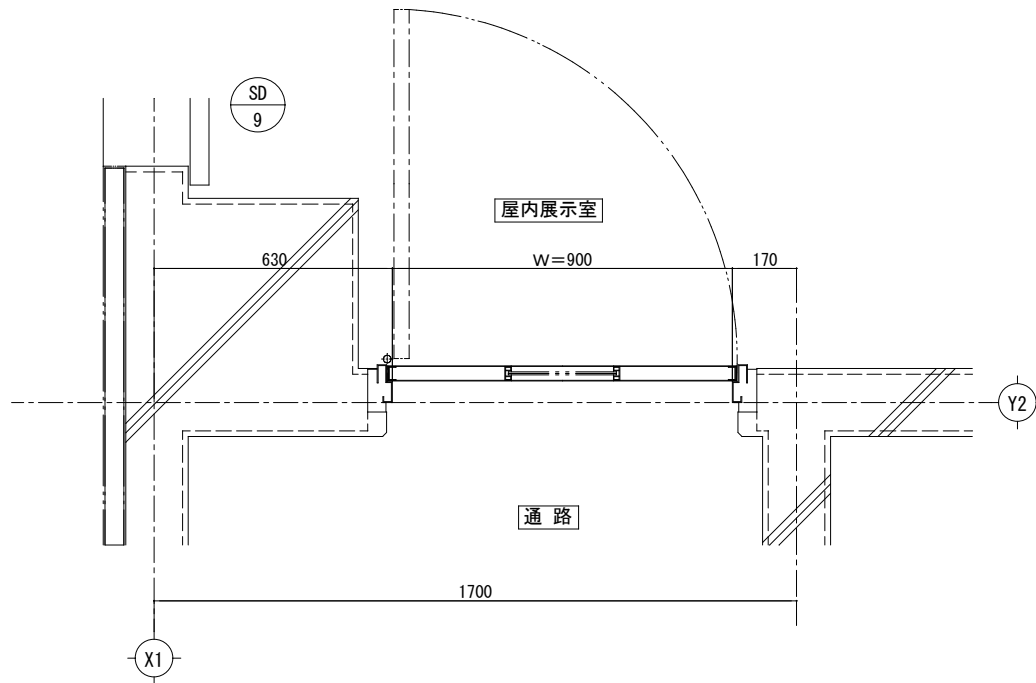
南レA-40  
No.



SD/3-3 断面図 S=1/10



屋内展示場側 立面図 S=1/10



SD/3-3 平面図 S=1/10

符 号 数 量		取付場所	通路 - 屋内展示室	
SD 3-3	2	種 類	片開き戸	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)	
		格子他	フラッシュ扉	
		強化合わせガラス t=4+4		
部 品 名		品 番	数 量	摘 要
SUS/カンヌキ		φ16RB	2	両面
SUS/丸落とし棒		φ16RB	1	通路側
SUS/丁番			3	
D.C			1	

(部品数量は1台当りの数量を示す。)



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

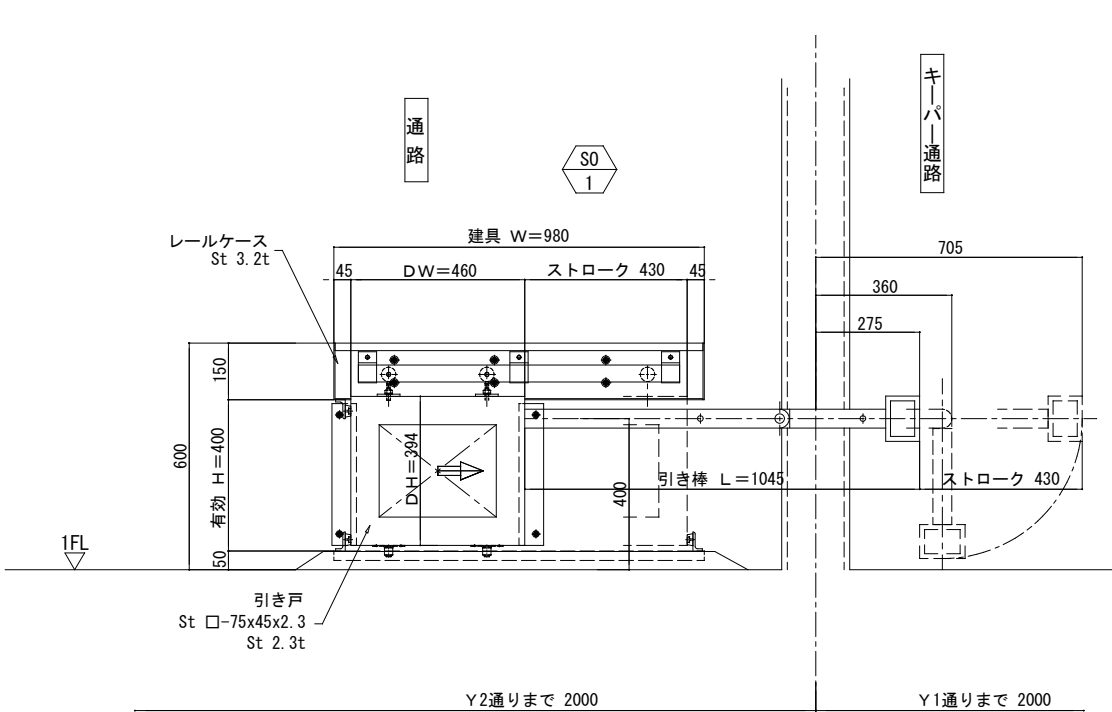
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)

図面名称 レッサーパンダ舎 SD-3-3 姿図

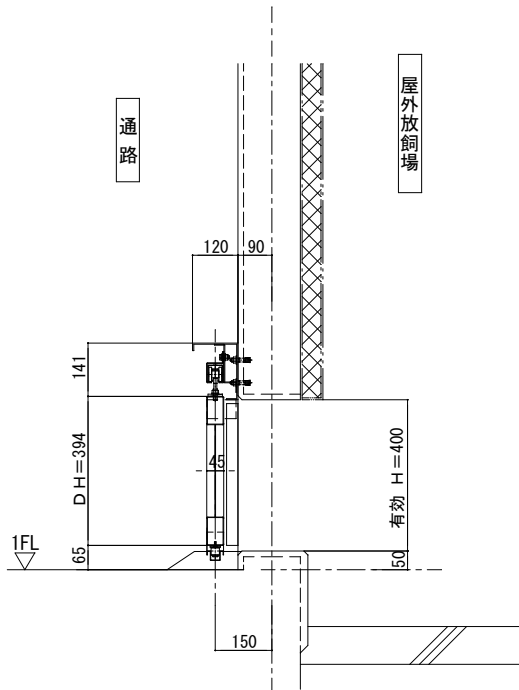
南レA-4 1  
No.

符 号 量		取付場所	通路 - 屋外放飼場	
SD 6	2	種 類	引き棒操作式 引き戸	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)	
		格子他	2.3t フサギ	
部 品 名		品 番	数量	摘 要
SUS/ドアハンガー		φ38 単車	2	
SUS/レール			1	
SUS/ブラケット		横受け	3	
SUS/ガイドローラー			2	
SUS/ガイドレール			1	
SUS/引き棒		FB-8x50	1	
SUS/引き棒カンヌキ		φ12RB	1	
戸当りゴム		H=15	3	

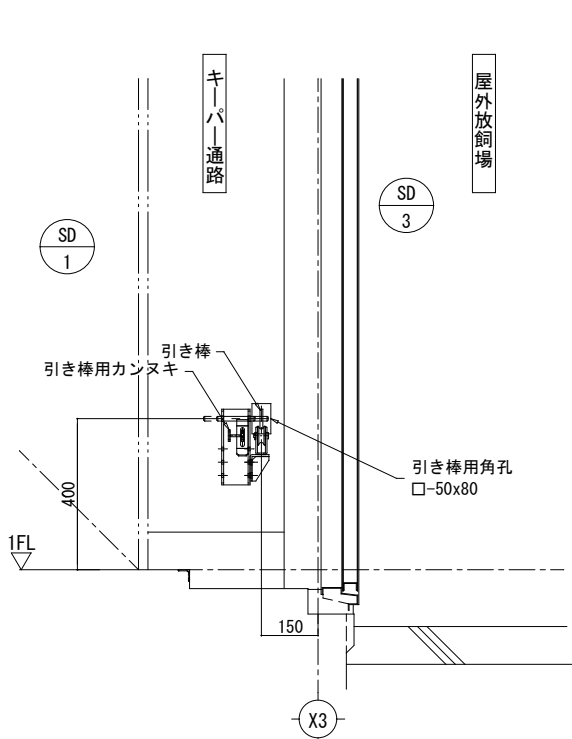
（部品数量は1台当りの数量を示す。）



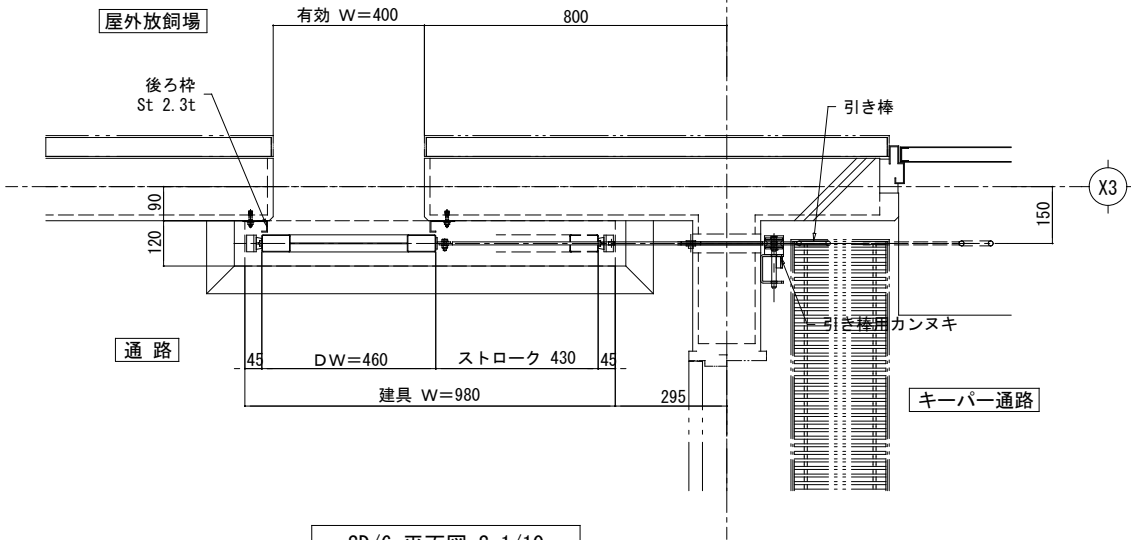
SD/6 立面図 S=1/10



SD/6 断面図 S=1/10



SD/6 キーパー通路側 立面図 S=1/10



SD/6 平面図 S=1/10



山梨建築設計監理事業協同組合

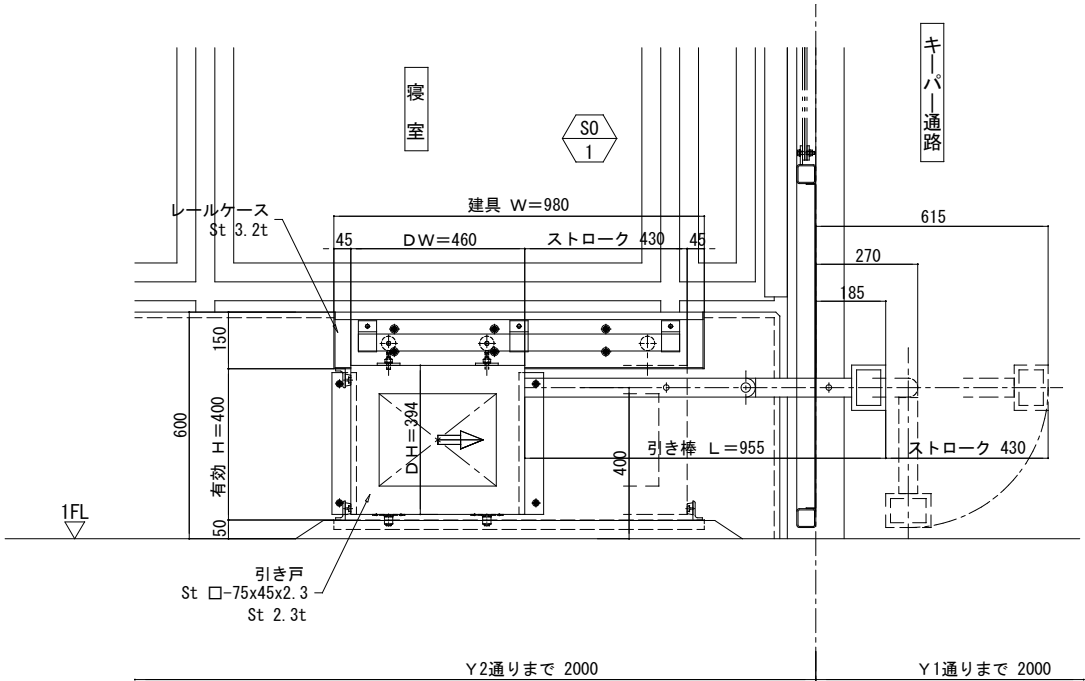
承認	代表設計者	設計担当者	縮 尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SD-6 姿図

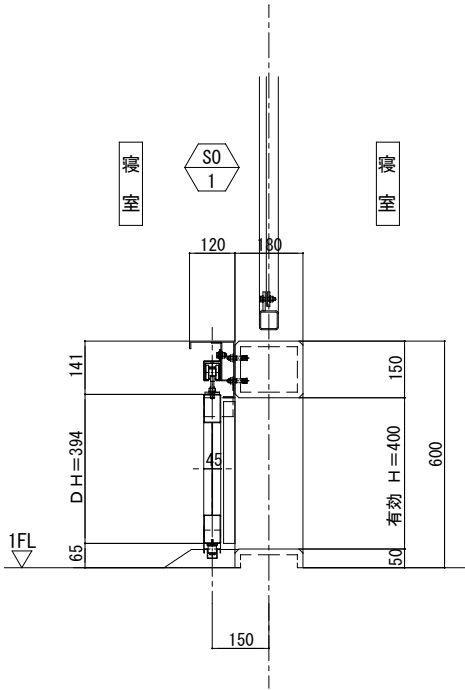
南レA-4 2  
No.

符 号 数 量		取付場所	寝室 - 寝室	
SD 8	6	種 類	引き棒操作式 引き戸	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）	
		格子他	2.3t フサギ	
部 品 名		品 番	数 量	摘 要
SUS/ドアハンガー		φ38 単車	2	
SUS/レール			1	
SUS/ブラケット		横受け	3	
SUS/ガイドローラー			2	
SUS/ガイドレール			1	
SUS/引き棒		FB-8x50	1	
SUS/引き棒カンヌキ		φ12RB	1	
戸当りゴム		H=15	3	

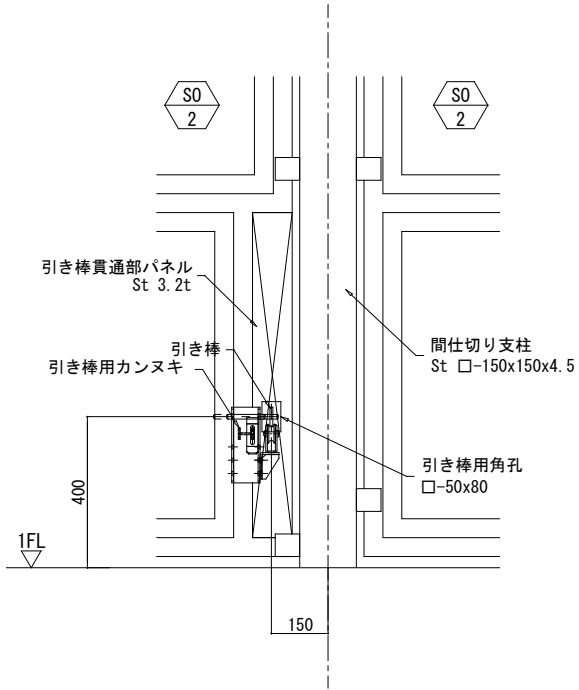
（部品数量は1台当りの数量を示す。）



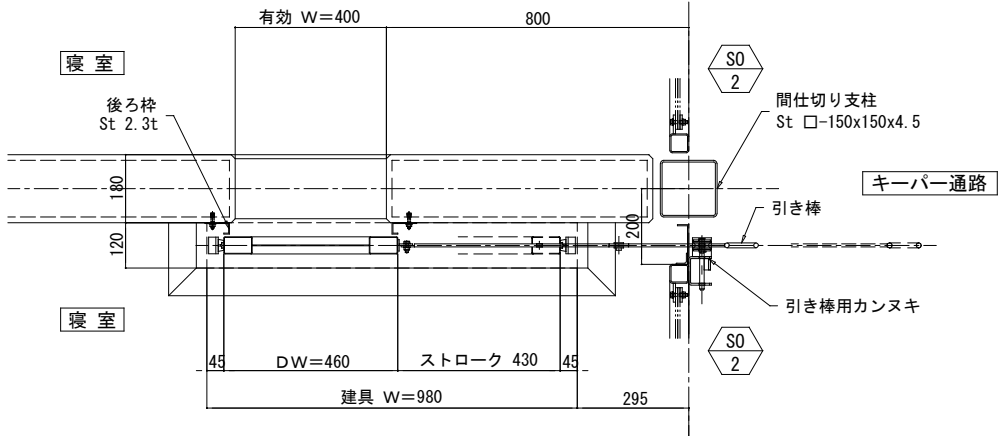
SD/8 立面図 S=1/10



SD/8 断面図 S=1/10

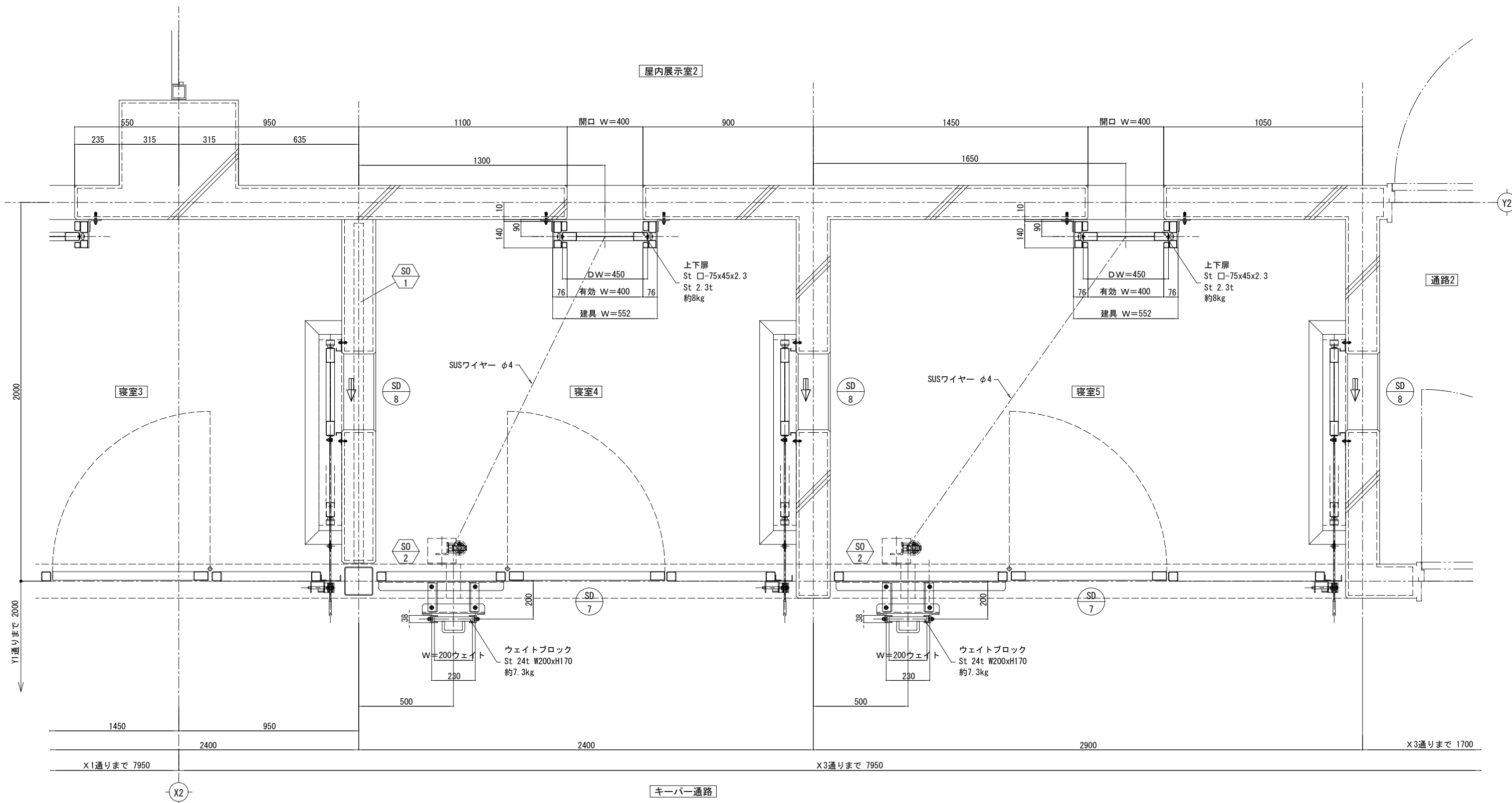


キーパー通路側 立面図 S=1/10



SD/8 平面図 S=1/10





SD/5 平面図 S=1/10

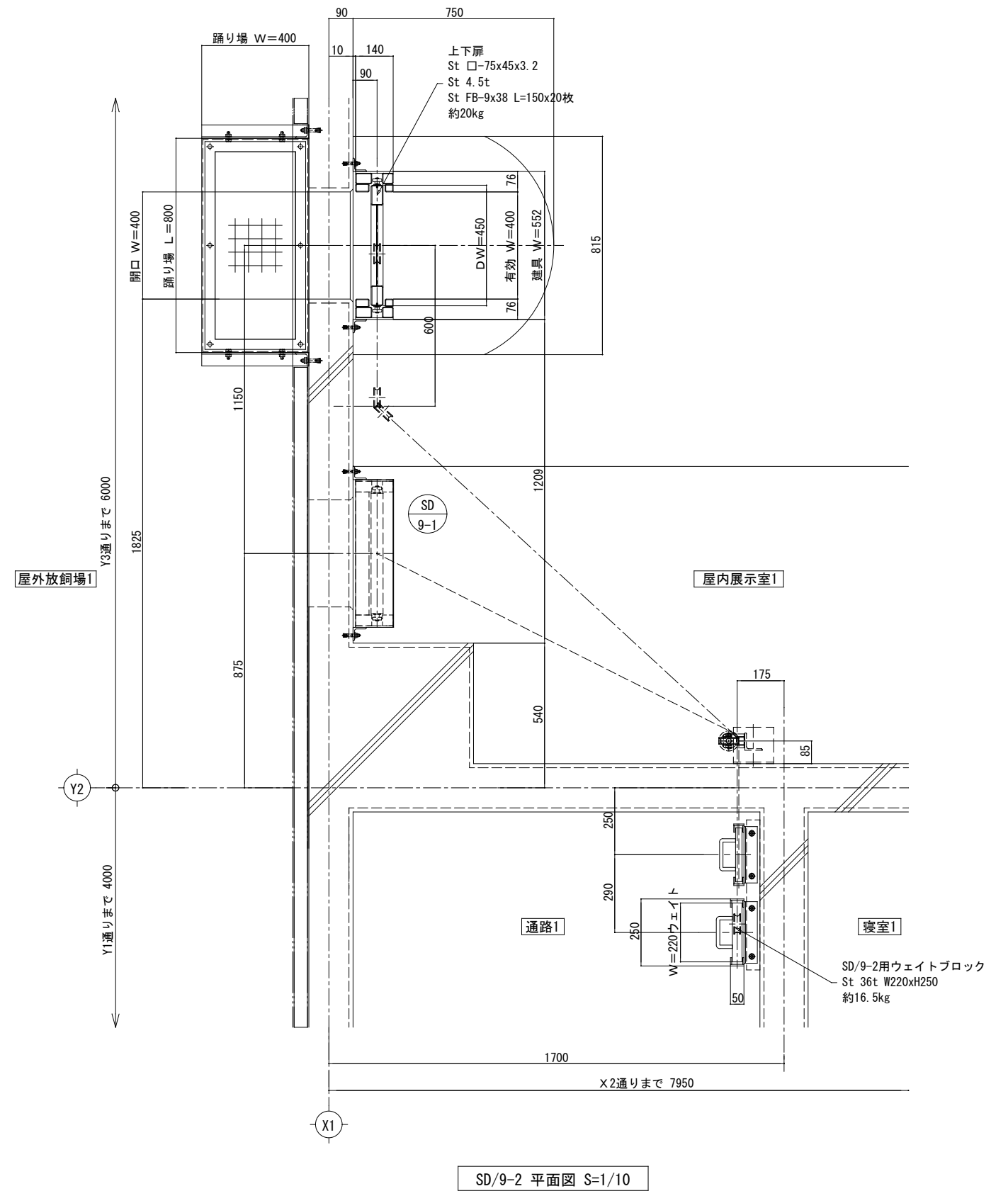
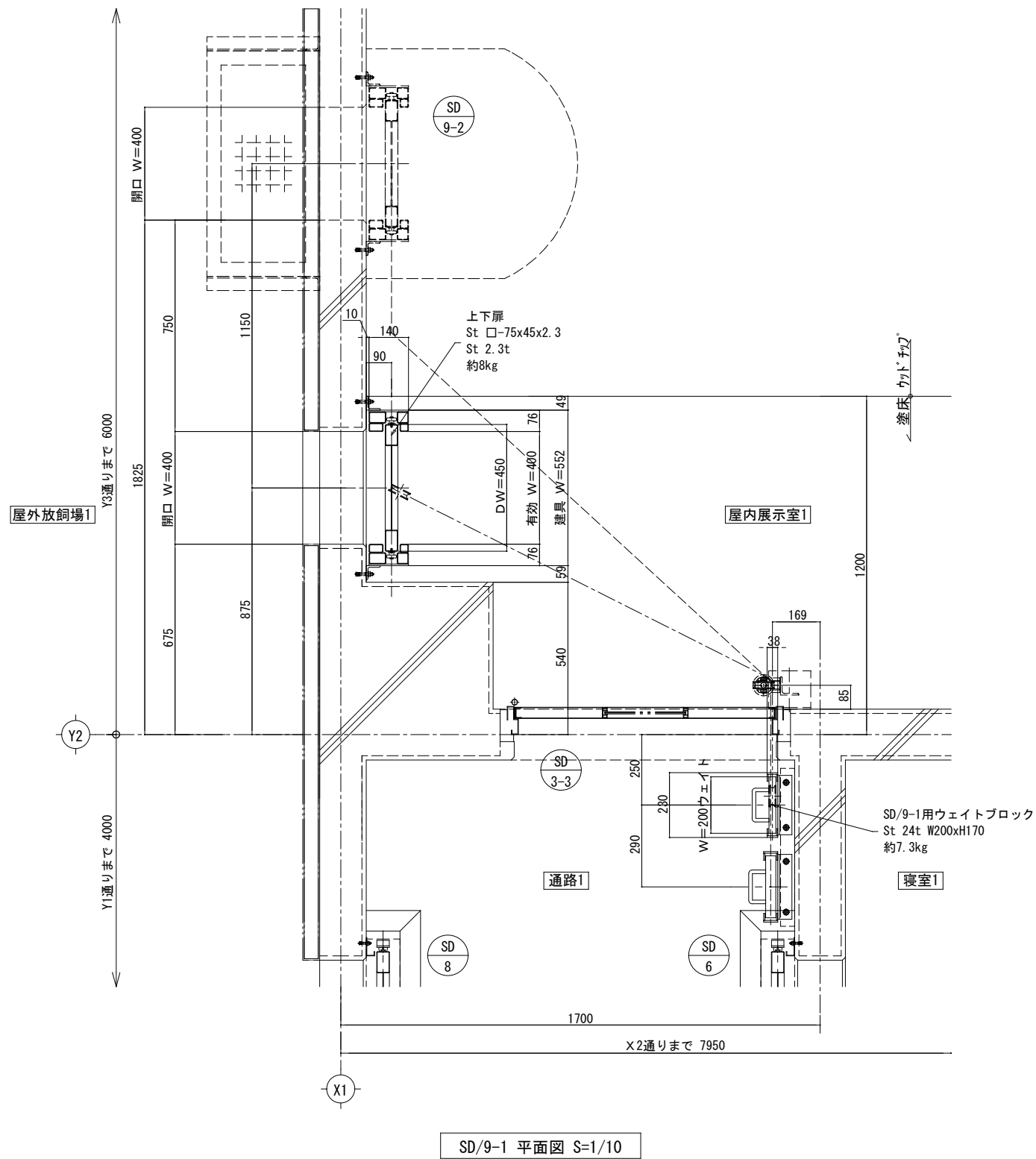



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
	一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SD-5 平面図







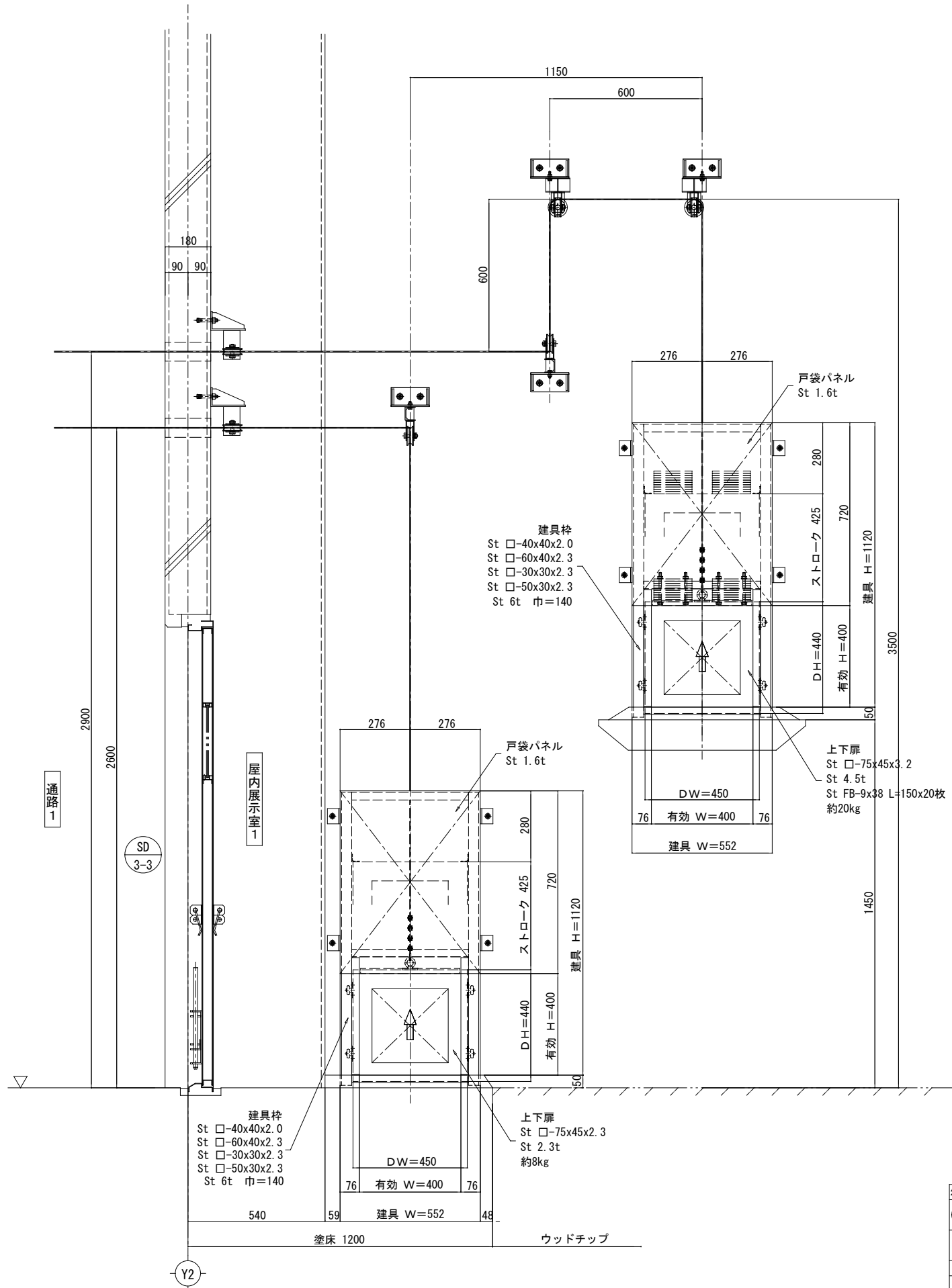

山梨建築設計監理事業協同組合

承認	代表設計者	設計担当者	縮尺
一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕		A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

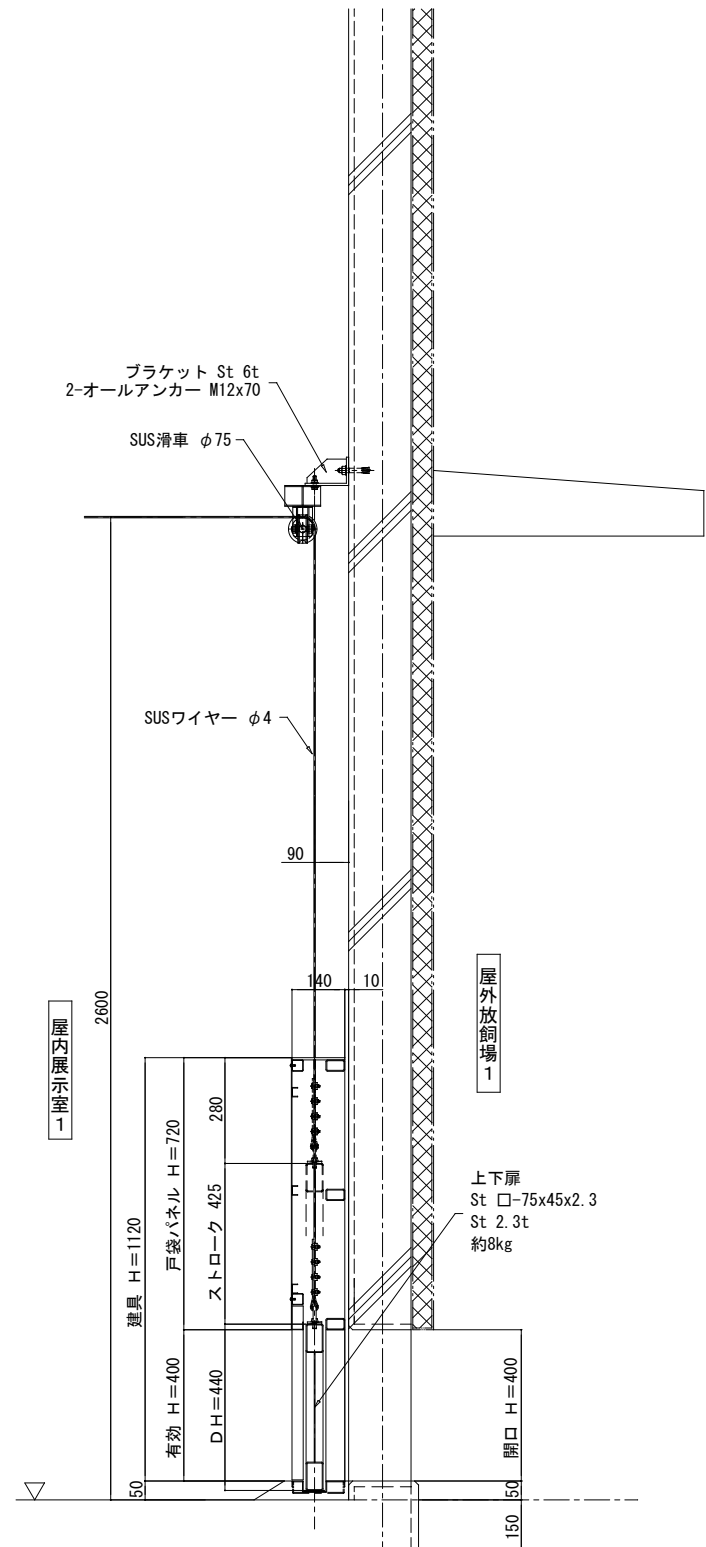
工事名称	遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)
図面名称	レッサーパンダ舎 SD-9 姿図

南レA-4 7  
No.





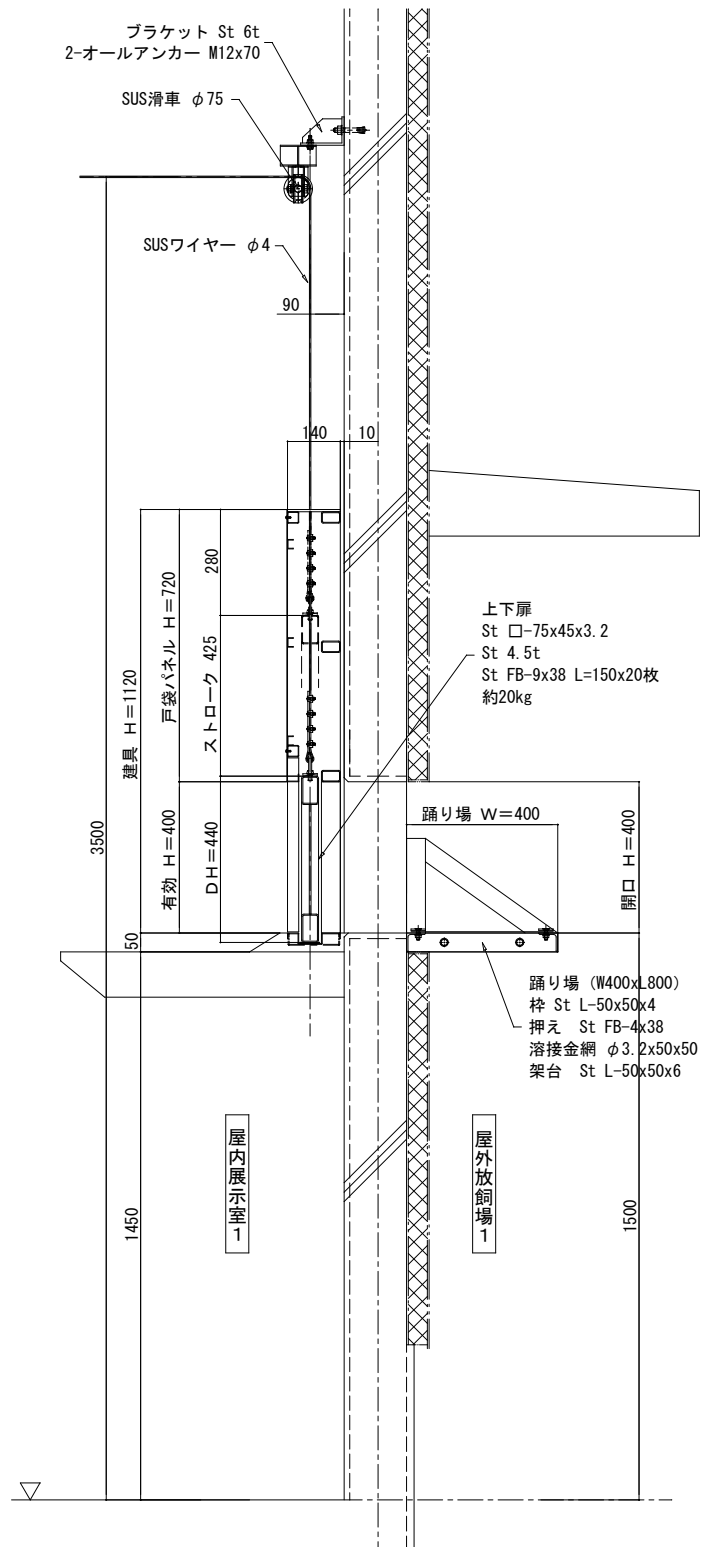
SD/9-1・2 立面図 S=1/10



SD/9-1 断面図 S=1/10

符 号 数 量		取付場所	屋内展示室1・2 - 屋外放飼場1・2	
SD 9-1	2	種 類	ウェイト操作式 上下扉	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)	
扉側		格子他	2.3t フサギ	
部 品 名		品 番	数量	摘 要
SUS/滑車		φ75	1	
SUS/アイボルト		M10	1	
SUS/ガイドローラー		φ35	4	

(部品数量は1台当りの数量を示す。)



SD/9-2 断面図 S=1/10

符 号 数 量		取付場所	屋内展示室1・2 - 屋外放飼場1・2	
SD 9-2	2	種 類	ウェイト操作式 上下扉	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)	
扉側		格子他	4.5t フサギ	
部 品 名		品 番	数量	摘 要
SUS/滑車		φ75	3	
SUS/アイボルト		M10	1	
SUS/ガイドローラー		φ35	4	

(部品数量は1台当りの数量を示す。)

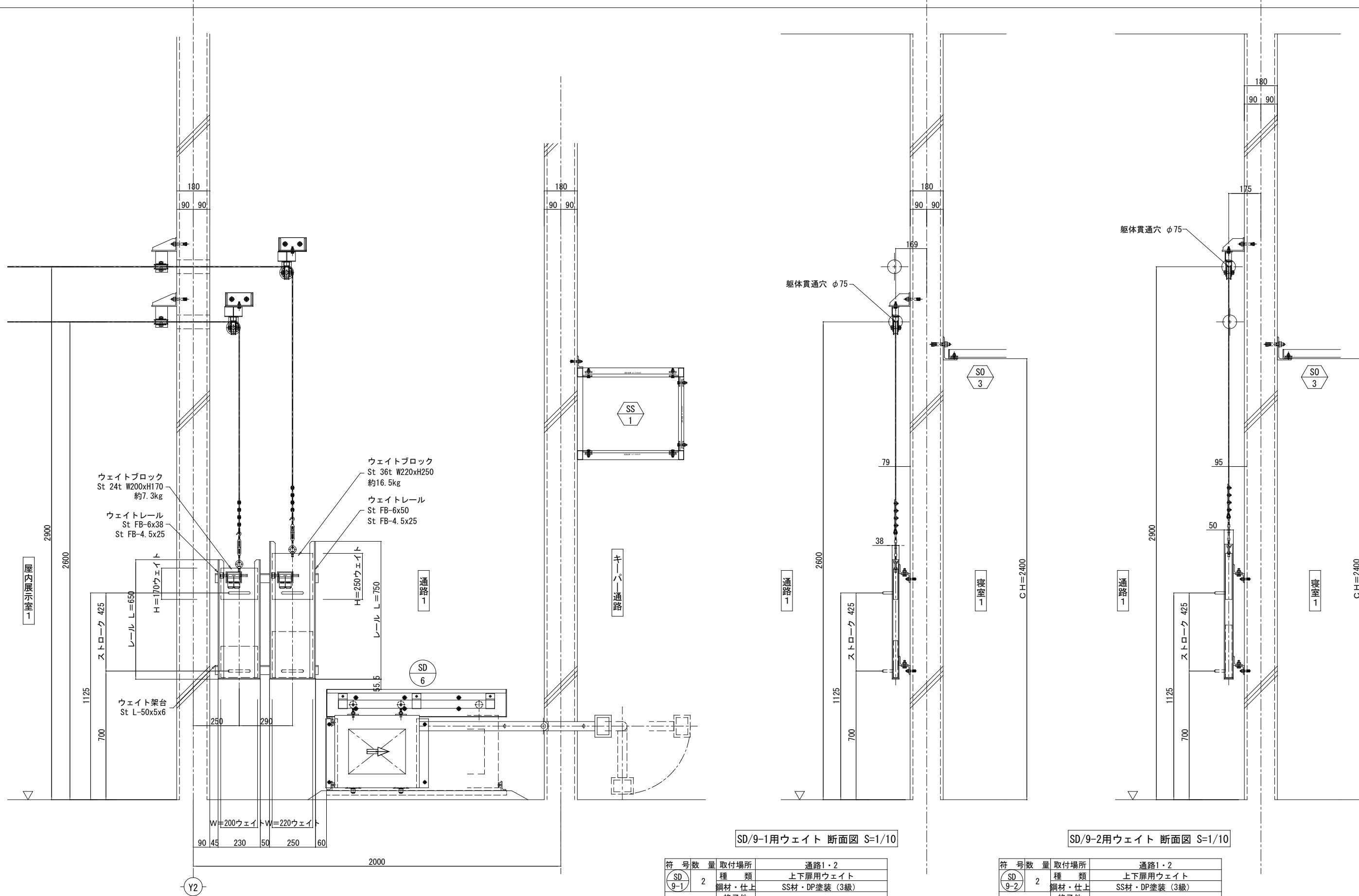


山梨建築設計監理事業協同組合

承認 代表設計者 設計担当者 縮 尺  
一級建築士 一級建築士 A1→1/10 A3→1/20  
第145710号 第195053号 設計年月日  
佐野 正秀 坪川 裕

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッサーパンダ舎)  
図面名称 レッサーパンダ舎 SD-9 姿図

南レA-4 8  
No.



SD/9-1・2用ウェイト 立面図 S=1/10

SD/9-1用ウェイト 断面図 S=1/10

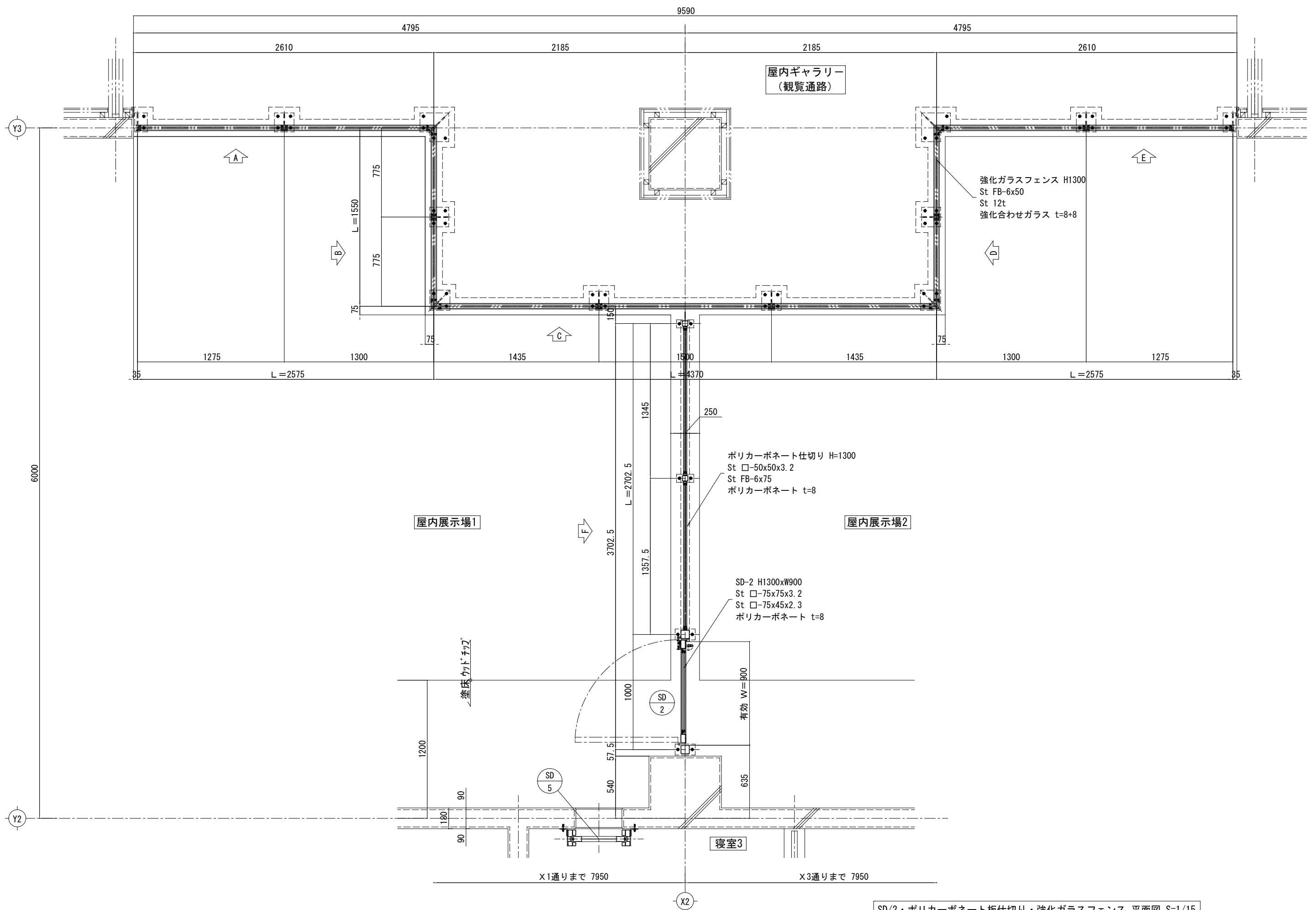
SD/9-2用ウェイト 断面図 S=1/10

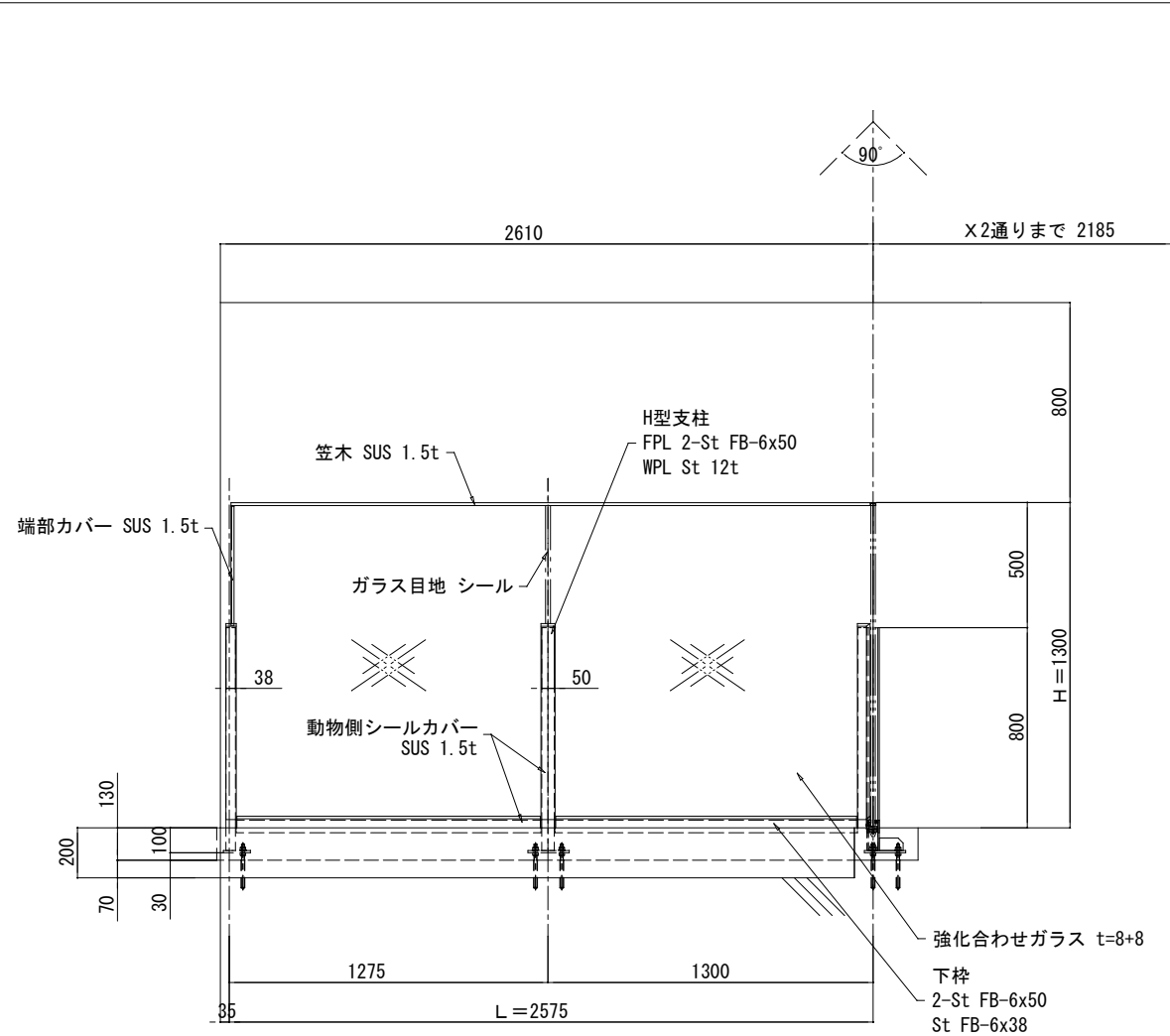
符 号	数 量	取付場所	通路1・2
SD 9-1	2	種 類	上下扉用ウェイト
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)
ウェイト側		格子他	
部 品 名	品 番	数 量	摘 要
SUS/滑車	φ75	2	
SUS/アイボルト	M10	1	
SUS/Wカンヌキ	φ12	1	
把手	φ13RB	1	

(部品数量は1台当りの数量を示す。)


符 号	数 量	取付場所	通路1・2
SD 9-2	2	種 類	上下扉用ウェイト
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装 (3級)
ウェイト側		格子他	
部 品 名	品 番	数 量	摘 要
SUS/滑車	φ75	2	
SUS/アイボルト	M10	1	
SUS/Wカンヌキ	φ12	1	
把手	φ13RB	1	

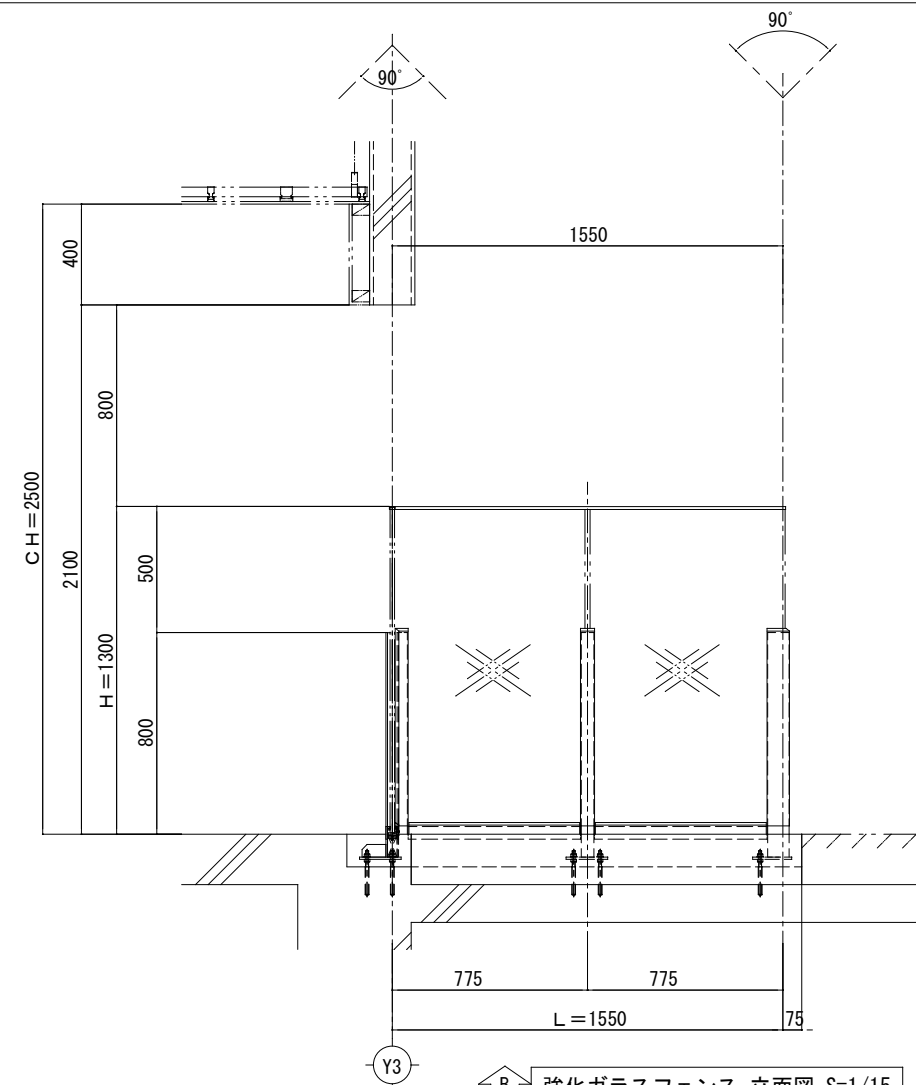
(部品数量は1台当りの数量を示す。)






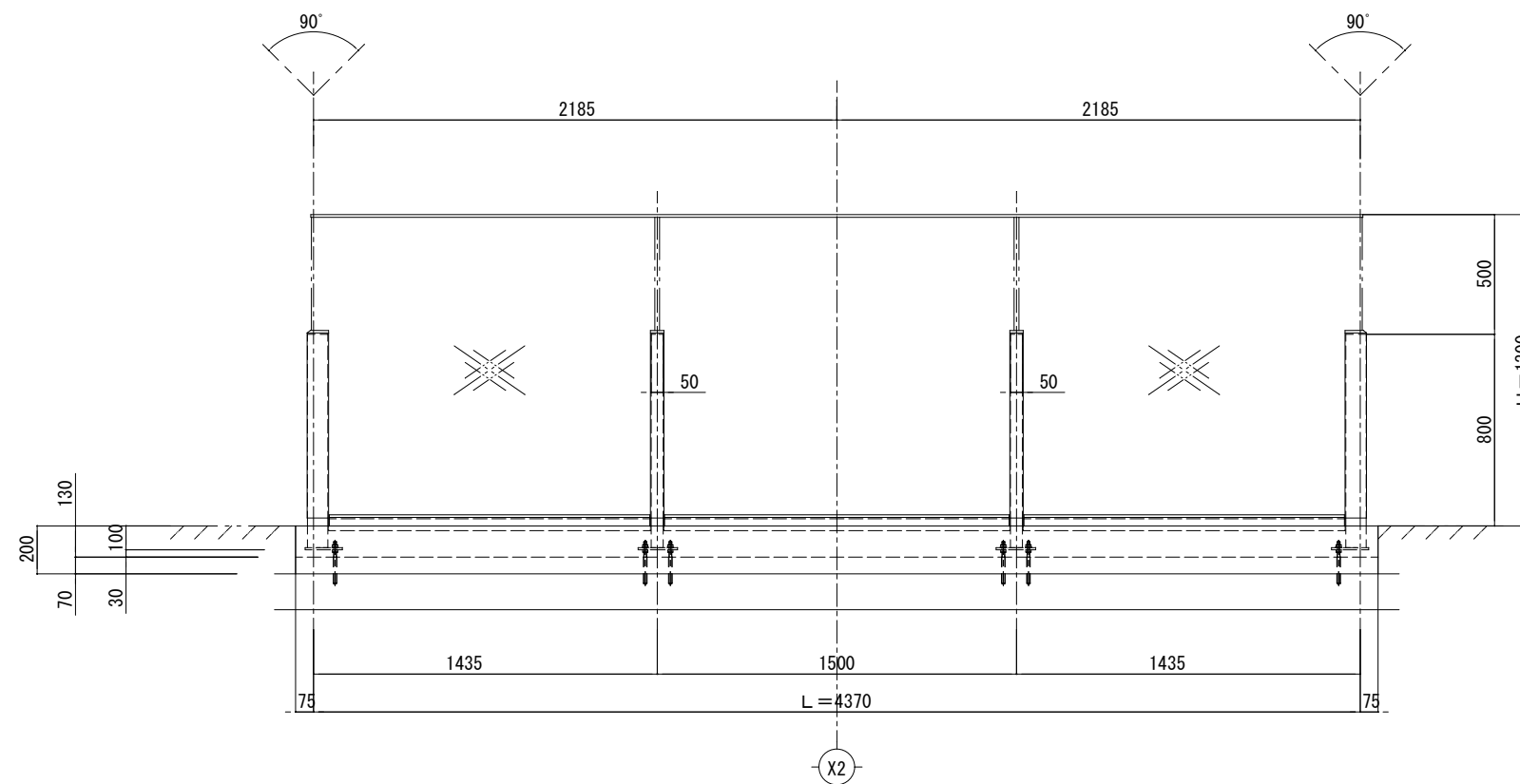
**A** 強化ガラスフェンス 立面図 S=1/15


 E は本図対称

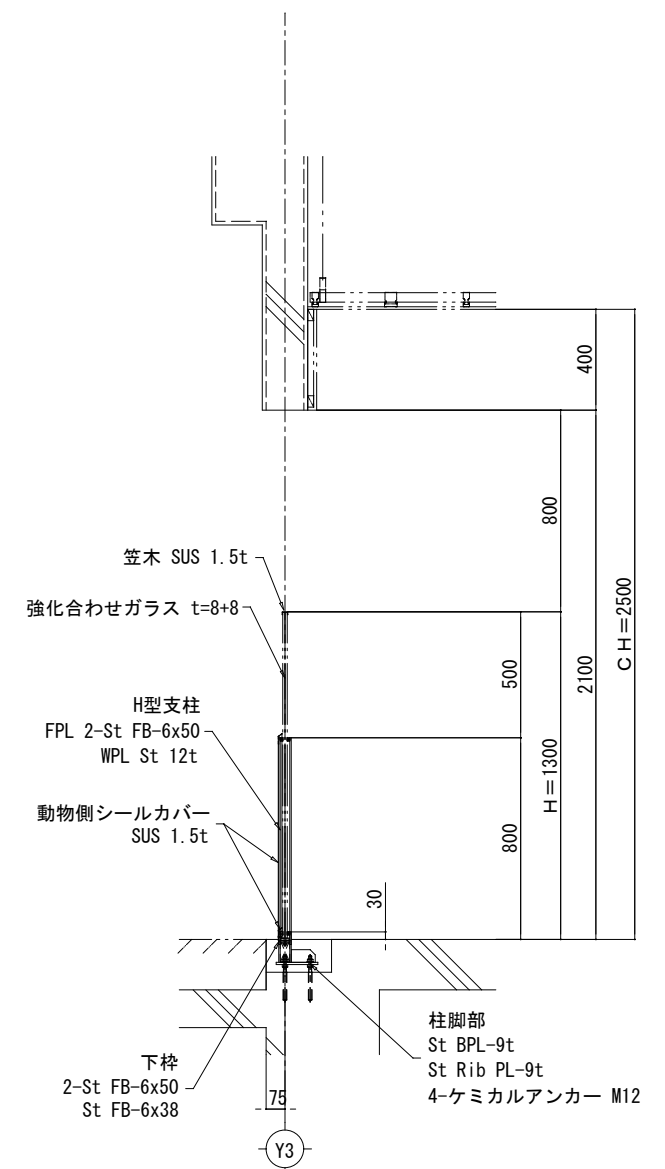


**B** 強化ガラスフェンス 立面図 S=1/15

 D は本図対称



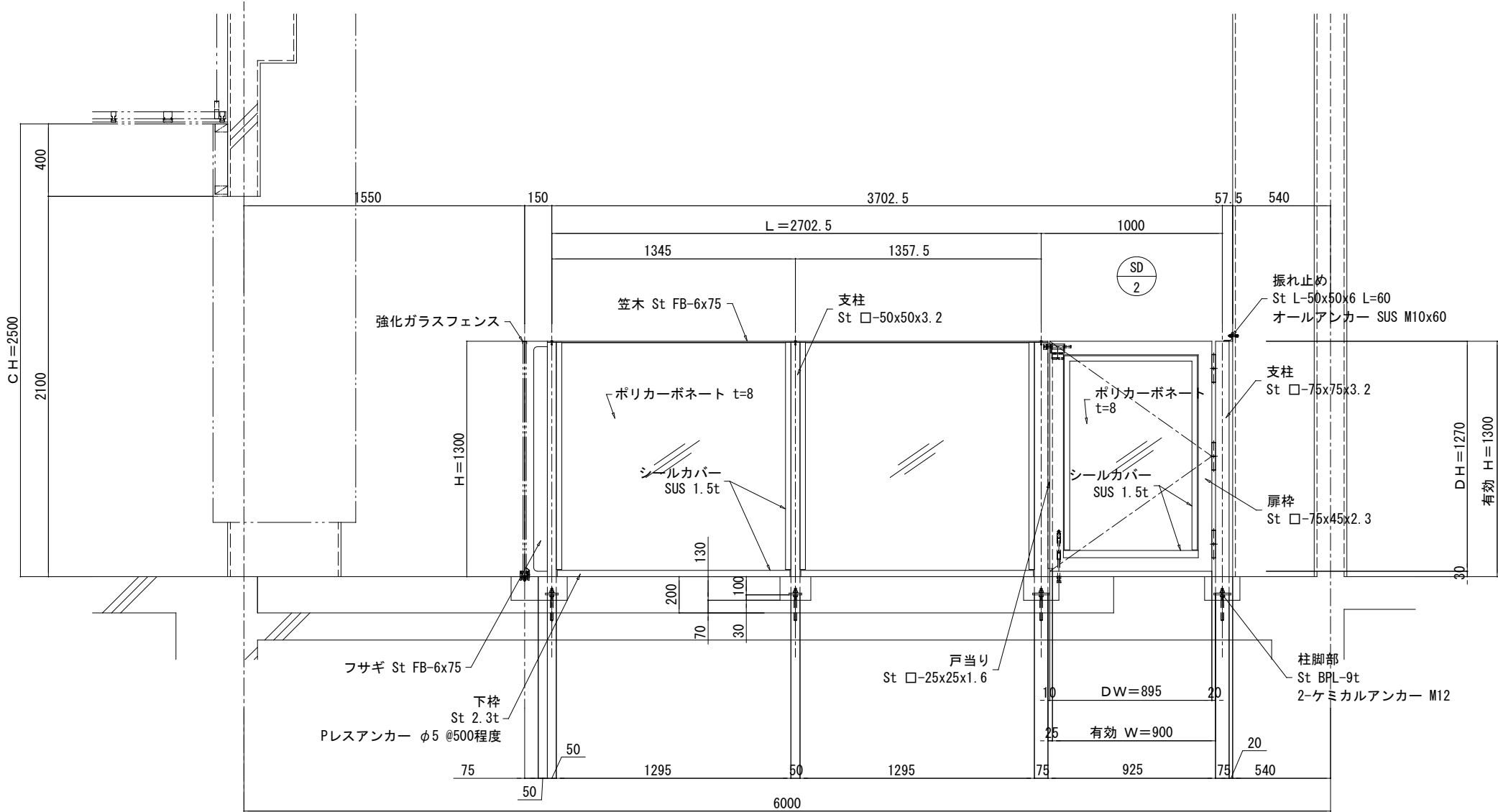
 強化ガラスフェンス 立面図 S=1/15



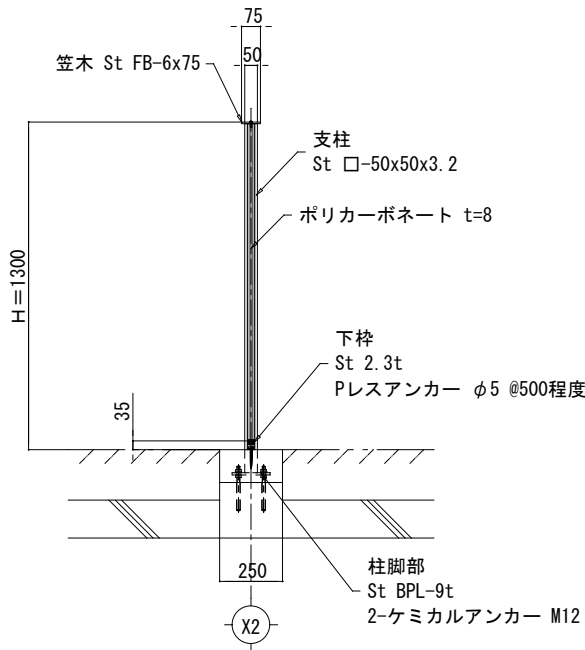
強化ガラスフェンス 断面図 S=1/15

符 号 数 量		取付場所	屋内展示室1 - 屋内展示室2	
SD 2	1	種 類	片開き戸	
		鋼材・仕上	SS材・DP塗装（3級）	
		格子他	ポリカーボネート t=8	
部 品 名		品 番	数 量	摘 要
SUS/カンヌキ		φ12RB	1	屋内展示室1側
SUS/丸落とし棒		φ16RB	1	屋内展示室2側
SUS/丁番			3	

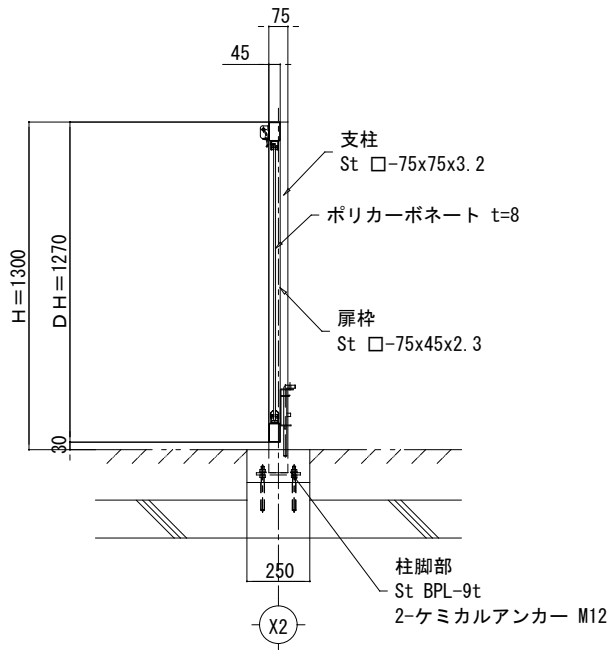
（部品数量は1台当りの数量を示す。）



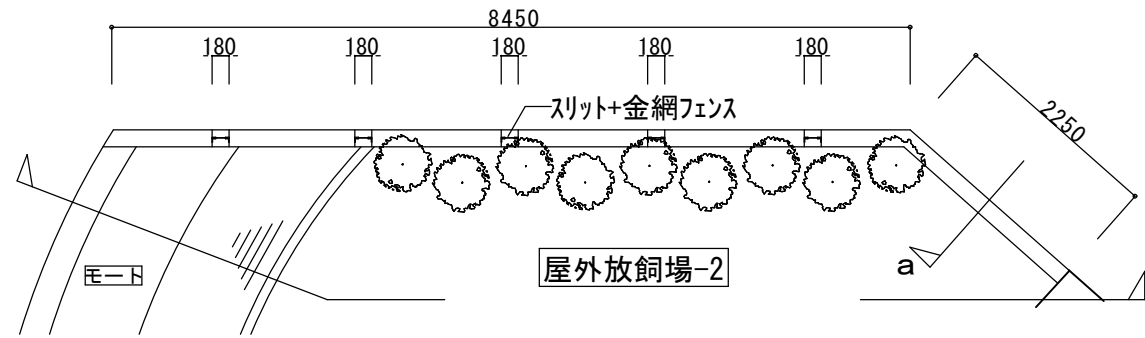
SD/2・ポリカーボネート板仕切り 立面図 S=1/15



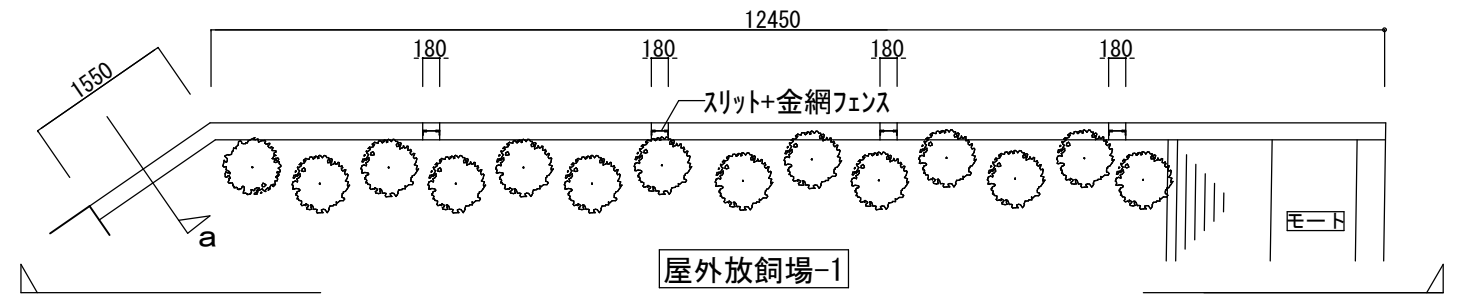
ポリカーボネート仕切り 断面図 S=1/15



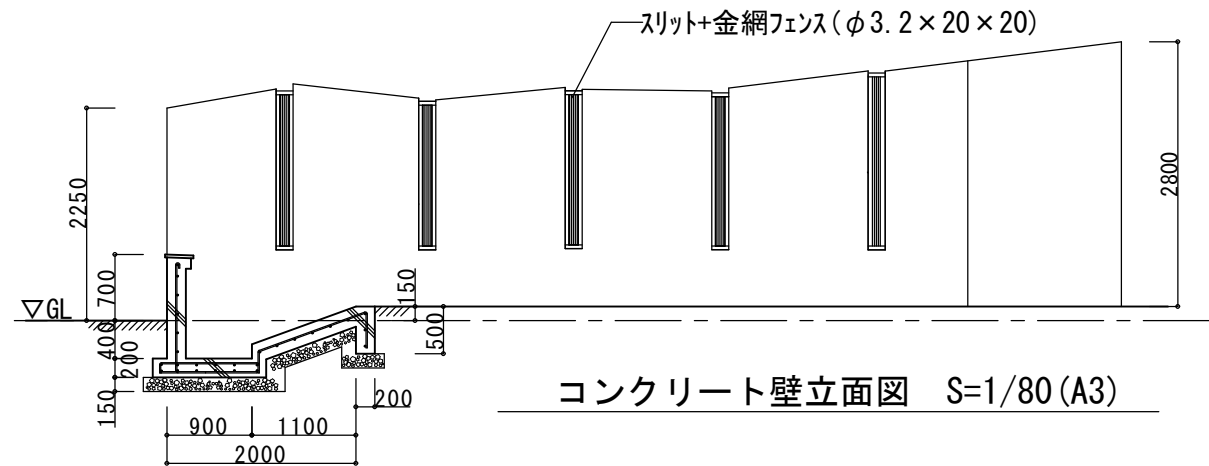
SD-2 断面図 S=1/15



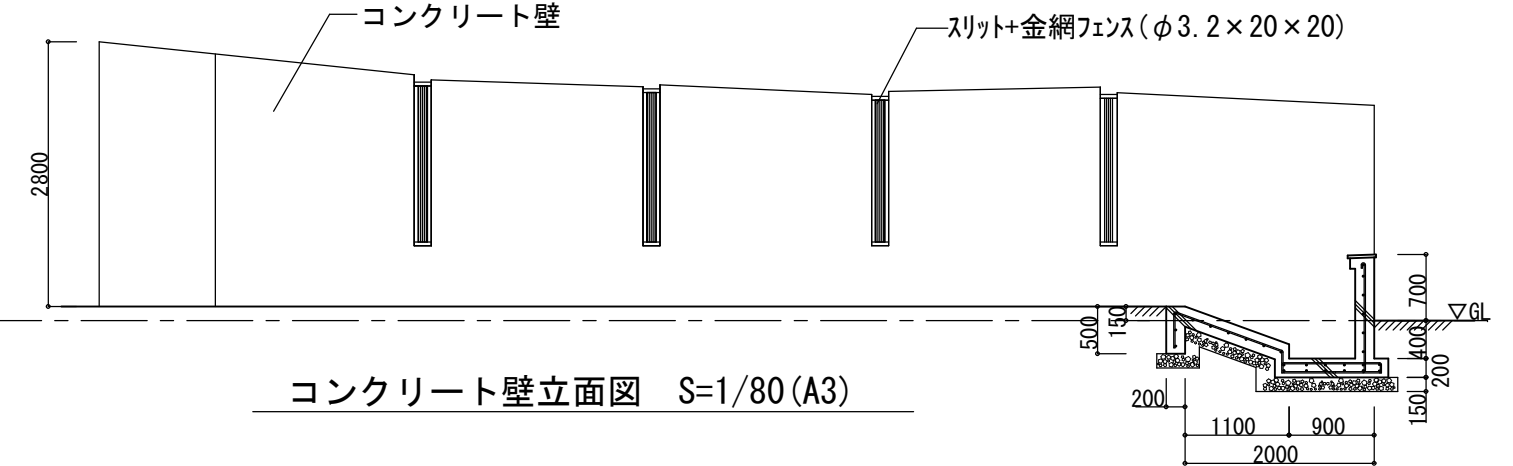
コンクリート壁平面図 S=1/80 (A3)



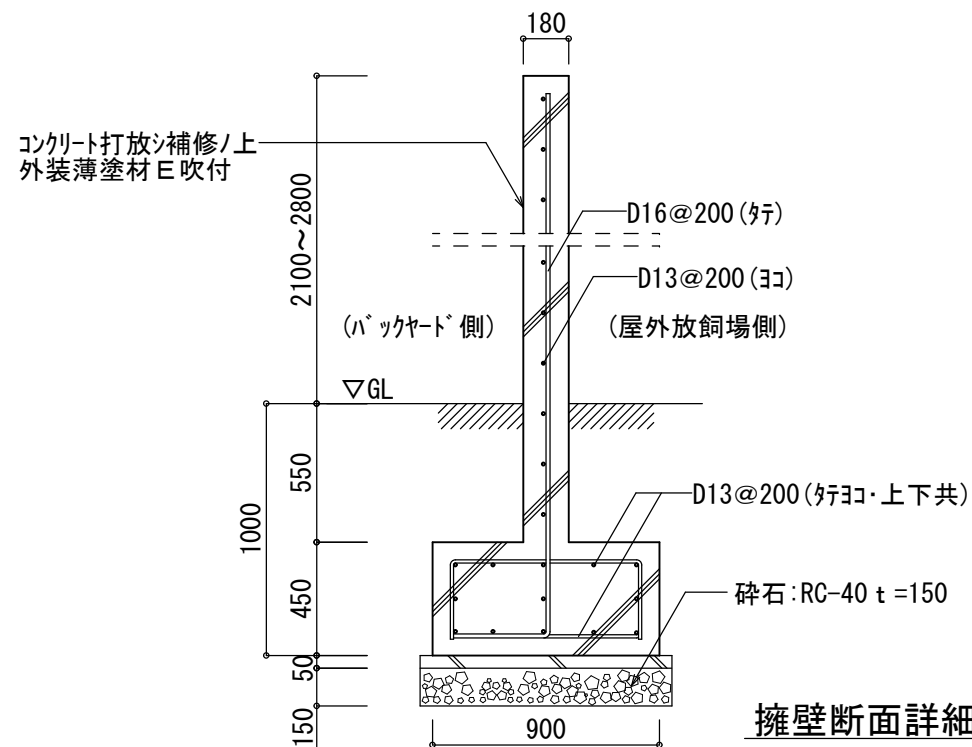
コンクリート壁平面図 S=1/80 (A3)



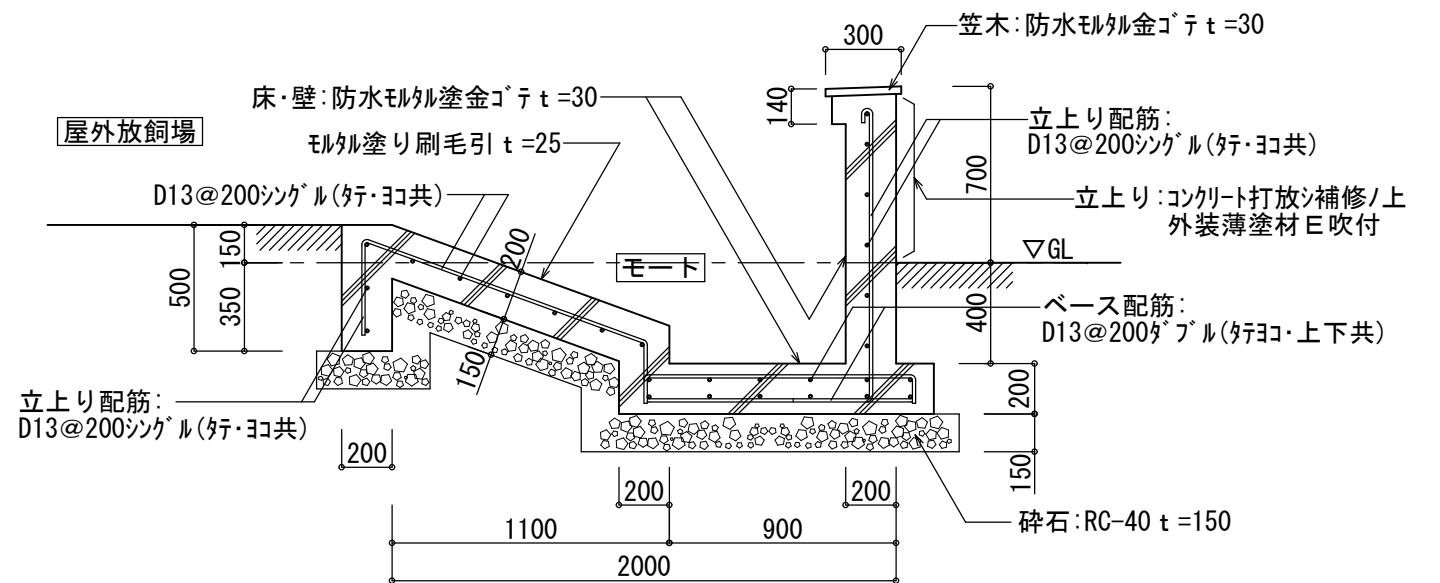
コンクリート壁立面図 S=1/80 (A3)



コンクリート壁立面図 S=1/80 (A3)



擁壁断面詳細図 S=1/30 (A3)



モート断面詳細図 S=1/30 (A3)

特記事項

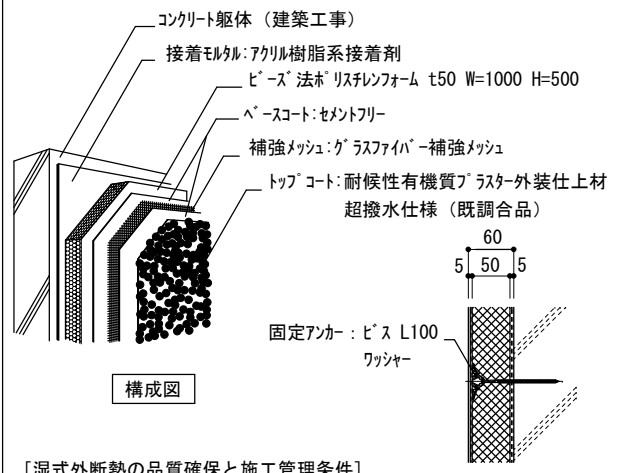
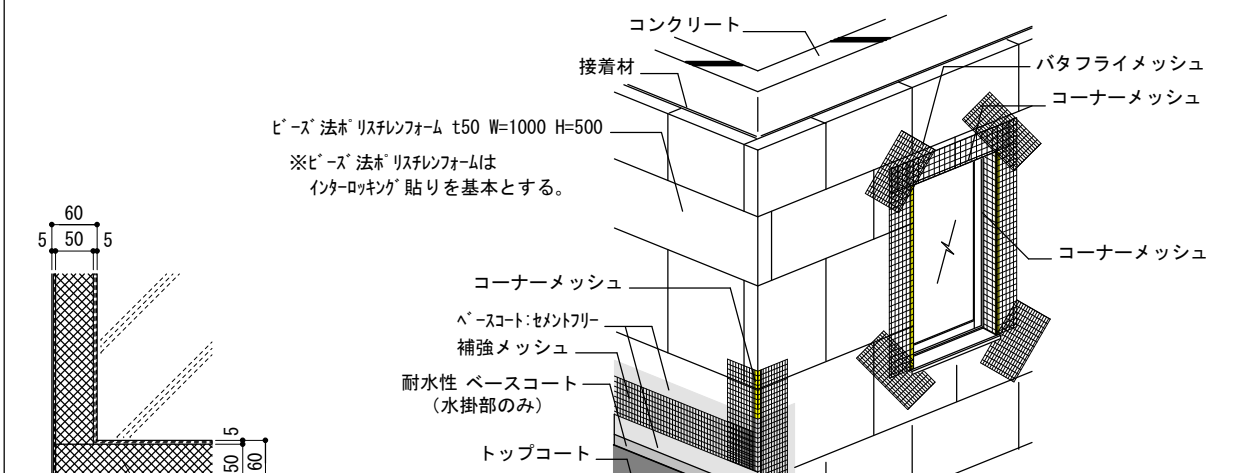
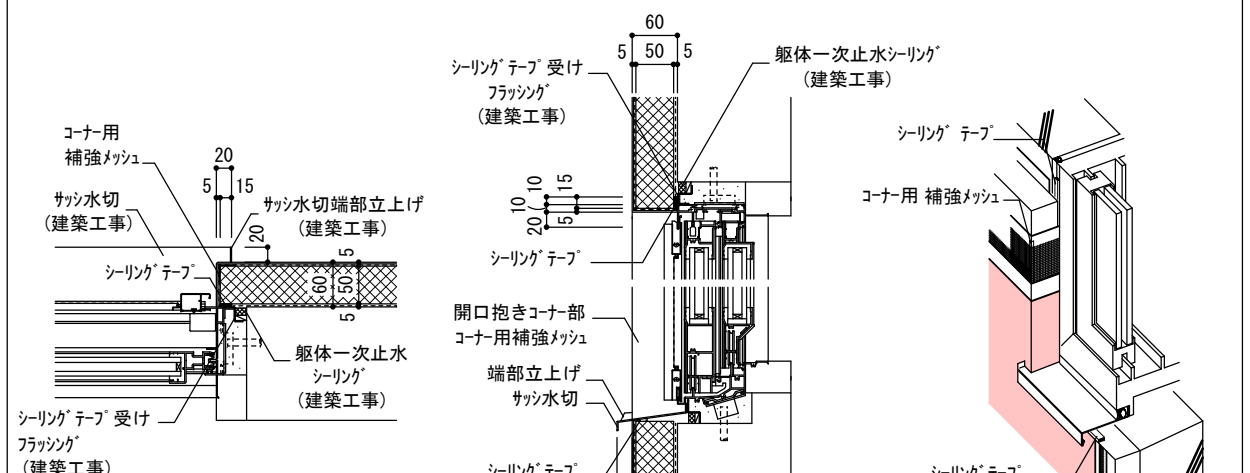
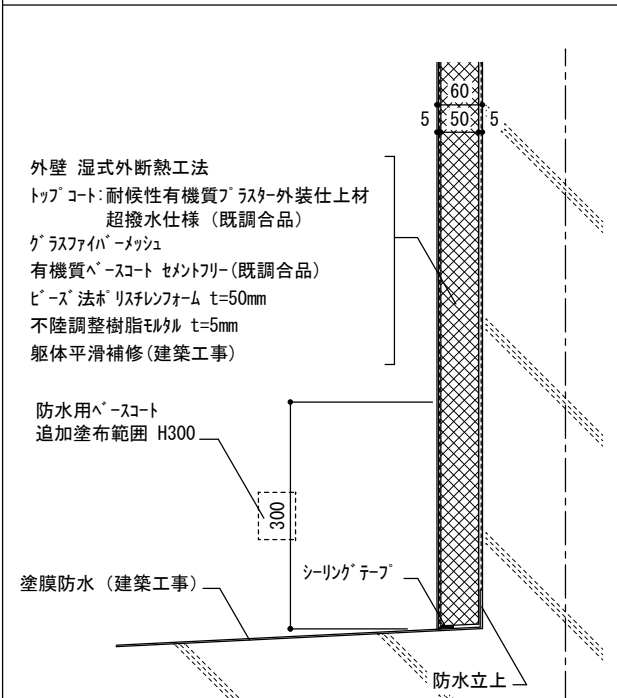
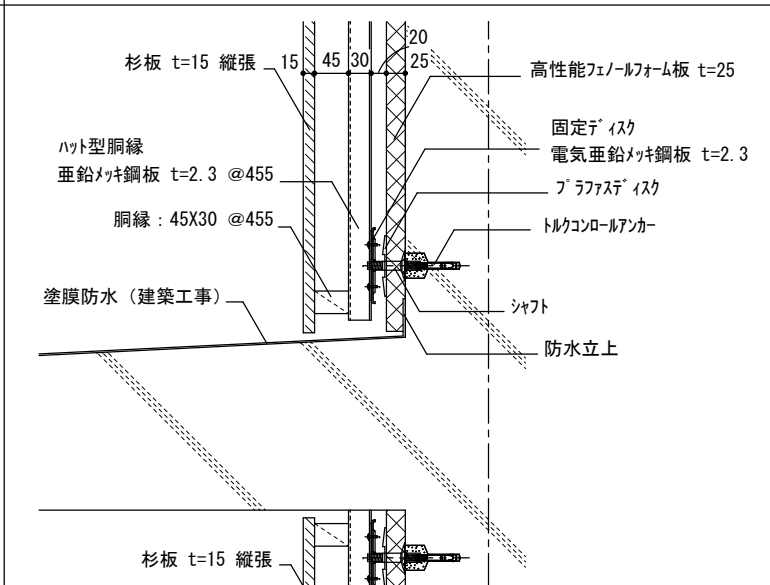
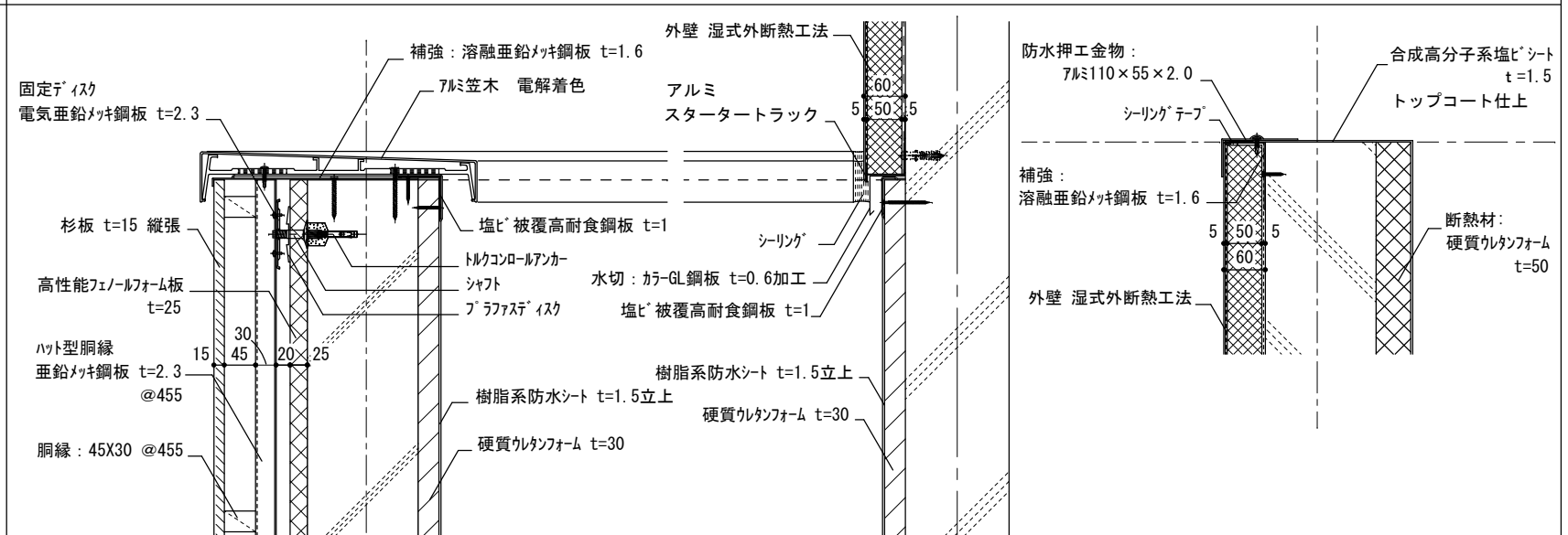
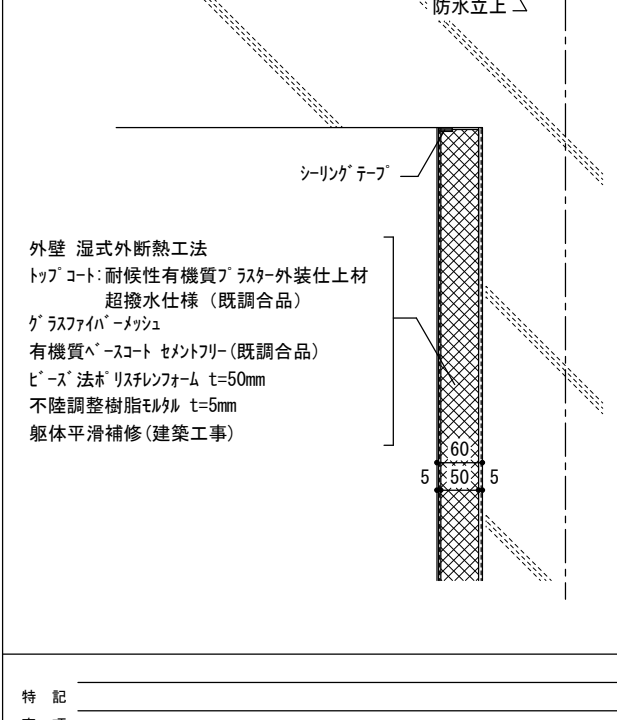
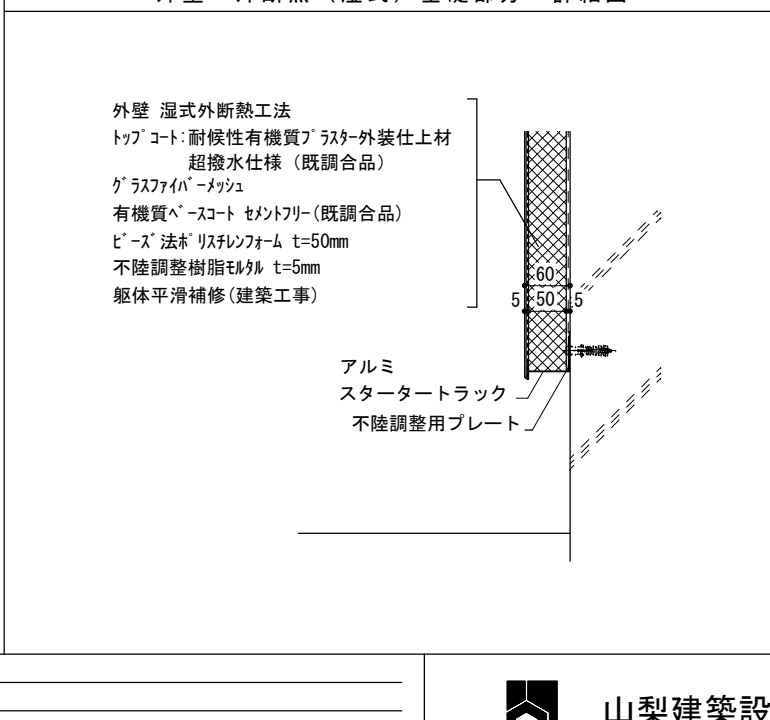
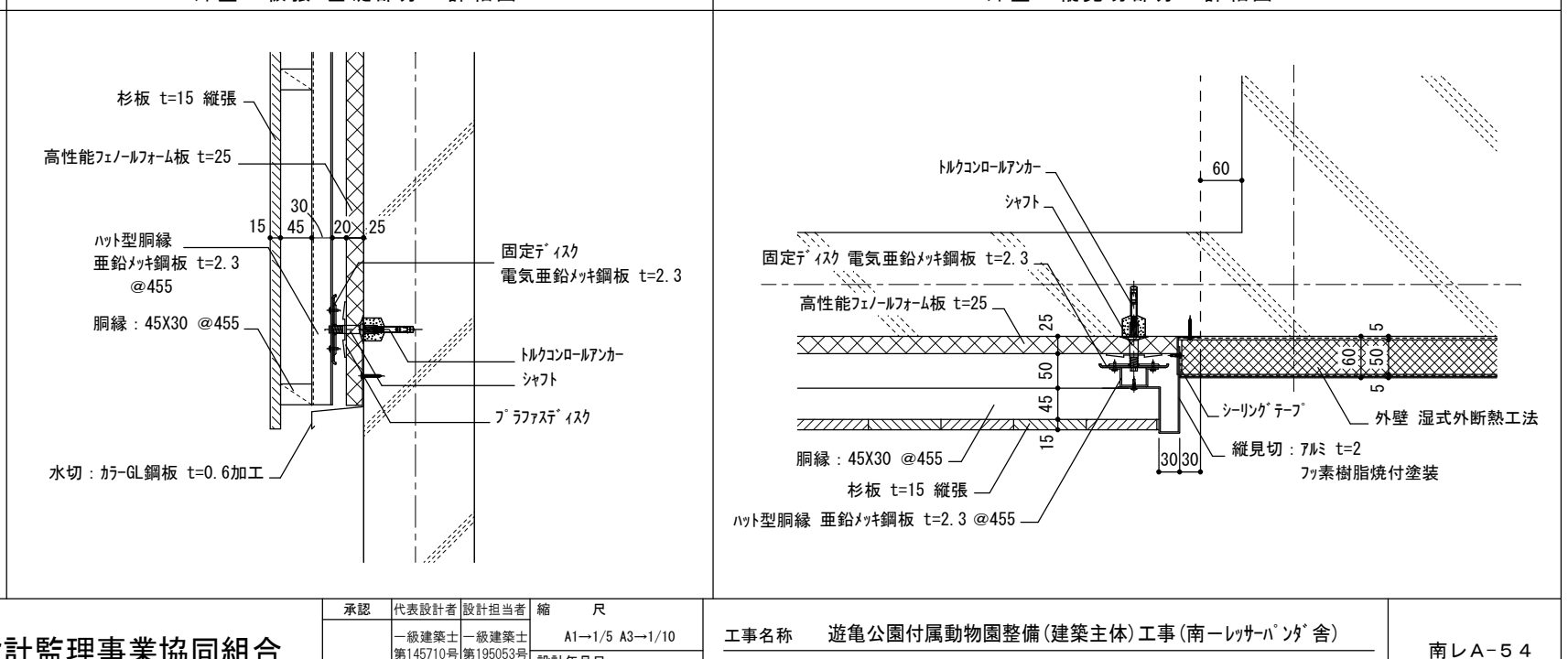


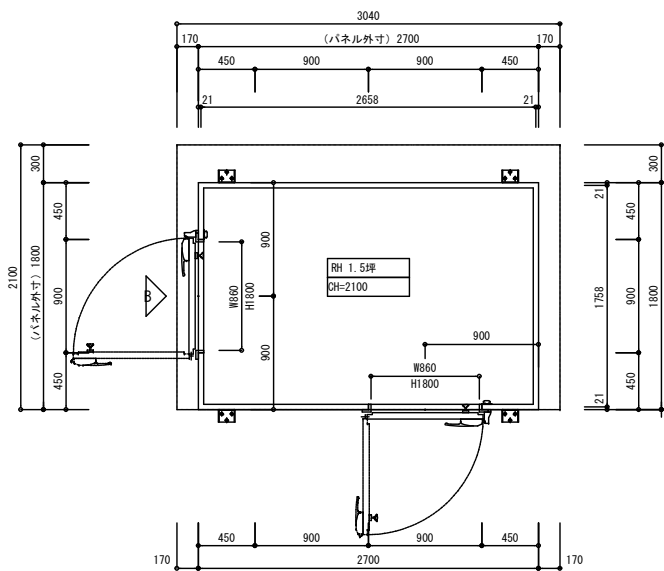
山梨建築設計監理事業協同組合

承認 代表設計者 設計担当者 縮尺 A1→1/40 A3→1/80 A1→1/15 A3→1/30 設計年月日 一級建築士 一級建築士 第145710号 第195053号 佐野 正秀 坪川 裕

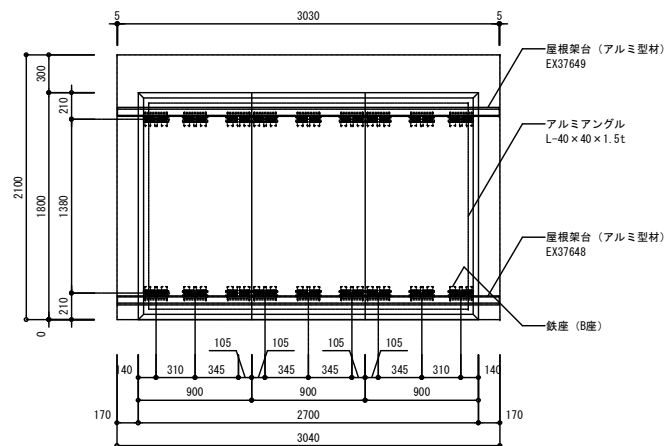
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南レザパンダ舎)  
図面名称 モート立面・断面詳細図

南レA-53  
No.

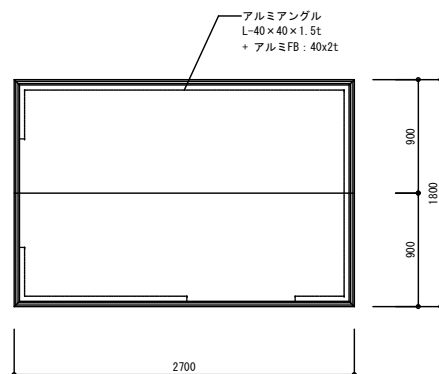
<div>外壁 外断熱（湿式） 構成図</div> <div><p>コンクリート躯体（建築工事） 接着モルタル：アクリル樹脂系接着剤 ビーズ® 法® リスレンフォーム t50 W=1000 H=500 ベースコート：セメントフリー 補強メッシュ：グラスファイバー補強メッシュ トップコート：耐候性有機質プラー外装仕上材 超撥水仕様（既調合品）</p><p>固定アンカー：ビス L100 ワッシャー</p><p>断面図</p><p>〔湿式外断熱の品質確保と施工管理条件〕 ※躯体の一次止水は建築工事とする。 ※湿式外断熱は壁面での使用とし、 常時水の影響を受ける場所での使用を禁止する。 ※断熱材はJIS A9521 3号相当品 熱伝導率 0.038W/m・K ※躯体不陸補修はタイル下地程度とする。 ※2時間耐火性能及び1時間遮熱性能認定品である事。</p></div>		<div>外壁 外断熱（湿式）出隅部・開口部 構成図</div> <div><p>コンクリート 接着材 バタフライメッシュ コーナーメッシュ コーナーメッシュ ビーズ® 法® リスレンフォーム t50 W=1000 H=500 ※ビーズ® 法® リスレンフォームは インターロッキング 貼りを基本とする。 コーナーメッシュ ベースコート：セメントフリー 補強メッシュ 耐水性 ベースコート（水掛部のみ） トップコート</p><p>断面図</p><p>ビーズ® 法® リスレンフォーム t50（モルタル接着） ベースコート+補強メッシュ トップコート：耐候性有機質プラー外装仕上材 超撥水仕様（既調合品） コーナー用補強メッシュ</p></div>		<div>外壁 外断熱（湿式）アルミサッシ部分 詳細図</div> <div><p>シーリングテープ 受け フラッシング（建築工事） シーリングテープ 躯体一次止水シーリング（建築工事） シーリングテープ 開口抱きコーナー部 コーナー用補強メッシュ 端部立上げ サッシ水切 シーリングテープ シーリングテープ 受け フラッシング（建築工事）</p><p>平面図</p><p>断面図</p><p>姿図</p></div>					
<div>外壁 外断熱（湿式）庇部分 詳細図</div> <div><p>外壁 湿式外断熱工法 トップコート：耐候性有機質プラー外装仕上材 超撥水仕様（既調合品） グラスファイバーメッシュ 有機質ベースコート セメントフリー（既調合品） ビーズ® 法® リスレンフォーム t=50mm 不陸調整樹脂モルタル t=5mm 躯体平滑補修（建築工事）</p><p>防水用ベースコート 追加塗布範囲 H300</p><p>塗膜防水（建築工事）</p><p>シーリングテープ</p><p>防水立上</p></div>		<div>外壁 板張 庇部分 詳細図</div> <div><p>杉板 t=15 縦張 15 45 30 20 25 高性能フェノールフォーム板 t=25 固定デイス 電気垂鉛メッキ鋼板 t=2.3 ハット型胴縁 亜鉛メッキ鋼板 t=2.3 @455 胴縁：45X30 @455 塗膜防水（建築工事） シャフト 防水立上</p><p>杉板 t=15 縦張</p></div>		<div>陸屋根 パラペット・外壁部分 詳細図</div> <div><p>補強：溶融亜鉛メッキ鋼板 t=1.6 7㎜笠木 電解着色 アルミ スタータートラック シーリング 水切：カラーGL鋼板 t=0.6加工 塩ビ被覆高耐食鋼板 t=1 塩ビ被覆高耐食鋼板 t=1 樹脂系防水シート t=1.5立上 硬質ウレタンフォーム t=30 断熱材：硬質ウレタンフォーム t=50 防水押工金物：7㎜110×55×2.0 合成高分子系塩ビシート t=1.5 トップコート仕上</p></div>					
<div>外壁 外断熱（湿式）基礎部分 詳細図</div> <div><p>外壁 湿式外断熱工法 トップコート：耐候性有機質プラー外装仕上材 超撥水仕様（既調合品） グラスファイバーメッシュ 有機質ベースコート セメントフリー（既調合品） ビーズ® 法® リスレンフォーム t=50mm 不陸調整樹脂モルタル t=5mm 躯体平滑補修（建築工事）</p><p>シーリングテープ</p></div>		<div>外壁 板張 基礎部分 詳細図</div> <div><p>杉板 t=15 縦張 高性能フェノールフォーム板 t=25 ハット型胴縁 亜鉛メッキ鋼板 t=2.3 @455 胴縁：45X30 @455 水切：カラーGL鋼板 t=0.6加工</p><p>固定デイス 電気垂鉛メッキ鋼板 t=2.3 トルクコントロールアンカー シャフト プラーファスデイス</p></div>		<div>外壁 縦見切部分 詳細図</div> <div><p>トルクコントロールアンカー シャフト 固定デイス 電気垂鉛メッキ鋼板 t=2.3 高性能フェノールフォーム板 t=25 胴縁：45X30 @455 杉板 t=15 縦張 ハット型胴縁 亜鉛メッキ鋼板 t=2.3 @455 縦見切：アルミ t=2 珪素樹脂焼付塗装</p></div>					
<div>特記事項</div>		<div>山梨建築設計監理事業協同組合</div>		<div>承認 代表設計者 設計担当者 縮尺 一級建築士 一級建築士 A1→1/5 A3→1/10 第145710号 第195053号 佐野 正秀 坪川 裕 設計年月日</div>		<div>工事名称 遊亀公園付属動物園整備（建築主体）工事（南レッサパンダ舎） 図面名称 外壁詳細図</div>		<div>南レA-5 4 No.</div>	



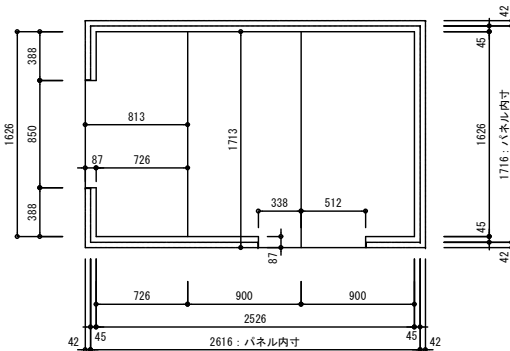
平面図 S=1/30



天井割付図 S=1/30

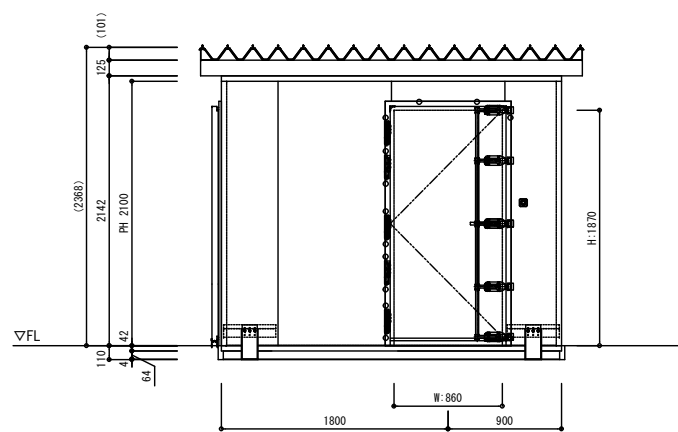


床割付図 S=1/30

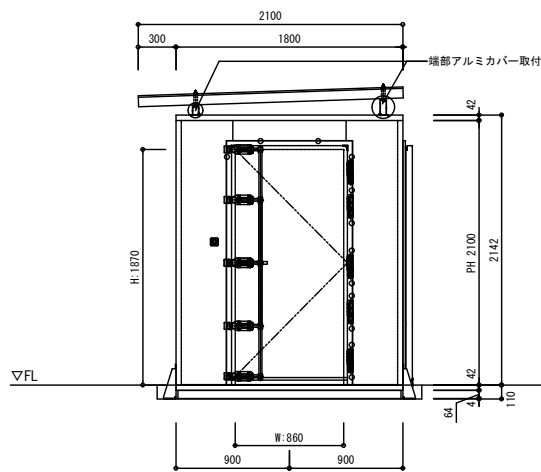


床敷板割付図 S=1/30

ジェネスタ パネル 仕様		
表面材	内板: カラー鋼板 (アイボリー色)	
	外板: カラー鋼板 (アイボリー色)	
パネル芯材	硬質ポリウレタンフォーム (ノンフロン)	
パネル厚サ	42t (両面型)	
据付台	64×38 (樹脂製)	冷量荷重仕様
付属品		
庫内灯	天井付 (白熱灯)	1ヶ
スイッチ	防雨露出スイッチ箱S4052	2ヶ
温度計	-	-
敷板	3.5t アルミチェッカープレート	1式
扉	片開き扉 (V03方枠スレ)	2本
	有効: W660 × H1870	
	表面材 内外カラー鋼板	

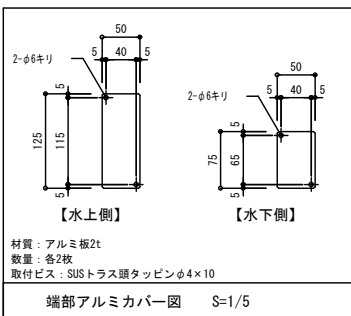


A立面図 S=1/30

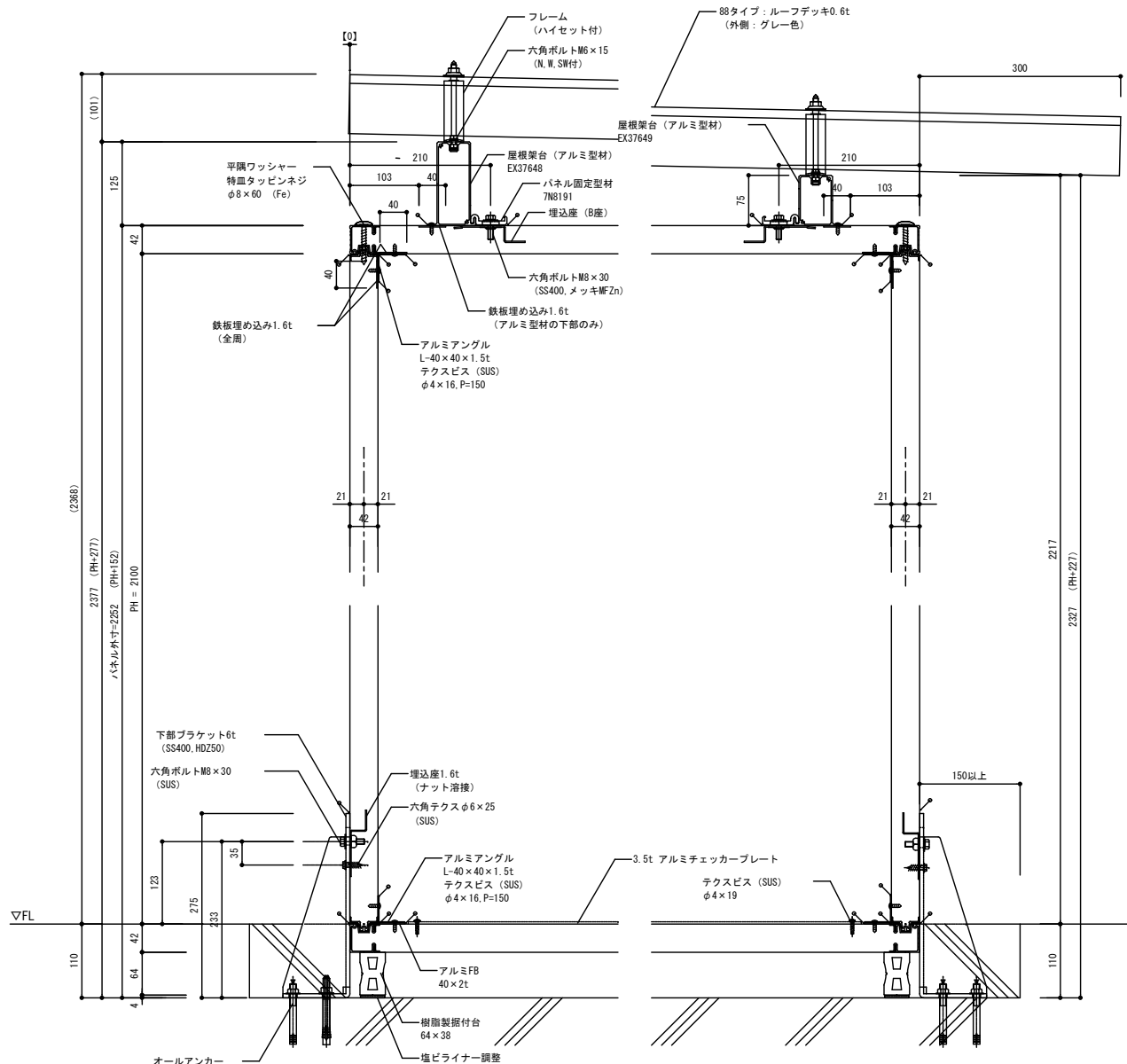


B立面図 S=1/30

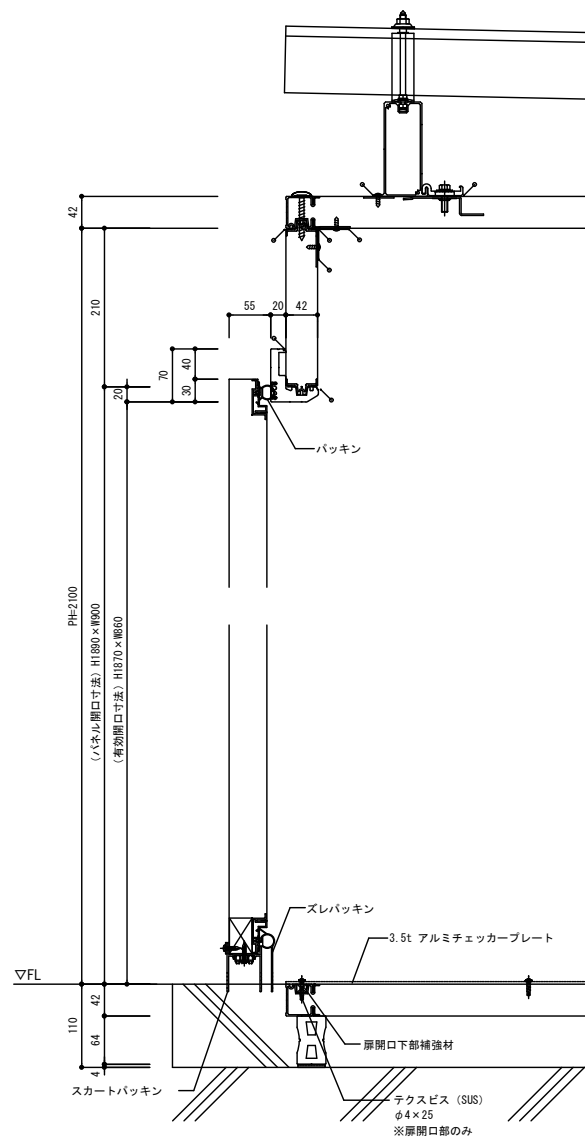
※注意事項※  
本パネルでは 3方枠ズレ仕様となっております。  
そのため、雨水や虫の侵入リスクが高くなります。



端部アルミカバー図 S=1/5



一般断面図 S=1/5



扉部断面図 S=1/5

特記事項



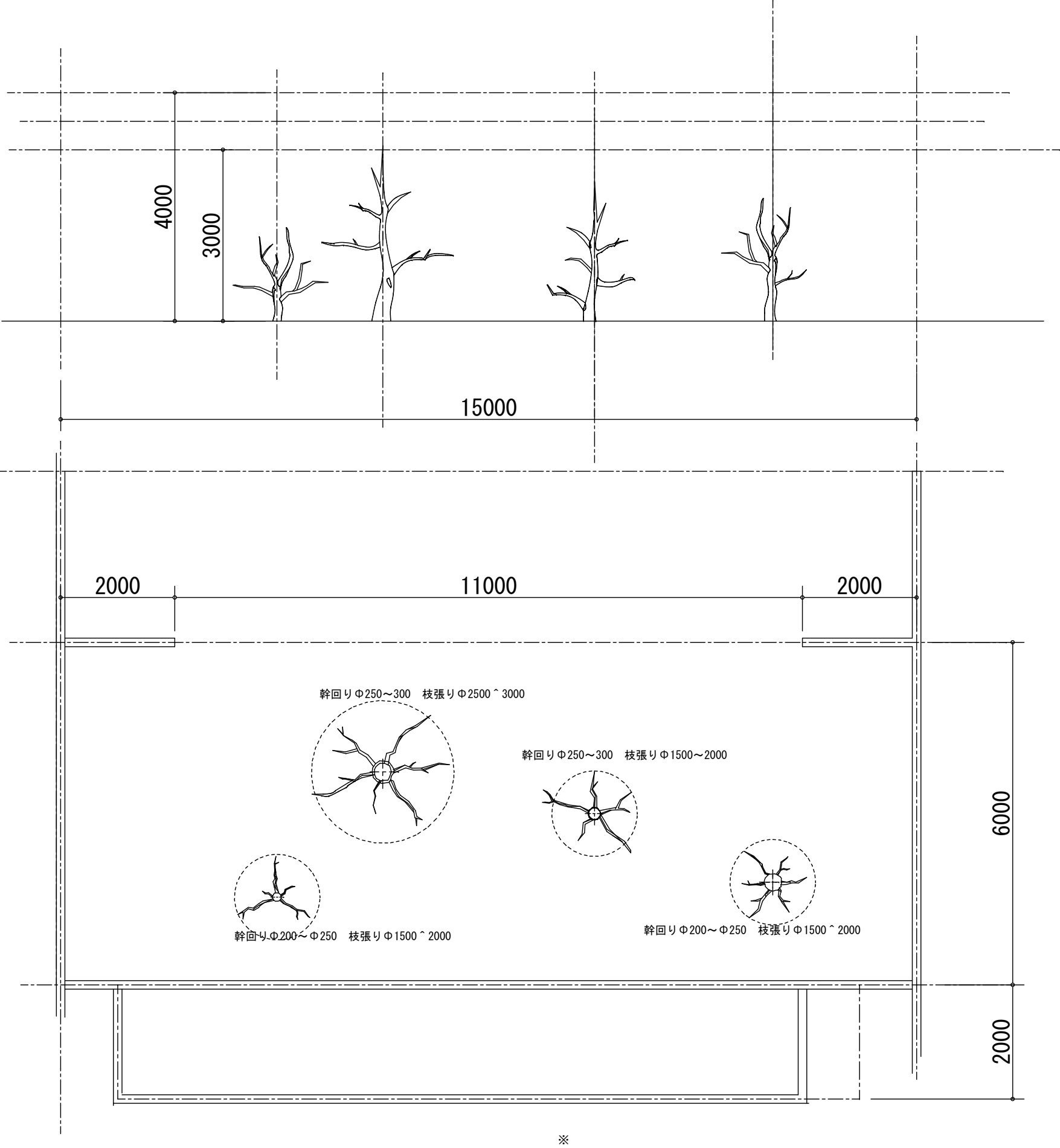
山梨建築設計監理事業協同組合

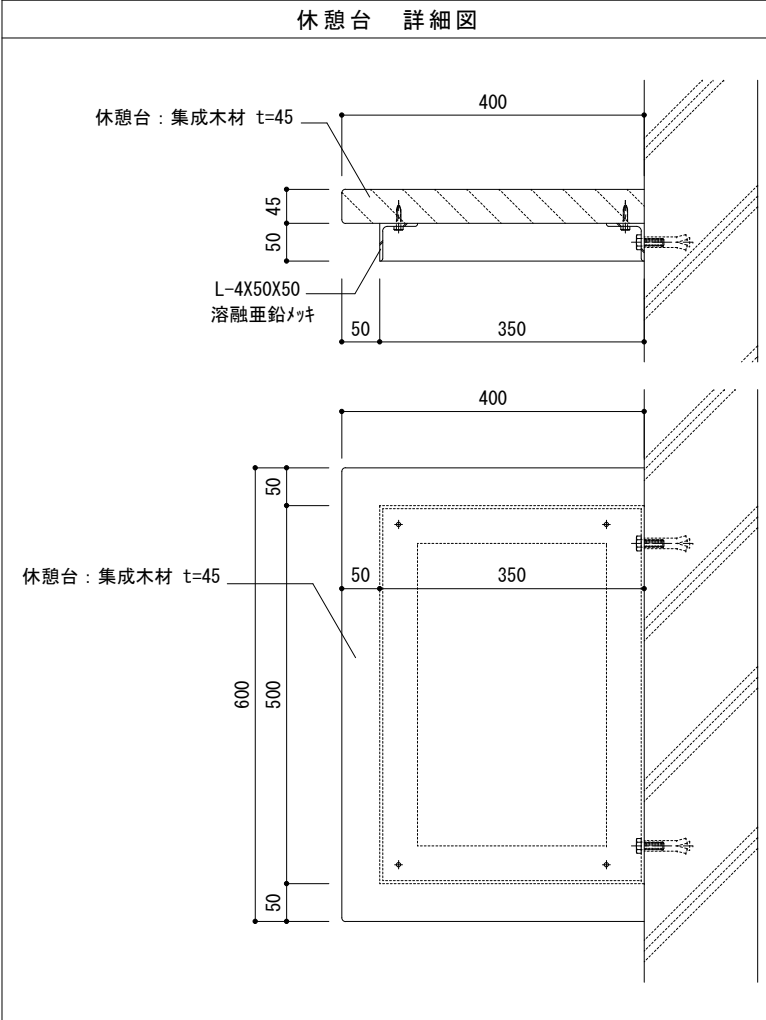
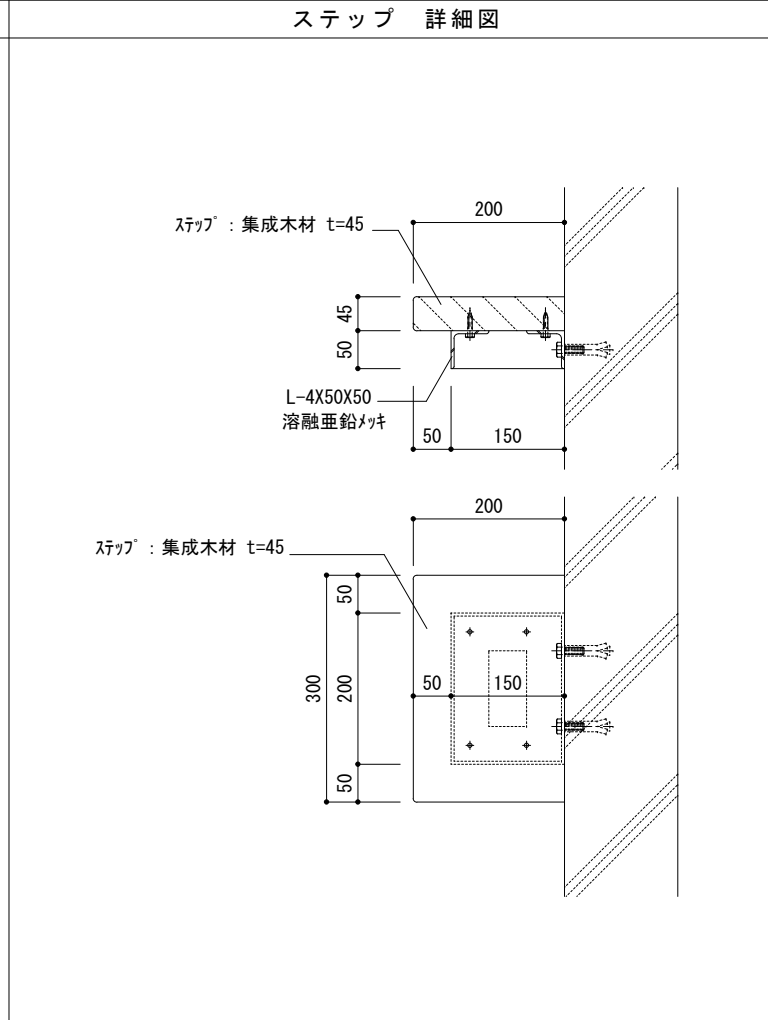
承認 代表設計者 設計担当者 縮 尺  
一級建築士 一級建築士 A1→1/30 A3→1/60  
第145710号 第195053号  
設計年月日  
佐野 正秀 坪川 裕

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事(南-レッザ-パンダ舎)  
図面名称 屋根付冷蔵庫

南レA-55  
No.





<div>休憩台 詳細図</div> 			<div>ステップ 詳細図</div> 					

## 構造設計特記仕様

適用は●印を記入する。

## 1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 遊亀公園付属動物園第Ⅱ期整備（建築主体工事）工事 （南－レッサーパンダ舎）  
 建築場所 甲府市新田町10-1

(2) 工事種別 ☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築

(3) 構造設計一級建築士の関与 ☐ 必要 ☒ 必要としない  
☐ 法第20条第一号（高さ6.0m超）  
☐ 法第20条第二号（☐ RC高さ2.0m超 ☐ S造4階建以上 ☐ 木造高さ1.3m超 ☒ その他）  
 注（3）構造設計一級建築士の関与が義務づけられる建築物については解説書を参照して確認すること。

(4) 構造種別  
☐ 木造(W) ☐ 補強コンクリートブロック造(08) ☐ 鉄骨造(S) ☐ 補助助材  
☒ 鉄筋コンクリート造(RC) ☐ 壁式鉄筋コンクリート造(WRC)  
☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC) ☐ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPC)  
☐ プレキャスト鉄筋コンクリート造(PCRC) ☐

(5) 階数 地下 - 階 地上 1 階 塔屋 階

(6) 主要用途 動物園（レッサーパンダ舎）

(7) 屋上附属物 ☐ 高架水槽 kN ☐ キュービクル kN ☐ 広告塔 ☐ 煙突

(8) 特別な荷重  
☐ エレベータ9人乗（マシフルレス ロープ式 油圧式） ☐ リフト kN ☐ ホイスト kN  
☐ 倉庫積載用 kN/m<sup>2</sup> ☐ 受水槽 kN

(9) 付帯工事  
☐ 塙壁 ☐ 駐輪場 ☐ 機械式駐輪場 ☒ 外構工事 ☐  
☐ 門塙 ☐ 有（ ） ☒ 無

(10) 増築計画

(11) 構造計算ルート X方向 1 Y方向 1

### 3. 令129条の2の3の事項

- 建築設備（昇降機を除く）建築設備の支持部又は緊結部は腐食または腐食の恐れのないものとする。
- 屋上から突出する水槽、煙突冷却塔その他これらに類するものは、支持構造又は建築物の構造耐力状主要な部分に、支持構造部分は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
- 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、90cm以下とする。
- 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は、厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。
- 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
- 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障がない構造とすること。
  - 建築物の部分を貫通して配管する場合に於いては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
  - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずる恐れがある場合において、伸縮継ぎ手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
  - 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和その他の措置を講ずること。
- 法第20条第1号の3号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造上安全なものとする。

## 6. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

- ## ① コンクリート
- ① コンクリートは JIS A 5308 (レデュームコンクリート) に適合する JIS B 認証工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS による。
- 打込み、締固め方法、打継ぎの処理の方法は 7 日準拠とする。養生方法・その他は 8 面に準拠する。
- ② 耐久設計基準強度  $f_{cd}$  ③ 一級 ④ 標準 ⑤ 長期
- ③ セメントは、JIS R 5210 の普通ポルトランドセメントを標準とする。
- ④ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
- ⑤ 高中・暑中・その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査・打込み・養生・管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
- ⑥ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録および測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定検査の回数、測定率、1 日 1 回以上とし、1 回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて 3 回行い、その平均値を試験値とする。
- ⑦ 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法は JASS T-603 によることとし、供試体は現場水中養生、又は現場対岸養生とし、採取は打ち込み工区ごと・打ち込み日ごととする。
- また、打ち込みが 150mm をこえる場合は 150mm ごとまたは、その端部ごとに一回を標準とする。
- 一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた 3 台の運搬車から必要本数を採取する。
- なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1 箇当たり 3 本以上とし、そのうち 1 通用に 3 本を用いる。
- ⑧ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置に達するだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
- ⑨ ポンプ打ちに際しては、コンクリート圧送機または、同等以上の機能を有する者が従事すること。
- なお、打ち込み継ぎ中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が 25℃未満の場合は 15 分、25℃以上の場合は 120 分以内とする。
- ⑩ コンクリート打ち込み中及び打ち込み後 5 日間は、コンクリートの温度が 2 度を下らないようにする。
- ⑪ 乾燥、振動等によってコンクリートの凝結及び硬化が妨げられないように養生を行う。
- ⑫ 水セメント比は 50% 以下とする。

## 7. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

☐ 日本建築学会「JASCE」『鉄骨精度検査基準』『鉄骨工事技術指針』

☐ 社) 日本鋼構造協会『建築鉄骨工事施工指針』

☐ 鉄骨製作管理技術者登録機関『安全と継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル』

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

☐ 製作工場 ☐ 製作受領書 ☐ 工作図 ☐ 施工計画書

☐ 認定または登録工場 (大臣認定 S H M R J グレード 都登録 T1 T2 T3 ランク)

☐ 材料規格証明書\*, または試験成績書

☐ 鋼板 ☐ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ 鋼付スタッド

\* 社) 日本鋼構造協会『建築構造用鋼材の品質証明ガイドライン』の規格証明方法、またはミルシート。

☐ 社内検査表 ☐ 品質管理カード

(3) 工事監理者が行う検査項目

( ☐ 印以外の項目の検査結果については、工事管理者に報告すること)

☐ 現寸検査 ☐ 組立、開先検査 ☐ 製品検査 ☐ 建方検査 ☐

(4) 接合部の溶接は下記によること

☐ 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロ

☐ 鉄骨造等の建築物の工事に關する東京都建設要綱 (建築構造設計指針第1章)

☐ 日本建築学会『溶接工程規程、鋼溶接 I・II・III・IV・V・VI・VII・VIII・IX』

☐ 日本建築学会『鉄骨工事技術指針、工事現場施工編』

☐ 東京都アーク溶接工事管理規程 (建築構造設計指針第1章)

## 2. 使用建築材料表・使用構造材料一覽表

- | (1) コンクリート(レディーミストコンクリート) |   | JIS Q 1001, JIS Q 1011, JIS A 5308 (JASS5 2009適用) |                                 |                          |         |
|---------------------------|---|---|---------------------------------|--------------------------|---------|
| 適用箇所                      | 種類  | 設計基準強度<br>$F_c = N_{\text{設計}}$                   | 品質基準強度<br>$F_q = N_{\text{設計}}$ | スランプ<br>(mm)             | 備考      |
| 捨てコンクリート                  | <input checked="" type="checkbox"/> 普通  | 18  |                                 | 18                       |         |
| 土間コンクリート                  | <input checked="" type="checkbox"/> 普通  | 24  | 24                              | 18                       | (1Fスラブ) |
| 躯体全て                      | <input checked="" type="checkbox"/> 普通  | 24  | 24                              | 18                       |         |
|                           | <input type="checkbox"/> 普通、 <input type="checkbox"/> 軽量  |   |                                 |                          | 比重      |
|                           | <input type="checkbox"/> 普通、 <input type="checkbox"/> 軽量  |   |                                 |                          | 比重      |
| 押入コンクリート                  | <input checked="" type="checkbox"/> 普通、 <input type="checkbox"/> 軽量   | 18  |                                 | 18                       | 比重      |
| 細骨材の種類                    | <input checked="" type="checkbox"/> 砂   | <input type="checkbox"/> 山砂                       | <input type="checkbox"/> 人工     | <input type="checkbox"/> |         |
| 粗骨材の種類                    | <input checked="" type="checkbox"/> 砂利  | <input type="checkbox"/> 砕石                       | <input type="checkbox"/> 人工     | <input type="checkbox"/> |         |
| 水の区分                      | <input checked="" type="checkbox"/> 水道水   | <input type="checkbox"/> 地下水                      | <input type="checkbox"/> 工業用水   | <input type="checkbox"/> |         |
| 混和材料の種類 (JIS )            | <input checked="" type="checkbox"/> A E 減水剤 <input type="checkbox"/> 高性能 A E 減水剤 <input type="checkbox"/> 躯体防水混和材ベトン  |   |                                 |                          |         |
| 呼び強度を保證する材齢、養生            | <input checked="" type="checkbox"/> 材齢 ( 2 8 日 ) <input type="checkbox"/> 5 6 日 <input type="checkbox"/><br><input checked="" type="checkbox"/> 養生 ( <input checked="" type="checkbox"/> 現場封かん <input type="checkbox"/> 現場水中 <input type="checkbox"/> 標準 <input type="checkbox"/> |   |                                 |                          |         |

- ☒ 単位水量は 185 kg/m<sup>3</sup> 以下、単位セメント量は 270 kg/m<sup>3</sup> 以上とする。  
☒ 水セメント比は 50% 以下とする。
- (2) コンクリートブロック ( ☐ JIS A 5406 )  
☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 190 使用箇所 ( ☐ ☐

(3) 鉄筋	種 類	径	使 用 箇 所	継 手 工 法
異形鉄筋 (JIS G 3112)	<input checked="" type="checkbox"/> S0295A	D10~D16	基礎・ス・壁・床	□ 妻ね継手 D16以下
	<input type="checkbox"/> S0295B			□ ガス圧ね継手 D19以上
	<input checked="" type="checkbox"/> S0345	D19~D25	基礎・壁・ス・躯体全体	□ 溶接継手
	<input type="checkbox"/> S0390			□ 機械式継手
高強度せん断補強筋	<input type="checkbox"/> 円棒			( )
	<input type="checkbox"/> 大断面等価棒	MSRB-		各継手の使用詳細については 本仕様5. (2) 鉄筋の項の鉄筋 継手等にて表示すること。
丸鋼 (JIS G 3112)	<input type="checkbox"/> SR235			
溶接金鋼 (JIS G 3551)	<input type="checkbox"/>	6φ	床	

- | (4) 鉄骨 (詳細については、部材リストによる)  |                                |   |             |  |
|--|--------------------------------|---|-------------|--|
| 種 類  | 使用箇所                           | 現 場 溶 接   | JIS 規格・認定番号 |  |
| <input type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SM400 <input type="checkbox"/> SN400 B     | 小梁・大梁                          | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | JIS         |  |
| <input type="checkbox"/> STKR400 <input type="checkbox"/> STKR490 <input type="checkbox"/> STKR490 | 柱                              | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | JIS         |  |
| <input type="checkbox"/> BCR295 <input type="checkbox"/> BCP235 <input type="checkbox"/> BCP325    | 柱                              | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | 大鉄鋼製品       |  |
| <input type="checkbox"/> SM490 A <input type="checkbox"/> SN490 B <input type="checkbox"/> SN490 C |                                | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | JIS         |  |
| <input type="checkbox"/> SSC400  |                                | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | JIS         |  |
| <input type="checkbox"/> SN490C精肉鋼鋼  |                                | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 | 大鉄鋼製品       |  |
| 溶接材料   | <input type="checkbox"/> JIS Z |   |             |  |

- (5) ボルト

☐ 六角ボルト

☐ F10T (JIS B1764) ☐ S10T 認定番号 ( ) ☐ F8T 認定番号 ( ) ( ☐ M16 ☐ M20 ☐ M22 ☐ M24 )

☐ ボルト (JIS B1780) M16 M ☐ 4.8 (4T)

☐ アンカーボルト

☐ SS490 M24 L=450 mm ナット ☐ シングル ☐ ダブル

☐ D22 L= mm ナット ☐ シングル ☐ ダブル

☐ SD390 M L= mm ナット ☐ シングル ☐ ダブル

☐ 頭付スタッドボルト  $\phi =$  L= mm 使用箇所 ( )

- | (6) 屋根、床、壁 |              |    |                             |  |                                |                                |
|------------|--------------|----|-----------------------------|--|--------------------------------|--------------------------------|
| 材 種        | 型式           | 厚  | その他                         | 使用箇所   | 使用・工法                          |                                |
| ALC        | (JIS A 5416) | 厚  |                             | <input type="checkbox"/> 壁 <input type="checkbox"/> 床版 | <input type="checkbox"/> スライト  | <input type="checkbox"/> ポルト止め |
| 折版         | H=           | 厚  | <input type="checkbox"/> 屋根 | <input type="checkbox"/>                               | <input type="checkbox"/> ロッキング |                                |
| 折版         | H=           | 厚  | <input type="checkbox"/> 屋根 | <input type="checkbox"/>                               |                                |                                |
| 折版         | H=           | 厚  | <input type="checkbox"/>    | <input type="checkbox"/>                               |                                |                                |
| 特殊デッキプレート  | (JIS G 3052) | 型式 | 厚                           | 床版   |                                |                                |
| キーストンプレート  | (JIS G 3052) | 型式 | 厚                           | 床版   |                                |                                |
| デッキプレート    | (JIS G 3052) | 型式 | 厚                           | 床版   |                                |                                |

#### 4. 地 盤

- (1) 地盤調査資料と調査計画
- ☒ 有 ( ) 敷地内    ☐ 近隣    ☐ 無 (調査計画)    ☒ 有    ☐ 無
- | 調 査 項 目        | 資料有り | 調査計画 | 調査計画   | 資料有り | 調査計画 | 調査項目  |
|----------------|------|------|--------|------|------|-------|
| ボーリング調査        | ●    |      | 静的貫入試験 |      |      | 標準貫入値 |
| 水平地盤反力係数の測定    | ●    |      | 土質試験   | ●    |      | 地盤探検  |
| 試験掘 (支持層の確認)   |      |      | 平板載荷試験 |      |      | 凍土化状況 |
| スウェーデン式サウンディング |      |      | 現場透水試験 |      |      | P S 検 |
- 注) 上表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに○印を記入する。
- (2) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎、杭、地盤改良の位置を明記すること)

深度	土質	N値	標準貫入試験						○調査地番 敷地内
			10	20	30	40	50	60	
1									○支持地盤、地層及び深さについて のコメント
2									
3									
4			構造図 S.06に記述						○位置図
5									○孔内水位 GL — 0.97 m
6									

## 5. 地業工事

- (1) 直接基礎
- ☐ ベタ基礎 ☐ 布基礎 ☐ 独立基礎
- 深さ: \_\_\_\_\_ 試験据 ☐ 有 ☐ 無
- 支持層: 地盤改良下砂礫層 (短期) 許容支持力度 \_\_\_\_\_ kN/m<sup>2</sup> 載荷試験 ☐ 有 ☐ 無

- (2) 地盤改良
- ☐ 浅層混合処理工法    ☐ 深層混合処理工法    ☐ 流動化処理工法    ☐ エルマッドS工法
- 深さ: \_\_\_\_\_ 長期許容支持力: \_\_\_\_\_ KN/㎡    載荷試験 ☐ 有 ☐ 無
- 注)「建築物のための改良地盤設計及び品質管理指針：日本建築センター２００２」を参考とする。

- | (3) 杭基礎   |   |  |  |                  |     |
|---|---|--|--|------------------|-----|
| 杭 種   |   | 材 料  |  | 施 工 法            | 備 考 |
| <input type="checkbox"/> RC <input checked="" type="checkbox"/> PCRC<br><input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼<br><input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭<br><input type="checkbox"/> SC杭 <input type="checkbox"/> | PC <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種<br>PHC: <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種<br>鋼材    SS400 ○ STK400<br>OPRC <input type="checkbox"/> I型 <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> 打込み(オーガ併用)<br><input checked="" type="checkbox"/> 埋込杭(告示1113号)<br><input type="checkbox"/> 杭頭補強 (評定品使用可)<br><input type="checkbox"/>  |  |                  |     |
| <input type="checkbox"/> 場所打ち<br>コンクリート杭  | コンクリート    Fc = $\frac{N_{bed}}{F_{eq}}$<br>スラップ セメント量 $\frac{\text{cm}^3}{\text{m}^2}$<br>単位水量 $\frac{\text{kg}}{\text{cm}^3}$<br>鉄筋                  主筋 : S3045<br>Hoop : S3045、295  | <input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 杭底杭<br><input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション<br><input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース<br><input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 手掘 <input type="checkbox"/> 機械掘 |  | 認定<br>号<br>年 月 日 |     |

- 杭仕様 ☒ 施工計画書承認 ☒ 杭施工結果報告書
- 試験杭 ☒ (有) ☐ (無) (☐ 打込み ☐ 載荷・☐ 孔壁測定) 1 本 本杭兼用支持地盤確認用試験杭
- | 杭 径 (mm) | 設計支持力 (kN) | 杭の先端の深さ (m) | 本 数 | 特 記 事 項 |
|----------|------------|-------------|-----|---------|
| 500      | 1200       | 31.15       | 12  |         |
|          |            |             |     |         |
|          |            |             |     |         |
|          |            |             |     |         |

(2) 鉄筋

- ☒ 鉄筋強度は JIS G 3137 の現貨品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除きコンクリートと同様に、AS による。
- ☐ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定される D 種 1 適合品とする。
- ☐ 鉄筋の加工寸法、形状・寸法・厚さ・鉄筋の継手位置・継手の重ね寸法・定着長さ、は「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
- ☒ 鉄筋継手等

鉄筋細工手法	継手の位置等の設計条件による仕様、等級					鉄筋の径
	(1) 引張力最小部位	(2) (1) 以外の部位 (注)				
		A級	B級	C級		
● 重ね継手	● 40d □ 35d □ ( ) d				● D (16) 以上	
● 圧接継手	● 告示 1463号第2項各号				● D (16) 以上	
● 溶接継手	● 告示 1463号第3項各号				● D ( ) 以上	
● 機械式継手	● 告示 1463号第4項各号				● D ( ) 以上	

- 注) (1) 以外の部分に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・許定等を取得した継手工法の者等で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用基準（建築物の構造関係技術基準解説書2007）」によって検討した部材の条件・仕様によること。
- ☑ D19未満は、すべて重ね継手とする。
- ☑ 継手部分の施工要領は 社）日本建築鉄筋協会「鉄筋継手工事標準仕様書」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）とする。
- 継手部の検査方法：外観検査 ☒ 有 ☐ 無、引張試験 ☒ 有 ☐ 無、超音波探傷試験 ☒ 有 ☐ 無  
ガス圧接部の検査は超音波探傷試験によって行う場合、最初の数口ロットによって引張試験も併用し、1回の試験は5本以上とする。（1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接面間で200箇所程度とする）
- ☑ 柱の鉄筋（Hoop）の加工方法は、☒ H型（ガガ型）☐ W型（溶接型）☐ S型（スパラル型）とする。
- ☐ コンクリート及び鉄筋の試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱い要綱」第4条の試験機関で行うこと
- 試験機関名 公共試験期間
- 代行業者名
- 代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者を言う。

- (3) 型枠
- ☐ 材料 合板厚 12 mmを標準とする。 ☐ 施工 J A S S 5 による。
- ☐ 型枠存置期間

- | 種類<br>部 位   | せ き 板                 |              |              |              | 支 柱          |              |              |    |
|-------------|-----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----|
|             | 基礎、はり側、柱、壁            |              | スラブ下、はり下     |              | スラブ下         |              | はり下          |    |
| セメントの種類     | 早強ポルトランドセメント          | 普通ポルトランドセメント | 早強ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント | 早強ポルトランドセメント | 普通ポルトランドセメント | 早強ポルトランドセメント |    |
| 貯蔵温度の平均気温   | 高炉セメントA種              | シリカセメントA種    | 高炉セメントA種     | シリカセメントA種    | 高炉セメントA種     | シリカセメントA種    | 高炉セメントA種     |    |
|             |                       |              |              |              |              |              | シリカセメントA種    |    |
| コンクリートの圧縮強度 | 15℃以上                 | 2            | 3            | 4            | 6            | 8            | 17           | 28 |
| 5℃~15℃      | 3                     | 5            | 6            | 10           | 12           | 25           | 28           | 28 |
| 5℃未満        | 5                     | 8            | 10           | 16           | 15           | 28           | 28           | 28 |
| コンクリートの圧縮強度 | 5.0 N/mm <sup>2</sup> |              | 設計基準強度の50%   |              | 設計基準強度の      |              |              |    |
|             |                       |              |              |              | 85%          |              | 100%         |    |

- 注1 片持ばり・底・スパンの3m以上のばりでは、工事監理者の指示による。
- 注2 だばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のばりの場合も原則として行わない。
- 注3 支柱の盛りかえは、必ず厚い上層のコンクリート打ちとせる。
- 注4 盛りかえの支柱頂上には、厚い受け板、角束等とし、これに用いるものを置く。
- 注5 支柱の盛りかえは、小ばりが解得てから、スラブ工程。一層に上層の支柱を取り除き、盛りかえをしてはならない。
- 注6 直上と直下にくさくさなコンクリート層を掘削し、直上・直下の支柱を掘り出し、盛りかえを行わないこと。
- 注7 支柱の盛りかえは、養生シートを敷き、養生シートに養生布を張らなければならない箇所又は箇所又は箇所をええいに行うこと。
- 注8 上表以外のセグメントを使用する場合は工事監理者の指示による。
- 注9 コンクリートの圧縮強度による場合は、標準圧縮強度に定める検定計算書による。

#### (5) 接合部の検査

- ☐ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		工場内主検査	第三者受入検査	工事監理者	
<input type="checkbox"/> 完全溶込み溶接部 (突合せ溶接)	外観検査	100 %	100 %	%	
	超音波探傷試験	100 %	30 %	%	
<input type="checkbox"/>	内質検査 (注) <input type="checkbox"/> 硬さ試験 <input type="checkbox"/> 示温塗料塗布	個	個	個	
	マクロ試験、その他				
<input type="checkbox"/>	外観検査				
第三者検査機関名		(都知事登録 号)			
<p>第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。</p>					

- 注1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと  
注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること

- ☐ 高力ボルトの検査（検査結果は毎日工事管理者に報告すること）  
 軸力導入試験 ☐ 要 ☐ 否 高力ボルトすべて係数試験 ☐ 要 ☐ 否  
☐ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後のずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。  
☐ トルクや高力ボルトは二次締め後、ピンチゲージを確認していることを確認する。
- ☐ 高力ボルトは「JIS B 1186 の高力ボルト」を標準とする。  
 廃棄物の処理は黒色土などを含む金具外れなどの範囲でショットブラスト・グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外自然乾燥で完全した赤さび状態で、すべて係数 4.5 以上確保できるものを標準と目録に記入し検査を行う。  
 ただし、ショットブラスト・グリットブラストによる処理で、表面あらさが 50  $\mu\text{mR}$  以上である場合は、赤さびはしない状態のままでよい。
- ☐ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して、また、締付けは原則として 2 度締めとする。  
 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

- (6) 防錆塗装
- ☐ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
- 錆止めのペイントは、☐ JIS K5621 ☐ JIS K5625 ☐ ☐ を使用して、
- 4 層と回塗 を標準とするが、実情に応じて決定する。
- ☐ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の裏面調整は急いで、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し、

- (7) 耐火被覆の材料  
□

## 7. 設備関係

- ③ 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
- ④ 建築設備の支持構造部及び緊結金物には、締めると、防護のための有効な措置を講ずること。
- ⑤ 建築物に掛ける風上からの突出する水・煙・塵・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全であること。
- ⑥ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5mm以上とし鉄筋コクリート造とする。
- ⑦ 設備配管は、地震時等の建物変形に追従できること。また、地震力等に対して構造耐力上安全であること。
- ⑧ エレベーターの駆動装置等は、構造体と安全に緊結されること。
- ⑨ 特記以外の変置通路は原則として設けない。
- ⑩ 床下又は設備管等を通る場合の床スラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5mm以上を原則とする。
- ⑪ 設備機器の設置及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
- ⑫ 給湯設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の脅威及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。
- ⑬ 排水水の質が15.0kgを超える排水設備については、地震に対して安全な構造のない構造として、平成24年国土交通省告示第1447号第5号に規定する構造方法によること。

### 3. その他

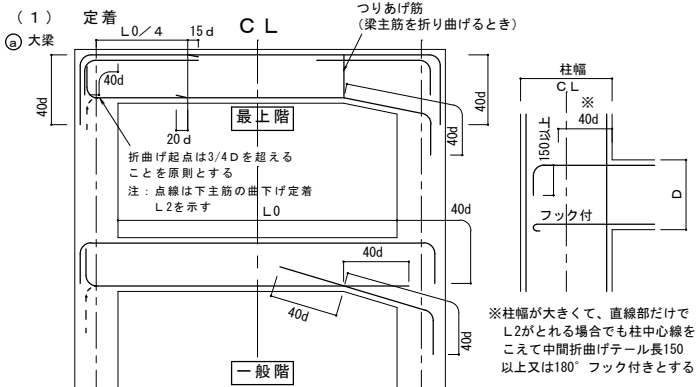
- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
- 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
- 必要に応じて記録写真を撮影保管すること。



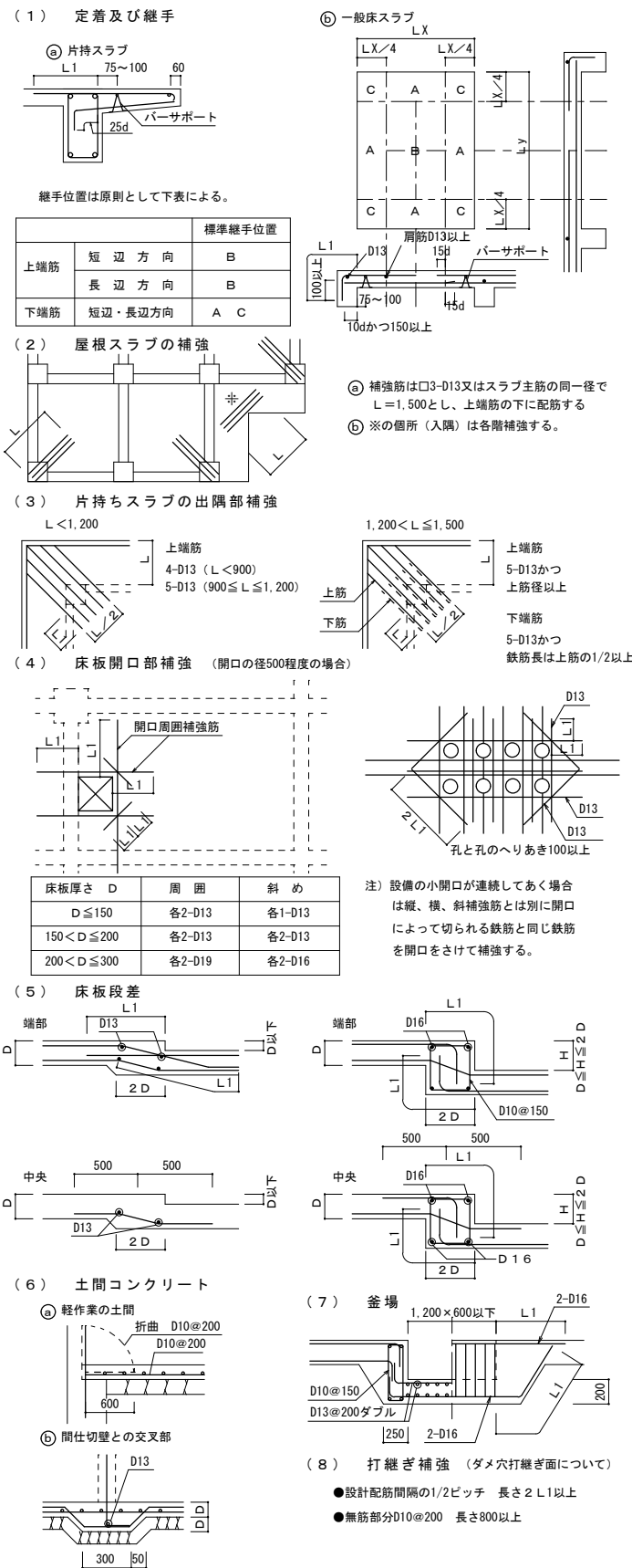
## 鉄筋コンクリート配筋標準図（２）

L1、L2、L3＝鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）の２－（３）による。

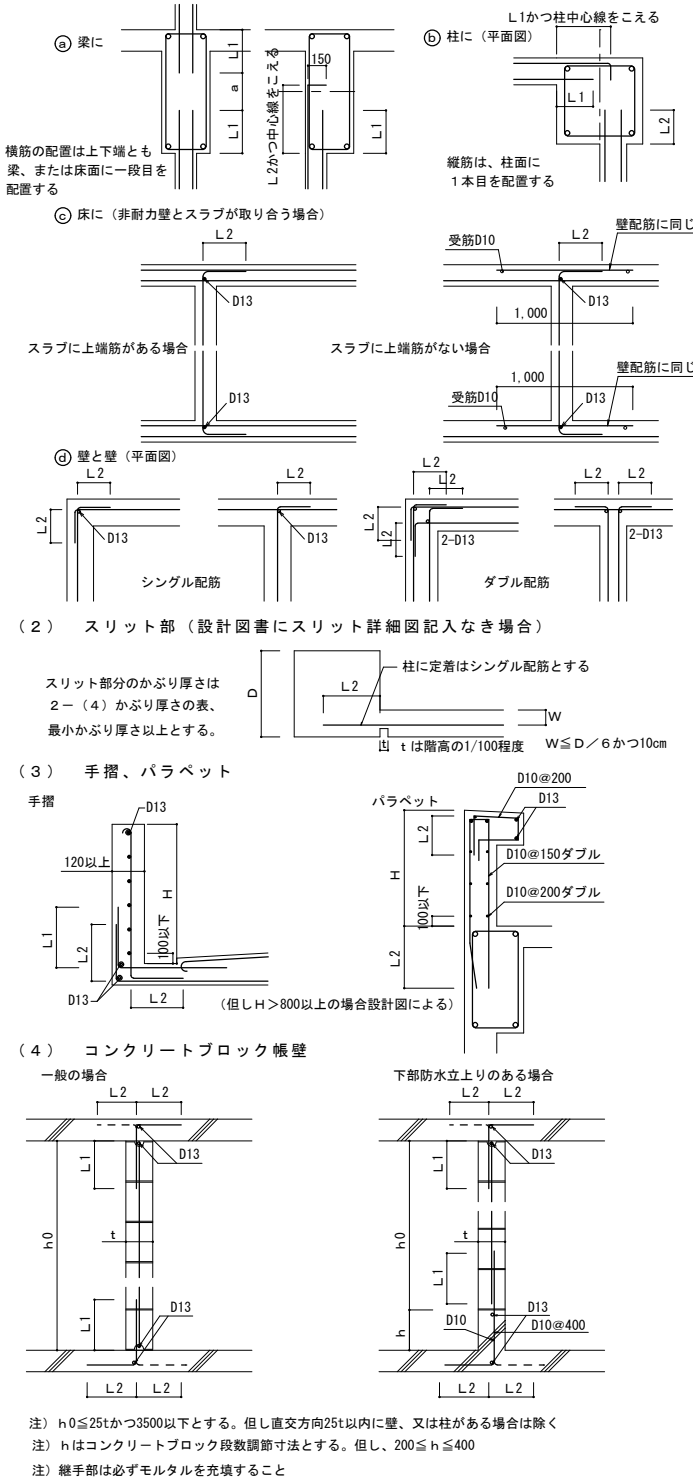
## ７．大梁、小梁、片持梁



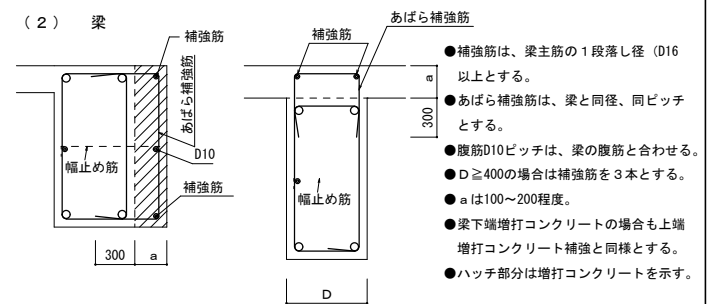
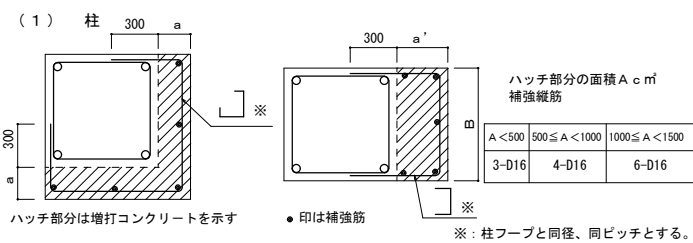
## ８．床板



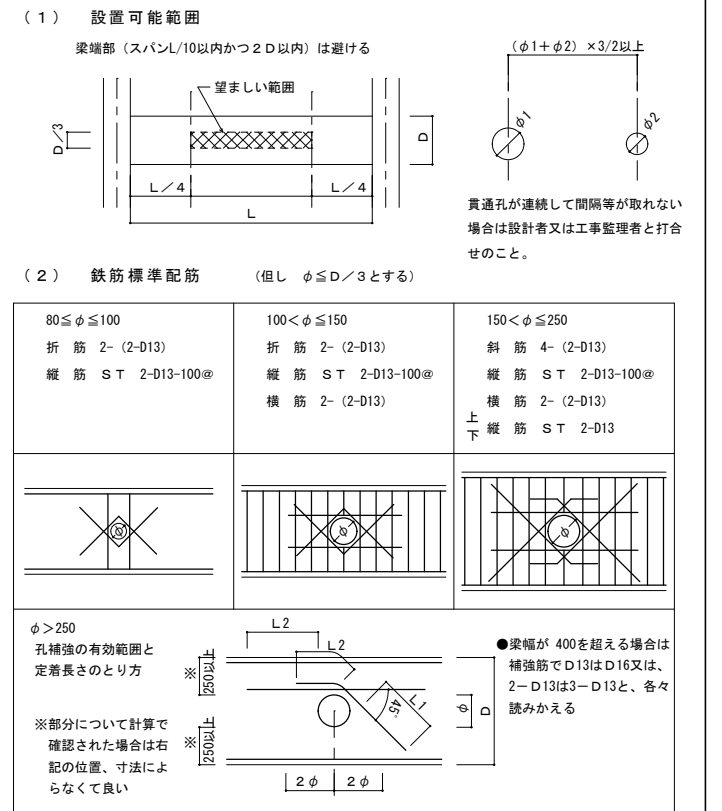
## ９．壁



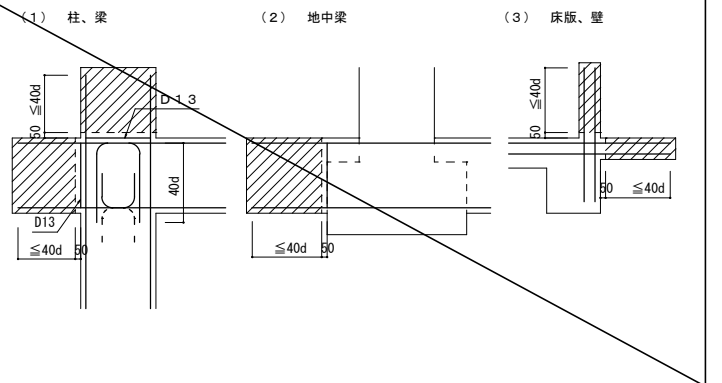
## １０．柱、梁増打コンクリート補強



## １１．梁貫通孔補強



## １２．増築予定



梁貫通孔補強材 梁貫通孔補強 設計・施工標準仕様書（既成品：参考図）

◎標準図

- 1、一般事項
- 1) 本仕様書は、既成品梁貫通孔補強の標準仕様を定めるものであり、各設計における特記仕様は、本仕様書に優先して適用する。
- 2) 本仕様書に定めなき事項は、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」2010年版、「鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」2014年改定、「建築工事標準仕様書・同解説(JASS5)」2009年版、「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」2010年改定、「鉄骨鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」2005年改定、日本建築センター「建築物の構造関係技術基準解説書」2007年版、公共建築協会「建築構造設計基準」平成22年版及び、「公共建築工事標準仕様書」平成25年版による。
- 2、適用範囲
- 1) 適応対応梁の構造
- ・梁の構造種別 : 鉄筋コンクリート造及び、鉄骨鉄筋コンクリート造
  - ・梁せい (D) :  $D \geq 450$  (mm)
  - ・コンクリートの設計基準強度 ( $F_c$ )
    - a あばら筋に普通鉄筋を用いた梁  $18 \leq F_c \leq 60N/mm^2$
    - b あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁  $21 \leq F_c \leq 100N/mm^2$
- ただし、コンクリートの設計基準強度が60N/mm<sup>2</sup>を超えた場合は、建築基準法 第37条二号の大臣認定を取得している高強度コンクリートとする。
- ・鉄筋
    - a 主筋 JIS・G 3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」及び、建築基準法 第37条二号の大臣認定を取得している 590・685N/mm<sup>2</sup>級鋼の高強度鉄筋  
ただし、主筋に丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。
    - b あばら筋 JIS・G 3112 「鉄筋コンクリート用棒鋼」及び、建築基準法 第37条二号の大臣認定を取得している 685・785・1275N/mm<sup>2</sup>級鋼の高強度鉄筋  
ただし、開孔上下部補強筋に丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。
- 2) 開孔径及び、開孔位置
- ・開孔径 (H) :  $H \leq D/3$  ただし、 $80 \leq H \leq 750$  (mm)
  - ・開孔の水平方向中心間距離 (A) :  $A \geq 3H$  (隣り合う開孔径の平均値の3倍以上)
  - ・開孔の垂直方向中心間距離 (G) :  $G \geq 3H$  ただし、 $\Sigma H \leq D/4$  且つ、  
基礎梁の中央部に2開孔までとする。(同軸上に同径)
  - ・柱筋から開孔中心までの距離 (B) :  $B \geq D$  (mm)  
ただし、あばら筋に普通鉄筋を使用した梁端の曲げ降伏型ではない基礎梁で、有効補強範囲Cが確保でき、 $1.0 \leq M/Qd \leq 1.22$  且つ、 $H/D \leq 0.27$ の場合  $B \geq 0.6D$  (mm)
  - ・梁上下端からのヘリあき距離 (Hc) : 開孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とする。  
ただし、梁上下端からのヘリあき距離については、  
梁貫通孔補強製品があばら筋の内側に納まる距離を確保する。
- 図1 貫通孔の適用開孔位置
- 3) 補強量の範囲
- ・梁貫通孔補強製品の補強筋比 ( $p_r$ )
    - a あばら筋に普通鉄筋を用いた梁  $p_r \leq 1.0$  (%)
    - b あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁  $p_r \leq 1.2$  (%)
  - ・有効補強範囲内のあばら筋比 ( $p_a$ )
    - a あばら筋に普通鉄筋を用いた梁  $p_a \leq 1.2$  (%)
    - b あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁  $p_a \leq 1.0$  (%)
  - ・有効補強範囲内のせん断補強筋比 ( $\Sigma p_{wo} = p_r + p_a$ )
    - a あばら筋に普通鉄筋を用いた梁  $0.2 \leq \Sigma p_{wo} \leq 1.8$  (%)
    - b あばら筋に高強度鉄筋を用いた梁  $0.2 \leq \Sigma p_{wo} \leq 2.2$  (%)

◎補強算定式

梁貫通孔補強製品の補強有孔梁のせん断終局強度式（修正広沢式）

$$Q_{ult} = \alpha \left\{ \frac{0.053 p_a^{0.23} (18 + F_c)}{M/Qd + 0.12} (1 - 1.61 \frac{H}{D}) + 0.85 \sqrt{p_r \cdot r \sigma_y + p_a \cdot a \sigma_y} \right\} b j$$

$\alpha$  : 低減係数  $\alpha = 1.00$   
ただし、梁端の曲げ降伏型ではない基礎梁で有効補強範囲が確保でき、開孔位置Bが  
 $0.6D \leq B < 1.0D$ の場合、あばら筋が普通鉄筋 ( $\alpha_c = 0.91$ ) あばら筋が高強度鉄筋は適用範囲外

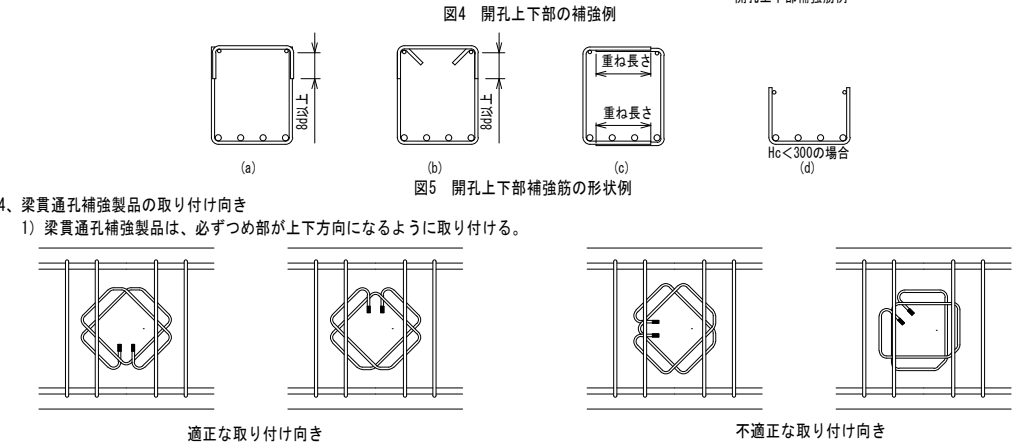
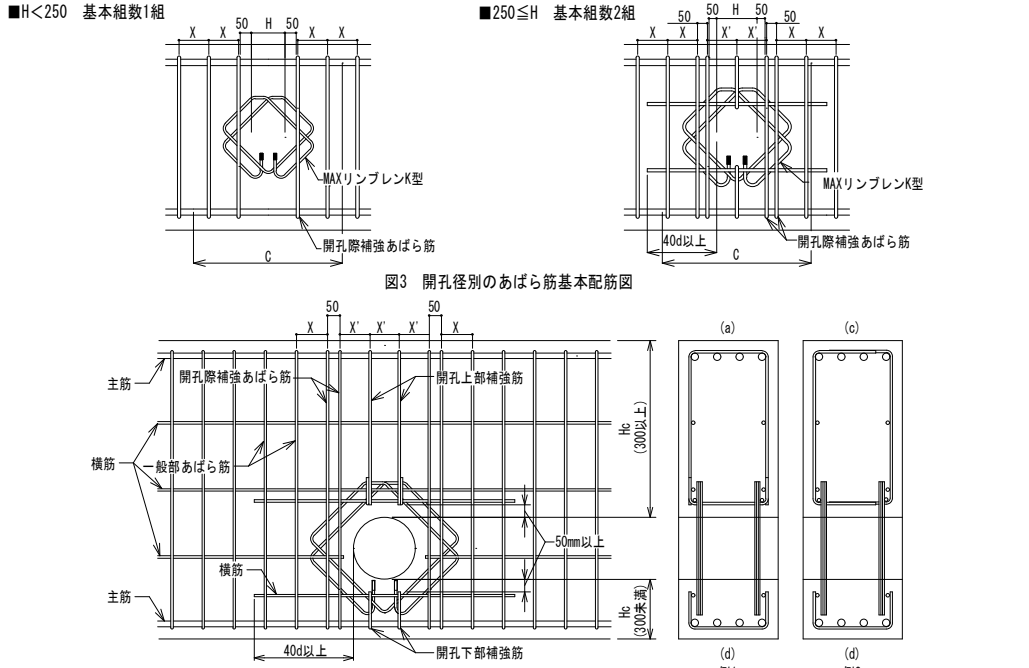
$p_r$ : 引張鉄筋比  $F_c$ : コンクリートの設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)  
 $M/Qd$ : せん断スパン比で、3以上のときは3とする。  
H: 開孔径 (mm) D: 梁せい (mm)  
 $p_r$ : 梁貫通孔補強筋の補強筋比  
 $r \sigma_y$ : 梁貫通孔補強筋の規格降伏点 (785N/mm<sup>2</sup>) ただし  $r \sigma_y = \min(785, 25F_c)$   
 $p_a$ : 有効補強範囲内のあばら筋比  
 $a \sigma_y$ : 有効補強範囲内のあばら筋の規格降伏点 (N/mm<sup>2</sup>) ただし  $a \sigma_y = \min(w \sigma_y, 25F_c)$   
b: 梁幅 (mm) j: 応力中心間距離で、 $j = \frac{7}{8} d$  (mm)とする。  
d: 梁の有効せい (mm)

◎施工管理要領

- 1、施工に先立ち、設計図書又は、配筋図に基づき有孔梁の補強計算を行ない、補強筋量及び開孔位置を確認する。  
次にMAXリンブレンK型の枚数及び、必要あばら筋組数を確認する。
- 2、梁貫通孔補強筋には製品の型式が記載されたラベルが取付けてあるので、適用な製品であるか又、変形や傷がないか、スプーサー一部にキャップが付いているか必ず確認する。キャップは開孔径別に色分けを施している。
- 3、梁貫通孔補強製品を直接地面に置くことは避け、各サイズ毎に整理し、雨・泥・油等で汚さないように保管する。

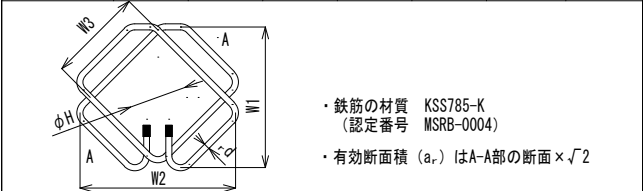
◎標準配筋図

- 1、梁貫通孔補強の取り付け
- 1) 梁貫通孔補強製品はあばら筋の内側に取り付けける。3枚以上の場合は、捨て筋に取り付け、梁貫通孔補強製品の間隔は50mm以上とする。
- 図2 梁貫通孔補強製品の取り付け
- 2、開孔際補強あばら筋の基本配筋(図3参照)
- 1) 開孔際補強あばら筋は、一般部あばら筋と同種同形状とし、基本組数を開孔径が、 $H < 250$ のとき開孔際に1組、 $250 \leq H$ のとき開孔際に2組とする。
- 2) 開孔際補強あばら筋は、開孔際から50mmのかぶり厚さとし、2組目以上の場合50mmピッチとする。
- 3、開孔上下部の補強(図4、5参照)
- 1) 開孔径が $250 \leq H$ のときは開孔上下部補強を設計ピッチ以内(X')で設ける。
- 2) 開孔上下部補強筋は一般部あばら筋と同径とし、横筋は一般部あばら筋と同径以上とし、定着長さは開孔際から40d以上とする。  
ただし、開孔上下部補強筋に丸鋼及びインデントの鉄筋は用いないこととする。
- 3) 開孔上下部補強筋は開孔の上下縁から50mm以上のかぶりを確保し、形状は図5を参考に決定する。Hcが300mm未満の場合、(d)の形状としてもよい。  
また、(c)のように梁の両側からコの字形の補強筋を配筋する場合の重ね長さは、「JASS5」の直線重ね継手長さ以上を確保することとする。



◎仕様

型 式	開孔径 H	寸 法			使用 鉄筋	有効断面積 mm <sup>2</sup>	キャップ 色別
		W1	W2	W3			
K-0806R	φ 80	253	292	180	S6	179.2	赤
K-0808R		264	298	180	S8	280.1	
K-0810R		289	319	190	S10	403.5	
K-0813R		296	334	200	S13	716.7	
K-1006R	φ 100	283	327	205	S6	179.2	黒
K-1008R		294	334	205	S8	280.1	
K-1010R		320	354	215	S10	403.5	
K-1013R		327	369	225	S13	716.7	
K-1206R	φ 125	313	363	230	S6	179.2	緑
K-1208R		325	369	230	S8	280.1	
K-1210R		350	389	240	S10	403.5	
K-1213R		357	404	250	S13	716.7	
K-1216R	φ 150	350	405	250	S16	1123.5	白
K-1506R		344	398	255	S6	179.2	
K-1508R		355	404	255	S8	280.1	
K-1510R		380	425	265	S10	403.5	
K-1513R	φ 175	388	440	275	S13	716.7	赤
K-1516R		380	441	275	S16	1123.5	
K-1706R		374	433	280	S6	179.2	
K-1708R		385	440	280	S8	280.1	
K-1710R	φ 200	411	460	290	S10	403.5	黒
K-1713R		418	475	300	S13	716.7	
K-1716R		411	476	300	S16	1123.5	
K-2006R		404	469	305	S6	179.2	
K-2008R	φ 250	416	475	305	S8	280.1	白
K-2010R		441	495	315	S10	403.5	
K-2013R		448	510	325	S13	716.7	
K-2016R		441	511	325	S16	1123.5	
K-2506R	φ 300	488	561	365	S6	179.2	黒
K-2508R		500	567	365	S8	280.1	
K-2510R		525	587	375	S10	403.5	
K-2513R		532	602	385	S13	716.7	
K-2516R	φ 350	525	603	385	S16	1123.5	白
K-3006R		589	674	440	S6	179.2	
K-3008R		600	680	440	S8	280.1	
K-3010R		625	701	450	S10	403.5	
K-3013R	φ 400	632	716	460	S13	716.7	黒
K-3016R		625	716	460	S16	1123.5	
K-3508R		675	758	490	S8	280.1	
K-3510R		700	778	500	S10	403.5	
K-3513R	φ 450	707	793	510	S13	716.7	白
K-3516R		700	794	510	S16	1123.5	
K-4010R		761	849	550	S10	403.5	
K-4013R		768	864	560	S13	716.7	
K-4016R	φ 500	761	865	560	S16	1123.5	黒
K-4510R		850	941	610	S10	403.5	
K-4513R		857	956	620	S13	716.7	
K-4516R		850	957	620	S16	1123.5	
K-5010R	φ 550	911	1,012	660	S10	403.5	白
K-5013R		918	1,027	670	S13	716.7	
K-5016R		911	1,028	670	S16	1123.5	
K-5510R		986	1,089	710	S10	403.5	
K-5513R	φ 600	993	1,104	720	S13	716.7	黒
K-5516R		986	1,104	720	S16	1123.5	
K-6010R		1,046	1,160	760	S10	403.5	
K-6013R		1,053	1,175	770	S13	716.7	
K-6016R	φ 650	1,046	1,176	770	S16	1123.5	白
K-6510R		1,135	1,252	820	S10	403.5	
K-6513R		1,142	1,267	830	S13	716.7	
K-6516R		1,135	1,268	830	S16	1123.5	
K-7010R	φ 700	1,196	1,323	870	S10	403.5	黒
K-7013R		1,203	1,338	880	S13	716.7	
K-7016R		1,196	1,339	880	S16	1123.5	
K-7510R		1,257	1,394	920	S10	403.5	
K-7513R	φ 750	1,264	1,409	930	S13	716.7	白
K-7516R		1,257	1,409	930	S16	1123.5	



K-001-02150617-J



NO - 3

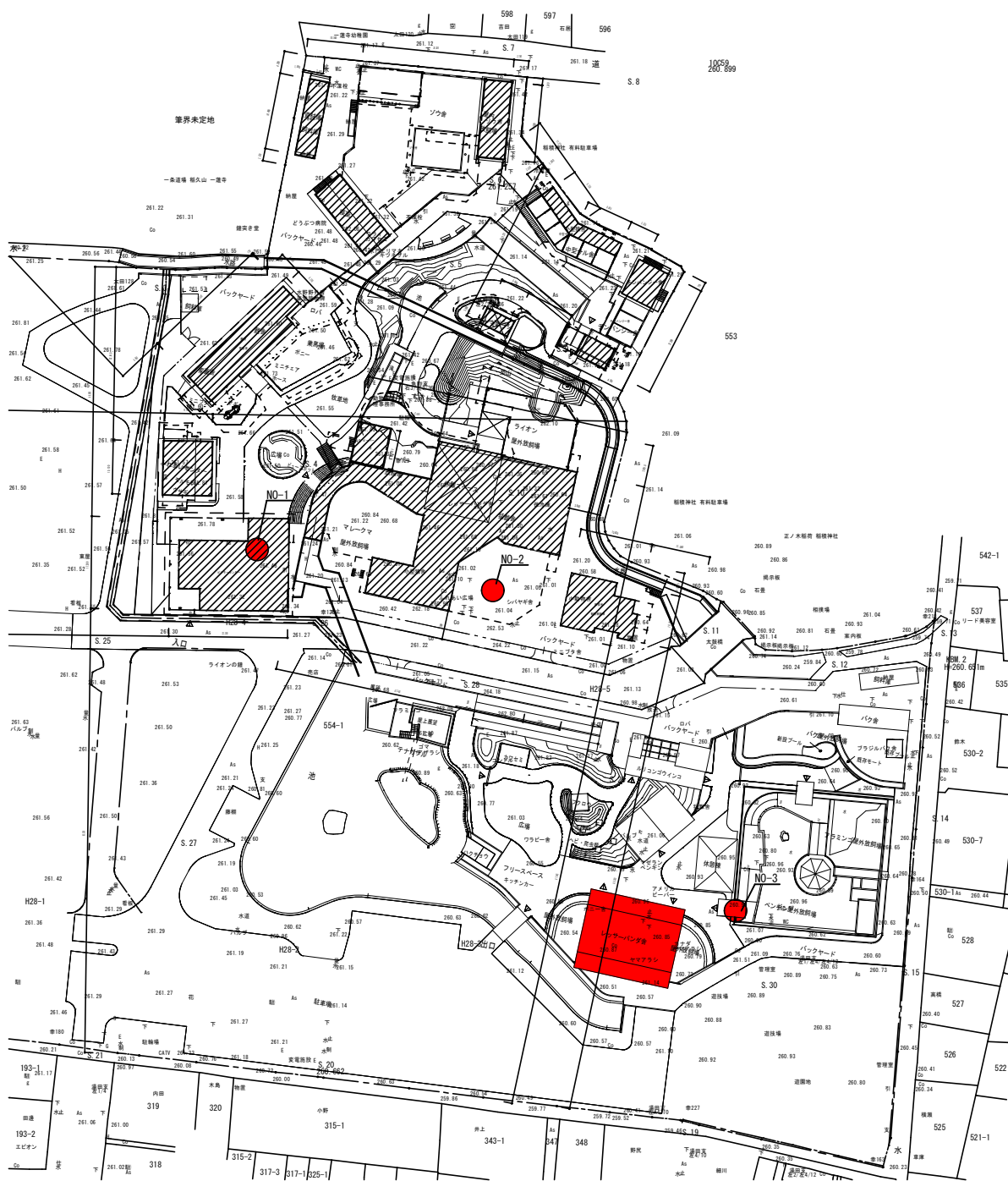
調 查 名 遊 龜 公 園 附 屬 動 物 園 地 質 調 查 業 務 委 託

[illegible]

事業・工事名 遊亀公園・附属動物園整備事業

シート No 220363

ボーリング名	R4B-3	調査位置	甲府市太田町10-1地内				北緯	35° 39' 01.56"
発注機関	甲府市役所		調査期間	令和 4年 8月 25日 ~ 4年 8月 30日			東経	138° 34' 20.40"
調査業者名	株式会社 ハギ・ボー 電話 (055-243-4777)		主任技師	現 場 代理人	コ ン プ レ ー タ ー 測 定 者	ア シ ス ト ン ト	ボーリング 責任者	清水孝士
孔口標高	H <sub>0</sub> 260.92m	角 上 方	北 0° 270°	地盤勾配 水平0° 鉛直0°	使用機種 試験機 エンジン	00-D ハンマー 落下用具 ポン	自動落下式 BG-4C	
総掘進長	30.32m	度 0°	90° 180°	0°	NFD10-M			

[illegible]

ボーリング位置図 1 / 1200

特 記	
事 項	

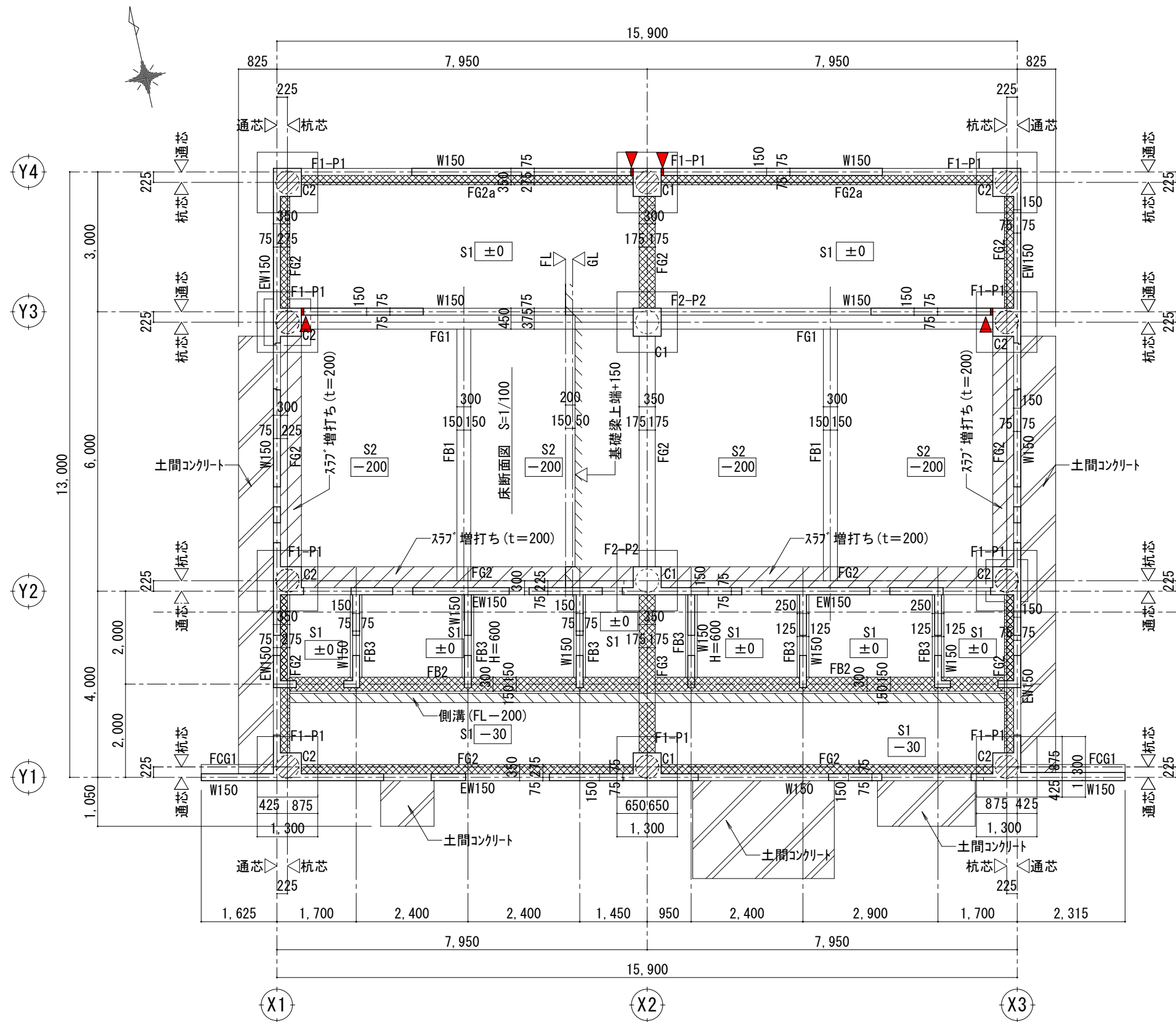


山梨建築設計監理事業協同組合

代表設計者	設計担当者	設計担当者	縮 尺
一級建築士 第145710号	一級建築士 第195053号	一級建築士 第218776号	1/1200、1/200
			設計年月日



工事名称	遊亀公園付属動物園整備(建築主体)工事 (南一レッサパ <sup>®</sup> ンタ <sup>®</sup> 舎)
図面名称	地盤調査図



No. 南レS-05



印は、構造スリット（柱面完全スリット型）を示す。

基礎・杭 伏 図 S=1/100

- ・ 基礎梁天端は GL-200 とする
- ・  印は 梁天端増し打ちとする
- ・  内数値は FLからの高さを示す

P 1 :  CPRC杭+PHC杭 500φ、L=30m（上杭 CPRC-I種：10m、中・下杭 PHC杭 A種：10m）=10セット  
P 2 :  PHC杭 500φ、L=30m（上杭 C種：10m、中・下杭 A種：10m）=2セット

特 記	
事 項	



山梨建築設計監理事業協同組合

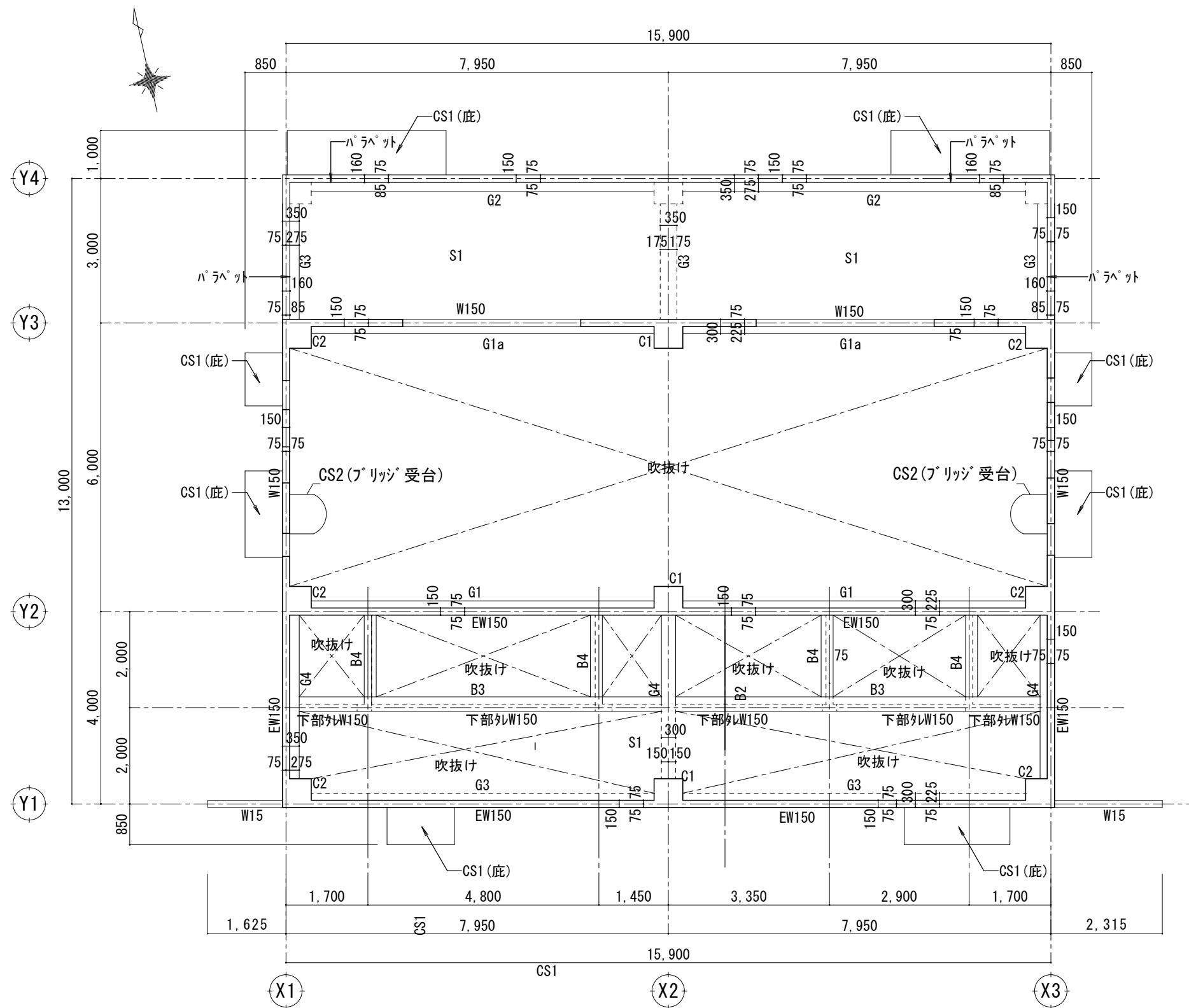
代表設計者	設計担当者	設計担当者
一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	一級建築士 第218776号 清呂木克人

縮 尺
1/100
設計年月日

工事名称	遊亀公園付属動物園整備(建築主体)工事（南-レッサーハシダ舎）
図面名称	基礎・杭伏図

南レS-06  
No.





Z 2層 床梁伏図 1/100

・梁・床の高さは軸組図参照

特記事項



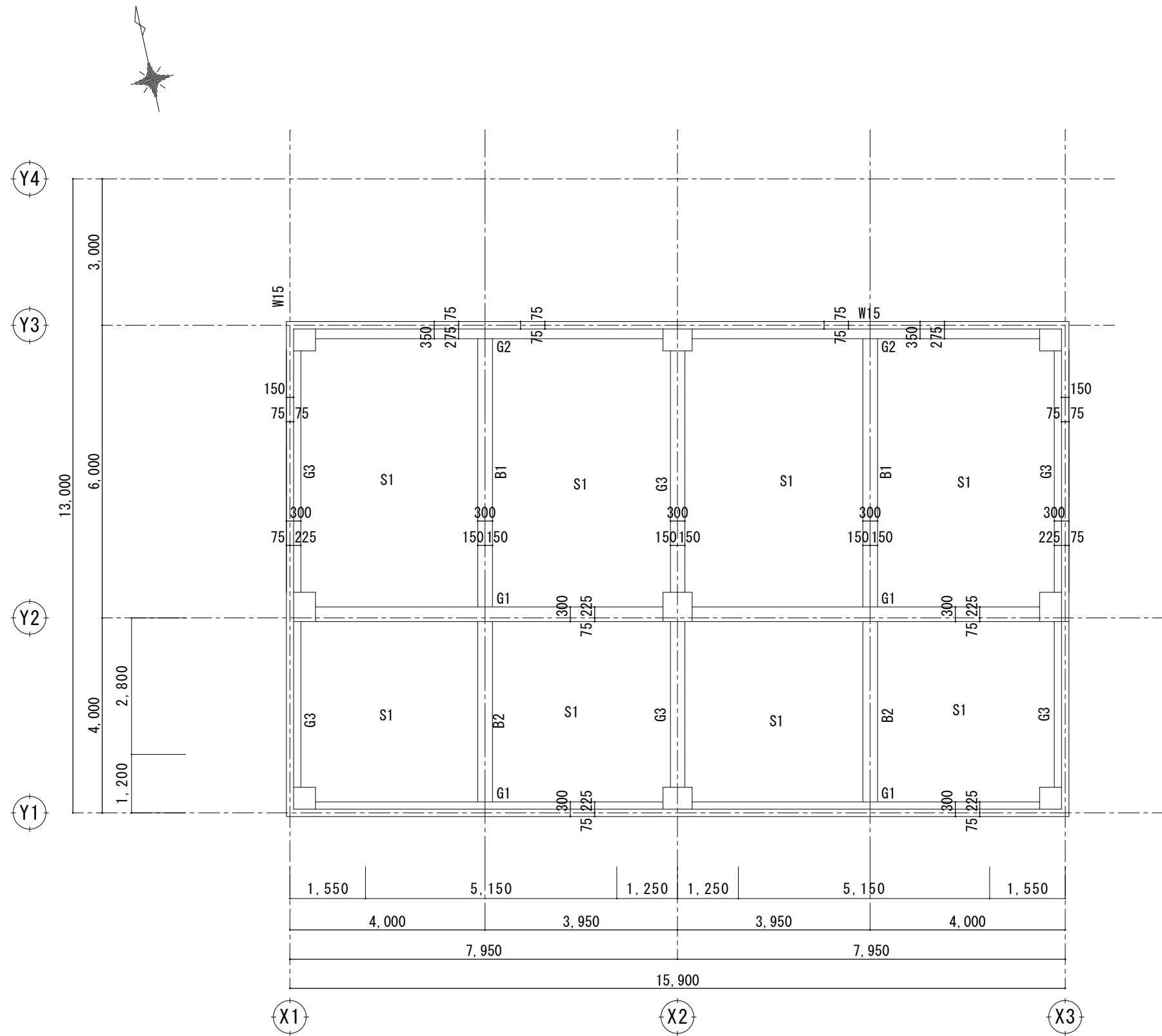
山梨建築設計監理事業協同組合

代表設計者 設計担当者 設計担当者  
一級建築士 一級建築士 一級建築士  
第145710号 第195053号 第218776号  
佐野 正秀 坪川 裕 清呂木 克人

縮 尺  
1/100  
設計年月日

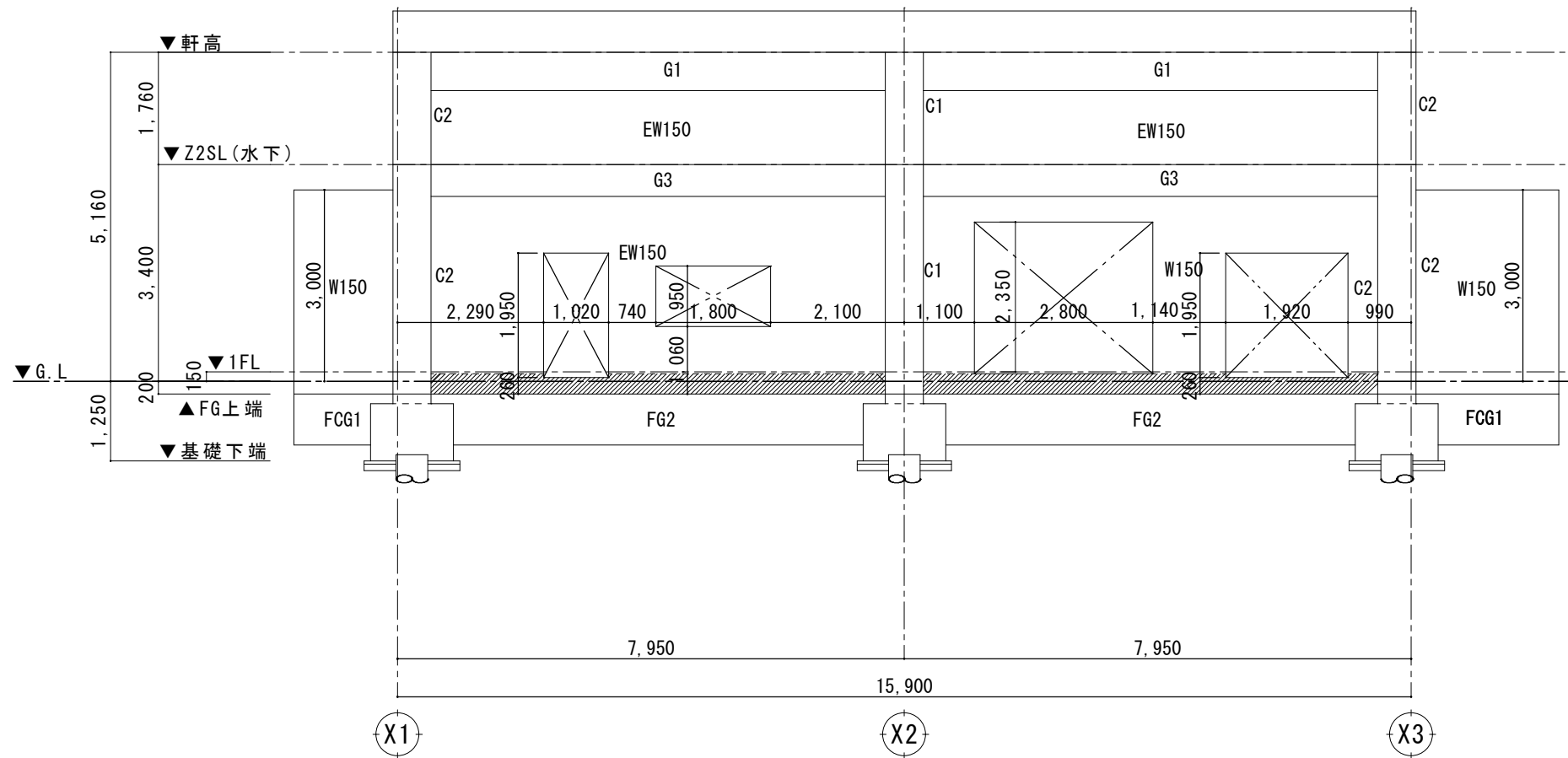
工事名称 遊亀公園付属動物園整備(建築主体)工事 (南レッサ・ハンガ'舎)  
図面名称 Z 2層 床梁伏図

南レS-07  
No.

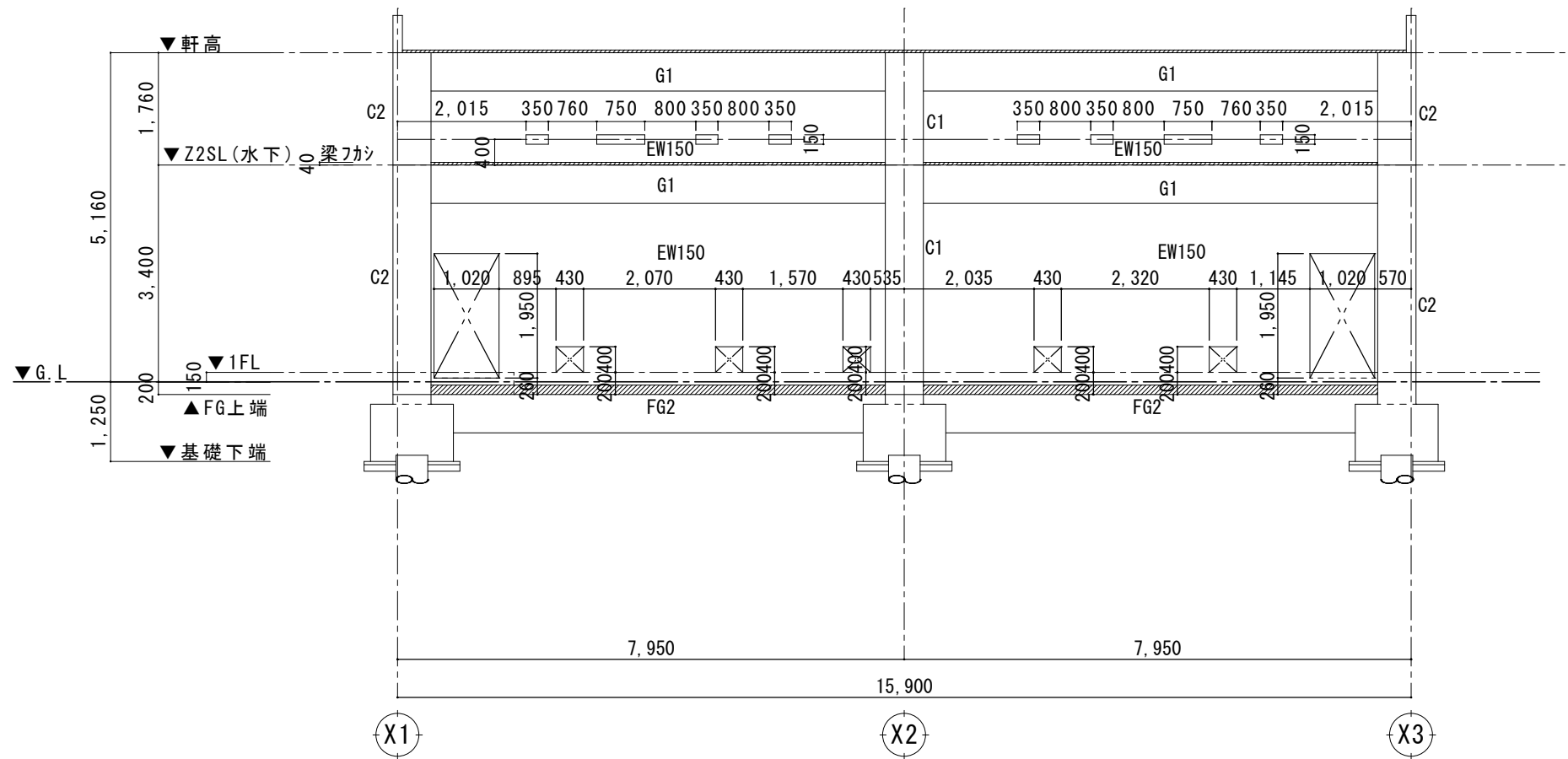


Z 3 層 床梁伏図 1/100

・ 梁・床の高さは軸組図参照



Y 1 通り 軸組図 1/100



Y 2 通り 軸組図 1/100



印は、構造スリット（柱面完全スリット型）を示す。

特記事項



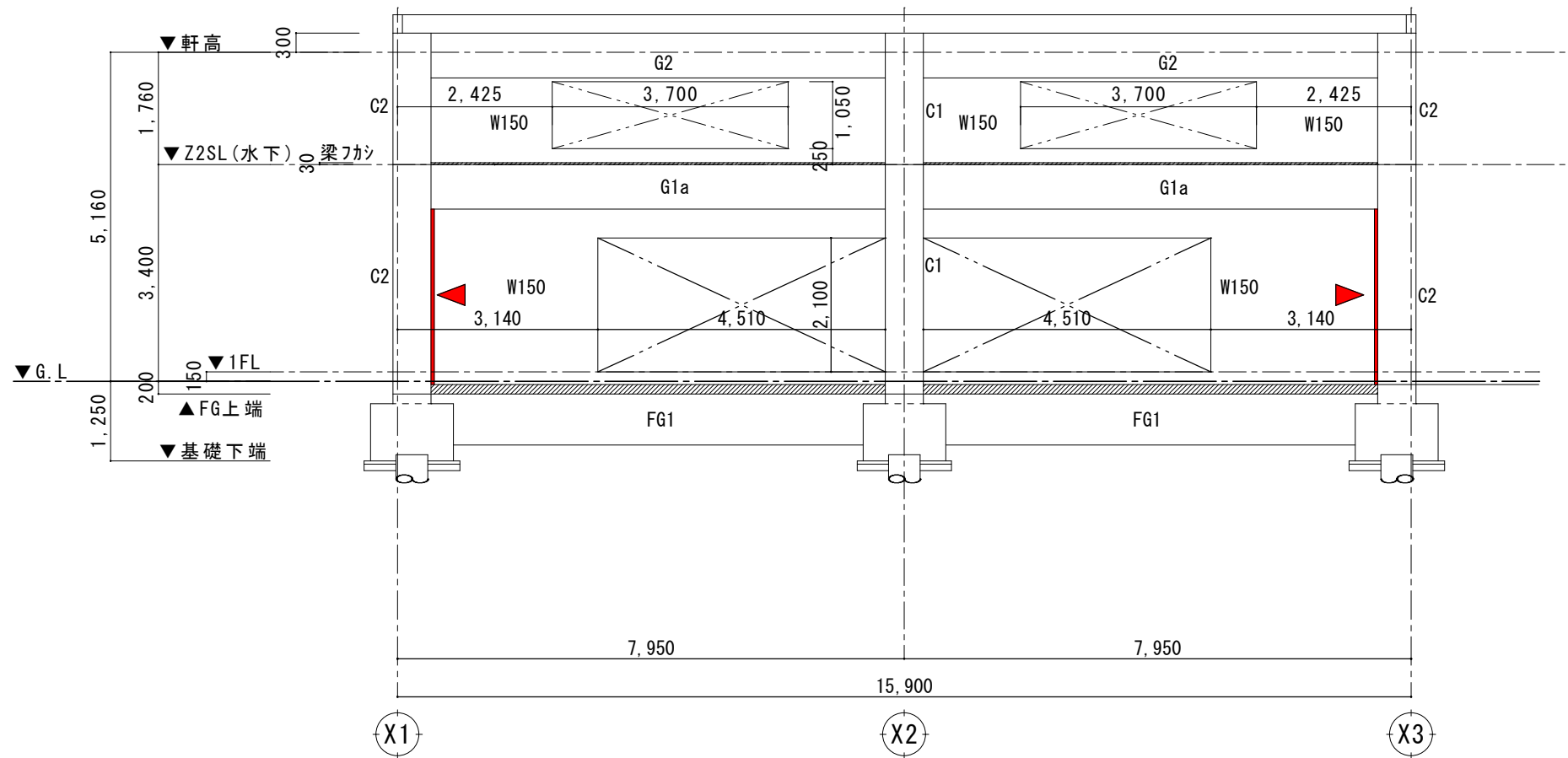
山梨建築設計監理事業協同組合

代表設計者 設計担当者 設計担当者  
一級建築士 一級建築士 一級建築士  
第145710号 第195053号 第218776号  
佐野 正秀 坪川 裕 清呂木 克人

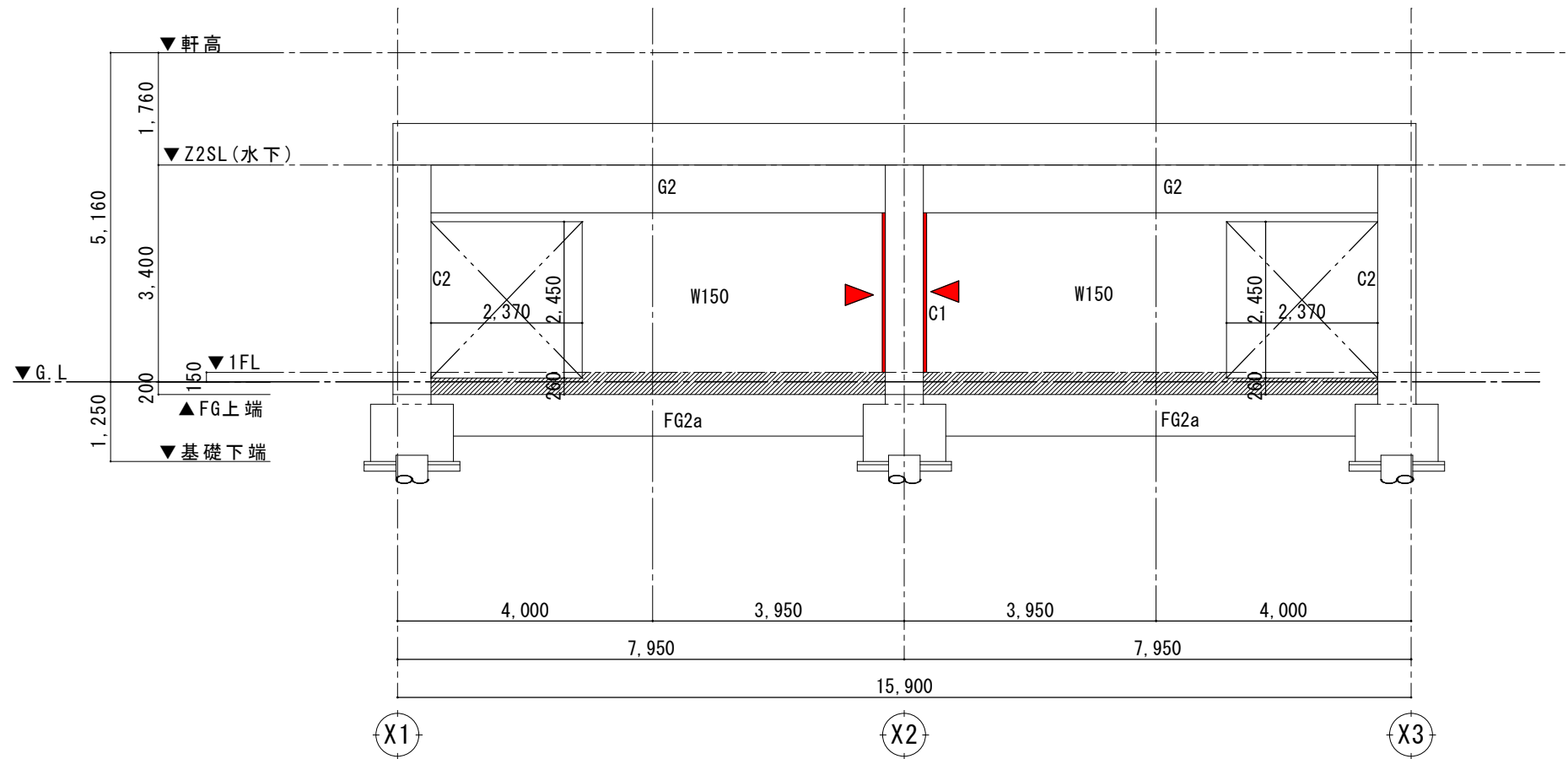
縮尺  
1/100  
設計年月日

工事名称 遊亀公園付属動物園整備(建築主体)工事（南－レッサーパンダ舎）  
図面名称 Y 1、Y 2 通り 軸組図

南レS-09  
No.



Y 3 通り 軸組図 1/100



Y 4 通り 軸組図 1/100



印は、構造スリット（柱面完全スリット型）を示す。

特記事項



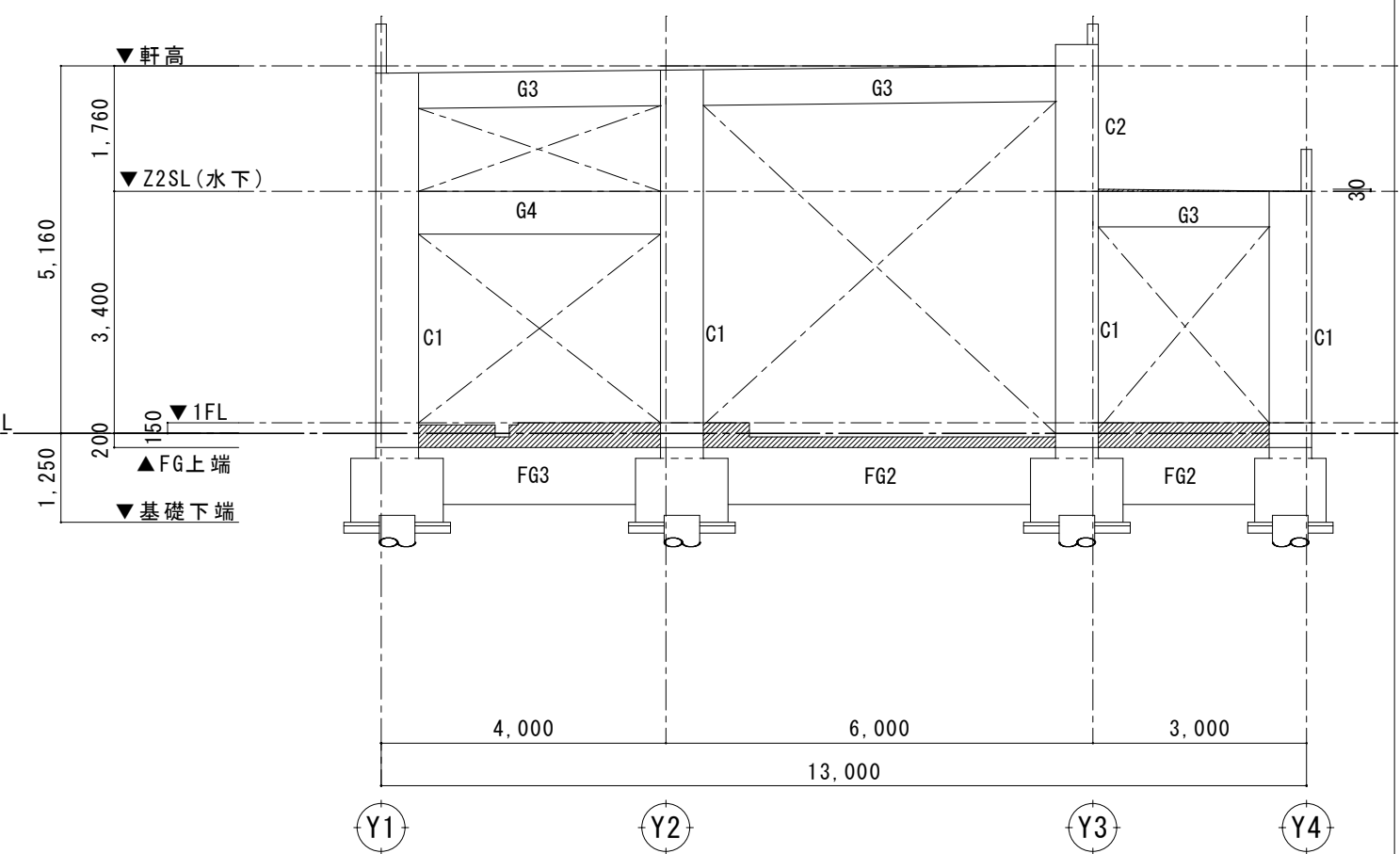
山梨建築設計監理事業協同組合

代表設計者 設計担当者 設計担当者  
一級建築士 一級建築士 一級建築士  
第145710号 第195053号 第218776号  
佐野 正秀 坪川 裕 溝呂木 克人

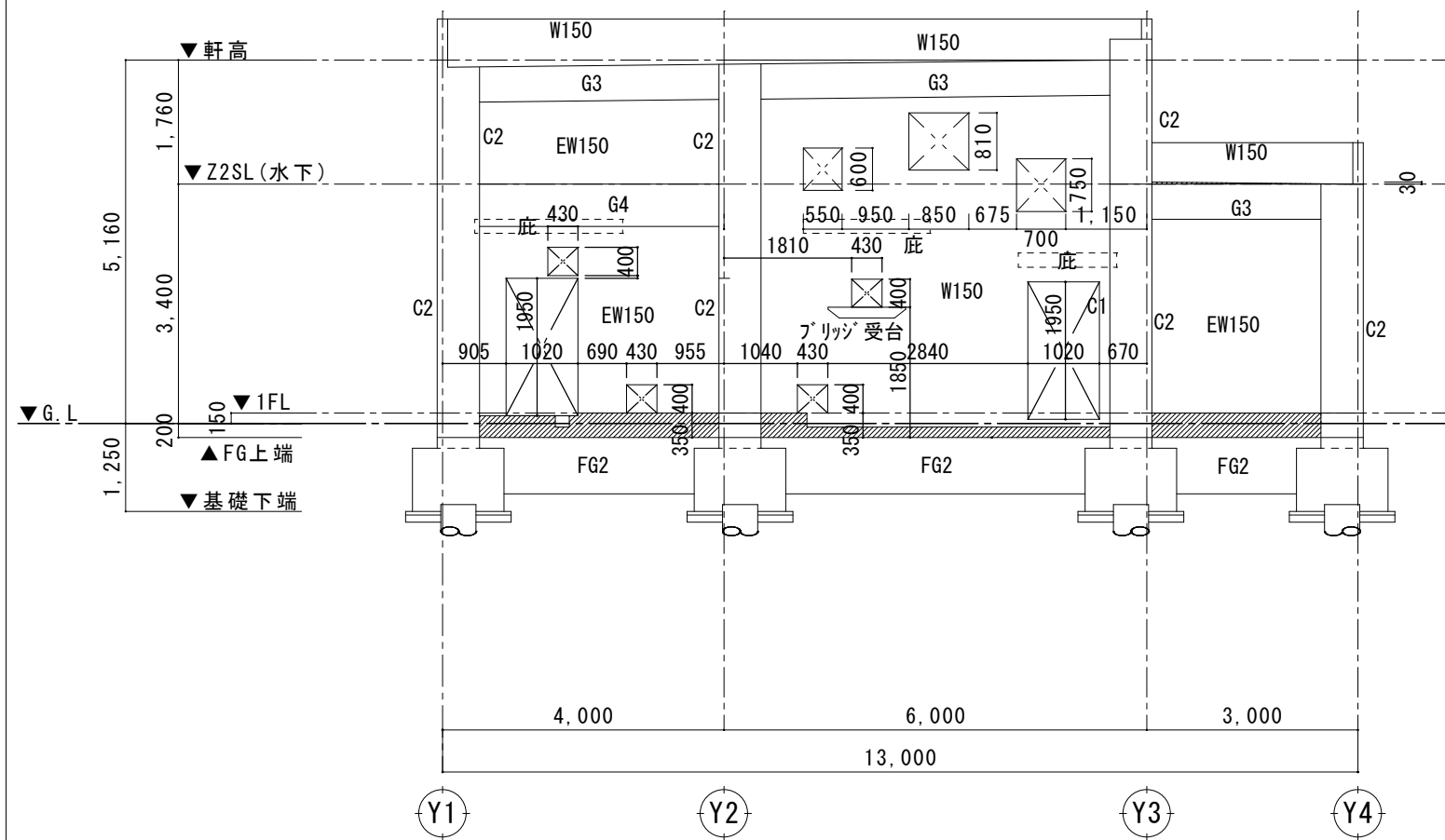
縮尺  
1/100  
設計年月日


工事名称 遊亀公園付属動物園整備(建築主体)工事（南－レッサーパンダ舎）  
図面名称 Y 3、Y 4 通り 軸組図

南レS-10  
No.

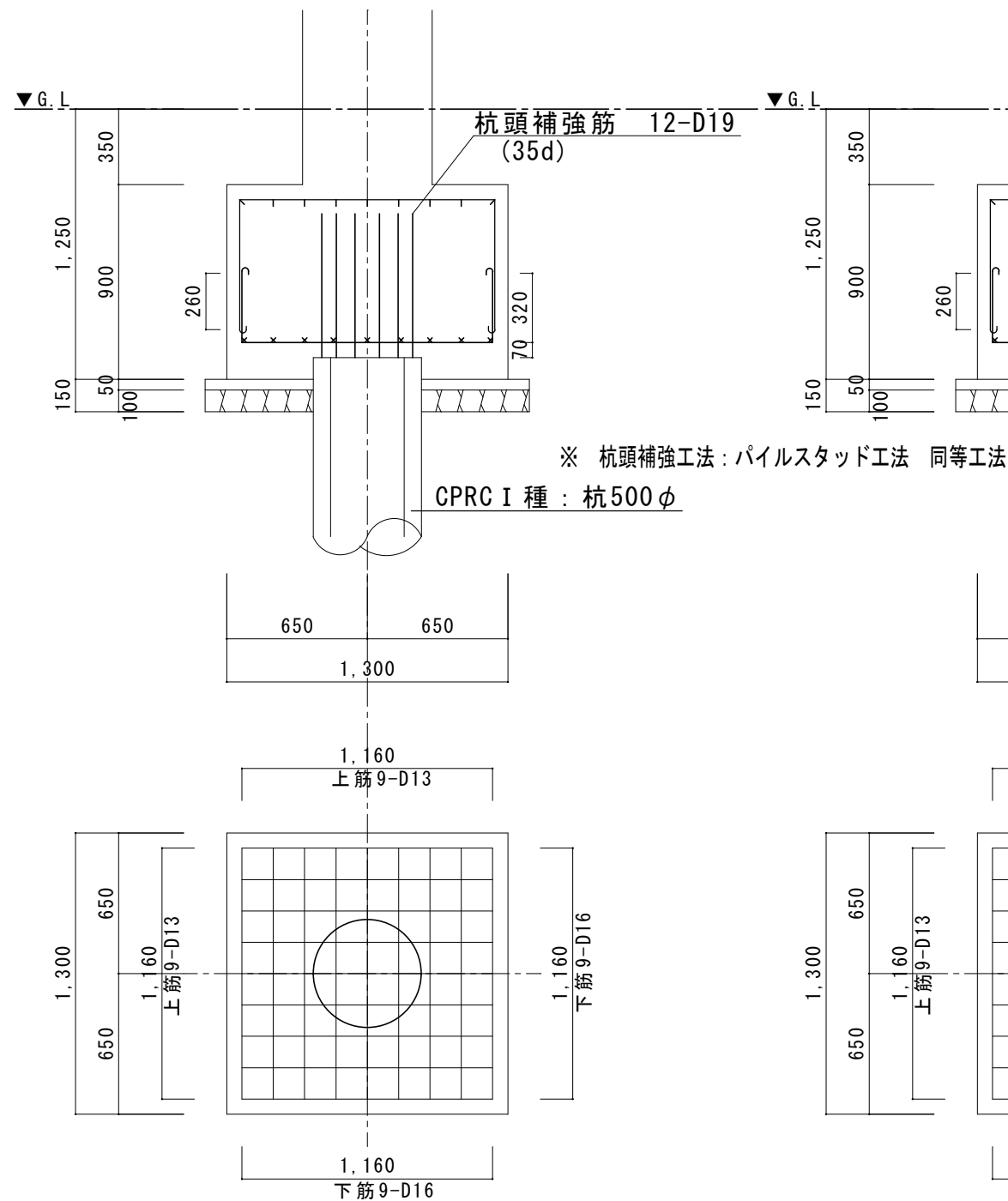


X 2 通り 軸組図 1/100

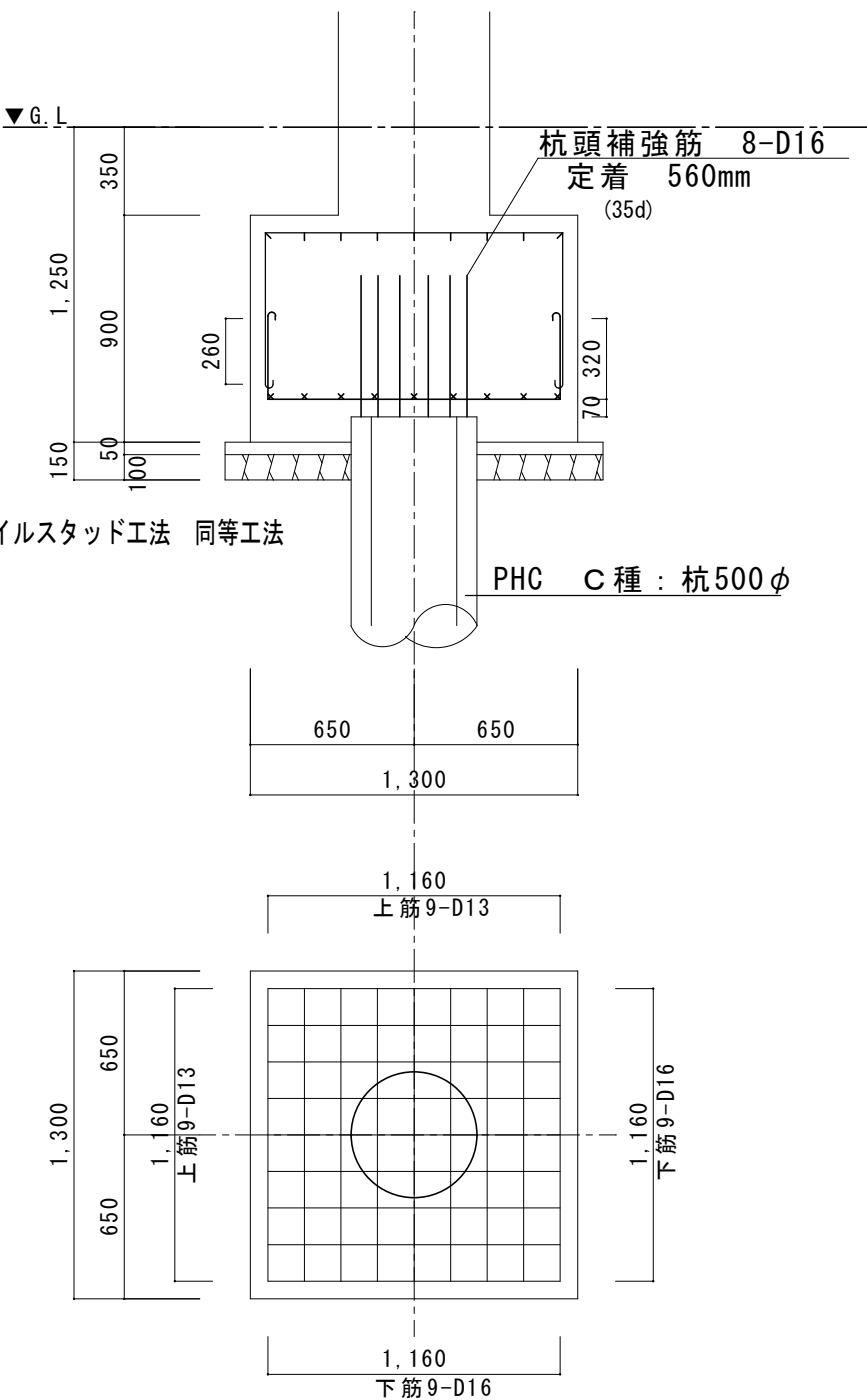


特 記 事 項		 山梨建築設計監理事業協同組合	代表設計者	設計担当者	設計担当者	縮 尺	工事名称 遊亀公園付属動物園整備（建築主体）工事（南－レッザ・パング´舎）	南レS－1 1
			一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	一級建築士 第218776号 溝呂木克人	1/100 設計年月日		

F 1

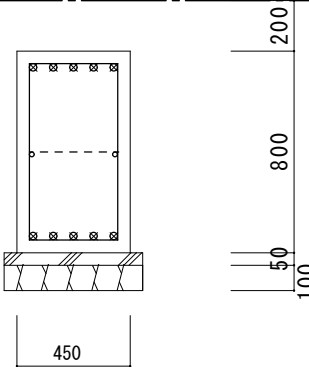
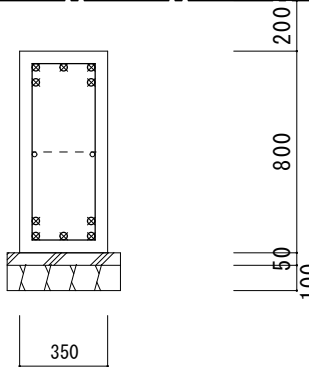


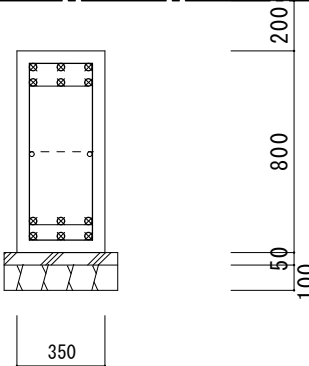
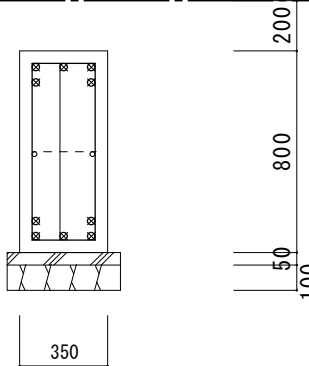
F 2



基礎 リ ス ト 1 / 3 0

地 中 梁 リ ス ト 1 / 3 0

符 号	F G 1	F G 2
位 置	全 断 面	全 断 面
断 面		
	B × D	4 5 0 × 8 0 0
	上 端 筋	5 - D 2 5
	下 端 筋	5 - D 2 5
	スターラップ	D 1 3 @ 2 0 0
	腹 筋	2 - D 1 0
	巾 止 筋	D 1 0 @ 1 0 0 0

符 号	F G 2 a	F G 3
位 置	全 断 面	全 断 面
断 面		
	B × D	3 5 0 × 8 0 0
	上 端 筋	6 - D 2 5
	下 端 筋	6 - D 2 5
	スターラップ	D 1 0 @ 2 0 0
	腹 筋	2 - D 1 0
	巾 止 筋	D 1 0 @ 1 0 0 0

特 記  
事 項



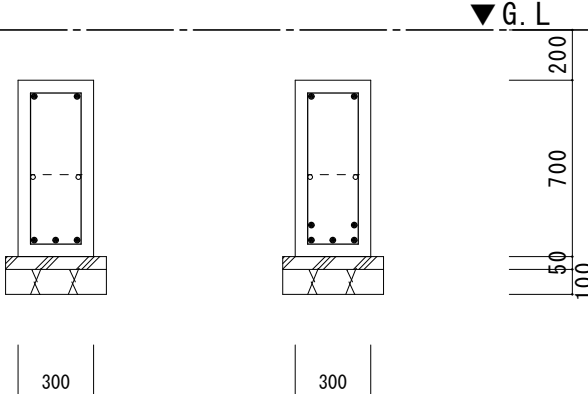
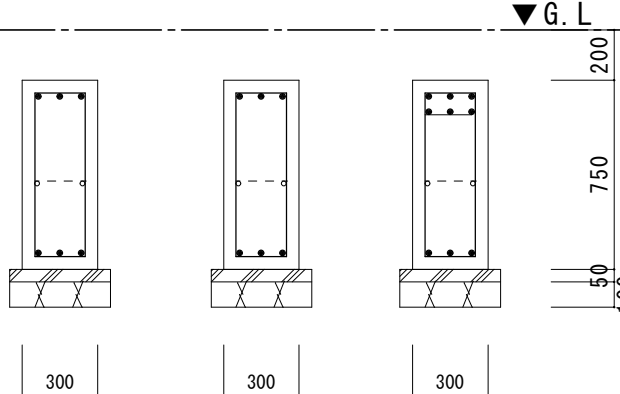
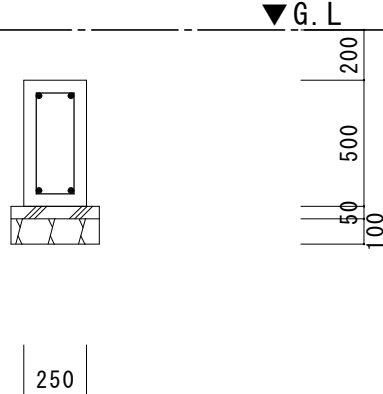
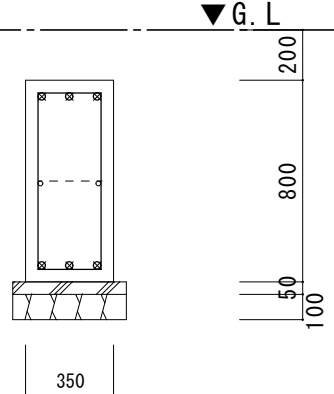
山梨建築設計監理事業協同組合

代表設計者	設計担当者	設計担当者
一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	一級建築士 第218776号 清呂木克人

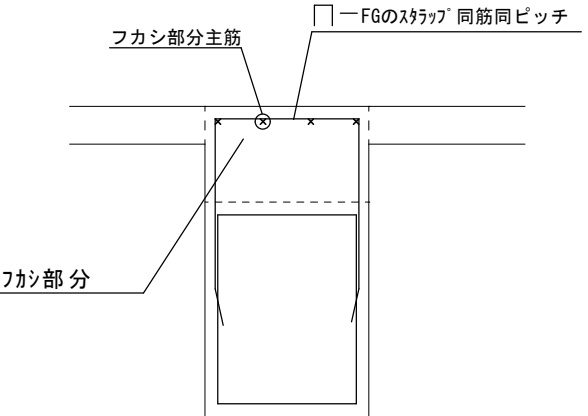
縮 尺  
1/30  
設計年月日

工事名称 遊亀公園付属動物園整備(建築主体)工事 (南レッサ・ハン'舎)  
図面名称 基礎・地中梁リスト

南レS-12  
No.

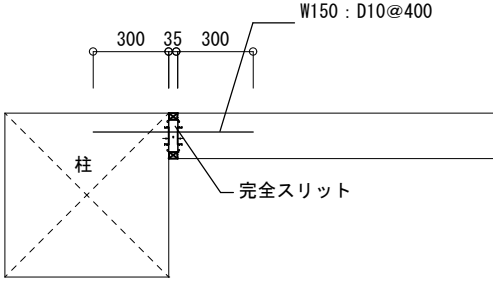
符 号	F B 1		F B 2			F B 3	F C G 1	
位 置	端 部 中 央		外 端 部 中 央 内 端 部			全 断 面	全 断 面	
断 面								
	B × D	3 0 0 × 7 0 0	3 0 0 × 7 0 0	3 0 0 × 7 5 0	3 0 0 × 7 5 0	3 0 0 × 7 5 0	2 5 0 × 5 0 0	3 5 0 × 8 0 0
	上 端 筋	2 - D 1 9	2 - D 1 9	3 - D 1 9	3 - D 1 9	6 - D 1 9	2 - D 1 9	3 - D 2 5
	下 端 筋	3 - D 1 9	5 - D 1 9	3 - D 1 9	3 - D 1 9	3 - D 1 9	2 - D 1 9	3 - D 2 5
	スターラップ	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0	D 1 0 @ 2 0 0
	腹 筋	2 - D 1 0	2 - D 1 0	2 - D 1 0	2 - D 1 0	2 - D 1 0		2 - D 1 0
	巾 止 筋	D 1 0 @ 1 0 0 0	D 1 0 @ 1 0 0 0	D 1 0 @ 1 0 0 0	D 1 0 @ 1 0 0 0	D 1 0 @ 1 0 0 0		D 1 0 @ 1 0 0 0

フカシ補強筋

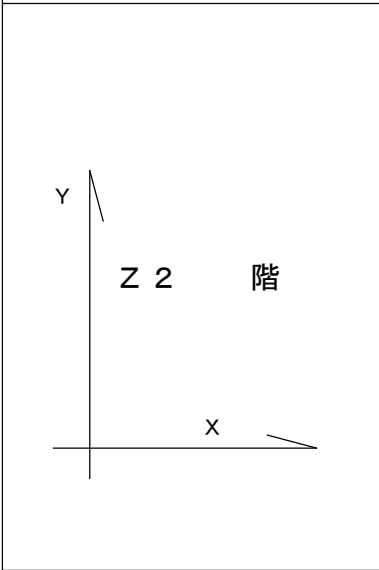
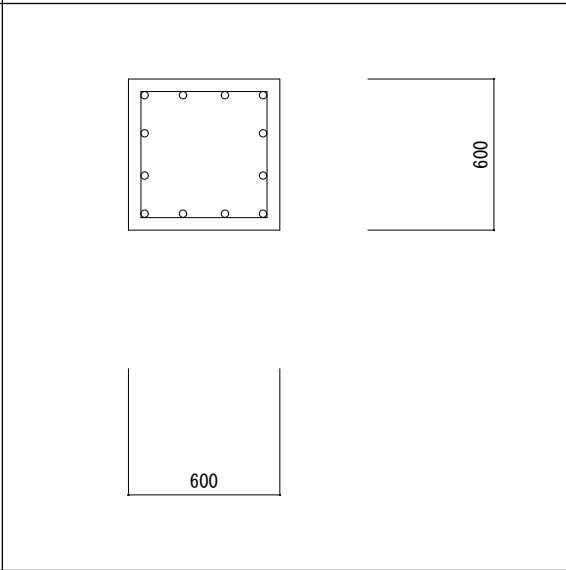
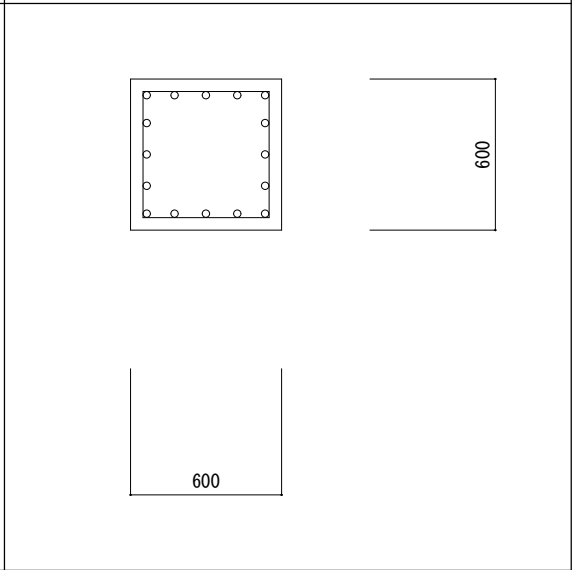
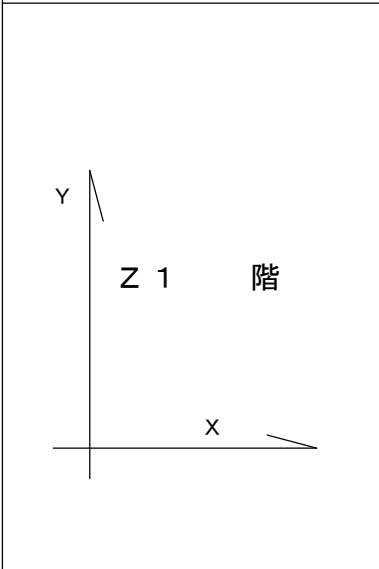
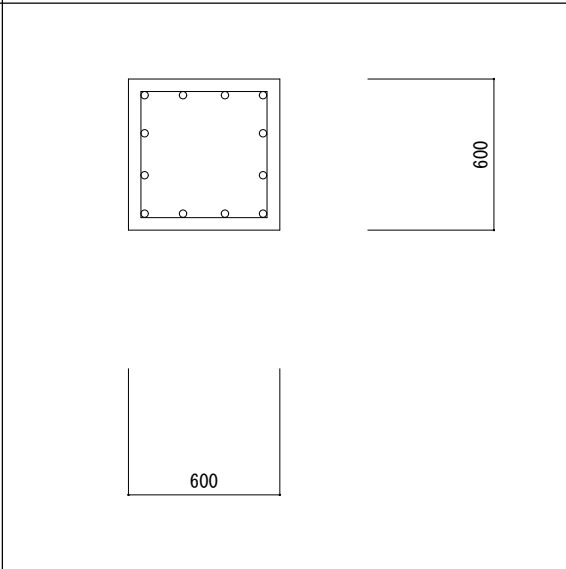
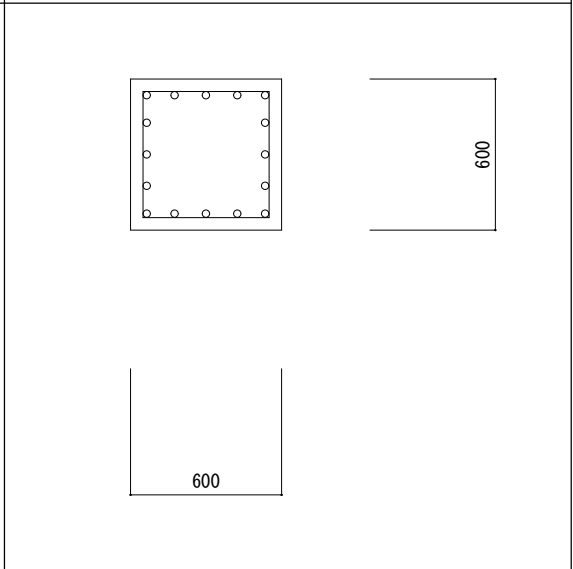


梁 幅	フカシ部分 主筋
400～550	3-D19
250～350	2-D16

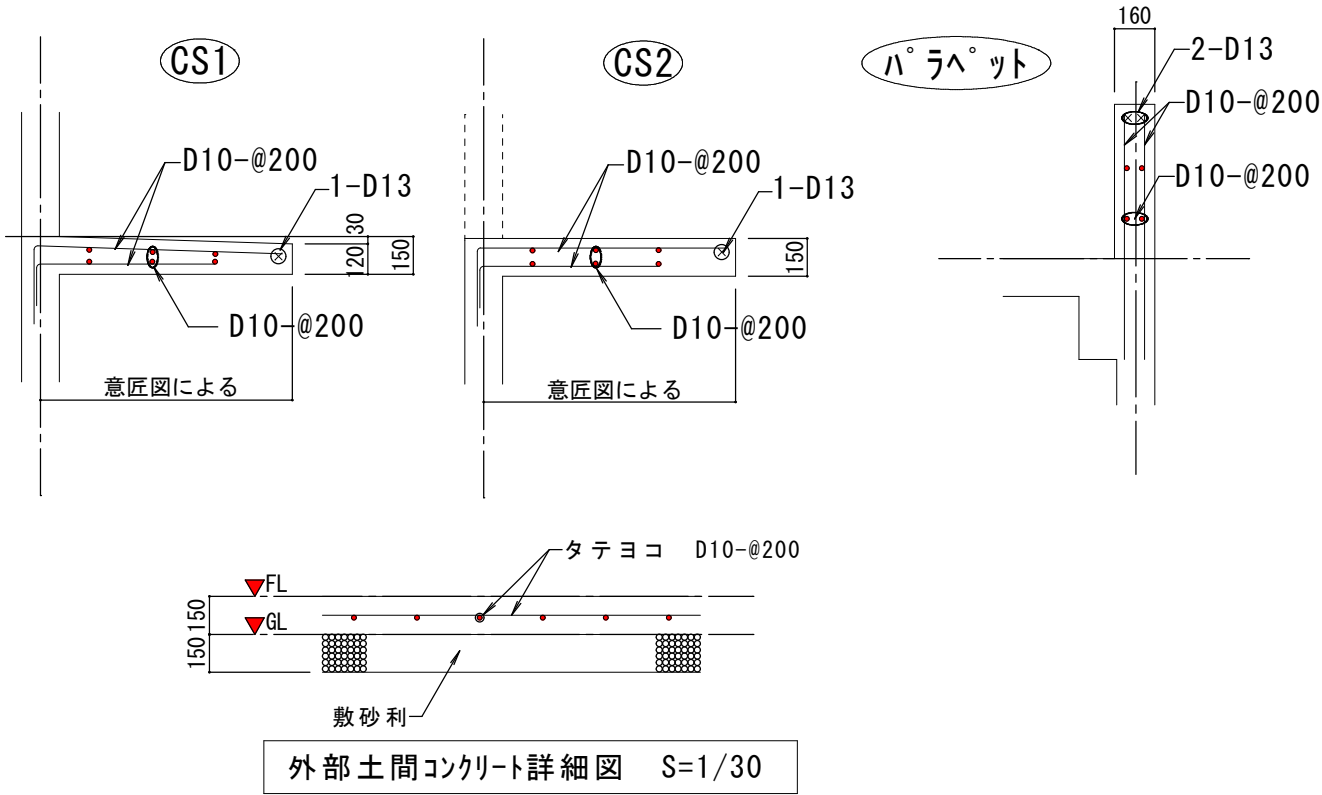
スリット 詳細図



壁リスト							
符号	壁厚						備考
		縦筋	横筋	縦筋	横筋	斜筋	
W15	150	D10-@200 ダブル・チドリ	D10-@200 ダブル・チドリ	2-D13	2-D13	2-D13	幅止筋 D10-@1,000
EW15	150	D10-@200 ダブル・チドリ	D10-@200 ダブル・チドリ	4-D13	4-D13	2-D13	幅止筋 D10-@1,000

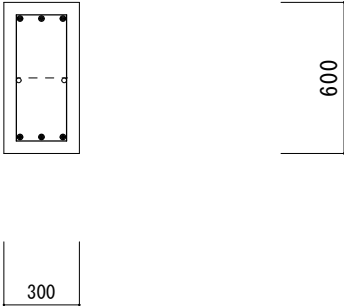
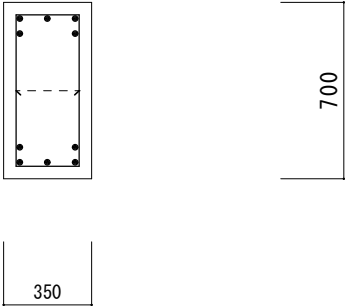
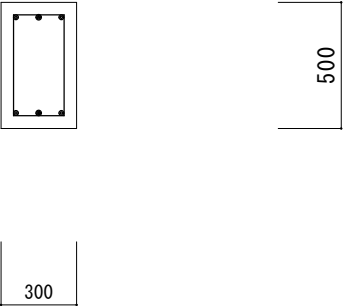
符            号	C   1	C   2
		
D x   x   D y	6 0 0   x   6 0 0	6 0 0   x   6 0 0
主            筋	1 2 - D 1 9	1 6 - D 1 9
H O O P	□ - D 1 0 @ 1 0 0	□ - D 1 0 @ 1 0 0
		
D x   x   D y	6 0 0   x   6 0 0	6 0 0   x   6 0 0
主            筋	1 2 - D 1 9	1 6 - D 1 9
H O O P	□ - D 1 0 @ 1 0 0	□ - D 1 0 @ 1 0 0

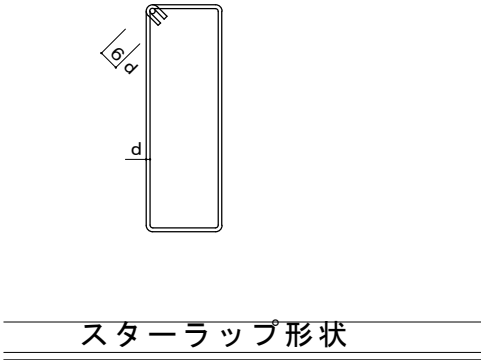
床板リスト						
符 号	↑ スラブ厚 (mm)	位 置	短 辺 方 向		長 辺 方 向	
S1	150	上 端 筋	D10・D13-@200		D10・D13-@200	
		下 端 筋	D10-@200		D10-@200	
S2	150	上 端 筋	D13-@200		D13-@200	
		下 端 筋	D13-@200		D13-@200	
			※ 1階スラブは砕石 t=150 転圧			
CS2 (庇)	150～120 (意匠図による)	上 端 筋	基 端	D10-@200	先 端	D10-@200
		下 端 筋		D10-@200		D10-@200
CS3 (フリップ受台)	150 (意匠図による)	上 端 筋	基 端	D10-@200	先 端	D10-@200
		下 端 筋		D10-@200		D10-@200

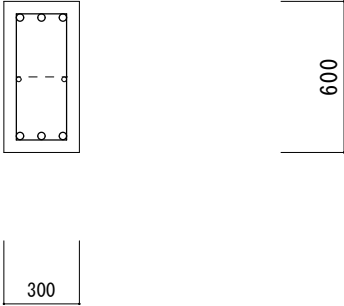
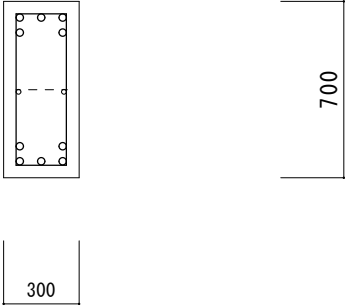
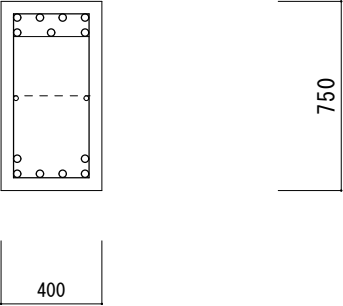
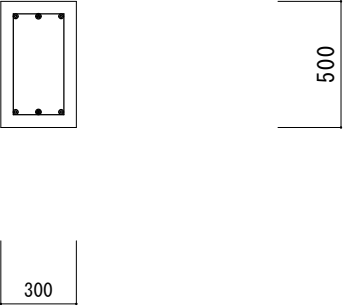
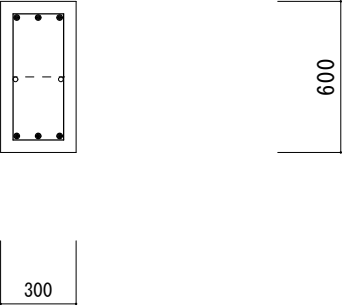




R 階 大 梁 リ ス ト 1 / 3 0

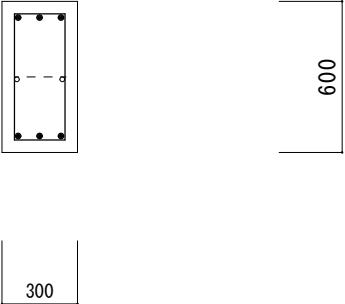
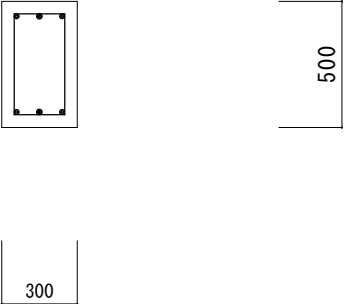
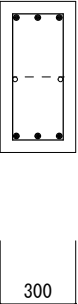
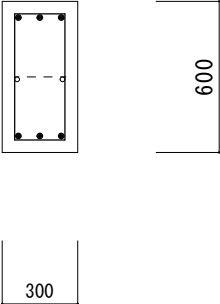
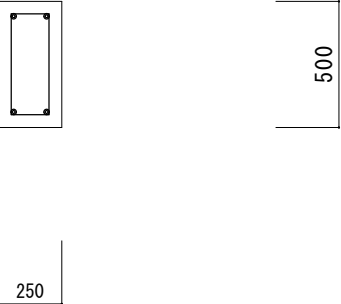
符 号	G 1	G 2	G 3
位 置	全 断 面	全 断 面	全 断 面
Z 3 階			
	B × D	3 0 0 × 6 0 0	3 5 0 × 7 0 0
	上 端 筋	3-D19	5-D19
	下 端 筋	3-D19	5-D19
	スターラップ	D10@200	D10@200
	腹 筋	2-D10	2-D10
	巾 止 筋	D10@1000	D10@800

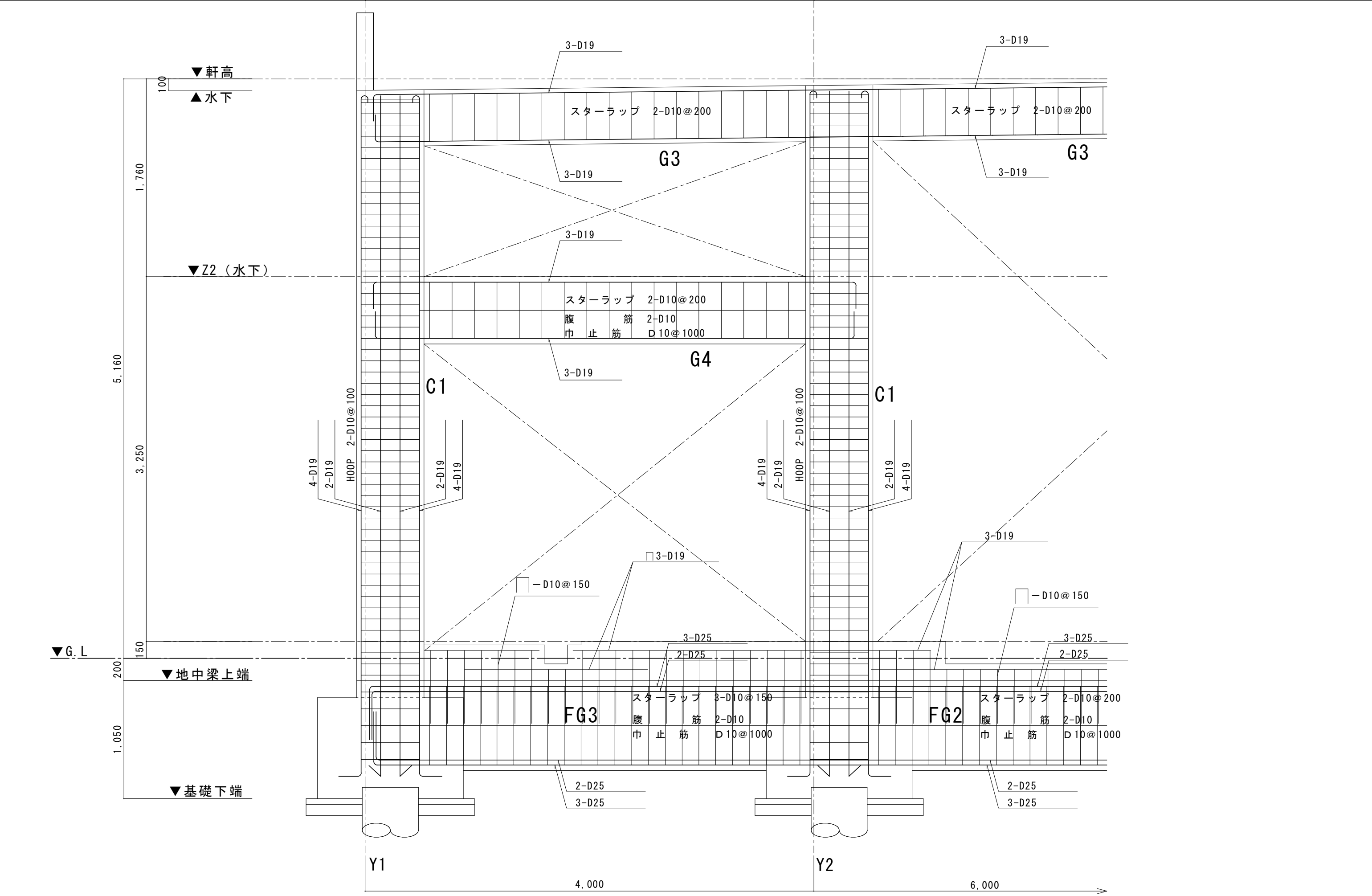


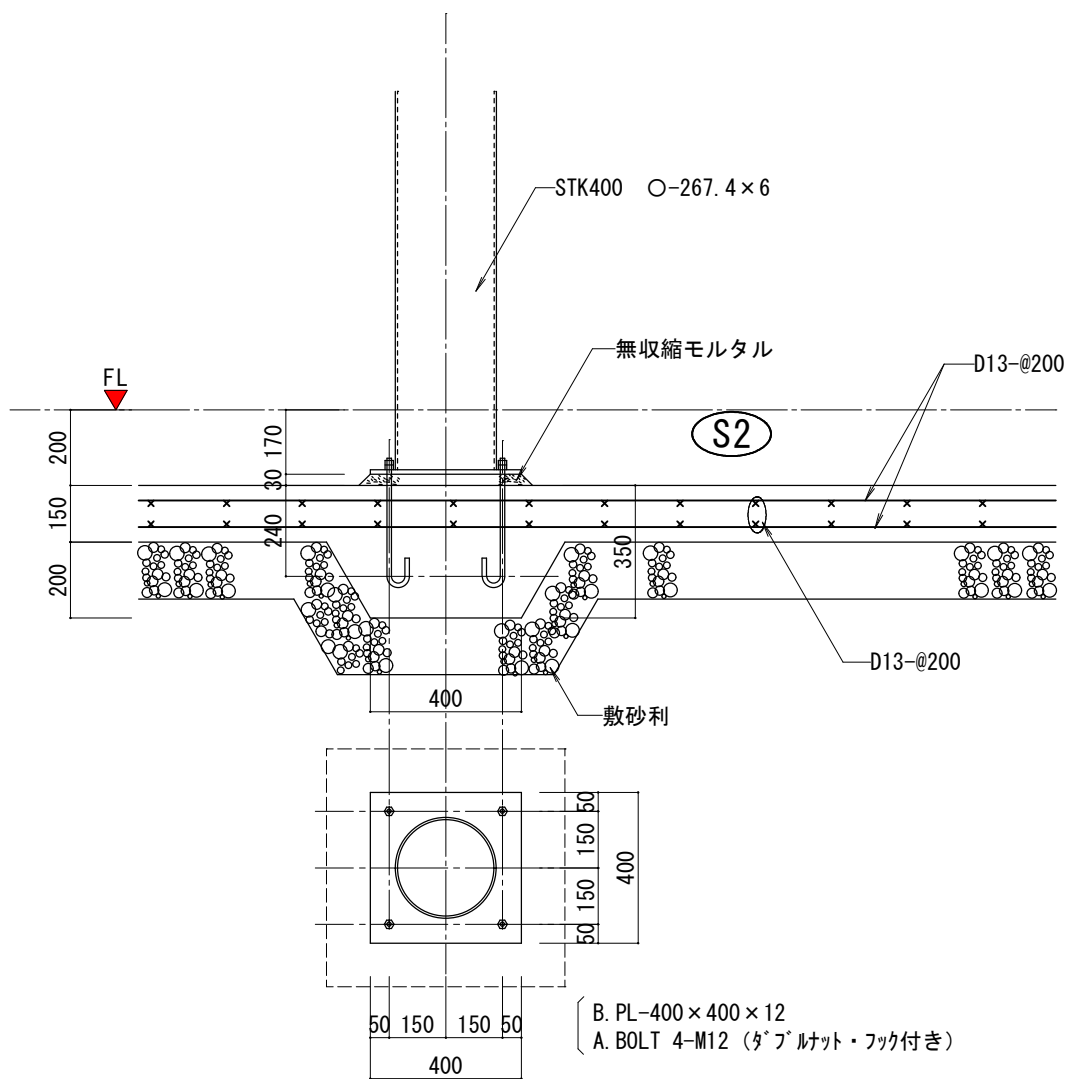
符 号	G 1	G 1 a	G 2	G 3	G 4
位 置	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面	全 断 面
Z 2 階					
	B × D	3 0 0 × 6 0 0	3 0 0 × 7 0 0	4 0 0 × 7 5 0	3 0 0 × 5 0 0
	上 端 筋	3-D22	5-D22	7-D22	3-D19
	下 端 筋	3-D22	5-D22	6-D22	3-D19
	スターラップ	D10@200	D10@200	D10@175	D10@200
	腹 筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10
	巾 止 筋	D10@1000	D10@1000	D10@1000	D10@1000

小 梁 リ ス ト

1 / 3 0

符 号	B 1	B 2	B 3		B 4
位 置	全 断 面	全 断 面	外端部・中央	内 端 部	全 断 面
断 面					
	300	300	300	300	250
	B × D	300 × 600	300 × 500	300 × 600 300 × 600	250 × 500
	上 端 筋	3-D19	3-D19	3-D19 3-D19	2-D16
	下 端 筋	3-D19	3-D19	3-D19 3-D19	2-D16
	スターラップ	D10@200	D10@200	D10@200 D10@200	D10@200
	腹 筋	2-D10		2-D10 2-D10	
	巾 止 筋	D10@1000		D10@1000 D10@1000	





特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

代表設計者	設計担当者	設計担当者
一級建築士 第145710号 佐野 正秀	一級建築士 第195053号 坪川 裕	一級建築士 第218776号 清呂木克人

縮尺
A1→1/10 A3→1/20
設計年月日

工事名称	遊亀公園付属動物園整備(建築主体)工事 (南-レッサ-ハンター舎)
図面名称	擬木取り付け詳細図

南レS-18  
No.